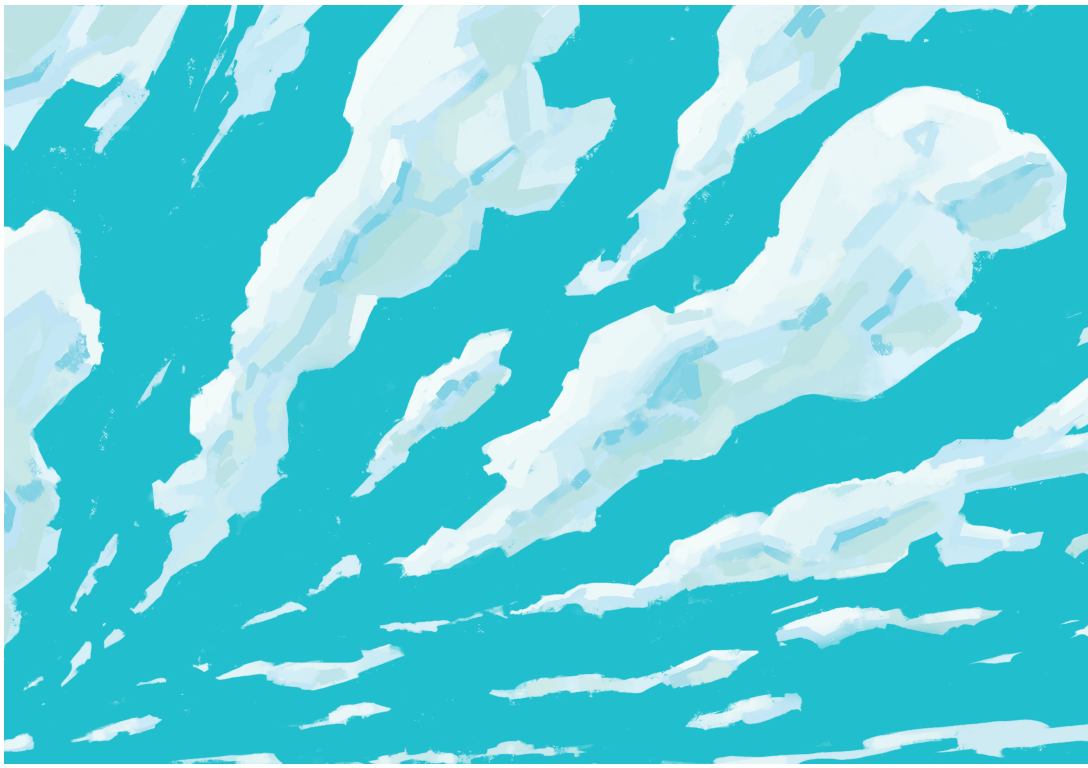
UNIVERSITY OF TSUKUBA
PROSPECTUS 2025
SINCE 1973



迷っていい。
多様な学問、人、環境が
生き方を見つけてくれる。





筑波大学案内
二〇二五

© 2024.
UNIVERSITY OF TSUKUBA

2025 年度

筑波大学案内

https://ac.tsukuba.ac.jp

学長メッセージ			1
巻頭特集　LIFE 筑波大生			2
筑波大学の教育			4
総合学域群		School of Comprehensive Studies	8
人文・文化学群 School of Humanities and Culture	人文学類	College of Humanities	12
	比較文化学類	College of Comparative Culture	16
	日本語・日本文化学類	College of Japanese Language and Culture	20
社会・国際学群 School of Social and International Studies	社会学類	College of Social Sciences	24
	国際総合学類	College of International Studies	28
人間学群 School of Human Sciences	教育学類	College of Education	32
	心理学類	College of Psychology	36
	障害科学類	College of Disability Sciences	40
生命環境学群 School of Life and Environmental Sciences	生物学類	College of Biological Sciences	44
	生物資源学類	College of Agro-Biological Resource Sciences	48
	地球学類	College of Geoscience	52
理工学群 School of Science and Engineering	数学類	College of Mathematics	56
	物理学類	College of Physics	60
	化学類	College of Chemistry	64
	応用理工学類	College of Engineering Sciences	68
	工学システム学類	College of Engineering Systems	72
	社会工学類	College of Policy and Planning Sciences	76
情報学群 School of Informatics	情報科学類	College of Information Science	80
	情報メディア創成学類	College of Media Arts, Science and Technology	84
	知識情報・図書館学類	College of Knowledge and Library Sciences	88
医学群 School of Medicine and Health Sciences	医学類	College of Medicine	92
	看護学類	College of Nursing	96
	医療科学類	College of Medical Sciences	100
体育専門学群		School of Physical Education, Health and Sport Sciences	104
芸術専門学群		School of Art and Design	108
学生生活と環境	学ぶための環境		112
	国際交流		114
	障害学生支援・LGBTQ＋学生支援		118
	医・食・住環境		120
	授業料・奨学金		122
	学生組織		123
	文化系サークル・体育系サークル・芸術系サークル		124
キャリア	就職・進学・取得免許・国家試験等		126
	大学院		133
	連携大学院とつくばの研究所		136
	共同利用施設		142
	筑波大学データ		143
入試	入試情報		144
	前期日程・後期日程の試験科目等		155
	推薦入試 推薦要件一覧		163
	見学／体験学習／進学相談		166
	資料請求方法		167
キャンパスマップ			168

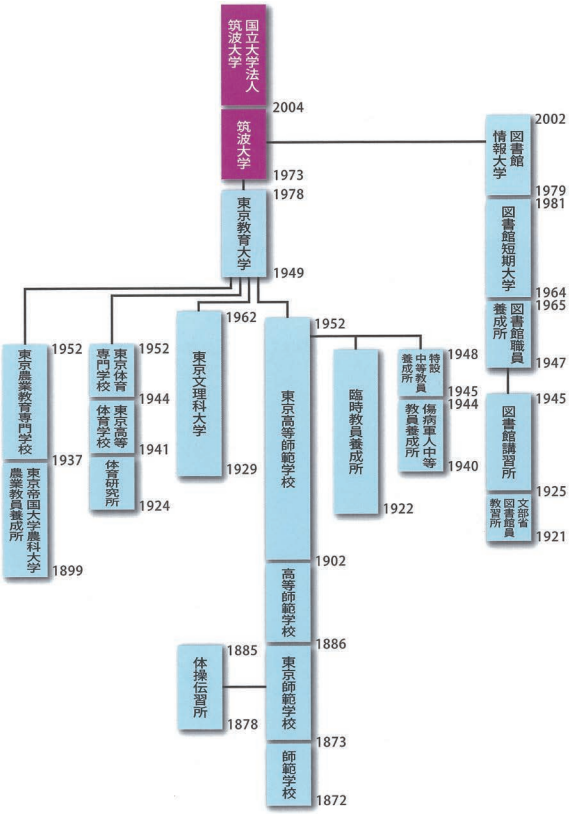
マレーシア校について	筑波大学学際サイエンス・デザイン専門学群（マレーシア校）は、2024 年 9 月に設置予定です。 詳細はマレーシア校の Web サイトをご覧ください。https://www.utmy.edu.my/

学長メッセージ

IMAGINE THE FUTURE.



筑波大学長　永田恭介



筑波大学の沿革

地球と人類社会の未来創造に向けて

我々はグローバル化という大きな潮流の中にいます。このコロナ禍でそれを実感させられました。筑波大学は、これまで IMAGINE THE FUTURE. のロゴのもと、知の創造とグローバル社会で国際的に活躍できる豊かな人間性を備えた人材を育成することを目標としてきました。

本学の教育宣言である筑波スタンダードに基づく質の高い教育により、皆さんにコミュニケーション能力や論理的思考能力が身に付くように、そして武者修行型学修により皆さん自身が課題を発見し解決することができる実践力が身に付くような教育システムを用意しています。本学は、ノーベル賞受賞者が教壇に立ち、またオリンピック金メダリストを生むなど幅広い学問分野を有しており、皆さんは多彩な講義・演習や活発な課外活動を通じて、専門分野のみならず幅広い教養を習得することができます。

我が国で最も古い官立の教育機関を始祖とし、最も新しい研究型総合大学である本学は、昨年 10 月 1 日に開学 50 周年を迎えました。本学はあらゆる面で「開かれた大学」として、国際性と学際性を柱に地球規模の課題の解決と地球と人類社会の発展に向けて、DESIGN THE FUTURE, TOGETHER. をモットーに次の 50 年に向けた歩みを始めました。未来をめざした新しいことに不断に挑戦する精神を尊重します。

国内最大規模の広さと美しさを誇るキャンパスは、東京から 45 分の近距離でありながら、都会の喧騒とは縁のない場所であり、自由にじっくりと考え、創造力を育て、表現力を養う環境を備えています。周辺には数多くの国際的にも評価のきわめて高い産官の研究機関が集積しており、大学キャンパスにも街にも国際性が日常化しています。本学は学問文化の薫り高い国際都市、つくばサイエンスシティの中核です。皆さんと緑あふれる筑波キャンパスでお会いすることを心から楽しみにしています。

建学の理念

本学は、基礎及び応用諸科学について、国内外の教育・研究機関及び社会との自由、かつ、緊密なる交流連係を深め、学際的な協力の実をあげながら、教育・研究を行い、もって創造的な知性と豊かな人間性を備えた人材を育成するとともに、学術文化の進展に寄与することを目的とする。 従来の大学は、ややもすれば狭い専門領域に閉じこもり、教育・研修の両面にわたって停滞し、固定化を招き、現実の社会からも遊離しがちであった。本学は、この点を反省し、あらゆる意味において、国内的にも国際的にも開かれた大学であることをその基本的性格とする。 そのために本学は、変動する現代社会に不断に対応しつつ、国際性豊かにして、かつ、多様性と柔軟性とを持った新しい教育・研究の機能及び運営の組織を開発する。 更に、これらの諸活動を実施する責任ある管理体制を確立する。

LIFE筑波大生





Erika Hiyama

理工学群社会工学類3年次 **檜山 恵梨香** さん

❶多様性を感じられることです。筑波大学には様々な地域から多様な志向、価値観を持った学生が集まっています。それぞれに筑波大学で学ぶ目的があり、自分の夢に向かっている友人から毎日刺激をもらっています。多くの学生が大学近郊に住んでおり、いつでも会えるような距離感であることから新しい発見が生まれることが多く、そのような生活がとても楽しいです。

❷多様な価値観に触れさらに視野を広げたいと思っています。マレーシア留学での様々な出会いと経験を通じ、日本国内にとどまらず世界の国の人と交流し、価値感の違いに理解を深めたいと感じるようになりました。留学生が多い筑波大での生活の中で多くの関わりを大切にし、留学中に感じた「当たり前」の違いを受け入れ、尊重し合うことでより良い繋がりを築いていきたいと思います。





Teruaki Makiyama

医学群医学類3年次 **牧山 輝壮** さん

❶筑波大学周辺に友達が住んでいることも在り、暇な夜はサウナに行くことが楽しみです。車があれば色々な温泉施設にいけるので練習で疲れているときはサウナと温泉に入って疲れをとっています。また他の部員も近くに住んでいるのですぐ集まってみんなで部活の事に時間を使える環境がとても楽しいです。

❷学業では成績やCBT、OSCEなどの大きな試験で上位10％をキープし、部活では今年は1部昇格、来年(4年時)には主将としてチームを強くし、大学アメフトの舞台を戦い抜くことが目標です。自分は学業と部活動、2つ軸を持っていることが重要だと考えているのでどちらでも十分な結果を出したいです。





Naoki Kaneko

情報学群情報科学類2年次 **金子 尚樹** さん

❶産学間連携推進室やWORD編集室、coinsラウンジなどで知り合いのコンピュータが大好きな人たちと話すのがとても楽しいです。普段は言っても通じない冗談やソフトウェアの愚痴、実装したいソフトウェアのアイデアの批評などをお互いに言い合える環境がとても心地が良いです。

❷情報科学類での学業に加え、現在産学間連携推進室で取り組んでいる研究活動と趣味のオープンソースソフトウェア活動をしっかりと続けていきたいです。特にSATySFiという静的な解析と早期のエラー報告が可能な組版ソフトウェアに関する活動をより行い、LaTeXを置き換えることができたら嬉しいと考えています。

Questions

❶つくば（筑波大学やつくば市内）で楽しいことは何ですか。
❷筑波大学の学生として学生時代に成し遂げたいことは何ですか。



人文･文化学群日本語･日本文化学類2年次 **邢 依嫻** さん

❶つくば市には様々な国から来る留学生や外国の方が集まっています。そのため、本格的な多国籍料理がたくさんあって、そして今まで知らなかった世界の料理が楽しめます。それを一つ一つ探してクリアをすることで異なる国の食文化を旅する気分で楽しいです。

❷言語習得する際にどのような問題を持っているかを把握し、それを乗り越えるためにはどのような方法が最適か大学在学中に見極めたいです。さらに大学院に進学し、将来的に日常生活における些細なコミュニケーションから試験対策まで言語習得を包括的に発展させていきたいと考えています。

Xing Yixian

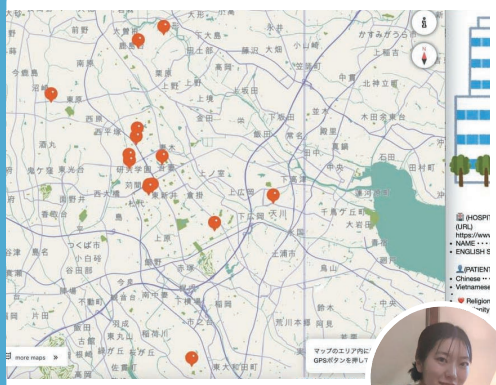


理工学群物理学類4年次 **皆川 和範** さん

❶勉強と課外活動のどちらも思う存分に楽しめることです。筑波大学では、多くの魅力にあふれる人に出会えます。物理学類には、趣味が物理の人もいれば車で本州を一周する人もいます。また、私は陸上競技部に所属しており、体育専門学群の学生だけではなく医学群の学生などともともに刺激し合うことができます。

❷私は現在4年生であり今後は筑波大学大学院で工学について勉強をします。今まで学んできた物理学の知識を工学へとつなげていき、スポーツと工学が結びついた新たな分野を切り開きたいと考えています。また、陸上競技も続ける予定なので自分を研究の実験台にして、研究と競技の二足の草鞋を履き続けていきたいです。

Kazunori Minakawa



医学群看護学類3年次 **相馬 淳乃** さん

❶一番楽しいと思うのは、「これやってみたい！」と思い立ったら、すぐに行動に移せるところです。例えば、今課外活動でしているMedical map for foreignersという企画も研究方法論という授業のグループワークで、「こんな研究ほんとにできたらいいね」と友人と話したのがきっかけです。今まで1人では出来なかったことが、大学の支援と自分たちの創意工夫次第で実行できるのは、とても楽しいです。

❷今課外活動として、外国語対応の病院やその対応の種類をまとめた地図を作成しています。これは留学生のチューターをした経験から、病院の対応言語以外の詳細な情報に需要があると知ったことがきっかけです。今後は、つくば市役所との情報共有や連携、またSNS等での発信を通して、外国人の医療アクセスの一助となればと考えています。

Akino Soma

筑波大学の教育

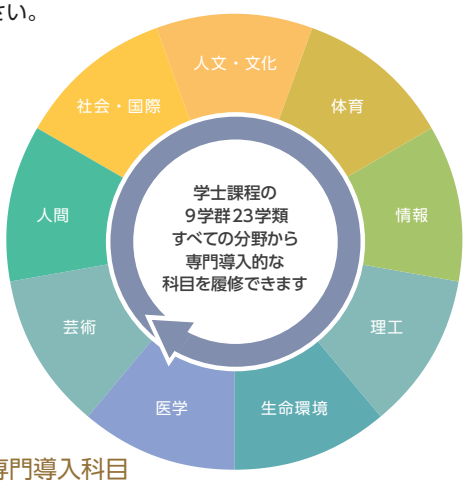
「学問への誘い」から始まるタテとヨコ

筑波大学の学士課程での学びは次のような構造になっています。
まず、総合科目「学問への誘い」を入学者全員が入学直後に履修します。この科目では、様々な学問的問いに、本学の研究者がどのようなアプローチで取り組んでいるのかを多数紹介します。本学における学修の動機をこの科目の履修によりまず得てください。この科目を要にして、学修はタテとヨコのイメージで進みます。自らの専門分野の学修は、所属している学類・専門学群で定められる専門基礎科目や専門科目の履修によって行われ、年次を追うごとにその専門性が深化してゆきます。「専門性の深まり」あるいは「掘り下げ」という言葉があるように、これはタテ方向への深化とたとえることができ、「専門智」の涵養へとつながります。

一方、本学では他の学類や専門学群の科目も複数履修することを卒業要件として定め、自分の知識をヨコに広げる展開も求めています。そのため、各学類・専門学群の専門科目や専門基礎科目のうちで、その学問分野の入り口に立つ入門的な内容を扱う科目を専門導入科目として多数配置しています。この科目群は、その科目を開設している学類・専門学群以外の組織に所属する学生の受講にも配慮しているので、文理にこだわらず自分の専門分野以外の分野の入門的内容を履修することができます。

また、総合科目のなかに学士基盤科目と呼ぶ科目群があり、様々な学問分野とつながる日本や世界の社会の様々な断面を教養として学ぶ科目も一つ以上履修するようになっています。「外国語」、「情報」、「体育」、「国語」、「芸術」という共通的な科目も用意され、健康の維持とともに自らの見方や考え方を表明・表現できる力の涵養もなされます。自分の所属する学類・専門学群（学士基盤科目）の履修、そして、「外国語」をはじめとする共通科目の履修という三位一体が、汎用的な智を涵養します。

こうして、タテにも深くヨコにも広い学修がなされ、「総合智」が涵養されるように本学の教育システムは設計されています。このような学修から、一つの事柄を様々な視点からみて考えることができる複眼的な見方や、その事柄とその周囲の関連を広く見渡す俯瞰的な視野も獲得してください。



専門導入科目
9 学群・23 学類、全ての分野から専門導入的な科目を履修できます

共通科目について

共通科目は以下の科目で構成されており、必修科目は時間割が重複しないように固定時間割が組まれています。
（一部、固定時間割でない科目もあります。）

◆**総合科目（全学必修）**：「学問への誘い」および「ファーストイヤーセミナー」に加え、社会で活躍するために必要となる広い視野、学際的な視点などを養うための一連の科目群（学士基盤科目）から構成されます。

◆**体育（全学必修）**：充実した体育施設において、ジョグ＆ウォーク、サッカー、テニス、バレーボール、バスケットボール、柔道、ゴルフ、水泳、ダンス、インラインスケート、フィットネストレーニング、ボディ・ワーク、野外運動、トリム運動など多彩な科目から選択して受講します。

◆**外国語（全学必修）**：「第 1 外国語」、「第 2 外国語」として英語と初修外国語を学びます（「第 2 外国語」は一部の学類・専門学群が必修）。

◆**情報（全学必修）**：講義と演習を通じて、情報とコンピューターに関する基本概念および社会における位置づけを理解し、インターネット社会におけるルールとモラルを身につけます。

◆**国語（一部の学類・専門学群で必修）**：レポート（論文）作成の基礎、応用・発展、総合的な表現能力の向上を目的として、日本語運用能力を系統的に修得するカリキュラムが用意されています。

◆**芸術**：国際的に「芸術」は大学におけるリベラルアーツ（教養）教育の重要な一分野を占めています。

◆**自由科目（特設）**：本学の研究や教育の成果をもとに、全学の学生を対象として開設される科目です。ドイツ語、中国語、ロシア語を現地の大学で学ぶ「海外語学研修」や「障害学生支援技術」「ジェンダーとグローバル共生」など特徴的な科目が開設されています。

必修科目・選択科目・自由科目

年次が進むにつれて、共通科目・専門導入科目→専門基礎科目→専門科目と学びの専門性が高くなっていきます。大学の初年次には必ず履修しなければならない必修科目が多く配置されていますが、学年が上がるにつれて選択科目の幅は高校と比べてはるかに大きくなります。高校と大学の最も大きな違いの一つは、この学びの多様性にあります。

さらに筑波大学では自由科目が設けられています。自由科目とは、選択科目よりさらに幅広い科目群の中から自由に選択して履修する科目のことです。

卒業のために必要な科目は専門学群や学類によって異なりますが、学生は各々の興味、関心、適性、将来の進路などを考えながら選択科目や自由科目を履修していくことになります。

多様な授業方法と単位制

大学の授業はその方法によって、講義、演習、実験、実習、実技といった種類に分かれています。これらの授業の履修によって学生は単位を取得し、卒業するまでに各学類・専門学群で定められた単位数を取得することになります。

講義は教員が言葉や問いかけで知識や考え方を伝える授業のことで、高校の教育方法に近いものです。演習は講義で得た知識や技能をもとに特定の課題や問題について発表したり検討したりする少人数の授業です。

実験、実習は講義等で習得したことを実験室や実際の現場などで実物を用いて試したり学んだりする授業、実技は技術を磨く授業と言えます。

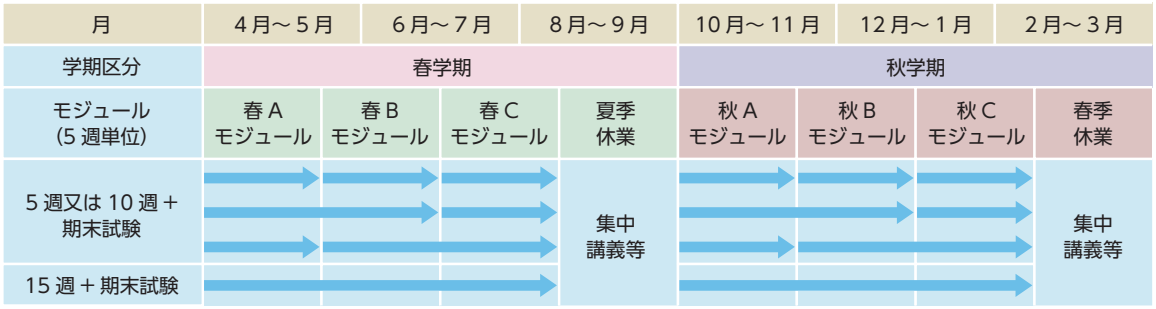
筑波大学では、講義や演習は 1 時限（75 分）の授業を 10 回受けると 1 単位取得できます（外国語や一部の演習を除く）。また実験・実習・実技で 1 単位を取得するためには 1 時限の授業を 20 回受ける必要があります（一部の実験・実習を除く）。

学期制とモジュール制

筑波大学では 2 学期制をとり、4 月から 9 月までの春学期、10 月から翌年 3 月までの秋学期に分かれています。各学期は 15 週ですが、さらに 5 週ずつ A、B、C に三分割して、これをモジュールと呼んでいます。

講義は 10 回の授業で 1 単位であることを説明しましたが、例えば春学期 A モジュールと B モジュールで開講される講義は 10 週行われることになるので、1 単位取得できます。また、秋学期 C モジュールのみでも 1 日に 2 時限連続の講義を行えば、5 週で 10 回講義することになるので、同じく 1 単位を取得することができます。

このように学期制・モジュール制では、弾力的な時間割編成が可能となっています。



筑波大学の一日

筑波大学の時間割は、1 回の授業時間が 75 分（他のほとんどの大学は 90 分）、1 日 6 時限となっています。1 時限目は 8 時 40 分から始まりますが、時間割は一人一人異なるので、2 時限目や 3 時限目から来る学生もいます。休憩時間は 15 分ですが、2 時限目と 3 時限目の間は 50 分ありますので、これがお昼休みとなります。

日課だけ見ると、朝早くから夕方遅くまで詰まっているように見えるかもしれません。確かに低学年では必修科目が多いので、時間割は窮屈になります。しかし決められた単位をきちんと取得していけば、学年が上がるにしたがい、時間割にはゆとりが出てきます。学生はその余裕を利用して他学群や他学類の授業を受講したり、図書館で勉強したりしています。

最後の 6 時限目の終了が午後 6 時ですが、これよりも早く終る学生もいます。授業が終わると、サークル活動やアルバイトなど学生は各々自由な時間を過ごしますが、中には議論や実験が長引き夜まで教室や実験室に居残る熱心な学生もいます。また授業期間中は図書館が夜 10 時まで開館していますので、遅くまで勉強をすることもできます。

時　限	授業時間
第 1 時限	8 ：40 ～ 9 ：55
第 2 時限	10：10 ～ 11：25
第 3 時限	12：15 ～ 13：30
第 4 時限	13：45 ～ 15：00
第 5 時限	15：15 ～ 16：30
第 6 時限	16：45 ～ 18：00

時間割の例

人文・文化学群開設科目　社会・国際学群開設科目
理工学群開設科目　情報学群開設科目

総合学域群

2023 年度　1 年次　春学期

モジュール / 時限		月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
A	1 限	法学の最前線	フィールド文化領域比較文化研究	英語 1 年次		体育
	2 限	法学の最前線	フィールド文化領域比較文化研究	初修外国語 1 年次		ファーストイヤーセミナー
	3 限	初修外国語 1 年次	情報リテラシー		国際学Ⅱ	数学リテラシー 1
	4 限	英語 1 年次	情報リテラシー		国際学Ⅱ	
	5 限	国語Ⅰ	数学リテラシー 1	学問への誘い	共生のための日本語教育	情報メディア入門
	6 限			学問への誘い	共生のための日本語教育	情報メディア入門
B	1 限	哲学・宗教学入門	共生のための人類学	英語 1 年次		体育
	2 限			初修外国語 1 年次		ファーストイヤーセミナー
	3 限	初修外国語 1 年次	情報リテラシー	経済学の数理		線形代数 A
	4 限	英語 1 年次	情報リテラシー	経済学の数理		線形代数 A
	5 限	国語Ⅰ	思想文化領域比較文化研究			国際学Ⅳ
	6 限		思想文化領域比較文化研究			国際学Ⅳ
C	1 限	哲学・宗教学入門	共生のための人類学	英語 1 年次		
	2 限			初修外国語 1 年次		
	3 限	初修外国語 1 年次				線形代数 A
	4 限	英語 1 年次				線形代数 A
	5 限					
	6 限					

2023 年度　1 年次　秋学期

モジュール / 時限		月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
A	1 限	個別言語学入門		英語 1 年次		体育
	2 限	知識情報概論		初修外国語 1 年次		
	3 限	初修外国語 1 年次	データサイエンス	社会と最適化		微分積分 A
	4 限	英語 1 年次	データサイエンス	社会と最適化		微分積分 A
	5 限	国語Ⅱ			プログラミング入門 A	コンテンツ入門
	6 限			政治学の最前線	プログラミング入門 A	コンテンツ入門
B	1 限	個別言語学入門		英語 1 年次		体育
	2 限	知識情報概論		初修外国語 1 年次		
	3 限	初修外国語 1 年次	データサイエンス		経済学の実証	微分積分 A
	4 限	英語 1 年次	データサイエンス		経済学の実証	微分積分 A
	5 限	国語Ⅱ	システムと情報科学		プログラミング入門 A	コンテンツ入門
	6 限		システムと情報科学	政治学の最前線	プログラミング入門 A	コンテンツ入門
C	1 限			英語 1 年次		
	2 限			初修外国語 1 年次		
	3 限	初修外国語 1 年次				
	4 限	英語 1 年次				
	5 限				プログラミング入門 B	
	6 限				プログラミング入門 B	

総合学域群では、1 年間の学修を通して 2 年次に進む学群・学類を考えていきます。総合学域群の学生は、それぞれの興味関心に応じて時間割を作成しますので、ひとりひとり時間割が異なります。どの選抜区分で入学した学生でも、文理を越えて履修したい科目を自由に選択することができます。上記の例では、人文系・社会系を軸に、情報系・工学系などの科目も広く履修し、様々な分野のアプローチの仕方を学ぶような時間割を作成しています。

人間学群障害科学類

2022 年度　1 年次　春学期

モジュール / 時限		月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
A	1 限	人間学Ⅰ		教職論Ⅰ	基礎体育フラッグフットボール（春）	基礎スペイン語ＢⅠ
	2 限	人間学Ⅰ			ファーストイヤーセミナー	English Reading Skills Ⅰ
	3 限	情報リテラシー（演習）	English Presentation Skills Ⅰ		障害原理論Ⅰ	
	4 限	情報リテラシー（演習）	基礎スペイン語ＡⅠ		障害原理論Ⅰ	
	5 限			学問への誘い		
	6 限			学問への誘い		
B	1 限	心理学概論		教職論Ⅰ	基礎体育フラッグフットボール（春）	基礎スペイン語ＢⅠ
	2 限	心理学概論	みんなで創ろう「つくばアクションプロジェクト」		ファーストイヤーセミナー	English Reading Skills Ⅰ
	3 限	情報リテラシー（講義）	English Presentation Skills Ⅰ		障害原理論Ⅰ	
	4 限	情報リテラシー（講義）	基礎スペイン語ＡⅠ		障害原理論Ⅰ	
	5 限		生涯発達と家族支援		障害科学Ⅰ	教育基礎論
	6 限		生涯発達と家族支援		障害科学Ⅰ	教育基礎論
C	1 限	心理学概論				基礎スペイン語ＢⅠ
	2 限	心理学概論	みんなで創ろう「つくばアクションプロジェクト」			English Reading Skills Ⅰ
	3 限	現代教育と教育理念	English Presentation Skills Ⅰ			
	4 限	現代教育と教育理念	基礎スペイン語ＡⅠ			
	5 限	教育史概論	生涯発達と家族支援		障害科学Ⅰ	教育基礎論
	6 限	教育史概論	生涯発達と家族支援		障害科学Ⅰ	教育基礎論

2023 年度　2 年次　春学期

モジュール / 時限		月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
A	1 限		聴覚障害生理病理特講			応用行動分析学の基礎
	2 限		日本語学講読Ⅰ-a	文化創造論研究Ⅵ	視覚障害生理病理特講	知的障害者の生活と教育・福祉
	3 限	障害科学研究法入門	中国文学概論	応用体育器械運動（春）		
	4 限	障害科学研究法入門	日本文学概論	知的・発達障害と心理	中国文学講読Ⅰ	
	5 限				視覚障害と心理	
	6 限				日本語学概論 -a	
B	1 限		聴覚障害生理病理特講			応用行動分析学の基礎
	2 限		日本語学講読Ⅰ-a	文化創造論研究Ⅵ	視覚障害生理病理特講	知的障害者の生活と教育・福祉
	3 限	障害科学研究法入門	中国文学概論	応用体育器械運動（春）		
	4 限	障害科学研究法入門	日本文学概論	知的・発達障害と心理	中国文学講読Ⅰ	
	5 限		知的・発達障害生理病理特講		視覚障害と心理	
	6 限				日本語学概論 -a	
C	1 限					医学概論Ⅰ
	2 限					医学概論Ⅰ
	3 限					医学概論Ⅱ
	4 限					医学概論Ⅱ
	5 限		知的・発達障害生理病理特講			
	6 限					

障害科学類の３つの履修モデルのうち特別支援教育学履修モデルを選択し時間割を作成しました。特別支援学校教諭免許及び基礎資格となる教員免許（中高・国語）の取得を目指しています。１年次は、基礎科目である総合科目、体育、外国語、情報や学群・学類の必修科目を中心に、基礎免許に必要な科目も履修しています。２年次になると特別支援教育学の専門科目が増え、その他社会福祉学の授業や、教員免許における「教科に関する専門的事項」に対応する科目も履修します。

理工学群応用理工学類

2023 年度　2 年次　春学期

モジュール / 時限		月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
A	1 限	基礎実験学			線形代数 A	線形代数 A
	2 限	解析学 A		熱力学	化学 A	力学 A
	3 限	応用理工化学実験 / 応用理工物理学実験		電磁気学 A	体育	
	4 限	応用理工化学実験 / 応用理工物理学実験				熱力学
	5 限	応用理工化学実験 / 応用理工物理学実験	英語			
	6 限	応用理工化学実験 / 応用理工物理学実験	初修外国語		基礎実験学	
B	1 限	計測実験学			線形代数 A	線形代数 A
	2 限	応用物理工学概論	先端科学・工学概論	熱力学	化学 A	力学 A
	3 限	応用理工化学実験 / 応用理工物理学実験		電磁気学 A	体育	
	4 限	応用理工化学実験 / 応用理工物理学実験				熱力学
	5 限	応用理工化学実験 / 応用理工物理学実験	英語	確率論		電気回路
	6 限	応用理工化学実験 / 応用理工物理学実験	初修外国語		電気回路	
C	1 限	計測実験学				
	2 限	応用物理工学概論	先端科学・工学概論			電磁気学 B
	3 限	応用理工化学実験 / 応用理工物理学実験		電磁気学 B		
	4 限	応用理工化学実験 / 応用理工物理学実験				
	5 限	応用理工化学実験 / 応用理工物理学実験	英語	確率論		電気回路
	6 限	応用理工化学実験 / 応用理工物理学実験	初修外国語		電気回路	

2023 年度　3 年次　春学期

モジュール / 時限		月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
A	1 限					
	2 限		固体物理学 1		生命科学 1	応用数学 II
	3 限	量子力学 I	電子・量子工学専攻実験（電子・量子主専攻）			専門英語 1
	4 限	体育	電子・量子工学専攻実験（電子・量子主専攻）	量子力学 I		誘電体工学
	5 限	化学 C	電子・量子工学専攻実験（電子・量子主専攻）	統計力学 I		統計力学 I
	6 限					
B	1 限			情報通信工学概論	半導体電子工学 1	
	2 限	計測工学	固体物理学 1	デジタル電子回路	生命科学 1	応用数学 II
	3 限	量子力学 I	電子・量子工学専攻実験（電子・量子主専攻）			専門英語 1
	4 限	体育	電子・量子工学専攻実験（電子・量子主専攻）	量子力学 I		誘電体工学
	5 限	化学 C	電子・量子工学専攻実験（電子・量子主専攻）	統計力学 I		統計力学 I
	6 限					
C	1 限		回折結晶学	情報通信工学概論	半導体電子工学 1	回折結晶学
	2 限	計測工学	応用数学 II	デジタル電子回路		応用数学 II
	3 限	量子力学 I	電子・量子工学専攻実験（電子・量子主専攻）	光学		光学
	4 限		電子・量子工学専攻実験（電子・量子主専攻）	量子力学 I		
	5 限		電子・量子工学専攻実験（電子・量子主専攻）	統計力学 I		統計力学 I
	6 限					

2 年次までに、最先端科学技術を理解するための基礎的・論理的思考力を養成するため、数学と物理と化学を重点化した教育を実施します。また、基礎科学の体験的・実験的学習のため、物理学系と化学系の必修の実験を必修科目として開講します。3 年次では、4 つの主専攻（応用物理、電子・量子工学、物性工学、物質・分子工学）への振り分けを行い、専門性の高い講義と実験科目を提供します。4 年次では、すべての学生が学類教員のいずれかの研究室に配属され、授業に加えて、卒業研究を行います。

芸術専門学群

2023 年度　1 年次　春学期

モジュール / 時限		月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
A	1 限		洋画概論	情報・プロダクトデザイン概論	基礎スペイン語 B I	情報リテラシー（演習）
	2 限		美術史概説 B-1		English Presentation Skills	情報リテラシー（演習）
	3 限		基礎体育			芸術支援学概論
	4 限	教育史概論	ファーストイヤー・セミナー			デッサン実習 I -1
	5 限	English Reading Skills I	油彩画基礎演習 I			デッサン実習 I -1
	6 限	基礎スペイン語 A I	油彩画基礎演習 I			
B	1 限		洋画概論	情報・プロダクトデザイン概論	基礎スペイン語 B I	情報リテラシー（講義）
	2 限	アート & デザイン入門	美術史概説 B-1		English Presentation Skills	情報リテラシー（講義）
	3 限		基礎体育		日本・アジア領域比較文化研究	芸術支援学概論
	4 限	教育史概論	ファーストイヤー・セミナー			デッサン実習 I -1
	5 限	English Reading Skills I	油彩画基礎演習 I			デッサン実習 I -1
	6 限	基礎スペイン語 A I	油彩画基礎演習 I			
C	1 限				基礎スペイン語 B I	
	2 限	アート & デザイン入門			English Presentation Skills	
	3 限				日本・アジア領域比較文化研究	
	4 限		素描基礎演習 I		素描基礎演習 I	
	5 限	English Reading Skills I	素描基礎演習 I		素描基礎演習 I	
	6 限	基礎スペイン語 A I				

2023 年度　2 年次　春学期

モジュール / 時限		月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
A	1 限				木材造形論	絵画技法論
	2 限	博物館学 I	色彩学	文化創造論研究 VI	色彩構成演習 I	応用体育
	3 限	博物館学 III				版画概論
	4 限		美術史特講 A-1		美術史特講 C-1	
	5 限	アート展示論	美術史演習 A-1		美術史演習 C-1	博物館展示論 I
	6 限	文化創造論概論				博物館展示論 II
B	1 限				木材造形論	絵画技法論
	2 限	博物館学 I	色彩学	文化創造論研究 VI	色彩構成演習 I	応用体育
	3 限	博物館学 III				版画概論
	4 限		美術史特講 A-1		美術史特講 C-1	
	5 限	アート展示論	美術史演習 A-1		美術史演習 C-1	博物館展示論 I
	6 限	文化創造論概論				博物館展示論 II
C	1 限			芸術キャリア教育		
	2 限	博物館学 I		芸術キャリア教育		
	3 限	博物館学 III				
	4 限		美術史演習 A-1		美術史演習 C-1	
	5 限		美術史演習 A-1		美術史演習 C-1	博物館資料保存論 I
	6 限					博物館資料保存論 I

芸術専門学群では、1 学年 100 名の少人数に 14 領域の多彩な芸術の専門教育を提供しています。1 年次では基礎科目と専門基礎科目を中心に履修します。2 年次から各領域で開講されている専門科目を履修し、3 年次の秋学期には卒業研究に向けた領域を決めます。各領域で開講されている領域研究（2 年次通年／3 年次春 ABC）および領域特別演習（3 年次秋 ABC ／ 4 年次春 ABC・秋 ABC）を受講し、段階的に専門能力を高めていくカリキュラムとなっています。上の時間割のうち、1 年次の学生は洋画領域、2 年次の学生は美術史領域を志望しています。

総合学域群

School of Comprehensive Studies

https://scs.tsukuba.ac.jp/

総合選抜とは

―進路決定の固定観念から自由になろう！

「物理が得意だから、大学では物理学を勉強しよう」と決めてしまっていませんか？大学にはみなさんの知らないたくさんの学問領域があります。高校で学んだ教科だけで進路を決めてしまうと、自分の将来を狭めてしまうかもしれません。情報学は理系、地理学や心理学は文系、と思い込んでいませんか？多くの学問は、文系、理系、どちらからもアプローチが可能です。まずは、それぞれの学問に実際に触れてみて、その後に専門を決めるという方法もあります。

それをかなえる入試が「総合選抜」です。

総合選抜では「文系」「理系Ⅰ」「理系Ⅱ」「理系Ⅲ」という学群・学類よりも幅広い区分で選抜します。入学後の 1 年間は英語をはじめとする外国語や情報、体育などの基礎科目のほかに、様々な分野の専門導入的な科目を学び、1 年次の終わりに本人の志望と入学後の成績などに基づいて 2 年次以降に所属する学群・専門学群が決まります。

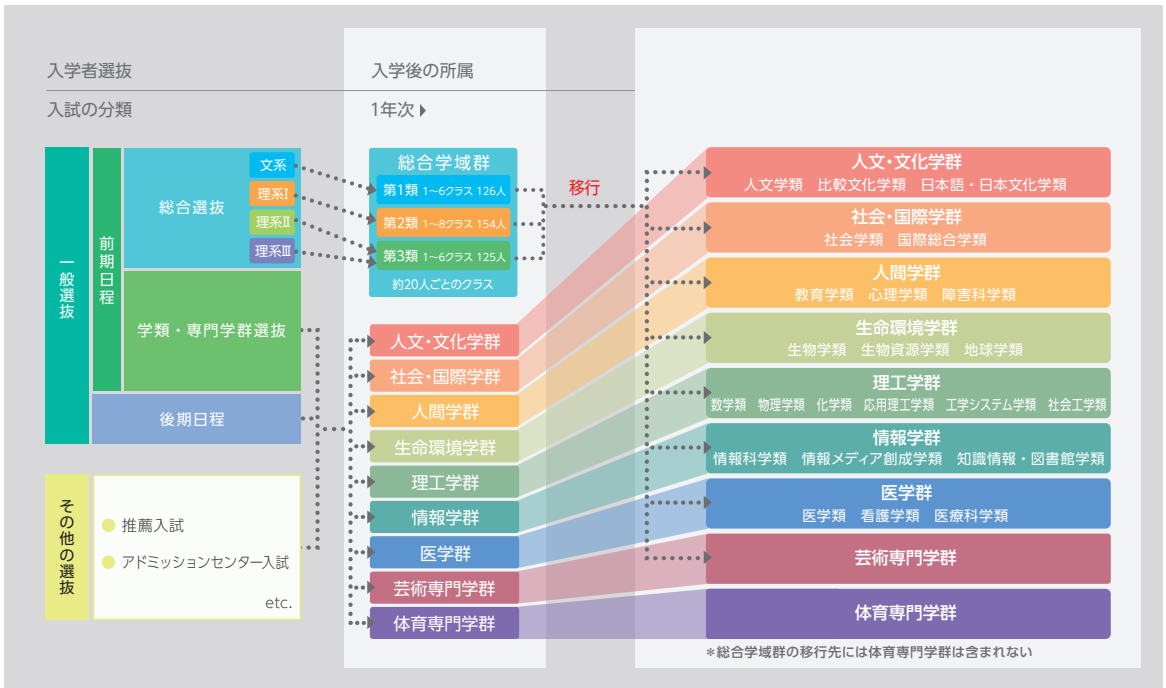
いずれの区分で入学しても、体育専門学群を除くすべての学群・学類に進めます。ただし、志望する学群・学類の指定する科目を修得していることが条件となります。また、特定の選抜区分で入学した学生を優先して受け入れる学群・学類もあります。

選抜区分と優先受入枠

選抜区分	優先して受け入れる学類	優先受入枠を設けない学類・専門学群
文系	人文学類、比較文化学類、日本語・日本文化学類、社会学類、知識情報・図書館学類、看護学類	国際総合学類、教育学類、心理学類、障害科学類、医学類、芸術専門学群
理系Ⅰ	地球学類、数学類、物理学類、化学類、応用理工学類、工学システム学類、社会工学類	
理系Ⅱ	生物学類、生物資源学類、地球学類、医療科学類	
理系Ⅲ	数学類、情報科学類、情報メディア創成学類、知識情報・図書館学類	

総合選抜から学群・学類への移行の詳細は、148 ページをご覧ください。

入試から移行までの流れ



総合学域群ホームページ・パンフレット

●総合学域群に関する詳細な情報は、下記Webページにて随時更新中！
https://scs.tsukuba.ac.jp/
●パンフレット等は、 Webページからダウンロード可能です。
また、テレメールによる請求もできます。 (p.167　資料請求番号　793290)

学類・専門学群への移行について

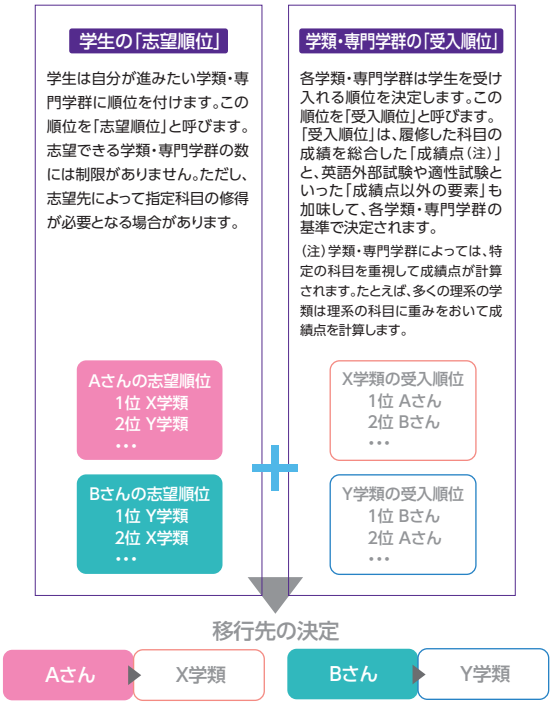
総合学域群の学生は、１年間の学びの後、所属する学類・専門学群が決まります。これを「移行」と呼びます。どの学類・専門学群に「移行」するかは、本人の志望と、入学後の成績や適性に基づいて決定します。どの選抜区分（文系、理系Ⅰ、理系Ⅱ、理系Ⅲ）で入学しても、体育専門学群を除くどの学類・専門学群にも移行する道があります。

移行先を選ぶには

- Web・冊子等で提供される情報
- 『新入生のための知的好奇心マップ』
- 『履修・移行ガイドブック』(入学後に配付)
- 全学必修科目「学問への誘い」
  入学後すぐに履修するこの科目は、幅広い学問分野を俯瞰する助けとなります。
- 興味・関心に基づいて履修した科目の講義内容
- 各種ガイダンス
- アカデミックサポートセンターのスタッフなどとの相談

学類・専門学群の決定

１年次の3月に、2年次に移行する学類・専門学群が決まります。移行先は、学生の「志望順位」と学類・専門学群の「受入順位」の組み合わせによって決定されます。



総合学域群長からのメッセージ



山中　弘
総合学域群長
（特命教授）

未来を見据えて、広い視野からじっくりと学ぼう

総合学域群は、令和 3 年 4 月から学生を受け入れた、筑波大学の中でも新しい組織です。ここに籍を置く学生は総合選抜で入学した１年次生だけです。２年次になると自分の希望する学類・専門学群に進級して、所属も総合学域群からそれぞれの教育組織へと移ります。つまり、総合選抜で入学した１年次生のためだけに用意された特別な「学びの場」ということになります。総合学域群という名前に注目してください。これまでの学類・専門学群は名前から何をそこで学ぶことができるのかがおよそ見当がつきました。総合学域群は、そうした専門領域の名前ではなく、どの学問的領域でも広く総合的に学ぶことができる「学域」、つまり総合学域群と名づけられました。

総合学域群の特長の一つは、高校までの学びに基づき、複数の専門領域の学修を通じて広い視野から様々な問題を多角的にとらえる基礎的な力を身につけるということです。特定の学類・専門学群に属していないメリットを最大限に活用して、複数の学類・専門学群が提供する専門導入科目などを積極的に履修してみてください。もう一つの特長は、自分とは違う問題意識や将来の夢をもつ仲間と一緒に、１年間の学びの中で将来の方向性を考えながら、自分の関心と適性に合った学類を絞ることができるということです。もちろん、「移行」先を絞ることは一人では大変です。そのため、他の学類・専門学群にはないアカデミックサポートセンターという、１ 年次の皆さんの学修を手厚く支援する組織を備えています。

いずれにしても、総合学域群という学びの場を意義深いものにできるかどうかは、最終的には皆さん次第です。皆さんが総合学域群に所属して良かったと自信を持って振り返ることができるよう、一緒に頑張っていきたいと思います。

サポート体制について

類・クラス

入学して所属する類（第1類、第2類、第3類）、そしてその中のクラスがみなさんの大学生活初年度の基本単位です。1クラス約20名の学生に対して、1名のクラス担任が、ファーストイヤーセミナーなどを通じて、修学や学生生活全般について助言や相談に応じます。総合学域群では、クラス担任の先生も様々な学類・専門学群から選出されています。



アカデミックサポートセンター

総合学域群の学生は入学してからの学びのなかで、将来の進路や自分の関心、適性にあった学類・専門学群を選択します。入学直後は、自分の興味・関心が定まらず学類等の選択や科目の選択に迷うかもしれません。アカデミックサポートセンターでは、志望する移行先の選び方の助言や適切な履修計画・進路選択等をしっかりとサポートします。



全学学生支援組織

- 保健管理センター
- 学生相談室・総合相談窓口
- ヒューマンエンパワーメント推進局

筑波大学のすべての学生に向けて、健康面などをサポートする体制が用意されています。積極的に活用してください。



先輩からのメッセージ



結城 寧々
第１類
（移行先：比較文化学類）

私は、入学以前からジェンダーやLGBTQ+について関心がありました。しかし、もちろん「ジェンダー学類」なんてありません。総合学域群での１年間は、どの学問からジェンダーを研究するか、について考える期間でした。学んだ結果気づいたことは、学問的な研究には多様な視点がある、ということです。文学、社会学、文化人類学・・・それぞれ、同じテーマを扱ったとしても、研究における 5W1H は大きく異なります。「領域横断的な学び」が推奨される昨今において、専門領域にとらわれずに各学問の特色を知ることができるのは、総合学域群ならではです。さらに私は、移行後も、他学類の講義を履修し、ゼミにも参加するなど、「領域横断的な学び」を実践しています。総合学域群の在籍期間は１年ですが、総合学域群的な学びは終わりません。総合での学びが、比文生になった今の自分の強みとして生かされていると、日々感じています。



山野 虎太郎
第３類
（移行先：生物学類）

やりたいことに対して様々なアプローチの仕方を知ることができ、分野の融合などを実感することができました。またとりあえずこの分野ならこの学類だ！と安直に考えていたが、総合学域群でのイベントや各学類で開講される授業を通し、興味・分野に対してどのように考え、学んでいくかを再確認することもできました。

移行後も専門的な知識や経験を積むことができとても満足しています。一年生からその学類にいる学生よりも出遅れているという指摘は否定しきれませんが、そこでは得られない経験があるのも事実であり必ずしもマイナスではないと思います。



太田 碧
第２類
（移行先：芸術専門学群）

総合学域群で過ごした１年は自分の選択肢を広げる時間でした。私が移行した芸術専門学群は絵を描くところだと思っていませんか？私も高校生の頃はそう思っていましたし、進学先の選択肢としてとらえることもありませんでした。しかし、入学後に学んでいくうちに「デザイン」の幅は想像よりも広く、自分のやりたいことを叶えられる学類だと気づくことができました。

移行直後は戸惑うこともありましたが、学んだことをすぐにアウトプットできる演習課題や、それぞれのやりたいことに気軽に挑戦できる雰囲気が私に合っていてとても楽しく学んでいます。総合学域群で身につけた幅広い視点もデザインをするときにとても役に立っているなと感じます。



手川 朋香
第３類
（移行先：情報科学類）

総合学域群での１年間は、自分が何に興味があって将来どうなりたいのかなど、移行後の進路に関して多くの選択肢を持ちながら、自分と向き合う１年だったと思います。

情報科学類に移行してからの１年間はとても充実したものでした。プログラミングの授業が多く、移行当初は授業についていけるのか不安でしたが、情報科学類にはロボット世界大会での入賞経験や、企業エンジニアとしての経験など、情報技術に精通した友達に、時には相談にのってもらいながら、効率よく勉強することができ、情報科学を学ぶには最適な環境だと思いました。

今、改めて振り返ってみると、総合学域群での１年間は悩みや苦労も多くありましたが、自分にとって非常に有意義な１年だったと思います。

Q & A

Q 「総合選抜」と「学類・専門学群選抜」のどちらを受験するか迷っています。

A 総合選抜を経て総合学域群に所属する学生は、複数の学類・専門学群の授業を履修しながら移行先を考えていきます。移行先決定の際に志望できる学類・専門学群の数には限りがありませんので、複数の学類・専門学群を移行先の選択肢として考えたい場合は、ぜひ「総合選抜」を受験し総合学域群で１年間広く学修してみてください。一方で、特定の学類・専門学群のみを希望する場合は、「学類・専門学群選抜」を受験することをお勧めします。

Q どのように志望する学類・専門学群を決めていけばよいでしょうか？進みたい学類・専門学群を１年で決められるか不安です。

A 総合学域群の学生は１年をかけて様々な学類・専門学群の授業を受けながら、志望先を考えて行きます。自身の興味関心に合った学類・専門学群を探す機会として、入学直後および夏季休業中にガイダンスを実施するほか、各学類・専門学群から選出されたアカデミックアドバイザーやクラス担任、アカデミックサポートセンターのスタッフがみなさんの相談にのり一緒に考えていきます。

Q ２年次に移行する学類・専門学群はいつ決まりますか？

A ３月に実施する「本判定」で決まります。学生はこの時までに、志望する学類・専門学群とその順位を決めます。なお、志望できる学類・専門学群の数に限りはありません。

Q 移行後に学類・専門学群で入学したグループについていけるかどうか、仲間に入れるかどうか不安です。

A 移行後の教育は、移行先の学類・専門学群が責任を持って対応します。編入学生や留学生等、途中年度から筑波大学に通い始める人も大勢います。総合学域群から移行した学生も、移行先できっと新しい友達ができますし、１年を共に過ごした総合学域群の仲間との交流は移行した後も続いていくでしょう。困った場合は、学生生活について何でも相談できる窓口があります。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材		大学において学問的な俯瞰をしながら専門分野を定め、自らのキャリアを主体的に切り拓くために必要な、十分な基礎学力と学習意欲を有する人材
入学までに学んでおいてほしいこと		高等学校までの基礎学力をまんべんなく身につけておくこと。また幅広く興味関心を持ち、学習に主体的に取り組む態度と自らのキャリアを選択できる力を養うことが望ましい。
入学者選抜方針（個別学力検査等前期日程（総合選抜））	共通の選抜方針	外国語及び受験生が得意とする領域における思考力、判断力、表現力を重視しつつ、高等学校で学ぶ基礎・基本的な学力を全般的に評価します。
	文系	入学の時点で、文科系志向の学生を選抜します。
	理系Ⅰ	入学の時点で、物理学の素養を必須として理科系志向の学生を選抜します。
	理系Ⅱ	入学の時点で、特定の分野にとらわれない理科系志向の学生を選抜します。
	理系Ⅲ	入学の時点で、数学に重点をおいて理科系志向の学生を選抜します。

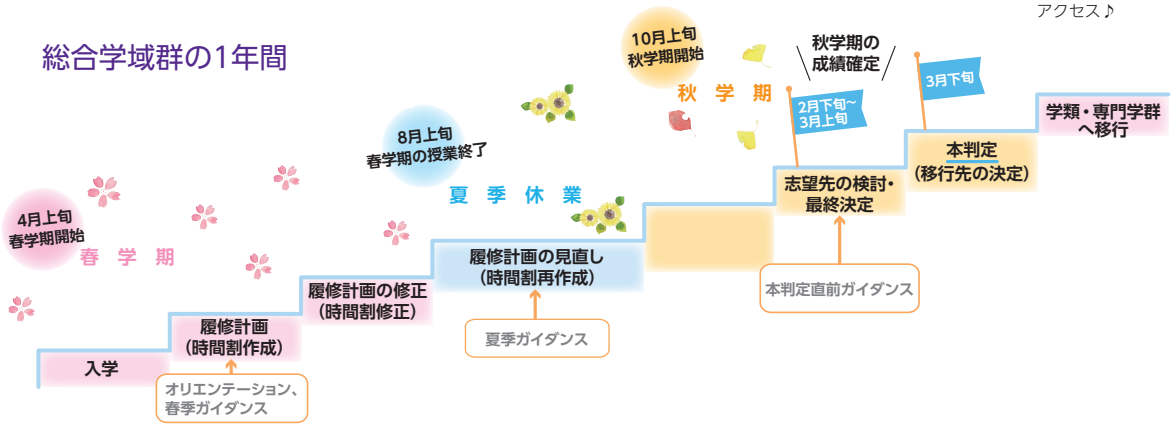
紹介動画公開中！





↑ YouTube にアクセス♪

総合学域群の1年間



人文・文化学群

人文学類

School of Humanities and Culture
College of Humanities

https://www.jinbun.tsukuba.ac.jp/

[人材養成目的] 「人間とは何か」という問いを根底におき、人間存在とその諸活動の所産としての文化全般について主体的に考察しうるとともに、グローバル化が進展する世界における諸問題に積極的に関与し発言しうる、真に教養ある人材を育成します。



カリキュラム

哲学、史学、考古学・民俗学、言語学という4主専攻が全部で11のコースに分かれ、各分野を基礎からじっくり学ぶことができます。

1年次には、人間とその社会について幅広く学びつつ、専門基礎科目の履修により希望コースに進むための基礎的知識を習得します。

2年次の終わりに自らの志望により主専攻・コースを選択し、それぞれの専門分野における課題の設定・抽出・分析のための方法論を身に付け、問題解決能力を高めていきます。

4年次では、卒業論文（必修）の作成を通じて、幅広い教養の上に立つ専門的能力を身に付けるとともに、社会との連携や対話を深め、さらに自己発信能力を獲得します。

主専攻	学びたいこと	どの科目で学べるのか
哲学	日常的で断片的な生活に埋没せずに、確固とした原理を求めたい。 人間と社会・自然環境とのあり方に基本構造を見出したい。 人間と宗教との本質的なかかわりを認識したい。	哲学通論、倫理学通論、宗教学通論、東洋思想
史学	日本列島に暮らした人々の足跡を実証的に探りたい。 中国社会あるいは中国文明の影響下にあった地域社会の本質を探りたい。 古代地中海文化の基盤の上に繰り広げられたヨーロッパ文化を把握したい。 人間集団の空間組織を復原し、時間と空間の両面からその変化の過程を解明したい。	日本史概説、古代西アジア史概説、中国史概説、ヨーロッパ史概説、歴史地理学概説
考古学・民俗学	遺跡・遺物を素材として、人々の歴史の復原と解釈に取り組みたい。 フィールドワークによって価値観を異にする人々の行動様式の理解に取り組みたい。	先史学概説、考古学概説、民俗学概説、文化人類学概説
言語学	実証的な言語研究の方法を考究し、実践したい。 個人と社会のレベルで、言語にかかわる実際的な問題を解決したい。 日本語や英語など個別言語の言語的特質、歴史、機能と構造を体系的に探求したい。	言語学概論、音声学概論、応用言語学概論、日本語学概論、中国語学概論、英語学概論、仏語学概論、独語学概論、露語学概論

人文学類パンフレットの請求方法

●https://www.jinbun.tsukuba.ac.jp/pamphlet からダウンロードできます。
●テレメールによる請求もできます (p.167　資料請求番号は541380)
●返信用の封筒 (角形２号) を下記の請求先へ送付してください。返信用封筒には 250円分の切手を貼り、請求者の住所、氏名を明記してください。なお、大学宛の封筒の表に「人文学類案内請求」と必ず朱書してください。

請求先 〒305－8571 茨城県つくば市天王台 1－1－1
筑波大学人文・文化学群 人文学類長室　(学生募集要項の請求先とは異なります。)

特長

4年後に身に付く力

❶専門的能力：人文系の学問の専門的知識や考え方を基盤として、文字資料や非文字資料を読み解き、主体的かつ創造的に理解する力
❷コミュニケーション能力：日本語、外国語、コンピュータなどを駆使して自分の考えを明快に伝え、他者の考えを柔軟に理解する力
❸想像力：「人間とは何か」という問いに根ざし、広い視野から現代世界の諸課題に積極的にかかわり、人類の未来へとまなざしを向ける力

主専攻とコース

哲学	哲学・倫理学コース、宗教学コース
史学	日本史学コース、ユーラシア史学コース、歴史地理学コース
考古学・民俗学	先史学・考古学コース、民俗学・文化人類学コース
言語学	一般言語学コース、応用言語学コース、日本語学コース、英語学コース

コースに定員はないので、要件を満たせば全員が希望するコースに進むことができます。(なお、文学関係の専攻コースは比較文化学類に設置されています。)

卒業論文

哲学主専攻：カントにおける無条件的な義務である真実性について / 『善の研究』における善悪 / 養蚕信仰の多様性と現在 / 古代インド思想とヘブライズムにおける「罪」概念の比較 / 『中庸』における徳の実践について

史学主専攻：日本古代における僧尼統制の特質 ―日唐比較を中心に― / 戦後の渋谷区円山町における盛り場の空間構造 / 古代メソポタミアの知の伝統における『ハンムラビ法典』の伝承 / 清朝支配初期の新疆南路における回兵の動員 ―乾隆 30 年のウシュ反乱を対象として― / 戦間期ドイツにおけるドイツ学生自治会連合のラングマルクへの戦地巡礼の展開

考古学・民俗学主専攻：埴輪に付属する鳥形土製品の性格 / 東京教育大学第１次イラン調査隊表採ガラス片資料の分析と検討 / 背景化する開削者顕彰・前景化する水神祭祀 / 故人の身体をととのえる ―納棺師の民族誌―

言語学主専攻：日本の漫画におけるオノマトペのドイツ語翻訳手法とその通時的変化に関する考察 / Effects of Congruency on Japanese EFL Learners' L2 Collocational Learning / 大蔵流狂言台本間のフィラーについて / A Comparative Study of Long-Distance Anaphors in English and Japanese / A Cognitive Analysis of Inanimate Subject Constructions in Japanese and English

教員からのメッセージ



上田 裕之 助教
(史学主専攻
ユーラシア史学コース)

みなさんは、大学に入れば例外なく「研究」を行うことになります。では、「研究」とは何なのでしょうか？

既存の知識をかき集めてすさまじく物知りになること、それは「研究」とはいいません。既存の知識をそのまま使って誰かの役に立つこと、それは大変有意義ですが、「研究」とは呼ばれません。

「研究」とは、全人類がこれまで見過ごしてきたものを、ほんのわずかでも自分の手でつかみ取ろうとする挑戦のことをいいます。そしてそれは、①根拠をもって、②論理的に考えて、③その妥当性の判定を第三者の検証に委ねる、という手続きを踏む必要があります。そのような要件を満たしたものだけが、「研究」と称されるのです。

私たち人間は、安易な説明ですぐにわかった気になりたがる危うさを抱えています。それは、自分や他の誰かのリアルで複雑な生を塗りつぶすことにつながります。その危うさを乗り越えるには、従来の説明が捉え損ない見過ごしてきたものを追い求めなければなりません。そしてそれを（ただの天邪鬼や陰謀論ではなく）本当の意味でつかみ取ろうとすれば、①②③に示した厳格な手続きを踏む必要があるのです。

そのなかで人文系は、私たちが生み出してきた人間の世の中はどのようなもので、私たちはそれをどのように理解してきたのか、その理解は今後どのように刷新され得るのか、という問題関心を軸に試行錯誤を繰り広げています。みなさんにもそのチャレンジに参加し、楽しんでもらいたいと思っています。

Q&A

Q　希望通りの主専攻分野に入れますか？

A　入れます。3年次に進むときに正式な主専攻分野と専攻コースの決定を行いますが、人数制限などはありません。当該専攻コースで定められている専門基礎科目（11単位）の履修が済んでいれば、希望通りの主専攻および専攻コースに入ることができます。

Q　主専攻分野の途中変更は可能ですか？

A　可能です。やはり、専門基礎科目の履修が条件になりますが、希望する場合は十分に可能です。例えば、史学主専攻を希望していた学生が、ロシア語の授業を受けているうちに、ロシア語を本格的に勉強したくなり、言語学主専攻に変更した、などの例がありました。

Q　語学教育の内容について教えてください。

A　一般語学の授業は、Center for Education of Global Communication（CEGLOC）を中心に行われています。CEGLOCでは、英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、スペイン語、韓国語の7つの外国語を学ぶことができます。

人文学類の学生は、上記7つの外国語から2つを選択し、それぞれ4単位を履修しなければなりません。授業は、読解、会話、文法、コミュニケーションなどの多様な技能と総合的な語学力を身につけられるようなカリキュラムになっています。

授業を担当する先生は、それぞれの外国語を専門にしている日本人教員と外国人教員です。外国人教員は、主に会話とコミュニケーションの授業を担当します。

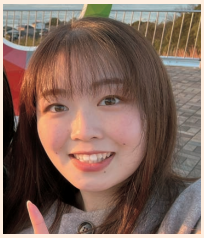
外国語各4単位を履修した上で、さらにその外国語の力を伸ばしたいという希望をもつ学生には、中級および上級の授業も用意されています。また、授業以外にも外国語を学ぶ機会をもちたいと望む学生には、メディアライブラリーがあります。そこには、たくさんの語学CD・DVD教材が備えられていて、自由に利用することができるので、学生は自分のペースで学習し、どんどん力を付けることができます。

人文学類で専門的に学ぶことのできる言語としては、日本語、中国語、英語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、満洲語、チベット語、サンスクリット語、ヘブル語、アッカド語などがあります。この中には国内の他大学ではなかなか学ぶチャンスのない言語も含まれています。

Q　留学制度はありますか？

A　筑波大学は67か国・地域の大学・機関と380の交流協定を結んでいます（2024年1月10日現在）。このうち人文学類生が交換留学できる協定校については、ウェブサイトhttps://www.jinbun.tsukuba.ac.jp/study/internationalをご覧ください。

先輩からのメッセージ



小野　瑞月
言語学主専攻
2021年度入学

人文学類には、哲学、史学、考古学・民俗学、言語学の4つの主専攻があり、学類での学修を通じて自分の興味のある分野についてとことん追究できるのが魅力です。それぞれの道を究めた先生方や同じ探究心を持った学友たちと一緒に深く学ぶことができます。私は言語学主専攻の日本語学コースに所属しており、出身地の方言アクセントについて研究をしています。先生方からの指導や助言を受けたり数多くの蔵書に恵まれた図書館に足を運んだりしながら、自分の知りたいことを追究している最中です。

人文学類では自分の専門分野以外の科目も履修できます。私は言語学の研究に携わりつつ史学や哲学の授業も履修しています。入門や概説など、事前知識が十分でなくても学ぶことのできる科目があり、興味のある分野に幅広く触れることができます。

加えて、筑波大学では他の学群・学類の授業を履修できることも大きな魅力です。私自身これまでに理系分野や芸術分野の科目の履修を通じて、自分の専門とは異なる世界を楽しみながら知的関心の範囲を広げることができました。ふだんとは異なる視点で考えることで新たな知見が得られるため、そこでの学びを自分の専門分野に還元することもできます。

豊かな自然に囲まれ、学修環境の整った広大なキャンパスで、自分の探究心を大いに満たしてくれる日々はかけがえのないものです。皆さんが思い描く未来の自分の姿が筑波大学の中にあることを願っています。人文学類では知の楽しみを存分に味わう素晴らしい時間が待っています。

Q 文系は就職が不利ですか？

A 一概にそうだとはいえないと思います。最近の就職先については下の「進路」をご覧ください。

教員志望者は多く、実際に新卒で採用される優秀な学生もいます。最近は大学院教育を受けた教師が望まれていて、そういう点では、大学院進学者が多い人文学類は教職に有利だといえるでしょう。

公務員志望者もかなりいて、試験に勝ち残り就職しています。ただし、公務員試験の受験勉強と人文学類のカリキュラムは直接関係ありませんので、ヒューマンエンパワーメント推進局が開く講座や外部の通信教育などで独自に勉強する必要があります。

また、人文学類では就職説明会やファーストイヤーセミナーを通して文系としてのキャリアデザインについてともに考える場を提供しています。

資格など

卒業要件以外の「教職科目」や「博物館学」の単位を修得すれば、教員や学芸員の資格が得られます。人文学類で取得できる教員免許状の種類と教科は、中学校一種と高等学校一種の国語・社会（高校は地理歴史、公民）・英語の普通免許状です。

進路

人文学類の卒業生の進路は多岐にわたります。かつては教職関係が多い傾向が見られましたが、最近では企業や官公庁での活躍が目立ちます。進学者が多いのも人文学類の特徴です。

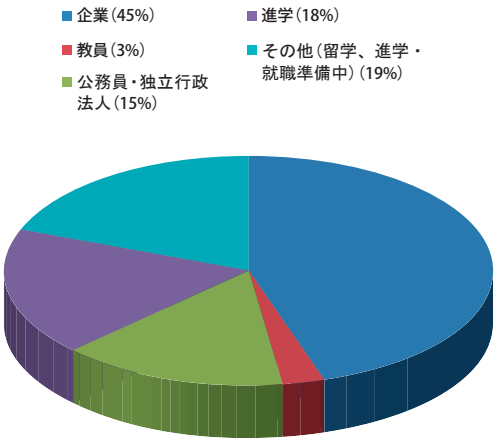
令和５年３月に卒業した学類生の進路は右のグラフの通りです。ここ数年の具体的な就職先としては、読売新聞、朝日新聞、JR 東日本、NTT 西日本、日本水産、トヨタ自動車、野村證券、厚生労働省、文部科学省、農林水産省、国土交通省、国土地理院、諸県庁・市役所、公立・私立高校などがあります。進学先は、本学の人文社会ビジネス科学学術院、人間総合科学学術院が大部分ですが、他大学の大学院に進んだ者もいます。

進路の詳細については、下記のウェブサイトをご覧ください。

https://www.jinbun.tsukuba.ac.jp/career/employment

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材		人文系の学問に必要な論理的な思考力と表現力を十分に持つと同時に、世界の多様な文化や歴史に対して開かれた関心を持ち、自律的な学習と批判的な考察を通して問題を自ら発見し解決していく能力と意欲を有する人材。
入学までに学んでおいてほしいこと		人文系の学問の基礎となる言語や社会に関する学科について十分な能力を習得し、希望する専攻分野に関連する他の学科についても基礎的な知識を有していることが望ましい。
入学者選抜方針	個別学力検査等（前期日程）	入学後の学習に必要となる基礎学力と思考力を十分に持ち、人文系の学問に取り組むことのできる人材を選抜します。
	個別学力検査等（後期日程）	論理的な思考力と表現力を持つと同時に、旺盛な知識欲と探求心を有し、人文系の学問への適応性を示す人材を選抜します。
	推薦入試	高等学校における学習の基礎をしっかりと身につけた志願者の中から、個性豊かな課題意識と向上心を持ち、人文系の学問への適応性を示す人材を選抜します。
	AC入試	人文系の学問に関わる専門的知識を主体的に吸収し、自己の判断力を磨いていく能力と創造的な問題解決能力を有する人材を選抜します。
	国際バカロレア特別入試	人文系の学問に強い関心を抱くと同時に、旺盛な知識欲と探究心を持ち、よりグローバルな観点から新たな問題提起をなし得る発展性のある人材を選抜します。
	外国学校経験者特別入試（第1種）	人文系の学問に関する強い関心と論理的思考力を持ち、入学後の学業遂行に必要な知識と日本語能力を備えている者を選抜します。



人文・文化学群

比較文化学類

School of Humanities and Culture
College of Comparative Culture

http://www.hibun.tsukuba.ac.jp/

[人材養成目的] 人類が築いてきた様々な文化を、「学際性」と「現代性」という問題意識のもとに比較・検討し、それを通じてひとつの学問分野に閉ざされることのない、開かれた知と批判的思考力を持った人材を育成します。また、国際的なコミュニケーション能力によって、グローバル化する社会に求められる問題解決能力と交渉力を備えた人材を育成します。



自分が興味・関心のあることを、
様々な学問の力を借りて、徹底的に追究してください。
比較文化学類長　増尾弘美

学べること

比較文化学類は平成25年度から新体制に移行し、学類全体を1主専攻とする、ひとつの大きなまとまりとなりました。学ぶことができる学問分野は従来とほとんど変わりませんが、学生はこの大きな枠組みの中で、さまざまな授業科目を組み合わせて学修していくことができます。

下に列挙するような「学問分野」を、閉ざされた専門分野の中でではなく、以下に示す柔軟な組織（領域とコース）を通じて学修することが本学類の特色で、現代社会が必要とする、複合的で主体的な知の錬成が可能です。

学ぶことができる主な学問分野

文学：**日本文学、中国文学、英米文学、ドイツ文学、フランス文学、比較文学、文学理論**など

地域研究：**日本研究、アジア研究、欧米研究**など

応用的な人文諸科学：**文化地理学、文化人類学、現代思想、比較宗教学**など

文化学：**文化理論、表象文化学、大衆文化論、芸術文化論、映像文化論、情報文化学**など

さらに現代の変化に応じた先進的な諸学問領域

1主専攻分野　6領域（17コース）

領野	領域	コース	教育目的・目標
地域文化研究領野	日本・アジア領域	日本文学コース	日本とアジアにおける文化の諸相を文学･歴史･宗教・社会などに着目しながら体系的に学ぶ。
		日本研究コース	
		中国文学コース	
		アジア研究コース	
	英米・ヨーロッパ領域	欧米研究コース	英語圏・ドイツ語圏・フランス語圏に加え、広く欧米の地域文化圏を対象に､文学･言語･歴史･宗教・社会などに着目しながら体系的に学ぶ。
		フランス語圏文学・文化コース	
		ドイツ語圏文学・文化コース	
		英語圏文学・文化コース	
	フィールド文化領域	文化人類学コース	日本・世界の地域文化の多様性をフィールドワークによって明らかにし、場所とのかかわりから「人間とは何か」を体系的に学ぶ。
		文化地理学コース	
超域文化研究領野	表現文化領域	テクスト文化学コース	地域の限定を超えた文学や、多様な大衆文化、美術・映像・音楽などの表象文化といった人間の表現文化を広く探求する。
		文化創造論コース	
		ワンプラネット文学・文化関係学コース	
	文化科学領域	先端文化学コース	生命・身体文化、メディア、ジャーナリズムなどをキーワードに、人間社会の諸問題について複合的な視点から探究する。
		情報文化学コース	
	思想文化領域	現代思想コース	思考・認識・言語・論理・倫理・宗教などをキーワードにして、哲学と宗教を体系的に学ぶ。
		比較宗教コース	

比較文化学類パンフレットの請求方法

●返信用の封筒（角形２号）を下記の請求先へ送付してください。返信用封筒には250円分の切手を貼り、請求者の住所、氏名を明記してください。なお、大学宛の封筒の表に「比較文化学類案内請求」と必ず朱書してください。

請求先　〒305－8572 茨城県つくば市天王台1－1－1
筑波大学人文・文化学群 比較文化学類　（学生募集要項の請求先とは異なります。）

●テレメールによる請求もできます（p.167　資料請求番号は561330）

特徴

①専門性を掘り下げるとともに、学生の個性を尊重した自由度の高いカリキュラム

・学類全体から科目を組み合わせて履修できます。

・領域やコースを選ぶにあたって人数制限はありません。

②外国語能力を伸ばせるプログラム

・実践的な英語力を高める科目のほか、英語による専門分野の講義も開設しています。

・第二外国語*を必修とし、高学年でも多言語能力を継続的に磨くことができます。

＊ドイツ語、フランス語、スペイン語、ロシア語、中国語、韓国語などから1言語を選択。ほかにラテン語・古典ギリシア語等も学べます。

③少人数教育

・1学年定員80名の親密な学修空間。

・ディスカッションや参画型の授業により、学生一人ひとりが主体性を高められます。

④50名以上の一流の専門研究者からなる贅沢な教授陣

・個性あふれる多彩な教員から間近で刺激を得、マンツーマンの指導を受けることができます。

比較文化主専攻分野



文化学のコスモス

「領域」は、学修上のホームグラウンドで、皆さんの勉学にまとまりをもたせます。**「コース」**は、より専門的な自分の居場所で、ここを拠点に卒業論文を書き上げます。

全体として、地域の区分が生かされた学問群と、本質的に地域横断的な学問群の２つの「領野」に大別されます。

海外留学など

世界へと開かれた窓

「国際性」を重んじる比較文化学類では多くの学生が世界のさまざまな国に出かけ、貴重な体験を積んでいます。

平成26～令和2年度だけみても、海外提携校への正規留学実績は45件以上、行先は米国、カナダ、ペルー、ロシア、インドネシア、ドイツ、マレーシア、コロンビア、フランス、タイを含む25カ国の47大学に及びます。このほかにも、より自由なかたちでの留学がさまざまに行われています。

主体的な学修が基本の本学類では、教員が引率するような留学制度はありませんが、学生のみなさんの留学を支援し、促進しています。とりわけ2013年からは、環境にすぐれたカナダのプリンスエドワード島大学と本学類との独自の交換協定を発効させ、学類カリキュラムと一体化したプログラムにより、留学しつつ4年で卒業できる制度が整いました。同大学での夏期英語研修（比較文化国際研修　３単位）も好評です。



上條　洸
（2022年卒業）

2年次にマレーシアに半年間、3年次にフランスに1年間、留学しました。マレーシア人は英語力がとても高く、賑やかで明るい国民性のため、毎週末パーティーをし、最高の日々を過ごせました。フランスでは全授業を仏語で履修したため、仏語力が格段に高まりました。また現地学生や他国の留学生と交流を深めたり周辺国へと旅行することで、新たな価値観や文化観を吸収し、人間的に大きく成長できたと感じています。留学生活を経て世界中に友人関係を広められたことが私の誇りです。



石綱 蒼衣
（2021年入学）

2年生の秋学期にカナダのプリンス・エドワード島大学に交換留学をしました。初めは会話や授業についていくのも大変でしたが、１ヶ月を過ぎた頃から楽しくてたまらなくなり、人生の宝物となるような4ヶ月間を過ごすことができました。膨大な授業課題や、どこを見ても英語しかない環境に苦しめられた経験も、今となっては良い思い出です。互いに刺激し合えるような友人たちとも出会えました。比文には英語で開講される授業があるため、帰ってきてからも英語を使った勉強を続けることができています！

卒業論文　比文らしく、自分らしく

本学類での学修の最大の焦点が卒業論文の作成です。

いわば入学した時点から、あなたの卒論に向けての作業が始まっています。自分の関心に応じて履修科目を選ぶことがその第一歩。さまざまな授業を通じて専門知識や研究スキルを獲得しながら、自分なりの問題意識を深めていってください。

問題設定能力や課題解決能力など、これからの時代にますます求められる主体的な知性を育てることができるのが、この卒論作成のプロセスです。

学類の丁寧なガイダンスおよび主指導教員と副指導教員の指導・助言によって、あなたも、個性的でありながら水準の高い自分だけの論文を仕上げることが可能です。

1〜2年次	→	2〜3年次	→	3〜4年次	→	4年次	完成	→	審査・発表会
テーマを探す		テーマを膨らませる		テーマを絞りこみ構成する		執筆する			

令和５年度に提出された主な卒業論文の題目

●新美南吉童話研究
●中古の「もの」観―『源氏物語』夕顔巻を中心に―
●兵隊木像の成立と地域社会―静岡県藤枝市の常昌院を事例に―
●近代における西洋食文化受容についての一考察
　―ウスターソースの普及を例として―
●女性のキャリア選択の日台比較研究
●旧ソ連圏出身の大学､大学院留学生の来日理由と人生設計―筑波大学を中心に―
●生活の場としての世界遺産―福岡県宗像市大島の「いま」に注目して―
●土浦市宍塚における里山保全活動の持続要因と課題
　―参加意識と関係性に着目して―
●大都市近郊部における自転車通勤の傾向と利用要因
　―埼玉県さいたま市に注目して―
●茨城アストロプラネッツの活動から見たスポーツチームによる地域貢献
●安部公房「プルートーのわな」における大衆と噂
●ファンタジー世界における学校空間の分析―『ハリー・ポッター』シリーズを中心に―
●自然描写がアン・シリーズに与える効果
●ディズニー・プリンセス作品とマーベル作品におけるヴィランとしての親表象
●漫画作品に描かれる子供による暴力―松本大洋作品を中心に―
●テレビドラマ『silent』に見る聴覚障害表象の在り方
●ポストコロニアリズムとフェミニズムが出会う場所
　―Shirley Geok-lin Lim, *Joss and Gold*論―
●チベット歌舞劇アチェ・ラモの分析
●発達障害のインクルージョンにテクノロジーは何をもたらすか
●ロンシャン礼拝堂と〈音響的形態〉
●大学生のYou Tube接触時間と不安
●「ワーキングマザー」はどう語られてきたか―出版メディアを中心に―
●アメリカと日本におけるマインドフルネスの大衆化

授業と卒論制作



杉原 日向（2024年卒業）
（表現文化領域　文化創造論コース）

比文の授業は実に様々です。文学や音楽、民俗学にアニメまで。私の卒論は谷川俊太郎という詩人についてでしたが、彼もクレーという画家に心酔していたり、哲学者の言葉を引用したり、作った詩が合唱曲になっていたりと幅広い分野に跨っていますから、授業の中でも知識と知識がつながった！と思うことが何度もありました。友人たちから卒論について話を聞くと、自分にとっては新鮮な知識や視点、苦労話ややりがいが伝わってきてそれも非常に面白いです。比文の醍醐味は、興味のある事柄が意外なところで結びつく楽しさです。それをぜひ味わってもらえたらと思います。

比文での学修を終えて

劉　承衛（2022年卒業）
（日本・アジア領域　アジア研究コース）

台湾出身の私は、胡適という知識人をテーマに卒業論文を書きました。今は学者を目指して、大学院で近現代中国と戦後台湾の知識人及び思想について研究する予定です。
歴史認識における立場と視角の重要性を感じたため、私は高校のときから外国で自国の歴史を学ぼうと考えていました。入学後は政治、社会、民俗、宗教、文化理論などの勉強もしてきました。
比較文化学類には様々なコースがありますが、これらのコースは全て「人文社会学」という学問体系にあり、互いに強い関連性を持っています。専攻以外の授業で得た知識も思考の材料になるので､好奇心と探究心を忘れずに学んでほしいと、これから比文に入学する皆さんに伝えたいです。



取得できる資格など

教員免許

中学校一種免許状（国語、社会、英語）

高等学校一種免許状（国語、地理歴史、公民、英語）

社会教育主事、学芸員、司書教諭

以上は、卒業要件以外の「教職科目」や「博物館学」などの単位を取得することによって得ることができます。



宿舎祭での出し物

卒業後の進路

卒業生は、出版、放送、文化・教育はもちろんのこと、情報処理、金融、流通、製造、地域行政、国際機関、NGOなどの各界に広く受けいれられています。大学院に進学する人も少なくありません。

先輩たちは芥川賞作家、漫画家、大学教授、新聞記者、放送ディレクターなどとして、多彩なジャンルで活躍しています。

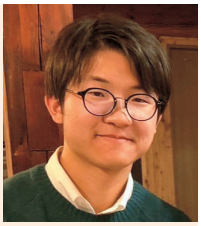
最近数年の進路

企業	日本放送協会（NHK）、共同通信社、テレビ信州、日本テレビ、東北新社、中央出版、宝島社、帝国書院、天狼院書店、中国新聞社、日本経済新聞社、朝日広告社、BuzzFeedJapan、電通アドギア、博報堂プロダクツ、エイベックス、常陽銀行、筑波銀行、群馬銀行、清水銀行、東京海上日動火災保険、三井住友海上火災保険、三井生命、アメリカンファミリー生命保険、三菱商事ファッション、イオンリテール、ニトリホールディングス、レナウン、ZOZO、東京流通センター、住友倉庫、日本航空、全日本空輸、JR東日本、JR九州、富士急行、日本交通、首都高速道路、クラブツーリズム、エイチ・アイ・エス、プリンスホテル、星野リゾート、JTB、日本IBM、楽天、ソフトバンク、NTT東日本、ニチイ学館、リクルートジョブズ、味の素ゼネラルフーズ、江崎グリコ、カルビー、サントリーホールディングス、大林組、川崎重工業、三井住友建設、日立建機、スズキ、日化エンジニアリング、YKK、ダイキン、アステラス製薬、シード、塩野義製薬、ジョンソン・エンド・ジョンソン、日立製作所、TOTOエムテック、ユニクロ、ライオン、DHC、イープラス、Indeed Japan、かんぽ生命、シェラトン沖縄サンマリーナリゾート、牧阿佐見バレエ団、株式会社ボーネルンド、国家公務員共済組合連合会、読売新聞、伊藤忠エネクス、マイナビ、パナソニック、東京インテリア家具、セコム、アフラック生命保険、三井ホーム、サンリオエンターテイメント
公務員	外務省、国土交通省、総務省、警視庁、海上自衛隊、東京消防庁、宮城県警、東京都、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、長野県、静岡県、富山県、長崎県、いわき市、秩父市、石岡市、ひたちなか市、つくば市、守谷市、常陸太田市、筑西市、横浜市、逗子市、神戸市、福山市、松江市、阿波市、糸満市、港区、目黒区、荒川区、北区、筑波大学、東京大学、高エネルギー加速器研究機構、日本芸術文化振興会（国立劇場）、日本新聞協会、法務省宇都宮保護観察所、中小企業基盤整備機構、横浜労災病院、静岡県立病院機構
学校教員	茨城県、千葉県、群馬県、埼玉県、静岡県、山梨県、愛媛県、鹿児島県、大妻中学高等学校、錦城高等学校、フェリス女学院
大学院進学	筑波大学、北海道大学、東京大学、一橋大学、東京外国語大学、名古屋大学、金沢大学、京都大学、大阪教育大学、広島大学、白百合女子大学、東洋大学、明治大学、早稲田大学、東北大学、プリンスエドワード島大学

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材		自らの問題意識を出発点として、さまざまな学問領域に関心を寄せながら、文化・社会について広く柔軟に学ぶ意欲を持つ人。異文化理解に裏付けられたグローバル・コミュニケーション能力を身につけようとする人。海外経験・社会経験などを通じて得た問題意識を学問的に深めたい人。
入学までに学んでおいてほしいこと		日本語及び外国語に関する優れた能力、特に文化・社会に対する旺盛な好奇心と高い教養を身につけておくことが望ましい。また、希望する学問領域に関連する社会科科目の知識を備えていることが望ましい。
入学者選抜方針	個別学力検査等（前期日程）	文化・社会に強い関心と知識を持ち、学業遂行の上で必要な能力と知識を有する者を選抜します。特に勉学に対する意欲と論理的思考力、表現力を重視します。
	推薦入試	文化・社会に強い関心と知識を持ち、それを自分自身の言葉で表現する能力を重視して選抜します。
	AC入試	文化・社会に強い関心と知識を持ち、特定の専門分野について具体的で個性的なテーマを設定し、そのアプローチと内容に関して独自の研究成果を挙げている者を選抜します。
	国際バカロレア特別入試	自立して世界的に活躍できる人材を育成するため、本学類の教育を受けるのに必要な基礎学力を有し、探究心旺盛で積極性・主体性に富む人材を受け入れます。
	外国学校経験者特別入試（第1種）	文化系の学問に関する強い関心と論理的思考力を持ち、入学後の学業遂行に必要な知識と日本語能力を備えている者を選抜します。

卒業生の声



天野 隼太
（2024年卒業）

日本放送協会
（ディレクター）

「アジア・太平洋戦争を、多様な視点から考えてみたい」。その思いで比較文化学類（比文）を志望しました。入学後は日本研究コースに所属し、「霞ケ浦地域と海軍航空隊」や「長野県大日向村の満州移民」など、戦争が地域に与えた影響について学びました。実習ではフィールドワークを行い、教科書で一度学んだ歴史を、「地域」という視点から問い直す大切さを実感しました。比文の魅力は、学問間の敷居が低いことだと思います。それは、まだ学びたいことが決まっていない人にとって、自らの興味関心を見つけるきっかけにもなるでしょう。私は比較宗教学の授業で「戦没者慰霊」について考察し、テクスト文化学の授業では、戦争の記憶を「マンガ」で伝える意義を検討するなど、他コースの授業を通して自らの研究テーマを深めることができました。比文には多種多様な学びの「ドア」があります。比文で「自分らしさ」を探してみませんか。

人文・文化学群

日本語・日本文化学類

School of Humanities and Culture
College of Japanese Language and Culture

http://www.japanese.tsukuba.ac.jp/

[人材養成目的]　日本における言語・文化事象を総合的に捉え、グローバルな視点で理解する力を養います。これにより、多文化共生社会を見据えたうえで、異言語・異文化を背景とする人たち、次世代の人たちと課題を共有し、ともに解決していくことのできる文化の創造者たる人材を養成します。



「日本語教育国際研修」の実地見学（マレーシア）


3 年次の「総合演習Ⅱ」の授業

専門として学べる内容

日本語・日本文化学類（通称「日日 (にちにち)」）には、日本語・日本文化学主専攻と、Japan-Expert（学士）プログラムのコースの一つである日本語教師養成主専攻とがあります。日本語・日本文化学類の学生は、基本的な知識を備えたうえで、日本語の音声、語彙、文法、談話、言語行動、言語学、日本語教育学、異文化理解、日本文学、比較文学、表象文化論、文化人類学、近代日本の国際関係などのさらに深いテーマに関して幅広く学んでいくことになります。

主な授業内容		
専門基礎科目	本学類で学ぶ日本語と日本文化全体を見渡す科目 ・現代日本語、言語学、日本語教育、日本の文学、現代日本社会などに関する概論的講義 ・発信力を高めるための専門英語の授業 ・共生のための社会言語学、共生のための日本語教育、共生のための人類学、共生のための歴史学、日本文学と文化など全学向けの入門的な講義	
専門科目	日本語	・現代日本語の音声と音韻、語彙、文法、意味、談話、語用論などを扱う講義および演習 ・日本語史、方言、理論言語学、対照言語学、論理学、コーパス言語学などを扱う講義および演習
	多文化共生・日本語教育	・多文化主義、グローバリゼーション、多元的価値、文化の普遍的価値、異文化理解、心理学、共生言語としての日本語などを扱う講義および演習 ・海外の日本語教育と日本学、第二言語習得論、教育文法、外国人児童生徒教育、教科書分析、教材の設計と作成などを扱う講義および演習
	日本文化	日本の政治と社会、東洋の歴史と文化、文化交流、ジェンダー史、日本文学の特質、世界文学と日本文学、中国文学と日本文学、映像文化、ポピュラーカルチャー、宗教文化、茶道、伝統芸能などを扱う講義および演習、資料講読、原典講読、実地見学など
	国際・協働	異文化理解国際研修、外国人児童生徒支援実習、海外日本語教育実習、国内日本語教育実習、国内フィールド実習、留学生との協働科目など

日本語・日本文化学類パンフレットの請求方法

●返信用の封筒（角形2号）を下記の請求先へ送付してください。返信用封筒には210円分の切手を貼り、請求者の住所、氏名を明記してください。なお、大学宛の封筒の表に「日本語・日本文化学類案内請求」と必ず朱書してください。

請求先　〒305－8572 茨城県つくば市天王台1－1－1
筑波大学人文・文化学群 日本語・日本文化学類　（学生募集要項の請求先とは異なります。）

●テレメールによる請求もできます（p.167　資料請求番号は561340）

最新の詳しい情報は、http://www.japanese.tsukuba.ac.jp/をご覧ください。パンフのダウンロードもできます。「筑波日日」で検索！

特色ある授業

日本語・日本文化学類では、教室で行われる講義や演習に加えて、「実践性」と「国際性」を重視したカリキュラムを用意しています。

日本各地の農村や地方都市を訪れて聞き取りを行うフィールド実習、学内の日本語教育実習、さらに海外の大学で行われる日本語教育実習（インターンシップ）や、海外の大学生とともに国際関係や文化事情を学ぶ異文化理解国際研修があります。

また、日本語・日本文化学類では Japan-Expert（学士）プログラム生を含む正規生、日本語・日本文化研修留学生（日研生）をはじめとする短期留学生を多数受け入れており、留学生と日本人学生が協働する授業もあります。

総合学域群からの移行

本学類への進学は、推薦入試やアドミッションセンター入試等によるほか、総合選抜を通じて 1 年次は総合学域群に所属し、2 年次から本学類に移行する方法があります。

移行体験記

池上 功輔
（1 年次：総合学域群 → 2 年次：日本語・日本文化学類）



私は、大学で中学校・高校国語の教職を学びたいと思っていたので、迷っていた日本語・日本文化学類と教育学類に移行できる選択肢のある総合学域群を受験しました。1 年次は、文系のあらゆる学類に移行できるように履修を組んでいました（1 年次に修得した単位は、漏れなく日日学類の卒業要件として使うことができています！）が、興味のあった日本語と日本文化、教育をバランスよく学ぶことができ、授業が魅力的であると感じた日日学類への移行を決めました。

移行する際は新しいコミュニティに馴染むことができるか不安でしたが、授業でのグループワークや実習、学類のサークルなどを通して、人付き合いが得意ではない私でも同期や先輩・後輩とも仲良くなることができました。新歓で温かく迎えてくれた同期には、とても感謝しています。様々な学問を知ることができた総合学域群での学び、そして専門分野を深めていける現在の日日学類での学びは、どちらも貴重な糧になっていると感じています！

修了証プログラム (Certificate Program : CP)



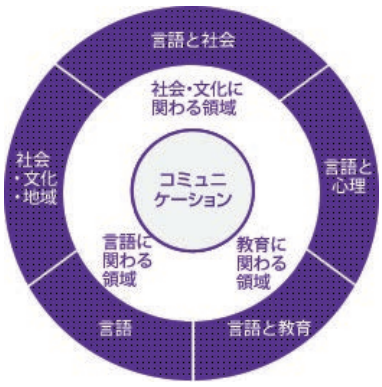
私たちの日常生活の中で、外国人と触れ合う機会が飛躍的に多くなりました。これからの日本社会には、生活者としての外国人、日本語指導が必要な外国人児童生徒を、地域社会が包括的に支える態勢が求められています。

日本語・日本文化学類は、そのような多文化共生社会に向けた地域づくりのために「日本語学習支援者養成」修了証プログラムおよび「日本語教師養成」修了証プログラムを提供します。

「日本語学習支援者養成 CP 」は、児童生徒教育に携わる教員志望学生、生活者としての外国人を支える地域のボランティア等として、日本語教育のごく基礎的な資質・能力を有していることを保証するものです。

「日本語教師養成 CP 」は、国内外で多様化する日本語学習者の置かれた状況に対応できる資質や能力、専門性の高い知識や実践力を有していることを保証するものです。

本 CP は、平成 30 年度の文化庁による報告「日本語教育人材の養成・研修の在り方について」に準拠しています。この報告の「日本語教員養成において必要とされる教育内容（図）」を満たすよう精選された学術科目を履修することで、専門性の高い理論面の強化が可能となります。



チューター体験記

竹内 杏美 ＆ チョウ・ネイウン
（中国・Japan-Expert（学士）プログラム生）



私は大学１年生の秋にチューターを始めました。担当した留学生のチョウ・ネイウンさんは、とても頑張り屋さんで、異国の日本で学ぼうとする一生懸命な姿に、私も強く胸を打たれました。

そのおかげで、彼女のチューターとしての活動はもちろん、私自身の勉強のモチベーションも高まりました。

また、活動を通して留学生が喜んでくれると、留学生のサポートに貢献していることが実感できます。授業の履修登録を手伝ったり、留学生が受講している日本語の授業で分からないところを教えたりして、留学生から「ありがとう」「助かる」といった感謝の言葉を聞くと、とても嬉しくなります。留学生と交流して異文化を学ぶこともありましたが、それ以上に、私自身の大学生活・勉強のモチベーションアップに繋がったこと、そして、留学生をサポートできたことが、チューターの活動によって得られた一番の成果でした。

卒業論文

卒業論文は、日本語・日本文化学類で学んだことを基礎に、学生自身がテーマを決めて研究を行うもので、いわば大学での学業の集大成というべきものです。図書館でたくさんの文献にあたったり、学外に出てデータを収集したり、集めたデータを分析したりと苦労も多いですが、それ以上に多くのものが得られます。２年次の「総合演習導入」や３年次の「総合演習」で、問題発見、先行研究の整理、研究方法への理解を深める指導を、複数教員で行います。

最近の卒業論文から

- 非動作性名詞のル動詞化現象について
- 広告コピーから見る助詞の非文法的使用の特徴
- 二重原因・理由構文の統語論的検討
  ―カラ節とテ節の共起を中心に―
- 宮崎県宮崎市方言の文末表現
  ―「ッチャ」と「ト」に着目して―
- 外国にルーツのある中学生のキャリア形成とそれに向き合う「支援者」の問い直し
- 学びの場における外国人生徒のコミュニケーション・ストラテジー
- コロナ禍におけるモンゴルの小学校の非対面教育について
  ―私立学校と公立学校を対象とした調査による検討―
- 日本の学校における平和教育の課題と可能性
  ―高等学校「歴史総合」に着目して―
- 新学習指導要領下における和歌教育の実践
  ―百人一首を用いた授業提案―
- 1960年代の女性誌と三島由紀夫
  ―「愛の疾走」に描かれた女性像を中心に―
- 戦間期日本におけるドイツ映画受容の変遷
  ―東和商事配給作品を対象として―
- 行政と住民によるまちづくりの展開
  ―土浦市の中心市街地における取り組みを事例に―

海外留学など

日本語や日本文化を客観的にながめる目を育て、世界に発信する力を育成するために、日本語・日本文化学類では海外留学を積極的に勧めています。学生交流協定を結んでいる大学への留学の場合、単位互換、授業料免除、奨学金受給などのメリットがあります。現在、筑波大学は、67か国・地域の大学や研究機関と 381 協定（CiC13，大学間 173、部局間 195）を締結しています。（2024.3.5 現在）

協定校一覧（一部）

中国：北京大学、湖南大学、**台湾**：国立政治大学、**韓国**：韓国外国語大学校、啓明大学校、高麗大学校、梨花女子大学校、**マレーシア**：マレーシア工科大学、**英国**：エディンバラ大学、**イタリア**：カ・フォスカリ大学、**スペイン**：サラマンカ大学、**エストニア**：タリン大学、**オーストラリア**：ディーキン大学など



Japan-Expert（学士）プログラム日本語教師養成コースの学位記授与式



留学生交流会

卒業後の進路

日本語・日本文化学類では、学類生の多くが教員免許（中学校・高等学校）を取得し、毎年 1 割から 2 割程度が実際に教員になっています。言語学に強く日本語教育の素養もあるユニークな国語科教員として活躍しています。

学類での勉強の後、さらに専門分野の研究を続けたい場合、また修士や博士の学位を得てより高次の専門職につきたい場合は、大学院進学という進路もあります。筑波大学の中では、修士課程や博士課程で教育学、言語学、日本語学、日本語教育学、文学、文化人類学等を専攻する人が多いですが、他大学の大学院や国外の大学院に進学する人もいます。

日本語教育の分野では、卒業後すぐに日本語教師となる人もいますが、大学や研究機関などの高等教育機関で働くためには、国内外を問わず修士以上の資格が求められるため、進学する人が多いといえます。

また、幅広い教養と広い視野を身につけて、公務員（県庁・市役所職員等）の道に進む卒業生も毎年数名います。多くは一般企業に就職しています。マスコミ・出版、教育サービス、情報・通信、流通・小売業、製造業、金融・保険、運輸・旅行、住宅・不動産、サービス業など、職種・業種ともに多岐にわたります。

卒業生の声

髙橋 佑歩
（東日本旅客鉄道株式会社）



きっぷを売り、お客さまをご案内する業務は、一見すると日本語や日本文化とかけ離れているように見えるかもしれません。しかし、駅員の仕事は、観光流動を促すポスターを自作したり、駅のイベントを企画したりと、皆さんの想像以上に多岐にわたっています。世の中の仕事の多くは、日日で学ぶ内容と直接的な関連性が見出しにくいですが、それは、見えているのが仕事の氷山の一角であるためです。

日日に進学して、「自分が今まで見てきた日本」は、実際のごく一部であったことがわかりました。それは世界各国からの留学生を含めた、多様な価値観を持つ学友との触れ合いや講義から得られた結論です。高校までとは異なり、大学では自分の思い付かないような新鮮な見方・考え方に触れ、それを蓄積することで、自分の考え方がアップデートされたと感じます。

日日で得られる多角的な知識は、どんな仕事にも活かせると確信しています。あらゆる選択に対して自身の糧となる、ここ日日で学生生活を送ることをお勧めします。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材		旺盛な知的好奇心を持ち、日本語や日本文化、さらに多文化共生社会のあり方に対する明確な問題意識とそれに対応した能力を有する人材を求めています。
入学までに学んでおいてほしいこと		日本語および外国語に関して、十分な読解力と自分の考えを明確に伝える表現力を高めておくことが望ましい。
入学者選抜方針	推薦入試	高等学校における平素の学習や活動の成果などを基に、志願者の能力・適性を総合的に評価します。明確な問題意識と勉学への意欲とを持ち、日本語や日本文化、さらに多文化共生社会のあり方に関する専門領域に対する適応性を示す人材を選抜します。
	AC 入試	日本語や日本文化、多文化共生社会のあり方について独自の視点を持ち、自ら問題を見出し、解決する能力を重視して選抜します。
	国際バカロレア特別入試	国際バカロレア資格を取得した者を対象として、日本語や日本文化、多文化共生社会のあり方に対する旺盛な知的好奇心と明確な問題意識を持ち、国際的な視野に立って自ら問題を見出し、解決する能力を有する人材を選抜します。語学力を含めたコミュニケーション能力を重視し評価します。
	私費外国人留学生 Japan-Expert（学士）プログラム特別入試	日本語、日本文化に幅広い興味を有し、将来、国内外において日本での就学・就労や日系企業での就労を希望する者に日本語を教える日本語教師への適応性を有する人材を選抜します。

※個別学力検査等（前期・後期日程）を実施せず、総合選抜入学者を 2 年次から 20 名受け入れます。

資格など

卒業要件以外に「教職科目」や「博物館学」の単位を修得すれば、教員や学芸員の資格が得られます。

取得できる資格

教員免許　中学校一種免許状（国語）
　　高等学校一種免許状（国語）
社会教育主事、学芸員、司書教諭

最近の進路状況

学校教員	茨城・山梨・長野・富山・愛媛・沖縄各県立高等学校　福島・栃木・千葉・静岡各県公立中学校　麗澤瑞浪高等学校　山梨学院高等学校 など
大学教員	筑波大学　群馬大学　北海道教育大学　鳴門教育大学　秀明大学　国際教養大学　学習院女子大学　福岡女子大学 など
海外	ホーチミン市師範大学（ベトナム）　静宜大学（台湾）　大連大学（中国）　興信大学（韓国）　リュブリャーナ大学（スロベニア）カターニア大学（イタリア）など
公務員	総務省　文部科学省　厚生労働省　茨城県庁　福島県庁　千葉県庁　東京都庁　愛媛県庁　佐賀県庁　つくば市役所　土浦市役所　成田市役所　さいたま市役所　沼津市役所　静岡市役所　豊橋市役所　茨城県警察本部　広島県警本部　など
一般企業	日本放送協会　テレビ朝日映像株式会社　日本経済新聞社　株式会社朝日新聞社　凸版印刷株式会社　学校図書　光村図書出版　ベネッセコーポレーション　野村證券株式会社　あおぞら銀行　群馬銀行　足利銀行　横浜信用金庫　日本郵政　日本航空株式会社　関東鉄道　佐渡汽船　ホテルオークラ東京ベイ　株式会社東急リゾートサービス　丸紅　丸井グループ　JTB　エイチ・アイ・エス　日本武道館　三井記念病院　など

社会・国際学群

社会学類

School of Social and International Studies
College of Social Sciences

https://shakai.tsukuba.ac.jp/

[人材養成目的] 社会学・法学・政治学・経済学の専門知識を集中的に深める教育を提供するだけでなく、各分野の基礎知識を総合的に修得するための横断的な教育も併せて実施することで、社会科学全般のジェネラルな視点に裏打ちされた高い専門性を発揮しうるグローカル（グローバル＋ローカル）志向の人材養成を目指します。

主専攻	学べること	主な授業
社会学	社会学主専攻の特徴は、調査実習、演習、卒業論文が特に重視されていることです。調査実習では生きた社会的現実と接触しながらその分析の仕方を学び、演習では少人数で社会学の多様な考え方を学び、卒業論文では教員の指導のもと、自分の関心をもつテーマについて問いを立て自主的に研究し、論文にまとめ上げます。	社会学基礎論、現代社会論、社会学研究法、現代社会学の系譜、都市社会学、労働社会学、知識社会学、歴史社会学、家族社会学、科学社会学、逸脱行動論、社会統制論、地域社会学、社会階層論、ジェンダー社会論、メディアと情報化の社会学、社会調査実習、社会学演習
法学	基本六法を中心にリーガル・マインド（法的なものの考え方）を獲得するとともに、模擬法廷を使った裁判実務の講義や演習科目を通じて「生きた法」を学びます。	法学概論、民事法概論、憲法、行政法、刑法総論、刑法各論、刑事訴訟法、民法総則、物権、担保物権、債権総論、親族・相続、信託法、商法、会社法、有価証券法基礎、民事訴訟法、法制史、法交渉学、法哲学
政治学	政治に関する基本的な概念、理論、歴史などを学ぶ講義や入門演習を通して、政治学的なものの見方を身につけます。そして、専門科目や専門演習では、政治理論、政治過程、国際政治等など各自の関心領域の研究を深め、政治に対する洞察力を養います。	政治学概論、国際政治史、比較政治学、アメリカの政治、国際政治学、国際関係史序説、国際安全保障論、行政学、地方自治論、日本政治思想、現代政治外交、現代日本外交史、アジアの国際関係、アジア政治、東アジア国際関係史、現代中国研究、計量分析入門、国境を越える政治、国際政治経済学、ヨーロッパの国際関係、ヨーロッパ政治、政治社会学
経済学	現代社会の重要なメカニズムである経済活動の仕組みを基礎から体系的に学びます。大きくは、(1) 理論、(2) 歴史、(3) 現状分析に分けられ、各種の科目が開設されています。少人数の演習では教員の直接指導を受けながら、より深い専門的な内容を学ぶことができます。	経済学基礎論、現代経済史、実証分析入門、ミクロ経済学、マクロ経済学、世界経済史、日本経済史、開発経済学、日本経済論、現代中小企業論、経済数学、計量経済学、国際貿易論、産業組織論、公共経済学、都市経済学、地域経済論



社会調査実習

社会調査実習の一環として、いわき市の海と水産業をテーマに、現地の漁師・鮮魚店・飲食店・水産加工業者などを訪問し、現地調査したときの写真です。社会学主専攻では、フィールドワークをすることにより、リアルな社会現象を把握し、社会の変化を分析する社会調査実習を重視しています。実習を通じて、現代社会について問題を設定し、社会学的分析を加えていく能力を育成することを目標としています。



模擬法廷教室

現役弁護士による裁判実務の講義風景です。社会学類では、例えば、実際に模擬法廷で裁判官・弁護士・検察官の立場に立って事件を考えてみる講義や、さまざまな専門家をゲストスピーカーとして招いて専門家と共に問題を考えてみたりする演習を通じて、「法的なものの考え方」を身につけてもらうことを目標としています。

社会学類パンフレットの請求方法

●返信用の封筒（角形２号）を下記の請求先へ送付してください。返信用封筒には210円分の切手を貼り、請求者の住所、氏名を明記してください。なお、大学宛の封筒の表に「社会学類案内請求」と必ず朱書してください。

請求先　〒305−8571茨城県つくば市天王台1−1−1

筑波大学社会・国際学群社会学類長室（学生募集要項の請求先とは異なります。）

●テレメールによる請求もできます（p.167　資料請求番号は561540）

教育内容

１・２年次には、社会学・法学・政治学・経済学という４つの主専攻の専門科目履修のベースとなる専門基礎科目を中心に学びます。

専門基礎科目や一部の専門科目を通じて、社会科学の基本知識を横断的に幅広く身に付けた後、２年次終了時に主専攻を選択します。

３・４年次は、主専攻の専門科目を重点学習し、その分野のプロとしての実力を身に付けるとともに、他の主専攻分野を平行して学ぶことで広い視野と総合性を獲得します。

特長

４年後に身に付く力

❶広い視野と総合性：国内外で発生する社会問題に対し、社会科学（社会学・法学・政治学・経済学）の多様な角度からアプローチできる総合的な能力と資質。

❷専門性と論理的表現力：少人数の専門演習科目における口頭報告や論文指導を通して培われる専門知識に基づく論理的表現力。

❸課題発見・問題解決能力：社会問題の中から主体的に課題を発見し、積極的に情報・資料収集をするとともに、課題解決につなげる能力と主体性。

ようこそ社会学類へ



社会学類長
明石　純一

社会学類は、私たちが生きる社会を多角的に認識し、総体として把握するための能力を身に付ける環境を提供しています。社会学類は四つの主専攻、すなわち社会学、法学、政治学、経済学から構成されています。その個々の学問のルーツや基礎的な考え方を知ることから、社会学類での学びが始まります。社会科学の幅広い思想や理論に触れ、分析の方法を知り、研究実践への準備をまずは進めるのです。異なる学問を横断的に学ぶこと、月並みな言葉で表せば「学際性」を重んじることの大切さは言うまでもありません。隣接しながらも性格を異にするディシプリン（専門分野）に根差した事象の見方、語り方を覚えることは、極めてエキサイティングで高度な知的体験であることを、ここで強調させてください。

挙げればきりがないほどの未解決な社会的課題を抱えるに至った現代は、先行きも不透明な時代です。それらの問題を構造から解明し、さらには解決法を見出したいのであれば、特定の領域に偏った知識では足りません。社会、法、政治、そして経済は、互いに規定し、介入し合っています。そこでは様々な価値観や志向性が混在し、せめぎ合っています。この結びつきと多様性はもはや自明であり、あまりに常識的といえますが、その常識をまるごと引き受け、諸問題に正面から挑む知性なくしては、今日の社会を公正に捉え、今より生きやすい将来を構想する道は拓けないのではないでしょうか。それは、現状に追従しない健全な批判精神と、更新を躊躇しない柔軟な思考回路を培うことでもあります。

社会学類は、社会の理解に対するこのような基本姿勢を尊重しながら、学生みずからが望む専門的な能力の獲得を求めます。社会学類が重きをおく学際性の強みは、固有のディシプリンを高い水準で体得してこそいかんなく発揮されるのであり、本学類が目指すところです。このタフな学びの場に率先して挑戦してくれる若者を、社会学類は歓迎します。



政治学の演習

演習の授業風景です。社会学類の専門演習（ゼミナール）は、少人数制に基づく、きめの細かい指導を特徴としています。現代社会に対する学生一人一人の問題関心を踏まえ、参加学生による研究報告や討論および、卒業論文・ゼミ論文の執筆指導等を通じて、社会科学的に考えるための思考訓練を徹底して行います。



経済学演習の１コマ：工場見学

日立市にある工場のクリーンルームを見学した時のものです。経済学主専攻では、経済の理論と歴史をバランスよく学ぶことで、現代の様々な経済問題を分析する能力の養成を目指しています。そのため、大学キャンパスを飛び出して工場のものづくり現場や日本銀行、証券取引所の見学など実習的な取り組みも行っています。

学生からのメッセージ

原　悠子
（社会学主専攻）

皆さんは、社会学という学問に対してどのような印象をお持ちですか。何となく堅い感じがするけど何をしているのかわからない、貧困・教育・ジェンダーのような SDGs に掲げられている社会問題について議論していそう、こうしたイメージがある方には、ぜひ社会学の柔軟性を知っていただきたいです。

メディアで目にするような社会問題について考えることも社会学ですが、それは社会学で取り扱う分野の一側面にすぎません。「SNS はなぜ流行しているのだろうか」「どうして人前で話すときに緊張するのだろうか」このような日常生活の中で浮かぶ疑問も、社会学で考えることができる問いの一つといえます。ですから、社会学は私たちがそれぞれ関心のある問題に沿って開かれており、他者と関わる中で疑問に感じていることすべてがその研究対象となります。

筑波大学社会学主専攻には、私たち自身の問いを探究するために欠かせない環境が整っています。原則どの授業も受講可能ですので、社会学類で 4 つの専門分野を学べるだけでなく、他学類の知識も得ることができます。問いに一見関係がなさそうな分野でも、実は重要なつながりがあったり、解決のためのヒントをもらえたりすることが多々あります。先に挙げた貧困・教育・ジェンダーの問題は相互に関連しており、例えば、貧困を考えるときには教育やジェンダーの視点も必要になります。また、様々な学問に触れることで、問題関心の幅を広げることができる点も魅力です。



私自身、入学当初は子どもの貧困に関心がありましたが、現在は摂食障害についても興味があります。4 年間かけて一つの問いを探究し自分なりの答えを出す面白さを、私たちと一緒に体験してみませんか。

縄野　洸
（政治学主専攻）

「恋愛も政治ですからね」。先日、ゼミの先生の言葉に耳を疑いました。しかし実際、意思決定を巡る人と人との駆け引きであるそれは、紛うことなき政治です。周りを見渡せば、流行りのアニメでさえ、政治的な営みに溢れています。与えられた環境下で登場人物同士が何かしらの合意形成をしていく、という筋書きそのものがすでに政治的です。「あの子のハートを掴む」「全国制覇」等それぞれの目標があり、一方ではライバルの存在や遠征費の不足といった環境の制約もある中で、人々は選択を繰り返します。仲間と協力するにせよ、独裁的にエゴを貫くにせよ、暴力を行使して邪魔者を駆逐するにせよ、どれも背景となる利害関係や権力構造を反映しているのです。「普段からそんな事を意識するなんて変態だ…！」とお思いですか？いえいえ、あらゆる事象の背後に多かれ少なかれ権力作用が働いています。知らずに権力に踊らされていたら、口惜しいではありませんか。



例えば、少し前の話になりますが、東京オリパラ開催是非を問う NHK の世論調査において、2021 年 2 月調査から回答の選択肢が変わっていたことをご存じですか？「開催」「中止」「さらに延期」の 3 択から、「これまでと同様に行う」「観客の数を制限して行う」「無観客で行う」「中止」の 4 択になったのです。知らなければ、調査結果を見て「開催支持の人が増えている」と誤解してしまいますよね。これは、メディアによる政権への忖度が疑われる例ですが、世の中には他にも様々な権力が存在します。大企業、学校、社会制度、密約…。

ここまで読んで「へえ〜面白そうじゃん」と思ったアナタは、政治学に向いていますよ！現状に疑問を持つ力、社会の構造を把握して改善につなげる力を、一緒に身に付けませんか。

難波　光
（法学主専攻）

社会学類の法学主専攻では法学を中心に学びますが、実は、他の大学の人に「私は大学では社会学類に所属し、法学を専攻しています」と言うと、ぽかんとした顔をされることがあります。そし、「法学部とは違うの？結局何を勉強しているの？」と聞かれることもあります。たしかに社会学類で学ぶ法学は、法学部で学ぶ法学とは少し違うかもしれません。私は、「社会学類で法律を学ぶ」ことの強みは、様々な学問とのつながりの中で法律を捉えられることだと思っています。

社会学類では、憲法や民法、刑法などたくさんの法学の授業が開講され、法学主専攻の学生はこれらの授業を中心に履修を組んでいきます。加えて、社会学類の他の専攻の授業や他の学類の授業も履修できるので、法学の枠を超え幅広く興味のある学問に触れることができます。私は法学の考え方の面白さに惹かれ法学主専攻に進みましたが、自身の経験から、政治学の分野にも興味があります。そのため政治学の授業も積極的に履修しており、法学の授業と紐づけ、今、社会学類で有意義に学びを深めることができています。

また、私が所属している憲法ゼミでは、学生が各々憲法に関する諸問題を取り上げて研究を進めます。福祉、安全保障、テクノロジーなどトピックは多岐にわたります。法律が私たちの日常の多くの場面と密接に関わっていることを再認識するとともに、多様な視点を持つ他の学生と議論を行うことで、自分の知見が深く、そして広くなっていることを実感しています。



私の捉え方はほんの一例で、法律へのアプローチの仕方は本当に様々です。ぜひ、社会学類の法学主専攻で、あなたの興味と法律を結び付けた学びを深めてみませんか。

谷本　啓
（経済学主専攻）



社会学類では、私たちが生きていくうえで切り離すことのできない社会で発生する様々な事象を、多角的に分析する視野を獲得することができると考えます。例えば、電気料金の値上げについて考えてみても、その背景にはどのような出来事が存在しているのか、その手 続きは正しくなされているのか、その影響を受けて国家、あるいは消費者はどのような対応 をするのかなどといった、いくつもの異なる切り口があります。社会学、法学、政治学、経済学を複合的に学ぶことで、現代を生きるうえで必要な物事を柔軟に考え俯瞰する力を伸 ばすことができます。

経済学という分野は、「限りある希少な資源をどのように分配するのがよいか」について考える学問です。このように聞くとお堅い分野のように思えますが、私たちの身の回りに経 済学は存在しています。一日のうち何時間を睡眠に充てるべきか、近所のラーメン屋はなぜ 営業時間が長いのか、スーパーで 1,000 円分買い物するとき最も幸せを感じる組み合わせは何かなど、生活のいたるところに経済学的な考えは用いられています。そして私が思う経済学の強みは、今まで述べた様々な場面での選択の合理性について、感覚的にではなく数学を用いて明示的に判定することが可能である点です。もちろん経済学すべてが数学的なものではありませんが、人々の行動が最適か否かを、数字を用いて明らかにすることは、経済学の面白さの一つだと私は考えます。

私は現在、計量経済学と、ミクロ経済学を学ぶゼミに所属しており、現実社会の実問題に経済理論をどのように応用することができるかについて、学生同士や先生との議論を通して理解を深めています。また、複数のゼミに所属することで、広く知見を得ることができ分析の手法を増やすことができるのは魅力的です。

これを読んだ皆さんが、社会学類に少しでも興味を抱くことを願っています。

取得できる資格

卒業要件以外の教職科目や博物館学などの単位を修得すれば、教員や学芸員などの資格が得られます。

教員免許　高等学校一種免許状（公民）
社会教育主事、学芸員、司書、司書教諭

卒業論文・卒業研究

社会学主専攻：卒業論文題目抜粋

- 生活困窮者支援における〈問題解決〉の技法
- 軽度身体障害者のアイデンティティ管理
- 「毒親」語りの社会学的考察
- 日本における若年層の自殺率の高さについて：「自殺予防因子」に着目して
- 大規模再開発後の下北沢におけるまちづくりの主体
- ジャン＝ジャック・ルソーにおける〈幸福〉の概念とそのアクチュアリティ
- 現代の移りゆく神社と多様化する参詣のかたち
- 痴漢に対する意識とジェンダー
- ソーシャルワークにおける専門性と素人性

法学主専攻：演習テーマ抜粋

- 大学対抗交渉コンペティション（INC）の問題研究
- 憲法論文作成講座
- 約 120 年ぶりに大改正された債権法の判例研究
- 性犯罪に関する立法論・解釈論上の問題
- 現代人権論やリベラリズム思想史の法哲学的研究
- 民法の問題点の検討
- リバタリアニズムと徴税権
- 誰のための復興か－東日本大震災から学ぶ復興のこれから

政治学主専攻：卒業論文題目抜粋

- アメリカ革命危機の免罪符「外敵への逃亡」
- SNS における政治的表現と、その規制に関する考察
- 新型コロナウイルス対策をめぐる中央地方関係の考察
- 米中新冷戦と台湾問題
- 冷戦下の東西ドイツ分断におけるアメリカとソ連の対立
- アラブ諸国の情報統制とソーシャルメディア
- 近代国家とホモ・サケル化する国際政治

経済学主専攻：卒業論文題目抜粋

- 企業ステークホルダー間の利害対立に関するゲーム理論分析
- 経済思想から読み解く現代人の価値判断
- 地域再生政策に対する経営的分析
- 観光による地方創生に関する一考察
- ゼロ和ゲームにおけるナッシュ均衡点の精緻化

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材		社会科学を総合的に学習するために必要な基礎学力と、グローバル化する社会の様々な事象への関心や洞察力・分析力を併せ持つ人材。
入学までに学んでおいてほしいこと		社会科学を学ぶための読解力や表現力の基礎となる英語と日本語。また、地理や世界史・日本史および数学に関する基本的な知識も備えていることが望ましい。
入学者選抜方針	個別学力検査等（前期日程）	入学後の学習に必要となる基礎学力および論理的思考力を十分に備えている人材を評価します。
	推薦入試	高等学校における学習をしっかりと身につけたうえで、希望する主専攻分野（社会学、法学、政治学、経済学）に関連する分野について、明確な問題意識と優れた能力を有する者を評価します。
	国際バカロレア特別入試	社会科学を学ぶために必要な高い基礎学力に加え、社会的な事象に対する深い関心と問題意識、明確な目標に向けて主体的に学ぶ力と積極性、語学力を含めた高いコミュニケーション能力などを総合的に評価します。
	編入学試験	社会科学系の学問に対する高い問題意識と意欲を持ち、希望する主専攻分野（社会学、法学、政治学、経済学）に関する初歩的な素養および論理的思考力を十分に備えている人材を評価します。
学群英語コース特別入試		(1) 求める人材 グローバル化と情報化が進むなかで、政治的・経済的・文化的・国際的な諸問題に対して関心を示し、事象を学問的に分析できる応用力を備えた人材を求めています。 (2) 入学者選抜方針 高い英語力・専門分野の知識を習得するための基礎学力とともに、現代社会の諸問題に対する独自の視点と分析力を、提出書類及び個別面接により総合的に評価します。

卒業後の進路

最近の傾向でみると、就職する者が約 7 割います。その就職先は多岐にわたりますが、特に金融、メディア・情報通信、サービスならびに製造業分野に強く、多くの人材を輩出してきました。また公務員の道を選ぶ者も多くいます。

一方、大学院進学や司法試験・公認会計士などの資格試験の準備をする者もおり、将来、研究職や高度な専門職につく卒業生も少なくありません。

主な就職先

- **金融・保険**：三井住友銀行、みずほ銀行、ゆうちょ銀行、りそな銀行、常陽銀行、ジャパンネット銀行、三菱 UFJ 信託銀行、野村信託銀行、茨城県信用組合、商工組合中央金庫、全国信用金庫協会、三菱 UFJ ニコス、みずほフィナンシャルグループ、イオンクレジットサービス、第一生命保険、日本生命保険、住友生命保険、明治安田生命保険、アフラック生命保険、AIG 損害保険、東京海上日動火災保険、損害保険ジャパン日本興亜、かんぽ生命保険、野村證券、大和証券、SMBC 日興証券　など
- **メディア・情報・コンサルティング**：朝日新聞、読売新聞、日本経済新聞、毎日新聞、共同通信社、時事通信社、NHK、TBS テレビ、新潮社、KDDI、ソフトバンク、日立ソリューションズ、富士通、オービック、楽天グループ、アクセンチュア、野村総合研究所、富士通総研、大和総研、博報堂、電通テック、NTT データ、マクロミル、デロイトトーマツ　など
- **商社・小売・サービス**：住友商事、丸紅、三菱商事、伊藤忠商事、イオンリテール、ローソン、昭和シェル石油、コカ・コーラボトラーズジャパン、日本マクドナルド、三菱マテリアル、日本郵船、日本航空、全日空、JTB、東日本高速道路、JR 東日本、ベネッセ、学研、東映、星野リゾート、ニューオータニ、ホテルオークラ東京、日本中央競馬会、中央職業能力開発協会　など
- **製造・インフラ**：日立製作所、ソニー、三菱電機、三菱重工業、富士重工業、スズキ、SUBARU、ヤマハ、日立メディカルコンピュータ、日本ハム、丸美屋食品、デサント、テルモ、住友金属鉱山、九州電力、ブリヂストン、ミツトヨ　など
- **公務員**：総務省、経済産業省、国土交通省、農林水産省、外務省、厚生労働省、警察庁、人事院、法務省入国管理局、さいたま地方裁判所、東京高裁管轄裁判所、長野地方裁判所、国立国会図書館、東京国税局、横浜税関、国立文化財機構
  都道府県庁（東京、茨城、埼玉、静岡、群馬、千葉、大阪、長野など）、市役所（名古屋、横浜、さいたま、つくば、千葉、川口、川崎など）、警視庁、茨城県警　など
- **教育研究機関**：横浜国立大学、千葉大学、宇都宮大学、高エネルギー加速器研究機構、海洋研究開発機構、科学技術振興機構、日本原子力研究開発機構　など
- **進学（大学院）**：筑波大学、東京大学、東北大学、一橋大学、京都大学、九州大学、大阪大学、神戸大学、名古屋大学、早稲田大学、慶應義塾大学、ハワイ大学　など

社会・国際学群

国際総合学類

School of Social and International Studies
College of International Studies

https://www.kokusai.tsukuba.ac.jp/

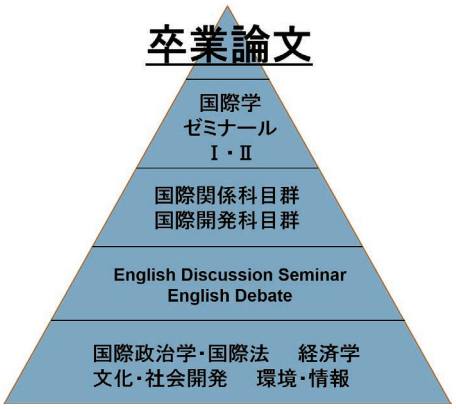
[人材養成目的] グローバリゼーションとともに複雑化する国際的な諸問題に対して、問題の本質を発見する洞察力と情報分析能力を身に付け、先見性と独自性に富む解決策を他者に伝えるコミュニケーション能力を備えた、文理融合型の実践的な人材を養成します。



ハワイ研修にて



ASIPでの海外研修



主専攻	カリキュラム概要
国際関係学主専攻	国際関係学主専攻は、現代の国際問題に対する理解を人文・社会科学を中心に学際的な観点から深め、政策志向的な問題解決の能力を養うことを目標としています。国際関係学主専攻では、学生の選択の幅を広げるため、政治学、経済学、国際法、文化系領域など各授業領域ごとの垣根を低く設定していますが、それだけに自ら系統的に学習して行く努力が要求されます。
国際開発学主専攻	国際開発学主専攻では、国内外における新たな社会システム・概念の提案、人的資源の育成、合理的な合意形成に基づく社会基盤整備、情報・通信技術と社会との協調など、実社会において「創造・選択」をする際に必要となる知識や能力を養います。これに向けて本主専攻には、経済・社会開発の授業科目領域および、環境、情報・通信技術など開発工学の授業科目領域が設定されています。

主専攻分野	主な授業
必修科目	国際学Ⅰ(国際政治・国際法)、国際学Ⅱ(経済学)、国際学Ⅲ(文化・社会開発)、国際学Ⅳ(情報・環境)
専門基礎科目	国際関係論、国際関係史序説、国際法概論、法学概論、国際経済論、初級ミクロ経済学、マクロ経済学概論、比較政治学、政治変動論、文化・開発論、数理科学、統計科学、情報科学、社会科学のためのデータサイエンス、情報メディア概論、Media Politics、English Discussion Seminar、English Debate　など
専門科目 (国際関係学)	安全保障論、公共政策分析、東アジア国際関係史、アジアの国際関係、ヨーロッパの国際関係、アジア政治、日本政治、ヨーロッパ政治、中央アジアの国家と社会、市民社会論、ヨーロッパ社会経済史、国際法Ⅰ、国際法Ⅱ、国際組織法、国際人権と法、国際機構論、外交法政策論、政治参加論、市民社会論、国際貿易論、ジャパニーズ・エコノミー、安全保障論、人間の安全保障論、現代中東政治、Japan and the World、言語人類学、国際文化論　など
専門科目 (国際開発学)	開発人類学、社会開発論、国際教育論、教育開発論、国際開発論、社会開発論、経済発展論、北アフリカの経済と社会、開発途上国における諸問題、国際文化論、世界経済史、地域開発論、計量経済学、統計科学、データ解析、応用数学、情報科学Ⅱ、パターン認識、宇宙開発、水環境論、都市文化共生計画、環境政策論、人工生命概論、地理情報システム論、国際農業開発論、ラテンアメリカの環境と社会　など

国際総合学類パンフレットの請求方法

●より詳しい情報は国際総合学類ホームページを御覧ください。
https://www.kokusai.tsukuba.ac.jp/

●パンフレットの閲覧、ダウンロードも学類ホームページから可能です。また、テレメールによる請求もできます。
（p.167　資料請求番号は541430）

特長

二つの主専攻と多元的な教育体系

国際総合学類では国際関係学主専攻と国際開発学主専攻を設けています。主専攻を決める時期は３年次のはじめです。学生をはじめから主専攻に振り分けるのではなく、カリキュラムについての説明、指導を受けながらそれぞれの主専攻の科目を系統的に履修することによって、学生自らが自主的に主専攻を決めていくようにしています。教育課程は、❶政治・法学、❷経済、❸文化・社会開発、❹情報・環境を中心にカリキュラムを構成し、主たる専門分野を中心にしながらも、両主専攻の科目を幅広く学び、広い視野を涵養するように工夫されています。

現実の問題についての理解力と対応力を備えた人材を養成するために、卒業論文の提出を義務づけています。

これらの研究指導では、現代社会の問題をテーマとして、学際的なアプローチをとらせながらも、自分が選んだ学問分野のスキルを身につけられるように指導しています。

また、高い職業意識を持つ人材の育成を目的として、学生が在学中に将来のキャリアに関連した就業体験を行うインターンシップの制度も取り入れています。海外でのインターンシップにも力を注いでいます。

コミュニケーション力の養成

これからの時代に必要な、英語を中心とするコミュニケーション能力の向上や、情報処理技術の修得に力をいれています。そのため、国際総合学類では３分の１近くの授業を英語で行っています。これは単純に英語を重視するというよりも、異なる文化背景による異なる言語上での他者とのコミュニケーション能力を培うためです。その中にはディスカッション中心のものや日本の伝統文化を英語で読み解く授業もあり、留学生・日本人学生双方がこの能力を育てられるように設置されています。これらを通じて、卒業までに、専門分野について英語で水準の高い議論ができる程度の力を身につけることが期待されています。そのため、多くの外国人教員や外国の大学で教育に携わってきた教員による、英語の講義や演習を大幅に取り入れています。

文・理融合教育

政治学の理論や政策決定のプロセス、経済動向、またその背景にある文化等を学ぶことで世界の変化を定性的に理解できるようにすると同時に、統計学やデータ分析の授業で数値による定量的な分析能力が身に付くように養成します。本来、政治学・人類学といった文系の学問と数学・経済学・情報工学・環境工学といった理系の学問は、融合すべき密接な関係を持つものです。工業化社会においてこれまで実現されてきた産業的発展は生命のない物質面に偏重し、これと全く同様に大切な社会的・政治的あるいは精神的な面との有機的関係が軽視されてきたことは否めません。その結果として、環境破壊、資源エネルギーの枯渇、貧富の差の拡大、それに伴う民族紛争などの困った問題が後を絶ちません。理系・文系双方の分野からなる学際融合教育を目指す当学類の特徴を活かして、当学類で学んだことを人類全体の物心両面にわたる快適な生活の充実に活かしていってほしいと願っています。さらに、フィールドワークの授業も設置されており、どう分析するのかを実践を通して学ぶことが可能です。



ゼミの風景



コロナ下での留学オンライン報告

海外留学など

国際総合学類では在学中の留学を奨励し、特定の協定校との交換留学制度の拡充をはかっています。この交換留学制度を利用して留学した場合、修得した科目の単位を内容に応じて一定限度まで学類の単位として認めています。毎年20～25名の学類生がアメリカ、オーストラリア、オランダ、ロシア、チェコ、中国、韓国などの大学に半年から１年間留学しています。そして、海外からほぼ同数の留学生を受け入れています。この他にも、語学研修やインターンシップを目的として、海外に渡航する学生が毎年30名ほどいます。英語研修については、オーストラリアやカナダの著名な大学での研修に参加できます。このような活動を通じて、国際総合学類では、全体の４割程度の学生が１年間の海外生活を経験します。

また、私費外国人留学生、国費外国人留学生を積極的に受け入れています。このように、本学類は学生の構成という面からも国際性豊かなコミュニティーであるということができます。

主な協定校への留学先

オハイオ州立大学、パデュー大学、ハワイ大学マノア校、ユタ州立大学、ブリティッシュ・コロンビア大学、モントリオール大学、ペルー・カトリカ大学、オランダ・ユトレヒト大学、チェコ・カレル大学、オーストラリア国立大学、ロシア・サンクトペテルブルグ大学、ウズベキスタン・タシケント国立東洋学大学

卒業論文

論文題目の例

- 感染症対策における文化的対立　－エボラ出血熱の蔓延を例に－
- フランス保護領期のハノイにおける住宅地の形成と現代における変容
- スペインは何故没落したのか　－英国との比較－
- 条約の留保に関する一考察　－人権条約に対する留保を中心として－
- オフショアリングが自国経済に与える影響：理論分析とケーススタディ
- 開発途上国の障害児教育に対する日本の援助　－スウェーデン・アメリカとの比較から見るその課題と展望－
- 韓国における教育疎外層の形成と格差解消への取り組み　－生涯教育政策の視点から－
- ミャンマー軍事政権に対する米国の対応　－米中緬三国間関係の観点から－
- 異文化マネジメント　－IN-OUT型M＆Aの現状とこれから－
- ロシア・サハリン州と北海道における官民主導の経済交流に関する実証研究
- 汚染逃避地効果の検証　－東・東南アジア途上国とG7の貿易に焦点をあてて－
- 日本における外国人の「不法就労」について
- ヨーロッパにおけるエネルギー安全保障　－EUとその東方近隣諸国を中心に－
- 1930年代の日本外交　－対英関係の視角から－

卒業生の声



様々な機会を通じ、自身の可能性の探求・成長を！

5期　福丸博之
三菱商事株式会社 ロジスティクス総括部

「ロシアのクリミア半島編入に対し欧米諸国が同国に制裁発令」、「シリアが内戦状況に」、「イスラム国（過激派組織）によるテロ」、「ギリシャ財政危機」、「ネパールで大地震発生」・・・これら最近のニュースを聞くと、私の仕事は俄然忙しくなります。

私は総合商社で、これら経済制裁、内乱、テロ行為、為替の制限・禁止、自然災害等で海外における事業が損害を受けるリスク（一般的に「カントリーリスク」と呼ばれています）をカバーする特殊な保険（貿易保険）を扱っております。

仕事上、日々の国際政治・経済情勢が直接関係し、社内の世界ネットワーク等による関連情報に接しながら業務を遂行しております。また、特に発展途上国向けプロジェクトにおいて十数年もの間、当該国のカントリーリスクを一民間企業で保有することは現実的ではなく、保険引受者（実質日本政府）に対する保険引受交渉が実を結び当該プロジェクト遂行、ひいては当該国の経済発展に寄与出来ることでこの仕事にやりがいを感じています。

さて、今思い返せば、私の大学時代（四半世紀ほど前、入学は昭和！）は多くの友人との出会い、旅行等であっという間でした。

当時、インターネットやスマホ等はなく、同じ学類、サークル等で知り合った他学類の友人、留学生等と直接朝まで語り合った日々。（1年生の時、同級生が何気に貸してくれた北朝鮮に関する本を読み、当時関心が薄かった同国に興味を持ち、卒論テーマに選んだことも思い出の一つです）

また、纏まった時間がとれると、ふらっと国内（北海道、東北一周や船で29時間かけて行った沖縄等）やバックパッカーで海外（アジア、欧州、北米、オセアニアの10ヵ国以上）を旅し、現地人や世界からの旅行者との出会い等様々な現地体験は今もって私の考えや行動に良い影響を与えています。

現在、世界は激動の時代を迎えていると感じており、本学類で学んだ政治、経済、歴史、宗教、文化、安全保障等は、世界の動向を理解する上で今なお役に立っています。まさに、これら幅広い分野が学べる本学類は、現代を理解する知識、対応するヒントを与えてくれると思います。

そして、共に学ぶ友人、深い専門知識をお持ちの先生方、世界・幅広い分野に散らばるOB/OG（ＦＢのグループメンバーは800名以上！）等の存在は、自分を見つめ直し、自らの可能性を探求し、自身の価値を高めることに有益だと思います。

本学類には、このような自分の可能性を探求し、高める多くの機会が存在します。これら貴重な機会を逃さず、自身が大きく成長されることを願ってやみません。
（大学時代は長いようであっという間ですよ・・・）

資格など

卒業要件以外の「教職科目」や「博物館学」の単位を修得すれば、教員や学芸員の資格が得られます。

取得できる資格

教員免許：中学校一種免許状（英語）
高等学校一種免許状（英語）
社会教育主事、学芸員、司書教諭

卒業後の進路

卒業生は社会の多様な分野の国際部門で活躍しており、それぞれの分野で高い評価を得ています。本学類生が伝統的に強い外務公務員、一般公務員など官公庁、総合商社、マスコミ、金融等に加えて、最近では製造業、流通業、運輸・通信・情報業などの分野に職を得る人が増えてきました。本学類生の進学先は多様化しており、修士号以上の学位を取得した後に国際公務員を目指す人もいます。

主な就職先

外務省、財務省、防衛省、経済産業省、東京国税局、JICA、ジェトロ、日本赤十字社、三井物産、三菱商事、住友商事、電通、朝日新聞社、読売新聞社、三井住友銀行、三菱東京UFJ銀行、みずほフィナンシャルグループ、富士通、マイクロソフト、野村證券、キヤノン、パナソニック、野村総研、日本航空、全日空、商船三井ほか。

主な進学先

筑波大学大学院人文社会科学研究群、同システム情報工学研究群、同生命環境科学研究群、同人間総合科学研究群、東京大学大学院法学政治学研究科、同公共政策大学院、同新領域創成科学研究科、一橋大学大学院経済学研究科、東北大学法科大学院、東京工業大学大学院総合理工学研究科、京都大学大学院アジア / アフリカ地域研究研究科、名古屋大学大学院国際開発研究科ほか。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材		経済活動や環境問題は国境を越えて展開します。そこには、絶対的に正しいものはありません。既成観念にとらわれず、多様な価値観の存在を想像しながら、ものごとを観察し、何が問題かを見分け、何をどうすればいいのか、筋道をたてて考え、それを周りに説明でき、理解者を増やしていく意欲・チャレンジ精神をもつ人材が望まれます。
入学までに学んでおいてほしいこと		将来、国際社会で活躍することを見据え、読解力や表現力の基礎となる語学力を高めておくこと。また、文科系、理科系を問わず、多様な視点から社会をとらえるための十分な知識と理解力を有していることが望ましい。
入学者選抜方針	個別学力検査等（前期日程）	高い基礎学力と優れた語学能力に加えて、国語、地理歴史、数学、理科のいずれかの学力を総合的に評価し選抜します。
	推薦入試	基礎学力とコミュニケーション能力に加えて、国際関係や国際開発への幅広い関心と強い学習意欲を有する人材を選抜します。
	国際バカロレア特別入試	国際バカロレア試験において一定レベルの成績をおさめ、国際関係や国際開発の諸問題を主体的に学ぶための知識や思考力、問題意識、明確な目標をもって学ぶ意欲、語学力を含めたコミュニケーション能力を総合的に評価し選抜します。
学群英語コース特別入試		（1）求める人材 グローバル化と情報化が進むなかで、政治的・経済的・文化的・国際的な諸問題に対して関心を示し、事象を学問的に分析できる応用力を備えた人材を求めています。 （2）入学者選抜方針 高い英語力・専門分野の知識を習得するための基礎学力とともに、現代社会の諸問題に対する独自の視点と分析力を、提出書類及び個別面接により総合的に評価します。

教員からのメッセージ



井出里咲子 准教授
（言語人類学）

言語人類学、社会言語学という学問を通して、ことばと文化の相関関係や異文化コミュニケーションについて研究しています。日本人はなぜ頻繁に「すみません」というのだろう?アメリカ人はなぜジョークが上手いように聞こえるのだろう？といった疑問について、実際に会話データを取って分析し、ことばの用いられ方に現れる文化的な手触りの仕組みについて明らかにしてきました。

高校時代はイルカの調教師 という職業に憧れていました。また、マザーテレサの影響で、国連勤務がしたいという夢も持ちました。しかし、どちらも中途半端なまま、大学の卒論で手がけたアメリカの教育テレビ番組「セサミストリート」の分析をきっかけに、社会が言語の多様性を認めると同時に、言語を統一しようとする二つの流れに興味をもち、研究の道に足を踏み入れました。

この社会はすべてコミュニケーションで成り立っていることを考えると、言語というのは、政治、経済、通貨と同様に価値の体系としての動的な様態をもつものです。同時に、詩歌や文学を生み出す創造性の源です。研究の醍醐味は、他者への偏見やステレオタイプなども含めて、差異の構造を説明し、ミクロ、マクロのレベルで異文化を説明する面白さにあると思います。最近は、日本と米国女性の出産育児体験の語りの比較から、両者の描く家族、社会観の違いを浮き彫りにしました。今後は異文化間コミュニケーションにおける「空気の読み方」の違いを分析していく予定です。

筑波大学は広くてキャンパスも魅力的ですが、是非つくばを出て、自分の足でさまざまな土地を歩いてまわってください。子供の頃はとても臆病者の私でしたが、大学院時代の友人たちに感化され、時に好奇心に突き動かされて、世界の多くの場所を旅したことが今の私の世界の見方の礎となっています。またコミュニケーション力や語学力を磨くためにも、いろいろな人と語り合い、考え続けてください。そして必ずこの地球をよりよい場所にしていくのだという強い自覚のもと、人生を逞しく切り開いていっていただきたいと思います。

人間学群

教育学類

School of Human Sciences
College of Education

https://www.education.tsukuba.ac.jp/edu/

[人材養成目的] 人間形成、学校教育開発、教育計画・設計、地域・国際教育にかかわる教育学の専門的知識・技能を活用し、学校、自治体、民間機関、国際機関など様々な分野で貢献できる人材、研究能力を有する人材を養成します。



「わたしたちクラス代表はみなさんの入学をお待ちしています！」



授業のひとこま（児童文学論演習）

主専攻とコース

共通科目		<人間学群共通科目>　人間学、キャリアデザイン入門、人間フィールドワーク等	
		<教育学類共通科目>　教育基礎論、教育インターンシップ実践演習、教育学研究法、教育学実践演習、卒業研究等	
コース	系列	学べる内容	主な授業
教育学コース	人間形成系列	教育に関する基礎について学びます。世界や日本の歴史をさかのぼって、教育という営みや学校というものがどのように成立・展開してきたかを考えたり、今日の教育のあり方を導いた人物の足跡・思想を捉え直したりします。教育の本質や原理を考える教養を習得し、学界や教育界の多様な分野への進路選択が期待できます。	教育哲学、日本教育史、道徳教育論、比較道徳教育論、教育思想論演習、キャリア教育論、アジア教育史
	教育計画・設計系列	現代社会では、教育実践の営みは国や地方自治体あるいは機関・団体などによる支援のもとに成り立っています。教育計画・設計系列では、教育の制度、行財政・法制、学校の組織・経営について、理論や歴史、日本や諸外国の制度や実践から学びます。そして、これからの学校教育のデザインと支援を開発・提言・実践できる人材を育成します。	教育制度論、教育行政論、教育制度論演習、学校経営論、学校経営論演習、教師教育論、比較学校経営論
	地域・国際教育系列	教育的営みを社会・文化とのかかわりで実践的・理論的に探究します。地域社会における教育・学習活動について幅広く理解し、公民館、図書館、博物館、カルチャーセンターやスポーツ施設等の生涯学習の場で学習支援を行う地域社会教育の専門家、あるいは国際理解教育など国際的な場での教育支援に従事する専門家の道へとひらかれています。	教育社会学、生涯学習論、国際教育論、地域と教育、言語教育論、環境教育論、生涯学習論演習、教育社会学演習
初等教育学コース	学校教育開発系列	児童・生徒の成長とともに学校での教師のかかわり方は変わり、社会背景とも絡みながら、学校は進化し続けます。そのような学校教育の基礎・基本を学び、さらにそれを基盤として進化する学校教育に適応し、よりよい方向に変えていく力をもつ人間を育成することが学校教育開発系列の目指すところです。また、初等教育学コースでは実践的研究力を身につけた教員としての資質・素養を学ぶことができます。	教育課程論、学習指導論、社会認識教育論、数学教育論、科学教育論、児童文学論、理科教育論、特別活動論、初等教科教育法


新入生オリエンテーションのひとこま

人間学群パンフレットの請求方法

●人間学群Webサイト（https://www2.human.tsukuba.ac.jp/gakugun/overview）でパンフレットのPDFファイルを見ることができます。

●テレメールによる請求もできます（p.167　資料請求番号は792870）

進化を続ける「筑波教育学」

教育学類には約30名のスタッフがおり、教育学のあらゆる分野をカバーします。スタッフは皆、それぞれの専門分野で学界の研究をリードし、国や地方自治体の教育政策の形成に関与しているスタッフも少なくありません。

教育学類は、教育への理論的関心も実践的関心も大切にします。学生諸君にとって、これほどバラエティに富んだ分野を包摂している教育学の学士課程は、珍しいと言えるでしょう。教育学類で学ぶ皆さんは、特定の狭い視野にとどまらない、多元的・多角的な視座から、教育問題に対する総合的な見方・考え方を獲得することでしょう。

このような筑波教育学は、明治以来、連綿として受け継がれてきた「教育学の総本山」としての歴史と伝統の中で培われてきました。日本の教育学をリードする多彩な教授陣が、最新の研究成果をもって教育学の面白さを伝え、理論と実践力を兼ね備えた人材を育成します。「筑波教育学」は常に進化し続けています。2012 年度からは、小学校教員免許状を取得できる「初等教育学コース」が誕生し、卒業生は小学校でも活躍しています。


緊張した面持ちの新入生
（入学式直後の人間学群オリエンテーションにて）


教育学類の新入生と担当教員

優秀卒業研究賞

人間学群では、毎年度、「修学・教育活動、課外活動において優秀な成績を収め、或いは顕著な功績のあった学生」を対象とした人間学群長賞表彰を実施しています。そのほか、同窓会組織による「茗渓会賞」や「校友会江崎賞」、大学院進学者への奨学制度である「つくばスカラシップ 大学院進学奨励奨学金奨学生」などの表彰も行われます。

〔人間学群長賞〕

竹内　千晴

＜卒業論文のテーマ＞
国際共修への学生による教授・学習支援
―学生と教員の語りに着目して―

佐久田幸空

＜卒業論文のテーマ＞
「大学における性教育」の「実践」が果たす機能と課題
～性教育に関連する授業科目と担当教員の語りに着目して～


優秀卒業研究賞

〔筑波大学茗渓会賞〕

髙木　滉太
滝口　理奈

〔筑波大学校友会江崎賞〕

NGUYEN NGOC LAN CHI

〔つくばスカラシップ
大学院進学奨励奨学金奨学生〕

佐藤　美涼

（写真 / 左から）
後列：遠藤優介・京免徹雄 4 年担任、藤井穂高 教育学類長、樋口直宏 人間学群長
前列：佐藤美涼、NGUYEN NGOC LAN CHI、滝口理奈、髙木滉太、佐久田幸空、竹内千晴

海外での勉学チャンス

海外留学

教育学類の学生は、人間学群が交流協定を結んでいる海外の大学への交換留学に応募することができます。協定校に留学すると、❶留学先での修得単位が教育学類の単位として認定される、❷筑波大学への授業料を納入すれば、留学先の授業料は納入不要、というメリットがあります。現在、協定校は、カリフォルニア大学やベルリン自由大学などの大学間（全学）協定校をはじめ、国立台湾大学や南インディアナ大学などの部局間（人間学群）協定校です。

タイの学校での日本語補助教員実習

教育学類のコア科目の一つ、「国際教育協力実習」では、約３ヶ月間タイにホームステイしながら、カセサート大学附属学校またはコンケーン大学で日本語補助教員としての実習を行います。旅費は自己負担ですが、毎年、数名の学生が海外の学校での教育実習の貴重な体験をしています。

教育学類での学び

教育学の総合性と４つの系列

教育学類では、教育学の総合性に対応した４つの系列を設けています。すなわち、「人間形成系列」「学校教育開発系列」「教育計画・設計系列」「地域・国際教育系列」です。

学生はこれらすべての系列に関する科目を履修しますが、将来の目的に合わせて特に関心のある系列を1つ選び、その系列に含まれる授業を集中的に学ぶことになります。そこで学んだ知識・技能を活かして、４年次に卒業研究をまとめていくことになります。

ただし、教育学類では、学生に各系列に所属することを求めていません。その理由は、１つの系列のみの知識・技能を習得することよりも、教育学に関する知識・技能を全般的に学ぶことの方が、教育に関連した優秀な理論家・実践家となるのに有効であると考えているからです。

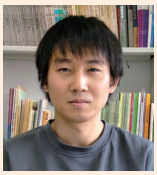
なお、初等教育学コースは、「学校教育開発系列」の一部として組み込まれています。

卒業生からのメッセージ

学びを深め、問いを広げる

令和3年度人間学群教育学類卒業
（教育学学位プログラム
教育基礎科学プログラム院生）

早乙女　達樹

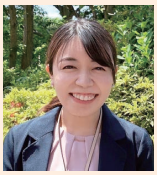


「教育って何なんだろう？」という疑問が教育学類入学のきっかけでした。その漠然とした疑問は、教育学類で過ごした４年間で、各分野に精通した先生方の講義を受け、また同じ興味を持った仲間たちと議論する中で、より深まりました。誰もが一度は教育を受けた経験があり、教育について全く知らない人はいないと思います。その一方、様々な研究領域がそれぞれに研究を進めて、それでもなお明確な正解が見出せないのが教育です。むしろ、教育に関する多くのことを知れば知るほど、より大きな疑問が生まれてきます。そして、その大きな疑問を受け止めてくれる環境が、筑波大学の教育学類にはあります。身近にあるけれどとても難しい教育という営みについて、一緒に考えてみませんか？きっと、これまでの学びとは一味違った刺激的な学びが待っています！

多様な視点で「教育」を考えてみませんか？

令和元年度人間学群教育学類卒業
（ベネッセコーポレーション）

中村　咲耶



令和元年度に教育学類を卒業し、現在はベネッセコーポレーションに勤務しています。

教育学類からベネッセへというと一見妥当に思える進路選択かもしれませんが、私は入学してから卒業までとても進路に悩みました。

高校時代は教師を目指していましたが、物事を多角的に学ぶことができ、幅広い選択肢のある大学へ進みたいという理由から筑波の教育学類を志望しました。実際に教育学類では、教職課程はもちろんのこと、様々な分野の先生方と共に、これまで思いも寄らなかった視点で教育を学ぶことができました。また、学類の垣根を越えて受けることのできる授業や課外活動等も含め、沢山の素敵な出会いや刺激があり、その過程で多くの道に触れたことが現在の進路にも繋がっているのではないかと感じています。

今は急速に変化する時代などと言われますが、私が入社したタイミングはコロナ禍でまさに新しいことの連続でした。教育という正解のないテーマに対して、異なる視点から同士と考えてきた経験こそ、今の業務に、そしてどの仕事にも生きる力だったと思います。

教育に関心がある方、教師を目指している方、そうではない皆様にとっても、教育学類では沢山の学びがあります。多くのことに触れ、素敵な大学生活を過ごしてください！

授業の形態

専門の授業は、講義、演習、実習など様々な形態で行われます。講義であっても受講生の数は最大40名程度で、演習や実践演習の場合は数名の受講生ですから、とても密度の濃い指導を受けることが可能です。授業づくり、ソーシャル・スキル・トレーニング、学校訪問観察など、各専門分野に応じて多彩な体験的活動も取り入れられています。卒業研究に向けての本格的な指導は、３年次に履修する教育学実践演習で着手することが可能です。

資格など

教員免許

小学校一種免許状

中学校一種免許状（社会）

高等学校一種免許状（地理歴史、公民）

※他学類の授業を履修すれば他の教科の免許状も取得可能です。

他の資格

社会教育主事、学芸員、学校図書館司書教諭





附属小学校の子どもたちとの交流

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材		人間社会が形成してきた文化や教育・学習活動に対する幅広い関心と高い問題意識を抱き、学問的に深めたいという志を持ちながら、自主的に学び、考え、科学的、論理的、かつ実践的な問題解決能力を培う意欲のある人材。
入学までに学んでおいてほしいこと		人間の発達や支援、教育について、様々な考え方や見方に触れることにより、人間、社会、自然に関する興味と関心を培うようにして欲しい。
入学者選抜方針	個別学力検査等（前期日程）※	広い基礎学力と外国語に加えて、国語、数学、地理歴史、公民、理科のいずれかの学力を総合的に評価します。
	個別学力検査等（後期日程）※	広い基礎学力を評価します。また、論述において、応答性、論理性等を評価します。
	推薦入試	一定レベルの学力を有し、教育学について明確な目的意識と勉学への意欲を持ち、教育学類の教育に適応性があるかどうかを評価します。あるいは、教育学について明確な問題意識を持ち、その問題意識に関連した優れた活動実績を有するかどうかを評価します。
	国際バカロレア特別入試	国際バカロレア試験において一定レベルの成績をおさめ、教育学類の学習について明確な目的意識を持ち、教育に関する領域で国際的視野に基づく活動を志しているかどうかを評価します。
	外国学校経験者特別入試（第1種）	教育的な事象に対する強い関心と問題意識を持ち、入学後の授業に適応できる理解力・思考力・日本語能力を有する者を総合的に評価します。
	外国学校経験者特別入試（第2種）	海外生活での経験を活かしたグローバルな視点から、教育的な事象に対する強い関心と問題意識を持ち、入学後の授業に適応できる理解力・思考力・日本語能力を有する者を総合的に評価します。

※一部変更する可能性があります。詳細は募集要項でご確認ください。

卒業後の進路

これまで教育学類の卒業生は、社会のさまざまな分野で活躍してきました。

過去５年間の教育学類の卒業生の進路をみてみると、年度によって変動はありますが、約３割～４割が進学で、６割～７割が就職になっています。進学先は、本学の大学院教育学学位プログラム（次世代学校教育創成サブプログラム、教育基礎科学サブプログラム、国際教育サブプログラム）が多くなっています。就職先は、教員、公務員のほか、教育関連企業、出版、放送、金融など幅広い業種にわたっています。

最近の傾向としては、「進学」が増えていることが挙げられます。次世代学校教育創成サブプログラムへ進学した者の中には、修了後、中学校・高校等の教員として就職していく人が数多く含まれています。また、教育基礎科学サブプログラムに進学した者の多くは、博士後期課程を経て、大学教員・研究者の道を選ぶケースが多いです。さらに、国際教育サブプログラムでは、国際バカロレア (IB) 教員資格を取得して、IB 認定校やインターナショナル・スクールへ就職する道も開かれています。





人間学群

心理学類

School of Human Sciences
College of Psychology

https://psychology.human.tsukuba.ac.jp/

[人材養成目的] 人間のこころと行動に関する幅広い興味や関心を基盤に、人間のこころと行動を科学的・実証的に分析し理解する姿勢及び専門的な知識や技能を身に付け、さらに、これらの学習成果を生かして、実際的な問題を主体的かつ創造的に解決する能力を有し、国際的にも通用する知性・人間性・逞しさを備えた人材を育成します。



1年生には心理学の概論の講義だけでなく、研究を遂行するための心理学の研究法や統計法、さらには大学院進学に関するレクチャーまで、幅広い内容の授業が用意されています。

心理学は、人間のこころを科学的・実証的に探究しようとする学問です。日常生活の中で私たちが見たり、注意をしたり、思い出したり、あるいは考えたりといった精神活動や、うれしかったり、悩んだりといった様々な人生体験を対象として研究します。このような精神活動や体験は、手にとって直接的に「ものさし」をあてて測ることができませんので、何らかの方法で間接的に測ることになります。そこに心理学の難しさと創造性を発揮する楽しみがあります。心理学は、たいへん間口が広く、生理、比較、感覚知覚、認知、学習、心理測定、発達、生涯発達、発達臨床、社会、対人関係、組織、臨床、カウンセリング、人格などの多くの専門分野があり、深い人間理解が可能となる魅力的な学問です。心理学類では、下の表に例示したように幅広い内容を偏りなく学ぶことができます。

専門として学べる内容

1年次には、心理学概論と心理学研究法で心理学の基本的知識を学び、心理学統計法の講義と実習で心理学の基礎的研究技法を修得します。2年次では、基幹となる専門科目群を深く履修し、心理学の専門的知識を獲得し

心理学の専門分野と心理学類で学べる内容のマッチング

心理学の専門分野	心理学類で学べる内容の具体例
生理、比較、感覚知覚	視覚、聴覚、嗅覚などの感覚や知覚の興味深い現象やその仕組み、人と動物のこころの共通性や違い、学習・記憶、感情、動機づけ、ストレスなどにかかわる脳神経系やホルモンの多様なメカニズムについて学ぶことができます。
認知、学習、心理測定	記憶や認知の基本的な仕組み、学びを支える動機づけや創造性のあり方、学びや人間関係を通した能力や自己認知の変化、人々の教えあいと学びあいのプロセスとそれを支えることばの役割、こころの変化を測定する方法などについて学ぶことができます。
発達、生涯発達、発達臨床	対象とする年齢によって、幼児、児童、青年、老年の心理学に大きく分かれますが、一生の発達を統合的に扱うこともできます。テーマを絞って認知の発達、感情の発達、行動の発達といった点から学ぶこともできます。それぞれの年齢層で表れる問題の理解とケア、発達支援についても学ぶことができます。
社会、対人関係、組織	対人関係の心理、インターネットやマスメディアの影響などの社会現象、攻撃行動のような社会行動の病理的側面、感情と行動の関連、組織の中の人間同士の相互作用、キャリア発達などについて広く学ぶことができます。
臨床、カウンセリング、人格	心理的障害や不適応に関する基礎理論や臨床的方法について学ぶとともに、ストレスの問題など個人及び集団のこころと身体のウェルビーイングについて心理学的視点から学ぶことができます。また人格の理論と病理、犯罪・非行、家族、カウンセリングを支える理論と技術についても学ぶことができます。

人間学群パンフレットの請求方法

●人間学群Webサイト（https://www2.human.tsukuba.ac.jp/gakugun/overview）でパンフレットのPDFファイルを見ることができます。

●テレメールによる請求もできます（p.167　資料請求番号は792870）

ます。また、心理学実験では基礎的研究技法を修得し、心理学研究実習では先行研究の理解に基づいて実験や調査などを行い、データ収集能力と科学的分析能力、そして討論の能力を実践的に修得します。さらに、心理学英語セミナーでは英語論文を通して心理学研究の専門知識や方法論、論文執筆の基本的ルールなどを修得します。3年次には、講義・演習科目を中心として心理学に関するより高度な専門知識を獲得します。そして、4年次では各自の興味に応じたテーマで卒業研究を行います。卒業研究は心理学類における教育の総決算です。

特長

心理学は19世紀後半に誕生し、現在では1人の心理学者ではすべてをカバーできないくらい、研究対象や研究方法は多岐にわたっています。心理学に関係する学会も、日本に限っても50以上あります。今日、こころの問題やカウンセリングなどに興味をもつ人々が増えていることもあって、心理学を学ぶことのできる大学も数多くあります。しかし、専任の教員を約30名抱え、脳と行動の基礎研究から心理臨床に関する実践研究まで、ほぼすべての分野にわたって心理学を学べる大学は筑波大学の心理学類をおいて他にはありません。

①体系的なカリキュラム
　共通科目から個別的な専門科目、そして卒業研究まで、段階的に学ぶことができます。

②豊富な科目構成
　多彩な専門科目が用意され、各自の興味関心に従って、より深く学ぶことができます。

③多様な心理学的知識の学習
　実験心理学から臨床心理学まで、幅広く偏りなく学びます。

④新たな知識を「産み出す」ためのメソッド
　知識を産み出すための方法を講義や実験で体得し、ツール（統計、英語）もしっかり学びます。

⑤実践的科目の充実
　実践的・実習的な演習科目も用意されており、リアルな学びが得られます。

以上のように、心理学類では、学生の皆さんひとりひとりの興味・関心に応じて、こころと行動への多様なアプローチを身につけることができます。講義や少人数での演習もたくさん用意され充実しています。



2年生の心理学実験の授業です。学生と年齢の近い新進気鋭の若手教員から、具体的な研究方法を習い、そのあと実際に自分たちでやってみます。



学生は実験実施者になって実験の教示を行ったり、実験協力者になって実験課題を遂行したりします。

心理学への招待



清水　登大

心理学類
（令和元年度卒業）
出身校：西大和学園高等学校

皆さんは心理学と聞いて、何を思い浮かべますか。もしかしたら、心理学を学べば「人の心を読めるようになる」、「人を思い通りに操れるようになる」といったイメージを持つ人もいるかもしれません。しかし、実際に大学で学ぶ心理学は、そういったイメージとは少し異なるかもしれません。心理学とは、観察、面接、調査、事例研究、実験、検査などの科学的手法を通じて、人の心を客観的に証明しようとする学問であり、私たちの生活のあらゆる側面に関わっています。どうやったら英単語を効率良く覚えられるのか、子どもが悪い行動をした時に罰を与えるべきなのか、落ち込んでいる友達の話をどうやって聞いたら助けになるのか…などといったような、日常生活の様々な場面で心理学の知見を活かすことができます。その範囲は臨床、認知、社会、発達、教育…といったように実に広範であり、筑波大学の心理学類ではこういった多様な心理学の領域を学ぶことができます。

また、筑波大学は総合大学であり、心理学類以外にも、体育、芸術、医学、情報、国際、理工…といった実に多彩な専攻があります。心理学はどんな領域にも何かしらの形で関連する学問ですから、こういった他専攻の人達との交流を通じて、心理学を学ぶうえで日々刺激をもらえることでしょう。

あなたも、是非この素晴らしい環境で、心理学を一緒に勉強してみませんか。

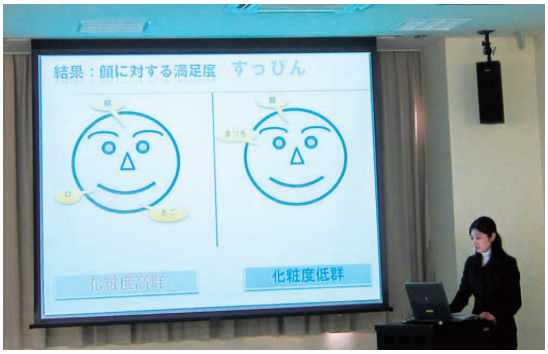
卒業後の進路

心理学類生たちの進路について紹介しましょう。筑波大学で心理学を学んだ卒業生たちは、社会のさまざまな分野で活躍していますが、卒業後の進路は、大学院などへの進学と社会に出て職に就く就職とに大きく分かれます。

進学の場合、ほとんどが大学院への進学になりますが、学士入学で大学に入り直す人や、資格を取るために専門学校に進学する人もいました。大学院へ進学する場合、博士課程前期あるいは後期を終えると再び進路を決定しなければなりません。大学院修了後の見通しをもって進学することが望まれます。

就職は、(1) 企業／団体、(2) 公務員等、(3) 教員 の3つに大きく分かれます。企業には製造業からサービス業までいろいろな業種があります。卒業生たちは、営業職から人事担当まで、いろいろな部署に配属されているようです。公務員には国家公務員や地方公務員があり、心理職で受験する人も行政職で受験する人もいます。教員については、少数ですが、県の教員採用試験を受ける人、私立学校の教員となる人もいました。公務員試験や教員採用試験はかなりの狭き門ですが、強く決意してその道を目指した学生たちの多くは、夢を実現させています。

現代では、同じ職場で一生涯働き通すということが一般的ではなくなりつつあります。卒業後、3年、5年、10年と月日がたつと、就職した人が転職したり、大学院に進学した人が修了後に教員になったり、就職した人が大学院に入り直したりと、進路が変わっている可能性も高いのです。心理学類に入学したからといって、就職先が確保されるわけではありません。また就職先が限定されるわけでもありません。大学生の進路は、本人の努力次第で無限に広がります。心理学を大学で学んだからといって、必ずしもそれだけにこだわる必要はありません。心理学は、自己理解と他者理解に役立つ学問ですから、人と人がかかわる多様な場面に役立てることができます。学んだ知識と方法論はあらゆる職場で活用できるはずです。皆さんも、働く人生の夢と希望を、心理学を学びながら育てていってください。



卒業研究発表会では、学会発表とほぼ同じ形式で発表と質疑を行います。


池と芝生と広場に隣接する研究棟で、心理学の実験を行います。

資格など

卒業要件以外の「教職科目」や「博物館に関する科目」の単位を修得すれば、教員や学芸員の資格が得られます。

また、公認心理師受験資格が取得可能な教育体制も整えてあります。

取得できる資格

教員免許

高等学校一種免許状（公民）

心理学関係

認定心理士（社団法人日本心理学会）

社会教育主事、学芸員、司書教諭



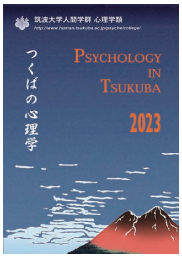


卒業研究発表会の後、久しぶりに対面での謝恩会が行われました。
専門分野に分かれての記念写真です。

「つくばの心理学」と「心理学の時間割」

心理学類の全教員が執筆している「つくばの心理学」というデジタルブックがあります。心理学類のホームページに掲載されています。各教員の研究活動や関連した知見をわかりやすく紹介した研究アラカルト、心理学類の教員が選んだお薦めの図書など、筑波大学で心理学を学びたいと思っている高校生の皆さんにはぜひ読んでいただきたい一冊です。

心理学類のホームページには「つくばの心理学」と並んで「心理学の時間割」というデジタルブックも掲載されています。こちらは、平成の頃の心理学類生６名の入学から７年間の記録が時間割と共に示されており、学生目線で心理学類の教育を知ることができます。ぜひご覧になってください。



「つくばの心理学」



「心理学の時間割」

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材		人間のこころと行動に高い関心と興味を持ち、さらには、人間を深く理解しようとする探究心を持ち、自主的に学び、考え、科学的、論理的かつ実践的な問題解決能力を培う意欲のある人材。
入学までに学んでおいてほしいこと		高等学校での学習内容を深め、特に英語書籍・論文を理解できる英語力を習得していること、自分の考えを明確に伝える日本語および英語の表現力を高めておくことが望ましい。
入学者選抜方針	個別学力検査等（前期日程）※	広い基礎学力と外国語に加えて、国語、数学、地理歴史、公民、理科のいずれかの学力を総合的に評価します。
	個別学力検査等（後期日程）※	広い基礎学力を評価します。また、論述において、応答性、論理性等を評価します。
	推薦入試（大学入学共通テストを課す）	一定レベルの学力を有し、人間のこころと行動について明確な目的意識を持つ人材で、心理学類の教育に適応性があるかどうかを評価します。または、人間のこころと行動について、旺盛な知的好奇心を持ち、それに関連する自主研究や部活動、社会活動等において優れた実績を有するかどうかを評価します。
	国際バカロレア特別入試	国際バカロレア試験において一定レベルの成績をおさめ、心理学類の学習に関して明確な目的意識を持ち、心理学の領域において国際的視野に基づく活動を志す人材を選抜します。
	外国学校経験者特別入試（第１種）	心理学類の学習に高い関心を有し、入学後の授業に適応できる理解力・思考力・日本語能力を有する人材を選抜します。
	外国学校経験者特別入試（第２種）	海外生活での経験を活かしたグローバルな視点から、心理学類の学習に高い関心を有し、入学後の授業に適応できる理解力・思考力・日本語能力を有する人材を選抜します。

※一部変更する可能性があります。詳細は募集要項でご確認ください。

心理学類をめざすみなさんへ　先輩からのエール



和田ひかりさん

資格を取得して働くために臨床心理学を学ぶことができ、かつ、他の多様な心理学の分野についても学ぶことができる大学を選びたいと思い、筑波大学を志望しました。心理学を学ぶことで自己理解が深まり、自分の成長を感じることができるようになりました。また、他者理解も深まり、他者の行動の背景を考えることができるようになったと感じています。

受験勉強は大変だと思いますが、「乗り越えた人にしかわからないこと」がわかるようになることは、素晴らしいことだと、私は思います。皆さんが楽しい学生生活を過ごせるよう祈っています！









人間学群
障害科学類
School of Human Sciences
College of Disability Sciences


卒業研究を終えた 4 年生。写真中央は左から教員の山中克夫・佐島毅

[人材養成目的] 乳児から高齢者までの感覚、運動、認知、言語などの機能の障害、健康や高齢・発達に関わる障害、障害をめぐる環境や社会・文化的課題に関する基礎的知識と支援方法を、教育・心理・福祉・医療などの領域から総合的に身に付け、共生社会の創造に貢献する、国際的に通用する能力をもつ人材を養成します。

「障害科学類」は、障害を科学し、人間の本質を探究し、人類と社会に貢献する人材を育てる、わが国では他に類を見ないユニークな学類です。障害のある人々への具体的なサポート、その基盤となる基礎的な研究、そして人間の本質そのものを探究します。

障害科学類の歴史は、1951(昭和26)年に国内最初の障害児教育の教育研究機関として設置された東京教育大学教育学部特殊教育学科にさかのぼります。その遺産は、筑波大学では人間学類心身障害学主専攻に継承・発展され、2007(平成19)年度からは人間学群障害科学類として新たに発足しました。

障害科学類は、すべての障害を専門とする国内で最大の教員数を擁していますので、年齢では乳幼児期から高齢期まで、機能的には学校教育から障害福祉まで、教育学・心理学・病態生理学を融合した高度で先進的な総合科学を学ぶことができます。また、障害のある子どもをもつ親の方々や学校の教員に対する相談やサポート、子どもに対する臨床的指導など、優れた社会的貢献も行っています。障害のある人たちへの具体的なサポート、その基盤となる基礎的な研究、人間の本質の探究に興味がある人には、魅力ある学類といえるでしょう。

障害科学類の特徴

- ●学生の関心や目標に応じた3つの履修モデル
- ●特別支援学校教員免許状では、5つの教育領域(視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・病弱)すべてに関する免許の取得が可能
- ●社会福祉士国家試験受験資格の取得が可能
- ●教職免許　特別支援学校／高校(福祉)／その他、小学校・中学校・高校の教科

カリキュラムの特徴

3つの履修モデルと取得可能資格

障害科学類では、学修の参考のためにいくつかの履修モデルを示しています。履修モデルは、その通りに授業をうけなければならないものではありません。ただし、資格と関係する履修モデルは、必要科目が過不足なく含まれていますので、モデルが基準になるでしょう。履修モデルを基に、学ぶ人の希望と意欲に沿った学修計画を立て、自主的に学ぶことになります。

		主な授業科目
専門基礎科目		障害科学Ⅰ・Ⅱ、障害科学実践入門、障害科学セミナー、障害科学研究法入門、障害科学研究法実習、心理学概論、心理学統計法Ⅱ、教育基礎論、学校の経営・制度・社会、障害者教育基礎理論、障害原理論Ⅰ、障害者福祉論Ⅰ・Ⅱ、Current Topics in Disability Sciences　など
専門科目	障害科学履修モデル	視覚障害生理病理特講、聴覚障害生理病理特講、肢体不自由の生理病理、病弱者の生理病理、知的・発達障害生理病理特講、視覚障害と心理、聴覚障害と心理、言語障害と心理、運動障害と心理、知的・発達障害と心理　など
	特別支援教育学履修モデル	視覚障害指導法、視覚障害自立活動、聴覚障害児の教育と指導法、聴覚障害自立活動特講、言語障害児の指導法、運動障害教育学、運動障害の指導法、知的障害自立活動指導法、知的障害学校教育論、特別支援教育実習　など
	社会福祉学履修モデル	社会福祉原論、相談援助の基盤と専門職Ⅰ・Ⅱ、相談援助の理論と方法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、医学概論Ⅰ・Ⅱ、社会保障論Ⅰ・Ⅱ、児童福祉論、権利擁護と成年後見制度、地域福祉の理論と方法Ⅰ・Ⅱ、ソーシャルワーク演習、ソーシャルワーク実習　など

人間学群パンフレットの請求方法

●人間学群Webサイト（https://www2.human.tsukuba.ac.jp/gakugun/overview）でパンフレットのPDFファイルを見ることができます。

●テレメールによる請求もできます（p.167　資料請求番号は792870）

●障害科学履修モデル

障害科学類の基本的な履修形態です。障害科学の全体的な理念・概念の理解を基に、障害科学が包含する特別支援教育、障害心理・生理、障害福祉等の全領域に関して、視覚障害学、聴覚障害学、言語障害学、運動障害学、健康・高齢障害学、知的・発達・行動・情緒障害学の基礎的な知識や技能を修得します。さらに、この分野を新たに開拓していくための研究方法の学修として、臨床研究、実験や調査、文献研究等で用いられる多様な技術の基礎を修得します。

●特別支援教育学履修モデル



わが国における特別支援教育に関わる先導的な研究・教育を担う専門家の養成を目指すものです。特別支援教育とは、これまでの特殊教育において培ってきた専門性及び新たに求められる専門性に依拠して、障害がある幼児児童生徒はもとより、さらに地域における発達障害などの教育的ニーズに応じた指導・支援を行うという、いわば新たな学校教育の枠組に基づく教育といえます。特別支援教育学履修モデルでは、障害科学類の充実した人的資源を活用して、特別支援学校教諭一種免許状に対応した豊富な科目群を設け、履修者に特別支援教育に関わる広い教養と深い専門性を身に付けさせることを意図しています。障害科学類では、5つの教育領域（視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・病弱）すべてを担当できる特別支援学校教諭免許状の取得が可能です。4年間の在学中にすべての教育領域の免許が取得できる数少ない大学のうちの一つです。

●社会福祉学履修モデル



社会福祉学を探求するとともに、社会福祉士を目指す「社会福祉学履修モデル」を設定しています。現代の社会福祉が対象とする高齢者、障害児者、及び、家庭養育環境や発達に伴う生活問題を抱えた子どもたちについて、ノーマライゼーションという福祉理念を実現するための施策や援助方法を、包括的かつ科学的に学修します。また、従来の社会福祉学の枠組を越えて、「障害」をめぐる教育や医療・リハビリテーションとの連携について、社会福祉の現場実習を含めて融合的に学修します。指定された科目を履修することにより、社会福祉士国家試験受験資格を得ることができます。

学生からのメッセージ

山本　彩佳（2022年度入学）



私は車椅子ユーザーです。日々生活している中で障害について考える機会があり、将来は障害者がより生きやすい社会を実現したい、そのための研究者になりたいと考えるようになりました。その思いを高校の担任に話したところ、日本で唯一の「障害科学」という学問を学べる筑波大学を勧められ、受験を決意しました。

障害科学類は、一学年 35 人程度の少人数の学類で、先生方の面倒見がとても良いです。授業の内容は、障害の定義や、海外の障害観の比較など、障害に関する様々な知識を得ることができます。友人たちと障害に対するそれぞれの考えを話し合う機会も多くあり、授業はとても面白いです。

筑波大学には「ピア・チューター」という障害学生を支援する活動があり、私もピア・チューターの養成講座で障害を持つ側の目線からアドバイスやサポートをしています。

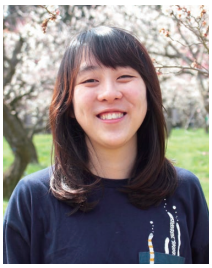
サークルは以前から興味のあった手話サークルとつくば鳥人間の会に所属しています。つくば鳥人間の会では、電装班に所属し、飛行機のコンピューター制御部分のプログラムを書いています。大学生になり、授業以外の活動の時間が増え、急に世界が広がりました。

これからチャレンジしたいことは、私もピア・チューターになり、自分の夢の実現の第一歩として、障害学生支援により深く関わっていきたいと考えています。

〈受験生へ〉先生と学生の距離が近く、個性豊かで優しい人がたくさんいるので、楽しい大学生活が送れると思います。応援しています。

英語で積極的にディスカッションする授業「Current Topics in disability Sciences」

Lam Yan Tung（2020年度入学）



Current Topics in disability Sciences の授業では、インクルーシブ教育の概念や意義について触れ、日本における障害教育福祉を踏まえ、海外の状況と比較しながら学びます。この授業は主に英語で行い、先生をはじめとして多くの留学生がいるため、この授業ならではの文化的背景の異なる環境で、互いの意見を自由に交わす貴重な時間だと考えます。このような異文化ディスカッションを通して、多様な価値観に触れて自身の先入観を問い直し、視野を広げる機会だと思います。今年度は新型コロナウイルスの影響により、対面授業に代わるリアルタイムの Zoom ディスカッション及びオンデマンド型の授業を併せたハイブリッドの形で授業を実施しました。

最初は「英語でどう言えばいいのかがわからない」、「人前で英語で発表するのは無理」など、英語に不安を感じる人が多いと思いますが、英語は話せば話すほど上達するため、次第に英語で自分の考えが伝えられるようになると思います。授業中には間違いに怯えず、自信を持って積極的に英語でディスカッションを進めてみてください！応援しています！

学類長挨拶



宮本　昌子

障害科学類をご案内する本ページへようこそ！ご覧いただき、ありがとうございます。「障害科学」というと、どういう分野なのか、イメージが湧きにくいかもしれません。様々な学問領域の中では比較的新しく、「障害」というものを教育学、心理学、生理学、社会福祉学等を複合させて考える分野です。その土台として特別支援教育（特殊教育）学が歩んだ歴史がありますが、「障害科学」「特別支援教育学」「社会福祉学」の３つのモデルを中心に学ぶことができるよう科目が設置されています。

学生のみなさんは非常に柔軟な発想や思考を携え、大学生活を楽しみに入学されることと思います。「障害」というと、一般的には深刻で辛い側面を思い描かれることが多いと思いますが、日本のように少子高齢化社会を迎えた成熟した社会では、頭を柔らかくし、弱いところだけでなく強みに注目し、逆転の発想で世の中の仕組みを変えたり、問題解決をしたりする人材が必要になるでしょう。そして、この分野の学びには、相手の立場もよく理解できるような資質を持っていることが大変重要です。

障害科学類の４年間では、障害についての知識が深まるとともに、人間を観察する力や、様々な事象を多側面から捉え思考する力が身につくと思います。大学生活においては、健康で思う存分に学び、今しかできない経験を積んでほしいと願っています。

卒業後の進路

障害科学履修モデル

本学には障害科学に関するわが国で最も整備された大学院（人間総合科学学術院）があり、学類卒業後には進学することを勧めています。近年、障害関連職種での専門化が進み、大学院修了資格を有したより専門性の高い人材が求められています。進学以外の進路としても、一般社会での障害者の活躍が進み、そのための支援の充実が広がる中で、障害に関連した種々の職種の中で専門家としての知識・技能の発揮が期待されています。教職課程を履修すれば、教員免許状の取得も可能です。大学院では、学校心理士、臨床発達心理士などの申請資格を取得することが可能です。

特別支援教育学履修モデル

主として特別支援学校及び小・中学校などの特別支援教育担当の教員のほかに、国家公務員、地方公務員に就くことを想定しています。また、本学大学院（人間総合科学学術院）への進学も勧めています。学類と大学院との一貫したカリキュラムの履修により、進学者は専修免許を取得し、より専門性の高い教育者や研究者となることを目指すことができます。



2018 年に訪問した米国オハイオ州立大学での研修の様子。州内の特別支援学校やバリアフリーでアクセシビリティの高い博物館等を見学しました。

卒業生からのメッセージ



黒澤 由子（令和元年度卒業）

私は学部卒業後、国家公務員総合職として法務省矯正局に入省し、現在、霞が関にある法務省で勤務しています。国家公務員総合職とは、キャリア官僚とも呼ばれ、政策の企画立案をしたり、法案の作成や予算編成など国の行政の中枢を担う業務に携わり、中央府省庁の幹部候補として働きます。法務省矯正局は、犯罪や非行をした人を収容し、再犯防止など国民の安全や安心の実現に取り組んでいます。

入省後の３年間は、少年院と鑑別所で教官として勤務しましたが、そこでは障害科学類での学びが大いに活きたと感じています。子どもの非行の背景には、発達障害や、摂食障害などの精神疾患があることも多く、福祉的支援に繋げる必要があることも多いからです。心理学や教育的観点に加えて、福祉的な観点から目の前の子どもと向き合えることは自身の強みになっています。成人犯罪に関しても福祉的ニーズは高く、これまでの罰を与えるという考え方だけでなく、社会復帰後の就労支援など再犯防止が重要だと言われています。

様々な仕事が AI に置き換わり、想像（創造）力や個の人間力、多様性への理解が求められる現代、当事者の生の声を感じながらの障害科学類での学びや障害分野の最新の研究や考え方の理解、多方面で活躍する先生方や素敵な仲間との出会いはきっと将来の大きな財産になるでしょう。

社会福祉学履修モデル

指定された科目を履修することにより、社会福祉士国家試験受験資格を得ることができます。福祉系の国家公務員・地方公務員、社会福祉協議会、障害者・高齢者・児童等の福祉専門職、シルバーサービス関連の一般企業等、福祉の専門性を生かした職種の中で、専門家としての知識・技能を発揮することが期待されています。もちろん、本学の大学院（人間総合科学学術院）への進学も可能です。

資格など

卒業要件以外の「教職科目」や「博物館学」の単位を修得すれば、教員や学芸員の資格が得られます。

取得できる資格

教員免許

高等学校一種免許状（福祉）

特別支援学校教諭一種（視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・病弱）

社会福祉士国家試験受験資格

注)教科「福祉」以外の教員免許と社会福祉士国家試験受験資格とを4年間で同時に取得することは、カリキュラム編成上、原則としてできません。



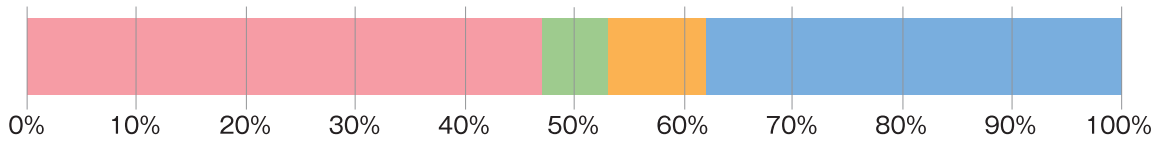
研究会での１コマです。大村美保研究室から。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材		人の障害や障害をめぐる様々な事象についての関心と問題意識、さらには、人間を深く理解しようとする探求心を持ち、自主的に学び、考え、科学的、論理的かつ実践的な問題解決能力を培う意欲のある人材。
入学までに学んでおいてほしいこと		障害科学類では障害に関する様々な学問領域を学ぶ基礎として、英語のほか、文科系、理科系にわたる基礎教科について十分な知識と理解を得ていることが望ましい。
入学者選抜方針	個別学力検査等（前期日程）※	広い基礎学力と外国語に加えて、国語、数学、地理歴史、公民、理科いずれかの学力を総合的に評価します。
	個別学力検査等（後期日程）※	広い基礎学力を評価します。また、論述において、応答性、論理性等を評価します。
	推薦入試	一定のレベル（高等学校の上位 10％以内）の学力を有する者、または筑波大学の個別学力試験等に合格できる程度以上の学力を有する者で、障害科学について明確な目的意識と勉学への意欲を持ち、障害科学類の教育に適応性があるかどうかを評価します。または、障害科学についての問題意識を明確に持ち、それに関連する自主研究や部活動、社会的活動等において優れた実績を有するかどうかを評価します。 そのほかに、外国語能力や問題解決能力等において国際的素養を有し、将来、障害科学の分野において国際的に活躍する資質を十分に有して いるかどうかを評価します。
	国際バカロレア特別入試	障害科学類の学習に関して明確な目的意識と勉学への意欲を持ち、障害科学の領域において国際的視野に基づく活動を志す人材を選抜します。
	外国学校経験者特別入試（第１種）	人の障害や障害をめぐる様々な事象に対する関心と明確な問題意識を持ち、入学後の授業に適応できる理解力・思考力・日本語能力を有する者を選抜します。
	外国学校経験者特別入試（第２種）	海外生活での経験を活かしたグローバルな視点から、人の障害や障害をめぐる様々な事象に対する関心と明確な問題意識を持ち、入学後の授業に適応できる理解力・思考力・日本語能力を有する者を選抜します。

※一部変更する可能性があります。詳細は募集要項でご確認ください。

進路実績　令和４年度



過去 10 年間の卒業生の主な進学・就職先

企業・団体

- りそな銀行
- ソフトバンク
- 株式会社オリエンタルランド、リシュモンジャパン
- 全日本空輸株式会社、東日本旅客鉄道株式会社（JR 東日本）
- PwCコンサルティング、野村総合研究所
- 共同通信社
- パーソルキャリア、パーソルダイバース、LITALICO
- 社会福祉法人東京都社会福祉事業団
- 全国社会福祉協議会
- 各県・市社会福祉協議会
- 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
- 各社会福祉法人・各医療法人　ほか

教 員

- 各県の特別支援教育の教員として多数採用。

公務員

- 法務省国家総合職
- 厚生労働省・各県庁・市役所職員（多くが福祉職）として多数採用
- 保護観察官
- 家庭裁判所調査官　ほか

大学院等

- 筑波大学人間総合科学学術院人間総合科学研究群
- 東京大学大学院教育学研究科
- 京都大学大学院人間・環境学研究科
- 東北大学大学院医学系研究科
- 一橋大学国際・公共政策大学院
- 立命館大学大学院先端総合学術研究科　ほか

生命環境学群

生物学類

School of Life and Environmental Sciences
College of Biological Sciences

https://cbs.biol.tsukuba.ac.jp/

[人材養成目的] 生物界のシステム、生体機能のメカニズム、生命現象の本質、生物学の研究方法及び先端研究の意義を理解し、生物と関わる幅広い学問分野でグローバルに活躍する研究者、教育者、技術者、企業人など、先端科学と社会の接点となる人材を育成します。



菅平高原実験所での野外実習



下田臨海実験センターでの臨海実習

主専攻	分野	主な授業
多様性コース	長い進化の結果地球上には多種多様な生物が存在し、それらが互いに影響し合いながら、地球の自然を構成しています。このコースでは、これら生命体がどのように誕生し、多様化したのか、どのような仕組みで存続しているのかを、生物集団、個体群、個体、細胞、生体高分子などの各レベルでの多様性をベースとして学びます。また、こうした生物の生活と環境が創り出す現象や法則も学ぶことができます。これらを通して生命とは何かを考え、地球市民としての自然観を磨いてもらいたいと思います。	植物系統分類学、動物系統分類学、微生物学、進化遺伝学、植物生態学、動物生態学
情報コース	生物の集団・細胞・生体高分子の各レベルの研究から、構造・機能の多様性と普遍性に関する膨大な情報が蓄積されています。生物学のさらなる発展のためには、これらから有用な情報を抽出し有効利用しなくてはなりません。本コースでは、コンピュータの高度利用を前提として行われる先端的生物学研究の方法論を習得することを目標としながら、その基礎となる数理・情報科学の各種手法に対する理解も深めます。昨今コンピュータに秀でた生物学専門家の需要が高まっており、本コース修了者はこうした需要に応えうる人材となることが期待されます。	プログラミング、数理生物学、生物多様性情報学、分子進化学、ゲノム生物学、生物物理学
分子細胞コース	生物の体の成り立ちや自然に適応する仕組みは大変見事で、私たちを驚嘆させます。どのようにして生命活動が成り立ち、生物個体が形成され、機能しているのでしょうか。また、生物が自分と同じ子孫をつくりつつも、一方で長い年月の間に進化していくのはどうして可能なのでしょうか。そのような生命の基本的なしくみを理解することを目指して、遺伝子やタンパク質、細胞の機能に関して学習するのが「分子細胞コース」です。さらに、そこで得られた知識の発展として、基礎研究や人間社会に貢献するテクノロジーについても学びます。	細胞生物学、発生生物学、植物生理学、動物生理学、代謝生理化学、生殖生物学
応用生物コース	生体が作り出す様々な機能分子とそれらを使ったダイナミックな代謝が生命を支えます。また、様々な環境で暮らす生物は、生存のために必要な多様な機能を備えています。「応用生物コース」では、生命現象を主に生化学的に解析することを通して、生命を支える分子の機能やその化学的制御機構に関する基礎知識を学ぶとともに、生物が備える生理・生態的機能についても学習します。生物の有用機能の開発・利用技術を学び、さらにこれらを応用することで、人類の直面している諸問題解決への貢献を目指します。	生物化学、生物活性化学、生体機能分子学、機能微生物学、動物制御学、植物バイオテクノロジー
人間生物コース	人間は我々にとって最も身近で複雑な生き物です。「人間生物コース」では、一つの生物種としてのヒトに的を絞り、人間を制御する基本原理や法則を学びます。このコースの一部の授業は医学群や体育専門学群の教員によって行われますが、学習の目的はヒトを生物学的に理解することにあり、医学や医療科学の立場とは異なります。	人間生物学、神経解剖学、免疫生物学、寄生生物学、細菌学、ウイルス学、放射線生物学、人類学
GloBE (Global Biology in English) コース	今や生物学に関わる諸問題の解決には、国際協働チームの活躍が必要です。本コースでは、生物学の多様な分野を横断的に学び、国際的に活躍するために必要な英語によるコミュニケーション能力や考察力などを身につけることを目指します。専門分野や文化の垣根を越え、多様な研究者と協力することで、未解決な問題に挑戦できます。さらに、世界中の様々なフィールドを対象とした研究や生物試料の採集から、生物学の新発見なども期待できます。将来の生物学の旗手として必要な、広い視野と国際的感覚を身につけてください。	Plant Taxonomy I、Plant Physiology I、Genome Biology I、Vertebrate Evolution、Molecular Evolution I、Cell Biology III、Developmental Biology II

上記のコースは 2024 年度現在のものです。コースは再編成される場合があります。

生物学類パンフレットの請求方法

●学類のWeb ページ（https://cbs.biol.tsukuba.ac.jp/）でもパンフレットのPDF ファイルを見ることができます。
●テレメールによる請求もできます（p.167　資料請求番号は561290）

専門として学べる内容

2年次から、多様性コース、情報コース、分子細胞コース、応用生物コース、人間生物コース、GloBE(Global Biology in English)コースの6つのコースに分かれます。一部の授業を除けばどのコースの授業もほぼ自由に履修できます。

カリキュラム

生物学とは「生物及び生命現象を研究する科学」です。生物学では、DNAのようなミクロなものから生物群集といったマクロなものまで、その対象はさまざまであり、生理学、生態学など、アプローチの仕方もいろいろあります。しかし、その根底に「いきもの」があるという点でどれも共通しており、生物学を学ぶならばどんな分野であっても生きている生物そのものを見ることを忘れてはいけません。そのため、実験や実習においてさまざまな生物に直に触れ、その生物の生きている姿を見ることはとても大切です。また対象とする生物について、さまざまな面から考えることが必要であり、基礎生物学を中心に、将来自分が専門とする分野以外についても学ぶ必要があります。筑波大学生物学類には、これらを実現するための環境が整っています。

特長

1年次から生物学を学べるカリキュラム

1年次では必修の講義（概論6科目：系統分類・進化学、分子細胞生物学、遺伝学、生態学、動物生理学、植物生理学）と基礎生物学実験があります。これにより生物学の基礎を身に付けるとともに生物学の本当の面白さを再発見し、専攻分野をしぼっていくきっかけをつかむことができるでしょう。

6つのコースからなるユニークなカリキュラム

生物学類は、多様性コース、情報コース、分子細胞コース、応用生物コース、人間生物コース、GloBEコースの6つのコースを設けています。1年次で自然科学及び生物学全般にわたる基礎的知識と技術を学び、2年次から学生の希望によりいずれかのコースを選択して専門科目の履修を始めます（人間生物コースには人数制限があります）。これらのコースにおいて開講されている各授業科目は、基本的に講義と実験から構成されています。また充実した設備をもつ下田臨海実験センターや菅平高原実験所などを利用したさまざまな野外実習も開講されています。さらに、通常の授業科目ではカバーしきれない、魅力ある個別的なテーマを取り上げた生物学の特講も多数開講されています。3年次後半には特定のテーマに関して多数の論文を読んで知識を深める生物学演習を行い、4年次の卒業研究へと発展させます。教員や大学院生とともに過ごす研究室での生活やセミナーを通じて議論の仕方や論文の読み方を修得し、生物学の研究方法を身につける卒業研究によって、生物学の本当のおもしろさを知ることができます。

世界にはばたくための英語教育

生物学に関する論文や専門書のほとんどは英語で書かれており、英語は必要不可欠なスキルです。そのため、生物学類では4年間一貫して英語の授業が必修となっています。特に、3年次では少人数（1人の教員に4〜8人の学生）で授業を行うため、きめ細かい指導が受けられます。1〜3年次に、生物学類専属の外国人教員が担当する授業があり、聞き取る力や話す力を強化します。

英語プログラム

生命環境学群では、外国人留学生に英語で授業を提供する学際プログラムを行っています。生物学類では日本人学生も一緒に30科目以上の授業を受けることにより、専門性と同時に国際性も身につけることができます。

豊富な実験・実習

実験・実習が数多く開設されており、1年次の基礎生物学実験から4年次の卒業研究まで、4年間を通じて実験・実習に参加できます。また野外実習は、下田臨海実験センター、菅平高原実験所、長野県八ヶ岳などで行われ、自然の中で本物の生物に触れながら学習できます。

充実した基礎生物学

系統分類学・生態学など基礎生物学分野（特に生物多様性分野）が充実しており、これらに関する講義や実験・実習が数多く開設されています。またゲノム生物学など、近年目覚ましく発展している先端分野も充実しています。


基礎生物学実験

多様な生物学分野

応用生物化学・農林学・医学・体育学を専門とする教員も授業を担当しており、農学や医学との境界領域など、幅広い生物学分野を学べます。

早期卒業制度

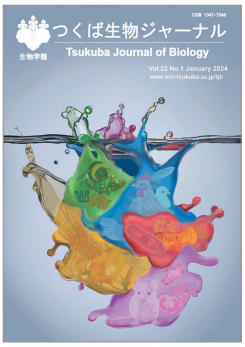
3年間以上在学すれば、希望によって早期に卒業できる制度があります。もちろん卒業に必要な規定単位数を優秀な成績で取得していることが前提です。1年次からしっかり学習計画を立てて勉学に励むことが求められます。

研究マインド応援プログラム

学習・研究に対する意欲と能力により選ばれた1～3年生は、教員と大学院生のサポートのもと、希望する研究室で独自の研究テーマを追究できます。

国際交流

生物学類では国際交流委員会を組織し、学類レベルでの国際交流を推進しています。特に1999年に国際的にも著名な英国のマンチェスター大学生物科学部と学部間交換学生協定を結び、毎年3名の学類生を1年間マンチェスター大学に派遣し、またマンチェスター大学からの留学生を受け入れています。この留学制度には、大学の入学金と授業料が免除される、大学の学生寮に居住できる、単位措置によって休学の必要がない、などの様々な特典があります。また米国のカリフォルニア大学、パデュー大学など、筑波大学が大学間交流協定を結んでいる多くの大学への留学を奨励するとともに、積極的な支援を行っています。



生物学類発行の
オンラインジャーナル
(https://www.biol.tsukuba.ac.jp/tjb)
教員や先輩からのメッセージ、
研究紹介などが掲載されています。

卒業生からのメッセージ


生態学実習で木登りに挑戦

おいでよ　せいぶつの森　　遠藤　愛

筑波大学を志望した理由は、緑豊かで生物の多いキャンパスであることと、教職課程が充実していることでした。今振り返って見ても、当時のこの判断は正解でした。

毎日、ヒキガエルの鳴く池の脇を抜けてキャンパスへ通いました。生理学の実験は、まず解剖する為のミミズを採集することから始まりました。土の中でくねっていたミミズから、教科書にある記述が再現されるのが、面白く不思議でした。卒業研究も、ウニの採集から始まりました。発生させた多くの命を犠牲にデータを得てゆく、生物学の過程を知りました。また、学生生活では生物を愛する奇矯な友人達に恵まれました。学内で採集したキノコや木の実を調理して食べたのも、決して勧めませんが、とても楽しいものでした。振り返ると、学生生活はプライベートまでみっちりと生物で満ちていました。

一方で、教員免許取得を目指す友人達と学んだ、教職課程も充実した日々でした。ハードな時間割でしたが、地球学や教育学など、一味違う学問を学べました。生物学類でインプットを深めつつ、教職ではアウトプットを議論できたのは貴重な経験でした。筑波大学は東京師範学校を前身とするため、付属校での教育実習などサポートが充実しています。本気で教員を目指す人にとっても、納得のいく教職課程を過ごせるはずです。

私は教員志望で入学しましたが、本当にやりたいことは多くの人に科学の楽しさを伝えることだと就活を前に気づきました。そうして現在は出版社で科学教材の編集に携わっています。仕事では科学の魅力を、どうパッケージすれば人々に届けられるかを日々考えています。生物や教職の知識はもちろん、何よりも自分自身が科学の楽しさを体験して知っている、ということが力になっています。そういう意味では、つくばでの生物で満ちた日々が仕事の原点と言えます。

皆さんが、生物でみっちりと満ちた日々を楽しんでいただけることを願っています。

学類長からのメッセージ



生物学類へようこそ
生物学類長　中野 賢太郎

生物学は実に不思議な学問です。生命の基本原理について宇宙や物質の根源を調べるように追求する生物学もあれば、自然界における生命の多様性と成り立ちを網羅するのを目指す生物学もあります。また生物学を学ぶ目的も、地球史や地球環境との生命の関わりの理解や、ヒトの生理や思考を解明したり、人間社会に役立つために医学や生物資源学（農学）あるいはバイオミミクリー（工学）などに関連する生命科学技術の開発だったりと様々です。しかし、これらが相互に結びつくと、より豊かな成果が期待できます。例えば、ナチュラルヒストリーに長じた人材が農業や工業分野で活躍すれば、自然と共存する持続型社会の実現に貢献できるでしょう。また生物学の守備範囲をはみ出しますが、脳科学に秀でた人物による料理など、どんな味わいになるのか期待できそうです。

専門性を極めることは大切ですが、生物の進化と絶滅の歴史がそうであったように、特化しすぎることは環境の変化への適応力を失うことになりかねません。大学では専門性と同時に、多様な問題に取り組めるよう、柔軟な思考法の修得についても気にかけてみてはいかがでしょうか。生物学はそのために最適な学問の一つです。

資格など

卒業要件以外の「教職科目」や「博物館学」の単位を修得すれば、教員や学芸員の資格が得られます。

取得できる資格

教員免許

中学校一種免許状（理科）

高等学校一種免許状（理科）

社会教育主事、学芸員、司書教諭

卒業後の進路

各コースは相互に補いあい、関連性のある教育を行えるように配慮され、生物学の発展を推進する人材はもとより、生物学を基礎として他の諸科学との学際的領域で活躍し得る人材の養成を目指しています。本学類では卒業生の約8割が生命地球科学研究群等の大学院に進学します。その後、生物学の幅広い学問分野の研究者・教育者、企業人、理科教員、先端科学と社会の接点となる人材として活躍しています。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材		生き物や生物学が好きで、自然科学と語学の基礎学力をもち、広範で多様な生命現象に対して強い好奇心と探究心をもつ、創造的能力が豊かな人材。
入学までに学んでおいてほしいこと		高等学校の生物の内容を十分に理解していること。また、授業は英語で行われることもあるため、十分な英語の読み書き会話の能力を有していること。さらに、ホームページや電子メール等からの情報の取得、パソコンを用いた文章・表作成などが必要となるため、それらの操作に習熟していること。
入学者選抜方針	個別学力検査等（前期日程）	文科系・理科系にわたる全般的な基礎学力、高い語学力、自然科学系科目の高度な理解力、高度な思考力、そしてその応用力を総合的に評価します。
	個別学力検査等（後期日程）	文科系・理科系にわたる全般的な基礎学力、高い語学力、生物界や生き物の仕組みに対する広い興味と高い学習意欲、高度な思考力、そして理解力を総合的に評価します。
	推薦入試	高等学校における学習及び課外活動の成果やそれらを通じて培われた生物界や生き物の仕組みに対する広い興味と理解度、そしてそれらを学ぶ意欲、さらには人間性も含めて総合的に評価します。
	AC入試	生物界や生き物の仕組みに対する強い興味を持ち、自ら設定したテーマに関してユニークな研究をし、その結果を分析して、独善的な考えに陥ることなく、科学的及び論理的にレポートにまとめ、それを具体的に発表する能力を評価します。
	国際バカロレア特別入試	国際バカロレア資格を取得した者を対象として、生物界や生き物の仕組みに対する広い興味と理解度、それらを主体的に学ぶための知識や思考力、明確な目標を持って学ぶ意欲、さらには語学力を含めたコミュニケーション能力を重視して、総合的に評価します。
	外国学校経験者特別入試（第1種）	外国学校での修学を通じて得た視点や思考法、生物界や生き物の仕組みに対する広い興味と学習意欲、生物学類の授業を理解するために必要な基礎学力及び日本語能力等を総合的に評価します。
	外国学校経験者特別入試（第2種）	海外生活での経験を活かしたグローバルな視点から生命現象をとらえ、生き物の多様性や生きる仕組みに関する広い興味をベースに優れた思考力や理解力を発揮できる能力を評価します。併せて、生物学類の授業を理解するために必要な基礎学力及び日本語能力等を総合的に評価します。
	編入学試験	生物界や生き物の仕組みに対する広い興味と高い学習意欲、高い語学力、専門的な生物学教育を受容できる基礎的な学力、高度な思考力と理解力を総合的に評価します。
学群英語コース特別入試		(1) 求める人材 人間を含む多様な生物の生命現象・地球環境・生物資源の持続的活用等に関わる諸問題に対して学問的な関心を示し、多様な観点から事象を分析できる応用力を備えた人材を求めています。 (2) 入学者選抜方針 高い英語力・専門分野の知識を習得するための基礎学力とともに、生命環境科学分野の諸問題に対する独自の視点と分析力を、提出書類及び個別面接により総合的に評価します。
学群英語コース特別入試（編入学）		(1) 求める人材 人間を含む多様な生物の生命現象・地球環境・生物資源の持続的活用等に関わる諸問題に対して学問的な関心を示し、多様な観点から事象を分析できる応用力を備えた人材を求めています。 (2) 入学者選抜方針 高い英語力・専門分野の知識を習得するための基礎学力とともに、生命環境科学分野の諸問題に対する独自の視点と分析力を、提出書類及び個別面接により総合的に評価します。

生命環境学群

生物資源学類

School of Life and Environmental Sciences
College of Agro-Biological Resource Sciences

https://www.bres.tsukuba.ac.jp/

[人材養成目的] 生物資源学類は、人類の生存と安全で豊かな生活の基盤である生物資源に関する総合的学習を通じ、地域的かつ地球的視野で、食料の安定供給ならびに環境と調和した生物資源の持続的な開発・保全利用に貢献できる人材を育成します。



学生実験



森林での実習

「生物資源学（農学）」とは何でしょうか？日本学術会議は、「食料や生活資材、環境を対象として、① 生物資源の探索・開発・利用・保全、② 農林水産分野の生産基盤システムの高度化、③ 農林水産分野の多面的機能の保全・利用、を目的とする基礎と応用からなる生命科学系の総合科学である」と定義しています。「総合科学」というからには、それを支えるための幅広い基礎を身につける必要があります。また解決すべき問題を見いだし、基礎と連携した専門的な手法を用いてそれらに対処する応用力も獲得しなければなりません。農学が扱う課題には、「ローカル性」と「グローバル性」の両面があります。気候や地域などによって生産性や収穫物が異なるため、農学はこのローカルな視点を大切にします。一方、世界的な環境問題や食料難など、地球規模の課題も数多くあり、ここで求められるのはグローバルな視点です。このように、生命・食料・環境に関連するローカル/グローバルな課題を解決するのが「生物資源学」です。

私たちは皆さんを「幅広い視野と基礎知識を持ち、課題解決に貢献できる専門性」を持った人材へと育成したいと考えています。

学 年	コース・研究室決定のスケジュール	履修スケジュール
1年次	クラスに所属します。クラス担任などから履修・進路選択についてのアドバイスを受けます。	必修科目の「生物資源科学演習」選択必修科目の「生物資源学にみる食品科学・技術の最前線」「生物資源の開発・生産と持続利用」「生物資源と環境」「生物資源としての遺伝子とゲノム」など多様な専門基礎科目の修得によって生物資源利用に係る課題解決のための幅広い能力をもつ専門家としての基礎を築きます。
2年次	1年次と同じクラスに所属します。2年次末にコースの選択を行います。（農林生物学・応用生命化学・環境工学・社会経済学の4コース）	各コースが開設する専門科目Ⅰを履修することで、専門のための手法を身につけます。希望コースの科目を中心に履修を組み立てていきますが、異なるコースの専門科目や横断領域科目を修めることで幅広い知識を身につけることができます。総合学域群からの移行学生も既存のクラスに編入され、同じカリキュラムで学んでいきます。
3年次	所属コースごとのクラス編成となります。後半には指導教員の仮決定を行います。	コース開設の専門科目Ⅱの履修を行います。これにより卒業研究など専門的学術研究を行う上での知識・技能を確立します。3つの横断領域科目の履修を行うことにより、コースの専門性にとらわれない学際的な知識を養うこともできます。
4年次	指導教員のもとで卒業研究を行います。	指導教員によるマンツーマンの指導のもとで卒業研究を行い、問題解決を目指す道筋の立て方を学ぶとともに、研究手法や高度な専門知識・技術を修得します。また、専門科目Ⅱ・横断領域科目の履修を引き続き行います。

生物資源学類パンフレットの請求方法

●https://www.bres.tsukuba.ac.jp/ からダウンロードできます。
●テレメールによる請求もできます（p.167　資料請求番号は561530）

専門として学べる内容

学生は1・2年次に基礎を学んだ上で、3年次からは手法に基づく4つのコースの中の1つに所属し、専門的な研究をしていきます。これらの専門科目には、講義のみならず実験・実習・演習科目が含まれ、専門的な技能・研究能力を身につけることができます。

また各コースが開設する専門科目以外に、食料・環境・国際の3領域に関する横断領域科目が用意されており、問題解決を意識した学修・研究を進めることもできます。

こうしたコースや領域で用意した科目に加えて、他学群・他学類の科目も含めた多くの授業の中から、学生は自分自身で授業を選び、カリキュラムを組み立てていきます。

3つの横断領域科目

●食料領域科目群：人類の生存にとって欠くことのできない食料に関わる科目群
●環境領域科目群：身のまわりの環境から地球環境まで、生物資源に関係する環境問題に関わる科目群
●国際領域科目群：開発途上国の農林業生産や農村問題に関わる科目群

各コースの内容・特色

農林生物学コース

生物学および生命科学を基礎として、生物資源とそれを取り巻く環境資源の多様性を分子、個体、集団および生態系のレベルで究明し、食料の持続的生産や生産環境と生態系の持続的保全管理と利活用に役立つ理論と技術を習得した人材を育成します。

取り組む研究領域

持続可能な農林業　　新規生物資源の産業利用
生物多様性の保全

応用生命化学コース

4 つのサブコースに分かれ、化学および生命科学を基礎として、生物の機能を個体から細胞・遺伝子・分子のレベルで究明し、医療、食品、農業、環境等の分野で活躍する人材の育成を目標としています。

取り組む研究領域

生物化学工学　　バイオサイエンス
微生物　　生物環境化学

環境工学コース

工学的な視点から食料問題や環境問題の解決に取り組みます。生物資源の基盤である山・水・農地の利用と管理、生態環境の保全と修復、生物資源の循環利用について学びながら、広い視野に立って合理的に問題を解決できる人材を育成します。

取り組む研究領域

水・土・緑　　食料・バイオエネルギー
環境とその管理　　森林資源材料

社会経済学コース

農業経済学と林業経済学の 2 つの学問領域から構成され、社会学と経済学を基礎に、農地や森林・林地の管理、さらに食料や林産物の生産・流通・消費とそれを担う人や企業について学び、農林業に関する社会や国際関係のあり方、環境保全、国際協力について考究します。

取り組む研究領域

農業経済学　　林業経済学

注記　コースの選択は学生の希望を優先しますが、各コースの定員の上限は60名（1学年の人数の約半数に相当）です。各コースの希望者数が上限を超えた場合は、2年次までの成績で振り分けを行います。

教育の特長

教育のグローバル展開

生物資源学類は、国際化拠点整備事業として開設された、英語で授業を行う「生命環境学際プログラム」を実施し、外国人留学生を受け入れています。また、タイ王国カセサート大学、アメリカ合衆国ユタ州立大学、フランス共和国ボルドー大学、国立台湾大学と単位互換可能な相互留学制度（4 ～ 12 ヶ月間）を実施するなど、国際的視野を養う授業が豊富で、希望によりこれらの授業を履修することが可能です。

特色あるインターンシップ科目

生物資源学類には、海外の協定校での実地体験やJICA筑波国際センターでの研修を単位として認定する「国際農業研修」、食・みどり環境の活動や研究所・工場体験に参加する「食と緑のインターンシップ（農林生物学・環境工学）」など、大学で学んだ専門知識や技術の社会での適用を試みる特色あるインターンシップ科目があります。

学類長からのメッセージ



生物資源学類長
内海　真生

生物資源学類を志す皆さんへ

2023 年 11 月、世界人口が 80 億人を超えたと国連から発表がありました。人間も他の動物と同様に、生きていくためには食べ物と水、そして生活できる環境が必要です。今後も人口は増えていくことから、食料の問題を考えなければなりません。その他、気候変動に伴う環境変化、環境維持・保全の問題にも直面しています。これらの課題解決に取り組み、持続可能な社会を構築していくためには生物資源学の考え方が必要で、農学や森林科学、応用生命化学、環境工学、社会経済学などの分野からの多面的なアプローチが求められています。生物資源学類では、動植物から微生物に至るまでの多様な生物資源を理解し、地球規模から分子レベルの課題まで、広い視野と高い専門性を持って取り組むことができる人材の育成を目指しています。そのために、幅広い分野の授業に加え、野外や農場での演習・実習、室内実験、海外インターンシップなど多くの科目を開講しています。また、学類に在籍する留学生が多く、留学する学生も多い国際的な学類です。

本学類で皆さんが楽しく学び、社会に貢献できるような人材に育っていくことを期待しています。教職員一同、皆さんのご入学をお待ちしています。

先輩からのメッセージ

農林生物学コース　大野 翔平

私は子どもの頃から自然が好きで、高校時代は生物、とくに生態学に興味がありました。そこで私は、幅広く自然科学について学ぶことができる生物資源学類を志望しました。実際に 1・2 年生の授業では、農学に関する多様な学問分野を幅広く学ぶことができました。私はいろいろな講義や実験・実習を履修しましたが、とくに 2 年生で受けた「生態学」の講義に出てくる先生が面白く印象的でした。そこで私は植物の生態を学ぶ楽しさを改めて感じ、3 年生になってその先生の研究室がある農林生物学コースを選びました。

私は卒業研究で、茅場（茅葺き屋根の材料であるカヤを採集する草地）に生育する希少植物について、外来種の侵入に対してどのような生存戦略をとっているのかを研究しています。世界の共通目標であるネイチャーポジティブを実践するためには、いま目の前で起きている生物多様性の課題に対する具体的な行動が必要です。私は研究を通して生物多様性の損失を食い止め、地域の豊かな自然を次の世代につなげたいと考えています。

私が最も大事にしてほしいと思うことは「何か一つのことに根気強く向き合う」ということです。この何かは学問に関わらず、自分が大切だと思うことなら何でもよいと思います。そして、最終的に「これだけは」と言えるものがあれば、その経験は社会に出て独立するときに、自分自身を肯定的に支えるアイデンティティになると思います。皆さんが生物資源学類で心惹かれるもの見つけ、充実した資源ライフを送ることができることを期待しています。

環境工学コース　佐野 倫子

当初の私ははっきりと何を学びたいかが決まっていなかったのですが、ぼんやりと「食」に興味があったことから、最初から専門を決めず、且つ食に関する知識を学べる場所として筑波大学生物資源学類への進学を決めました。1・2 年次は、生物資源学類の幅広い授業を受講することで、様々なアプローチで食に関わることができるということを学びました。そして、これらの学びを通して私は工学的な視点から食にアプローチする学問を追求したいと考え、環境工学コースを選択しました。

卒業研究では、マグロの美味しさを蛍光という光を用いることで簡易に推定する手法の開発を行っていました。マグロを最も美味しいタイミングで食べるには、鮮度と熟成のバランスを知ることが重要とされています。熟練の職人さんはこのバランスを五感によって判断していますが、残念ながら素人には難しい問題です。私はこの手法の開発により、誰もが職人の力を手に入れることができる可能性に魅力を感じたため、この研究を始めました。研究を行う過程では、工学的な知識はもちろんのこと、生化学等の工学とは離れた知識もフル活用して研究を行いました。それまでに勉強してきた幅広い知識が活かされた瞬間であり、幅広い知識によって得られる広い視野により、様々な可能性を検討する重要性を学びました。

広い視野は困難にぶつかった際に、私たちにあらゆる解決策を提示してくれます。生物資源は、私にとって正に広い視野を提供してくれた場所でした。是非、皆さんも 4 年間で自分の視野を存分に広げてみてください。

応用生命化学コース　野村 結南

私は、地球温暖化による気候変動が引き起こす問題、とりわけ食料不足の問題に興味があり、農学について幅広く学ぶことができる生物資源学類への入学を志しました。

幅広い分野の授業や実習を受けていく中で特に興味を持ったのは、微生物の分野です。目に見えないほど小さな微生物が、温暖化などの地球規模の問題を解決する可能性を秘めていることに魅力を感じました。そこで、微生物について深く学ぶことができる応用生命化学コースを選択しました。

卒業研究では、マメ科植物と根粒菌が共生関係を築く際に、植物の根の周り (根圏) に存在する微生物が果たす役割について研究しています。根粒菌は、マメ科植物の根に根粒を形成し、大気中の窒素を固定して宿主植物に供給することで、宿主植物の生育を促進します。今までは宿主植物と根粒菌の 1：1 の相互作用が研究されてきましたが、根圏に存在する微生物がこの共生を促進する可能性があることがわかってきました。窒素固定を通して土壌の劣化を抑制し、植物生育を促進できる根粒菌がより効果を発揮できるようになれば、作物の収量増加や土壌の肥沃化といったように食料不足の問題解決に 1 歩近づくと考えています。

生物資源学類では、農学に関する非常に幅広い分野について学ぶことができます。すでにやりたいことがある人も、まだやりたいことが漠然としている人も、新たな分野に出会うことができるかもしれません。ぜひ、積極的に様々な分野に触れて、自分の手で学んでいくことの楽しさを味わってください。

社会経済学コース　松田 莉緒

世界には十分な食事をとれず飢餓に苦しむ方がたくさんいる一方で、食料を大量廃棄するフードロス問題が顕在します。この世の中のアンバランスさにいつしか疑問を抱いた私は、人々の意識や選択行動を変えることで、よりよい食の流通や豊かな食生活をもたらしたいと考え、生物資源学類の社会経済学コースに進学しました。

生物資源学類には 4 つの分野があるように、学生たちの志は様々で、会話を重ねるごとに新しい視点や刺激をもらうことができます。そのような環境下にいることで、「人助け」という視点で学習に励んできた私も、「地球への影響」というもう一つの課題も隣り合わせで考えていく必要があることに気づかされました。

私は現在、代替タンパク質の消費者選好分析をテーマに研究に取り組んでいます。世界的なタンパク質欠乏と、家畜が与える環境負荷が問題視されている今、人類が地球環境を守りながら、タンパク質という必要不可欠な栄養素を持続的に等しく摂取していくための鍵となるこのテーマは、環境と開発 (栄養改善) の両者に貢献したかった私にとって非常に魅力的なものでした。

やる気はあるけど、やりたいことがわからない、そんな漠然とした思いを抱えている人もきっといると思います。私もその 1 人でした。筑波大学なら、生物資源学類なら、それが何だったのか、必ずわかるときが来ると思います。皆様が夢中になれるものに出会い、なりたい自分になれることを心から願っております。

資格など

卒業要件以外の「教職科目」や「博物館学」の単位を修得すれば、教員や学芸員の資格が得られます。

取得できる資格

教員免許

中学校一種免許状（理科・技術）

高等学校一種免許状（理科・農業）

測量士補、樹木医補、自然再生士補、社会教育主事、学芸員、司書、司書教諭

卒業後の進路

卒業生は民間企業や官公庁などに就職し、国内外で広く活躍しています。特に公務員試験では全学の中でも多くの合格者を出しています。大学院への進学者は7割に及び、多くは筑波大学大学院　理工情報生命学術院　生命地球科学研究群　生物資源科学学位プログラムに進学します。



国立台湾大学と京都大学との遠隔合同授業

生物資源学類の財産＝多様な学生

生物資源学類の一つの大きな財産は、その学問範囲の広さを反映して、多様な学問的興味をもった学生が集うことです。生物資源利用の課題を発見・理解する「生物資源科学演習」をはじめとするカリキュラムを通して、留学生を含む多くの学生と議論する機会が生まれます。この際に互いの学問的興味の多様性や相違に触れることができます。このようにして1、2年次の間に形成される人的ネットワークは、コース進級後の研究活動や卒業後のキャリア形成に活かすことができます。また先輩・後輩とのつながりも深く、学生間で交流する機会が多いので、国際的な幅広いネットワークを形成することができます。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材		生物資源、農業、環境保全に関心が強く、広範な学問を学ぶことのできる柔軟な思考力を持ち、問題解決に意欲のある人材を望んでいます。
入学までに学んでおいてほしいこと		数学、生物、物理、化学についての基礎的な知識と理解、さらには応用する能力および語学力を備えていることが望ましい。
入学者選抜方針	個別学力検査等（前期日程）	全般的な基礎学力と語学力に加え、生物資源に関連する学問を学ぶのに必要な理解力・思考力・応用力を総合的に評価します。
	個別学力検査等（後期日程）	全般的な基礎学力と語学力に加え、生物資源に関する理解度や学習意欲、論理的に表現する能力を総合的に評価して選抜します。
	推薦入試	高等学校において優秀な成績を修め、あるいは課外活動などで優れた実績を有し、生物資源に関する学習意欲や適性、論理的表現力ならびに基礎学力と語学力を総合的に評価して選抜します。 ＊専門高校・総合学科特別入試枠を含みます。
	国際バカロレア特別入試	生物資源に関する学問分野について主体的に目標をもって学ぶための知識、思考力に加えて、語学力を含めたコミュニケーション能力などを重視して人材を選抜します。
	外国学校経験者特別入試（第1種）	人類の生存と安全で豊かな生活の基盤である生物資源に興味を持ち、日本語で授業を理解するために必要な基礎学力等を有する人材を、生物資源に関する理解度や学習意欲、論理的に表現する能力の観点から総合的に評価して選抜します。
	編入学試験	基礎科目・専門科目に関する学力や語学力に加え、生物資源に関する理解度や学習意欲、論理的に表現する能力を総合的に評価して、本学類で発展できる人材を選抜します。原則として、３年次への編入学ですが、場合によっては２年次への編入学となることもあります。
	私費外国人留学生 Japan-Expert（学士）プログラム特別入試	人類の生存と安全で豊かな生活の基盤である生物資源に興味を持ち、日本の農林業研究・技術に関心がある、及び日本の農林業研究・技術を活用し、将来、国内外の農林業に関する研究機関や企業等でアグロノミストとして貢献したい、などの動機や日本語での学習能力、社会的適応性について総合的に評価します。
学群英語コース特別入試		(1) 求める人材 人間を含む多様な生物の生命現象・地球環境・生物資源の持続的活用等に関わる諸問題に対して学問的な関心を示し、多様な観点から事象を分析できる応用力を備えた人材を求めています。 (2) 入学者選抜方針 高い英語力・専門分野の知識を習得するための基礎学力とともに、生命環境科学分野の諸問題に対する独自の視点と分析力を、提出書類及び個別面接により総合的に評価します。
学群英語コース特別入試（編入学）		(1) 求める人材 人間を含む多様な生物の生命現象・地球環境・生物資源の持続的活用等に関わる諸問題に対して学問的な関心を示し、多様な観点から事象を分析できる応用力を備えた人材を求めています。 (2) 入学者選抜方針 高い英語力・専門分野の知識を習得するための基礎学力とともに、生命環境科学分野の諸問題に対する独自の視点と分析力を、提出書類及び個別面接により総合的に評価します。



生物機械工学実習

生命環境学群

地球学類

School of Life and Environmental Sciences
College of Geoscience

https://www.earth.tsukuba.ac.jp/

[人材養成目的] 地球の誕生から現在に至る地球の進化、大気圏・水圏・岩石圏で起こる様々な現象とそのプロセス、そして地球環境を舞台に展開される人間活動についての総合的な知識と思考力を有する、社会の諸分野で国際的な視野に立って活躍できる人材を養成します。

地球は46億年の歴史をもつ、水や生物に満ちあふれた惑星です。近年、人間の居住空間としての地球環境を破壊することなく持続的に利用することが社会的に強く求められています。そのためには、地球の進化過程を明らかにするとともに地球環境の動態と人間システムとのつながりを正しく理解し、その未来を予測する学問が必要です。それが地球学であり、地球ダイナミクスを多角的な観点から明らかにし、様々な社会的要請に応える使命をもっています。

教育内容・カリキュラム

地球学が対象とする課題は、顕微鏡下の世界から地球規模の事象、秒以下の単位から億年の単位まで時空間スケールが幅広く、自然現象の解明から災害や環境問題の追究、人間社会の未来予測に至るまで多様です。また、それらの課題に取り組む手法も野外調査や室内実験、数値計算、文献研究など多岐にわたります。

地球学類では、多様な課題に対応できる幅広い知識と高い専門性を両立させるため、段階的に専門化するカリキュラムを組んでいます。また、高度な専門教育・研究のために、現在の地球環境について探究する「地球環境学主専攻」と、地球の変遷史について探究する「地球進化学主専攻」の二つの主専攻を設けています。



国際野外実験（オーストリア）



野外実験（西彼杵半島）

	カリキュラムの特徴
1年次	自然科学を中心に人文・社会科学を含む学問全般に関する基礎的知識を習得するとともに、地球学に関する専門導入科目の履修により、2年次以降に必要な基礎的な能力を身につけます。
2年次	地球学入門を意図した専門科目とともに、地球学に必要な数学、物理学、化学、英語などを学ぶことで、計算・資料整理・発表等にかかわるコンピュータや実験機器の利用能力を高めます。さらに、英文の読解能力や英語コミュニケーション能力を修得するための専門英語を受講します。
3年次	主専攻に分かれ、専門科目を中心に履修します。講義、セミナー、室内実験、野外実験で構成された専門科目を受講することで、専門知識を深めます。また、現地での観察・測定・資料収集を通して、フィールドの様々な課題を考察する野外実験を数多く開講しており、野外調査と室内作業を行う能力を修得します。また、主専攻の他に生命環境学際主専攻(留学生コース)を含めた副専攻を選択することができます。
4年次	卒業研究が中心となり、教員や大学院生と議論をしながら調査・実験を進めることで、研究の企画・遂行・総括能力や研究成果の内容を第三者に的確に伝達する能力を高めていきます。

地球学類パンフレットの請求方法

●https://www.earth.tsukuba.ac.jp/ でパンフレットのPDF ファイルを見ることができます。
●テレメールによる請求もできます（p.167　資料請求番号は583310）

各主専攻の内容・特色

地球環境学主専攻

現在の地球における大気、水、地形などの自然現象と、そこを舞台に展開する人間活動の特性を多角的に探究

人文地理学
地表面における人間活動の地域的特質を自然環境のかかわりも含めて総合的・系統的に研究

地誌学
都市地域や湿潤熱帯地域など居住環境の違いに着目しつつ，人間環境システムを地域論的な観点から解明

地形学
風化・侵食・運搬・堆積の諸過程によって変化する地形を基礎的・応用的に研究

水文科学
自然界における水の循環とその物理的・化学的・生物学的プロセスを総合的に研究

大気科学
気象学で扱われる局地循環や天気予報技術から気候変動や地球温暖化まで，大気現象を幅広く研究

環境動態解析学
水・物質動態の解析を通して、動的な自然環境の理解を深め、人間活動による変化の解明を目指す

主な卒業研究

●北陸地方における都市群の近接性の変化と要因分析
●ミュージシャンの街下北沢の地域特性－ライブハウスとバンドに注目して－
●群馬県前橋市における一般廃棄物処理の空間構造
●温泉地における新たなツーリズム形態－山形県銀山温泉を事例に－
●広島豪雨における表層崩壊の発生条件
●木曽山脈の森林限界移行帯における植生分布と地形量の関係
●人工衛星からの地球表層土壌水分観測
●安定同位体による水循環の追跡
●真夏日の午後に東京23区で観測された短時間強雨の実態調査と予測実験
●フェレル循環と温帯低気圧の関係についての研究
●樹冠遮断プロセスが林内雨の放射性セシウム及び溶存物質濃度に及ぼす影響
●福島県の土壌における土壌粒子の粒径によるCs-137の選択性

地球進化学主専攻

地球進化史の多様な地質現象の探求を基礎として地球生命圏の共進化の解読と未来予測を目指す

地史学・古生物学
地球史における生物群の系統・機能形態・古生態・古環境などの解読を通じて，生物の適応進化様式と地球表層生命環境の変遷を追及

地層学
表層圏諸現象の変遷を地層の地質学的研究を通じて編年解読し，地球環境変動システムの仕組みを解明

地球変動科学
地球のダイナミックな変動を，地球物理学のビックデータ解析，フィールドサイエンス，室内実験，レオロジーおよび数理アナログモデルの構築などを通じて解析

岩石学
岩石の野外調査や元素・同位体分析から岩石の生成機構やテクトニクスを解明

鉱物学
天然の様々な鉱物の物理化学的実験結果から，鉱物に刻まれた地球や宇宙の情報を解読

惑星資源科学
地球システムにおける元素濃集・分散や生命圏環境の変化を惑星科学的視野から統一的に理解

主な卒業研究

●宮崎県高千穂町に分布する三畳系上村石灰岩のコノドント生層序
●兵庫県丹波篠山市に分布する大山下層の古生物学的・堆積学的研究
●タイ国東部Sa Kaeo-Chantaburi Zoneに分布する珪質岩の岩相・年代と地球化学的特徴に基づく堆積場テクトニクス
●徳島県海部郡牟岐町における過去数千年間の地震津波発生履歴
●地球深部で起こる地震や大きな津波を引き起こす地震の震源過程
●沈み込みプレート境界に沿った岩石ー流体相互作用
●マントルー地殻の物質循環に関する研究
●南極大陸の先カンブリア時代の岩石年代測定に関する研究
●炭素質コンドライト中のガラス包有物による原始太陽系の化学的環境
●Magnetite-Maghemite相変化： 高温In situ XAFSによる局所構造解析
●白亜紀-古第三紀境界における環境変動解析
●微量元素組成に基づいたジルコンの母岩推定図の作成

特色

綿密な指導体制

各学年50名に対して、50名近い地球学類担当教員が在籍し、卒業研究では教員1名あたり学生約1名という体制で、きめの細かい親身な指導をしています。

充実の野外・室内実験

地球学はフィールドサイエンスを基盤としているため、現地での観察・測定・資料収集を通して、フィールドの様々な課題を考察する野外実験が多く準備されています。また、室内の実験・実習授業でも、地球情報の数値解析、顕微鏡での岩石の観察、鉱物のX線分析、水質の化学分析、堆積作用の水理模型実験をはじめ、様々な技術を身につける機会があります。

国際性をはぐくむために

地球学類では、生命環境学際プログラムの一環として外国人留学生向け英語授業を開講しています。この授業には日本人学生も参加することができ、国内にいながらも、英語による教育と留学生との交流を通して国際性を高めることができます。また、オーストリアや米国、タイなどの国際野外実験、英国シェフィールド大学や米国アラスカ大学との学生交流など、国際感覚に磨きをかける数多くのプログラムが準備されています。

学類長からのメッセージ

地球学類へようこそ

地球学類長　八木　勇治



地球は、生物が生息できる環境が長期間保たれている、とても特別な惑星です。他の惑星と比べると、この特別な環境がなぜ保たれているのか？なぜ生物は何度も大量絶滅を切り抜けて繁栄しているのか？不思議に思います。地球に記録されている歴史や現在の観測から、太陽活動のような外的な要因、プレートテクトニクスなどの内的な要因、そして人間を含む生物の活動によって地球の環境が変化していくことがわかってきました。複雑なシステムで、地球の環境が維持されていますが、私たちはその地球システムの全容を理解しきれていません。地球で発生する現象に起因する問題に取り組むには、視野の広い人材の育成が必要不可欠です。

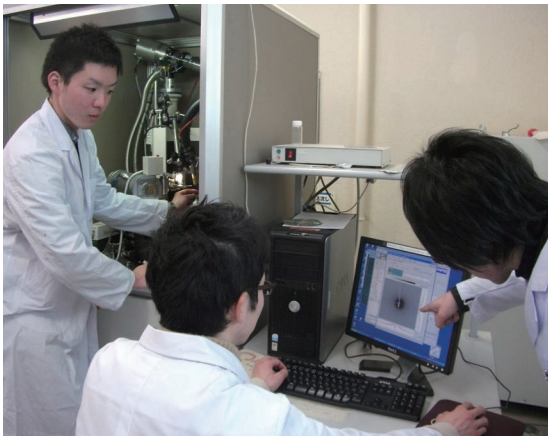
地球で発生する自然現象や物質循環を解明し、地球の歴史を明らかにし、地球と人間との関わりを理解したい学生を歓迎します。地球学は他の学問と比べて若い学問分野ですが、最近の観測・解析技術の発展、コンピューター技術の進歩によって、大きく発展しています。私たちと共に学び、新しいテーマの研究に取り組み、新しい発見をしましょう！

社会とのつながり

地球学類では、地学オリンピックやジオパーク設立に向けた活動に協力することで、学生が地球科学を通じて社会との接点を持つ機会を設けています。また、講演や見学会を通じて、周辺の中高校生や住民との地域交流も盛んに行っています。

資格など

所定の単位をとれば、中学校教員免許(理科)、高等学校教員免許(理科、地歴)、学芸員資格を取得でき、またGIS(地理情報システム)学術士になれます。



室内実験（X線回折による岩石鉱物の同定）

卒業後の進路

卒業生の6〜7割が本学の地球科学学位プログラムなどの大学院に進学します。民間企業への就職も多く、卒業生の約3割を占めます。総合的な知識・思考力を身に付けた卒業生は、地理情報・気象・環境・地質等のコンサルタント、土木建設や資源開発、観光・交通、出版、金融、電気通信など多種多様の業種に進出しています。公務員や教員は１割程度です。

大学院に進学した学生は、修士課程でより高度な専門知識・技術を身につけて、民間企業・公的機関・教育機関等でより専門性の高い職につくか、博士課程に進学します。博士課程で、更に専門性に磨きをかけて博士の学位を取得し、大学教員、企業や公的機関の研究員になります。

Q＆A

Q　高等学校で地理や地学を履修していませんが、大丈夫ですか？

A　地理や地学を履修していなくても十分理解できるように、専門基礎科目では配慮されています。ただし、自主的な予習・復習は必要です。

Q　主専攻や卒業研究分野は希望通り選べますか？

A　主専攻は進級要件を満たしていれば希望通りになりますが、卒業研究分野は過度な集中が見られる場合に成績によって選抜することがあります。

Q　在学中に海外留学したいのですが、その間は留年や休学になるのでしょうか？

A　協定校への留学でしたら、留学中に取得した単位を振り替えることができるので、留年しなくてもすみます。

最近の進路

大学院進学	筑波大学地球科学学位プログラム、山岳科学学位プログラム、教育学学位プログラムなど 東京大学、京都大学、東京工業大学、九州大学、イエール大学、エジンバラ大学ほか	
企業	気象	日本気象協会、ウェザー・ニューズ、ウェザー・サービス
	地理・情報	ゼンリン、ナビタイム・ジャパン
	地質・環境	国際航業、朝日航洋、パスコ、中央復建コンサルタンツ、東京建設コンサルタンツ
	運輸	JR 東日本、京成電鉄、全日本空輸、JFE 物流、JTB ワールドバケーションズ
	資源・鉄鋼	北日本石油、日新 JX 日鉱日石探開、日本製鉄
	情報・通信	NTT データ・アイ、アクセンチュア、日立テクニカルコミュニケーションズ、システナ、農中情報システム
	金融・保険	みずほフィナンシャルグループ、横浜銀行、野村證券
	電機・機械	栗田工業、東芝、アライドマテリアル、新光電気工業
	商社	豊田通商
教員	高校教員	茨城県、岐阜県、東京都ほか
	中学校教員	茨城県、埼玉県ほか
官庁・自治体	国土交通省、国土地理院、気象庁、海上保安庁、茨城県庁、群馬県庁、栃木県庁、つくば市役所ほか	
研究機関	筑波大学	

卒業生の声

篠澤 美有奈（地球環境学主専攻）

私たちの住む地球は不思議にあふれていると思います。地球学類の何よりの魅力は、その多くの不思議を紐解くために、学べる内容がとても多彩なところです。高校までの地学で学べる分野だけでなく、人文地理学などの文系分野や、水文科学など耳慣れないかもしれませんが地球環境を考えるうえで不可欠な諸分野を幅広く学ぶことができます。これにより、一つの事例を見る際も、様々な視点によって物事を捉えることができます。これらの分野を、座学だけでなく、たくさんのフィールドワークを通して学べるところも、地球学類の魅力です。皆さんも私たちと一緒に地球の不思議を楽しく学びませんか？

下郡 正嗣（地球進化学主専攻）

私が思う地球学類の良い所は野外実験が充実している点です。地球科学の基本は野外に出ることから始まります。興味に応じて様々な分野の野外実験に参加ができ、実際に野外に出ることで地球科学をより深く理解し得るものが多くありました。もちろん室内での実験も充実しており、野外と室内の双方から地球科学を学んでいきます。また、地球科学では分野にとらわれない幅広い知識の習得が求められます。地球学類では個々の興味関心に応じて分野を選択しますが、多くの仲間と多様な分野を自由に学び、地球科学への理解を深められる良い環境が待っています。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材		地球環境や地球進化に高い関心と探究心を持ち、問題解決に向けて自主的かつ積極的に取組み、広い視野から事象を分析することができる人材。
入学までに学んでおいてほしいこと		数学、生物、物理、化学についての基礎的な知識と理解、さらには応用する能力および語学力を備えていることが望ましい。
入学者選抜方針	個別学力検査等（前期日程）	文科系・理科系にわたる全般的な基礎学力、高い語学力、自然科学系科目の高度な理解力、高度な思考力、そしてその応用力を総合評価して選抜します。
	個別学力検査等（後期日程）	文科系・理科系にわたる全般的な基礎学力、高い語学力、地球環境や地球進化に対する広い興味と高い学習意欲を持ち、論理的に思考・表現する能力を持つ人材を選抜します。
	推薦入試	高等学校において高度な基礎学力を身に付けた志願者から、地球環境や地球進化を学ぶ意欲と目的意識が明確であり、論理的に思考・表現する能力のある人材を選抜します。
	国際バカロレア特別入試	文科系・理科系にわたる全般的な基礎学力、高い語学力を持ち、地球環境や地球進化を学ぶ意欲と目的意識が明確で、学習に取り組む意欲のある人材を選抜します。
	外国学校経験者特別入試（第2種）	海外生活での経験を活かしたグローバルな視点から地球をとらえ、地球環境、地球史に関する幅広い興味をベースに優れた思考力や理解力を発揮できる能力と地球学類の授業を理解するために必要な基礎学力等を総合的に評価します。
	編入学試験	自然科学や社会科学に関係する高度な基礎学力を身に付けた志願者から、地球環境や地球進化を学ぶ意欲と目的意識が明確で、論理的な思考力・表現力を持つ人材を選抜します。原則として、3年次への編入学ですが、場合によっては2年次への編入学となることもあります。
学群英語コース特別入試		(1) 求める人材 人間を含む多様な生物の生命現象・地球環境・生物資源の持続的活用等に関わる諸問題に対して学問的な関心を示し、多様な観点から事象を分析できる応用力を備えた人材を求めています。 (2) 入学者選抜方針 高い英語力・専門分野の知識を習得するための基礎学力とともに、生命環境科学分野の諸問題に対する独自の視点と分析力を、提出書類及び個別面接により総合的に評価します。
学群英語コース特別入試(編入学)		(1) 求める人材 人間を含む多様な生物の生命現象・地球環境・生物資源の持続的活用等に関わる諸問題に対して学問的な関心を示し、多様な観点から事象を分析できる応用力を備えた人材を求めています。 (2) 入学者選抜方針 高い英語力・専門分野の知識を習得するための基礎学力とともに、生命環境科学分野の諸問題に対する独自の視点と分析力を、提出書類及び個別面接により総合的に評価します。

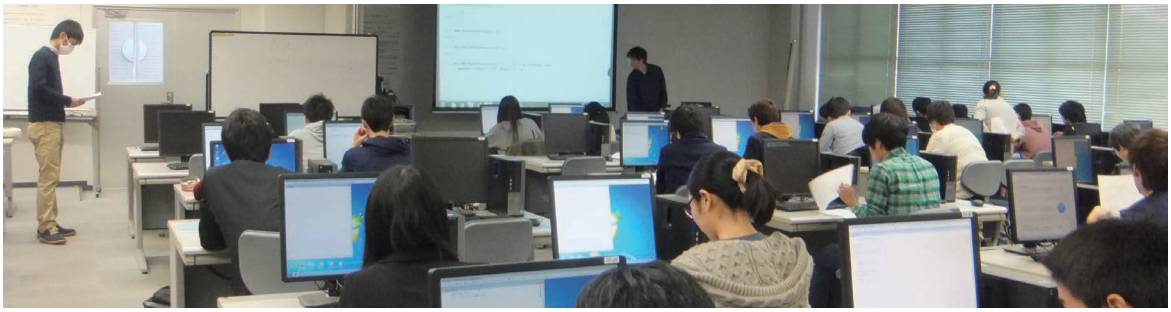
理工学群

数学類

School of Science and Engineering
College of Mathematics

https://nc.math.tsukuba.ac.jp/college/

[人材養成目的] 純粋数学から応用数学まで現代数学の基礎について幅広い知識を習得することにより、高度な論理性を身につけると同時に、問題を分析しその構造を読み取って解決するという数学的思考能力を身につけた、社会の様々な分野でグローバルに活躍できる人材を育成することを目的としています。



数学は、人間の知性が最も自由に発揮される学問です。一方、昔から自然科学・工学の基礎として近代科学文明を支えてきました。

数学は、その構築された理論体系の完成度から見ても人類文化を代表する学問の一つであり、世界中どこでも通用する普遍的な学問です。古来、多くの人々が、数学の持つ美しさ・奥深さに魅せられ、その英知を傾け、全身全霊を込めて創り出してきた傑作が現在の数学の姿です。この点で、数学は絵画・音楽などの芸術に似た美しさ・自由さ・多様さを秘めています。そして数学は今もなお生き生きと発展し続けています。それに伴って社会の数学に対する有用性と重要性の認識がさらに深まってきました。現在、数理科学的手法が自然科学のみならず、社会・人文科学、医療関係など社会のあらゆる面に応用され、コンピュータによる情報化社会の進展ともあいまって、数学の利用はますます広く高度なものとなっています。

数学類では、高校で学んだ数学をさらに発展・深化させて、純粋数学、情報数学を含む数理科学における現代数学の理論の基礎とその応用について幅広い知識を習得することができます。数学類は、高度な論理性を身に付けた、社会の各方面で活躍できる人材の育成を大きな目標にしています。こうした能力は、新しいものを創造する上で不可欠なもので、現在、社会から強く求められているものです。

主な授業（詳細は ）

1年次

数学概論
数学リテラシー1～3
微積分1～3
微積分演習 S
微積分演習 F
線形代数1～3
線形代数演習 S
線形代数演習 F
ファーストイヤーセミナー

2年次

集合入門・同演習
線形代数続論・同演習
代数入門・同演習
トポロジー入門・同演習
ベクトル解析と幾何・同演習
曲面論・同演習
微分方程式入門・同演習
関数論・同演習
統計学・同演習
計算機演習
数学外書輪講Ⅰ
数学類キャリアパスセミナー

3年次にかけて

代数学IA・代数学IB
トポロジーA・トポロジーB
多様体入門・同演習
ルベーグ積分・同演習
関数解析入門・同演習
偏微分方程式
確率論Ⅰ
数理論理学Ⅰ
数理統計学Ⅰ
計算機数学Ⅰ
数学外書輪講Ⅱ
測量学

3年次後半～4年次

代数学Ⅱ・代数学Ⅲ・代数学Ⅳ
トポロジーC
微分幾何学
確率論Ⅱ
関数解析
複素解析
数理論理学Ⅱ
数理統計学Ⅱ
計算機数学Ⅱ
卒業予備研究
卒業研究

［2024年4月現在］

・講義の理解を助けるため、多くの講義に演習が付いています。
・数学類で普通に授業を履修していけば、自然に「数学」教員免許の「教科に関する専門的事項」に対応する科目の単位が揃います。

数学類ホームページ

●https://nc.math.tsukuba.ac.jp/college/pp でパンフレットのPDFファイルを見ることができます。
●数学類ホームページには、教員の紹介やシラバスなども掲載してあります。

パンフレット

専門として学べる内容

数学類では各種の講義や演習とともに、２年次から４年次まで、数学外書輪講、少人数で行う卒業研究等のセミナーが設けられています。学生自らが学習成果を発表し、教員のきめ細かな指導のもとで、個々の能力が伸ばせ、そして数学的思考能力が身につきます。また情報数学にも配慮されたカリキュラムが用意されています。

１、２年次に学ぶ数学は、３、４年次に学ぶ数学に向けてのウォーミングアップにあたります。１年次の数学の科目は専門科目でなく、専門のための専門基礎科目にあたります。微分積分学、線形代数学、集合論は、いずれも数学のどの分野においても基本的かつ必須なものです。２年次からは、代数、トポロジー、ベクトル解析と幾何、微分方程式、関数論、統計等の入門的授業が始まります。

３年次で学ぶ数学は、専門分野への第１歩となります。大きくわけて代数学、幾何学、解析学、情報数学の４つの分野があり、それぞれの分野で初歩から専門へ向かう授業が準備されています。また、秋学期には、卒業研究の準備として卒業予備研究が始まります。授業や演習に出席するだけでなく自ら専門書を読むなどしてそれぞれが興味を見出し、より理解を深めます。この卒業予備研究を通して数学を学ぶ楽しさと数学の奥深さを実感できます。

３、４年次には、ガロア理論、リー代数、環論、微分幾何学、位相幾何学、確率論、関数解析、複素解析、数理論理学、数理統計学、計算機数学などに関する専門的な授業があり、純粋数学のみならず情報数学を含む数理科学についても視野が広がるように配慮されています。

４年次には、卒業研究を受講することになります。卒業研究ではセミナーが用意され、学生はそれぞれの研究分野への関心に応じて、幾つかのグループに分かれます。セミナーでは、それぞれの専門分野の数学について、研究発表をしたり指導教員と議論を交えたりします。講義とはまた違った充実感を味わえるものと思います。卒業研究発表会は日頃の成果を示す恰好の場になります。

特　徴

純粋数学を学べるだけでなく、情報数学を含む数理科学についても広く学ぶことができるので、専門性を深めると同時に、数理科学的視野を身につけることができます。



先輩からのメッセージ



大田　祐治

2021年3月 数学類卒業
2023年3月 大学院数学学位プログラム博士前期課程修了
沖縄県立高等学校勤務

数学は、多くの学問の基礎となり得る学問です。数学類では講義を中心に、しっかりと数学への理解を深めることができます。講義でわからなかった所は、40人という少ない学類の同期と教えあいながら考えることができます。それでも分からなかった時には、演習の時間や数学手習い塾と呼ばれる場で先生方や大学院の先輩方に質問をすることができます。このように、相互の教え合いや質問ができる環境が整っているので、私は一つずつ自分の中で消化しながら学ぶことができました。

筑波大学には、先にあげた数学だけでなく、多種多様な分野の講義を同じキャンパス内で受講することができるという特徴があります。数学類では卒業するための講義はほとんど決まっていましたが、それに加えて様々な分野の講義を私は受講しました。それにより数学類で勉強した内容を他分野で具体的に、どのように活用にしているのかということに学びを得ました。学業以外では学園祭や年に2回のスポーツ・デーなどの行事があります。そこでは学生団体や学類の同期、研究室など様々な繋がりで行事を楽しむことができます。一つのキャンパスに多くの学生がいるので、新たな交流や大規模な運営にも携わることができ、実際に私は県人会という100人を超える団体の会長を務める機会がありました。そこでは、高校と異なり先生や学校のようなさらに上の立場の方々がいません。そのため、自分達でやるべきことを考えて実行しなければならないという経験をしました。

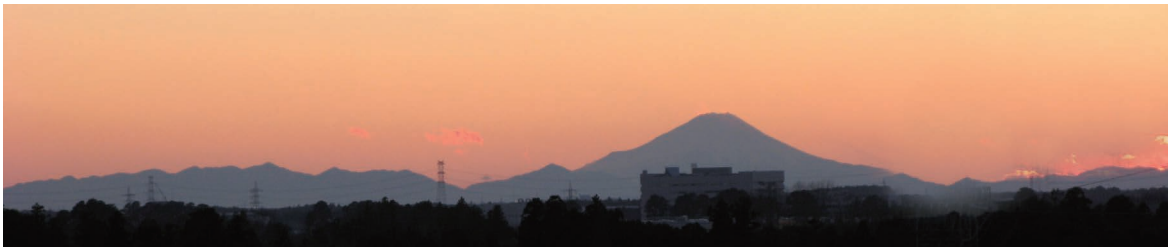
筑波大学では自分がやりたいことは自分から行動に移せば、ほとんど実現可能だと思います。そのような筑波大学で、皆さんがよりよい数学ライフを送れることを願っています。（2022年4月に寄稿していただきました。）



小林　萌愛

2023年3月 数学類卒業
茨城県立高等学校勤務

私は高校の数学の教員を目指しています。自身が数学がとても苦手だったので、数学が苦手な生徒にも分かりやすい授業ができる先生になりたいと思い、筑波大学の数学類で数学についての知識を深めようと受験を決めました。筑波大学は教員になるためのサポートが手厚く、実際に数学類の多くの学生が教員免許を取得するために教職の授業を履修しています。　とはいえ苦手な数学の世界に飛び込んで、ちゃんとついていくことができるのかとても不安でした。しかし、授業は講義と演習に分かれているので演習問題を解きながら講義内容の理解を深めることができ、先生方の丁寧なご指導のおかげで充実した環境で学ぶことができています。また、「数学手習い塾」という場が週に二回ほど設けられ、先生方や大学院生の先輩方に講義や課題の質問をすることができます。コロナ禍ではありますが、友人たちとともに手習い塾に通ったり休日に集まって勉強会を開いたりと、楽しい大学生活を送っています。大学数学と高校数学の大きな違いは、定義や定理などの事実や証明を一つずつ着実に積み重ねて思考のステップを進めていくことに重きを置いている点だと感じています。論理に飛躍がないよう厳密に議論を進めていくためとても頭を使いますが、最後まで理解できた時や証明を完成させられた時の達成感はひとしおです。様々な分野の話題が繋がって体系的に見えるようになったり、高校までで学んでいた内容でも新たな気づきがあったりもします。私もまだまだ道半ばではありますが、これからさらに数学の知識を身に着けていった先で、一体どんな景色が見えるのかとてもワクワクしています。　大学で学ぶ数学はロマンに溢れています。筑波大学数学類には数学を存分に楽しめる環境も仲間もいます。皆さんと一緒に学べる日を楽しみにしています。（2021年4月に寄稿していただきました。）



Q　筑波大学数学類の特色は何ですか？

A　30 名以上の教員が数学類を担当しています。卒業研究などのセミナーによるきめの細かな指導は、筑波大学数学類の伝統です。授業に関しては、代数、解析、幾何といった抽象的な数学を学べるだけでなく、数理統計学、数理論理学、計算機数学といった応用的な数学も学ぶことができます。これが筑波大学数学類の大きな特徴です。他学類の授業も比較的自由に受講することができます。本学の前身が東京教育大学ということもあって教員免許を取得する学生が多く、これも筑波大学数学類の特徴といえます。

Q　筑波大学数学類の授業はどのようなものですか？

A　大きく分けて、講義と演習そしてセミナーがあります。講義では、「関数の連続性とは何か？」「f(x)=x が連続なのはなぜか？」のように、『とは』(定義)と『なぜ』(証明)を重視します。演習では、練習問題を解いて理解を深めます。セミナー(外書輪講・卒業予備研究・卒業研究)では、学生数名がグループを作り、指定されたテキストの内容を交代で説明し、担当教員の指導のもとで議論を深めます。筑波大学数学類では、受講生が問題を解けるようになるだけでなく、数学の理論体系を組み立てられるようになることも目標としています。

Q　筑波大学数学類を卒業すると、どんな職業に就けますか？

A　現代社会は、科学・情報技術に大きく依存しています。科学・情報技術において、思考の基本的な枠組みを提供する共通の言語が数学です。現代社会が数学に秀でる人材を多く必要とする理由がここにあります。筑波大学数学類の卒業生は、大学教員をはじめ、アクチュアリー、システムエンジニア、医学薬学統計などの統計解析に携わる職種、金融商品の開発や投資戦略を考案する職種、中学校・高等学校の教員など、幅広い分野で活躍しています。2 年次に開講する「数学類キャリアパスセミナー」では、社会における数学のニーズの高さや、数学類卒業後の進路について幅広く学ぶために、企業の担当者に「数学を学ぶことの強み」などを解説してもらいます。

Q　数学はどのようなところで役に立ちますか？

A　数学は、科学の多くの分野で、理論を記述し展開するための基礎学問になっています。数学は、その厳密性や普遍性により、多くの科学研究の土台として、科学の発展に多大に貢献しています。数学は、物理学、工学、経済学、生物学などに広く応用され、また、統計学を通じて医学や心理学、社会調査、保険業などにも使われています。数学は、現代社会において多様な役割を担っているといえるでしょう。

取得できる資格

卒業要件以外の「教職科目」や「博物館学」の単位を修得すれば、教員や学芸員の資格が得られます。

また、専門科目でもある「測量学」の単位を修得することで、測量士補の資格を取得することができます。

教員免許

中学校一種免許状（数学）
高等学校一種免許状（数学）

社会教育主事、学芸員、司書教諭、測量士補



卒業後の進路

数学類卒業後の進路は大きく分けて３つあります。

１．企業や公務員への就職

数学類卒業生の高い分析力、構成力、論理性、柔軟な思考力は、多くの企業や官庁等で強く必要とされているものです。そのため、一般的な業種であればほとんどすべての企業が、数学類卒業生の就職先の対象となります。その中でも特に多いのは、ＩＴ企業や（銀行や保険会社等の）金融系企業への就職です。

２．中学校・高等学校の教員

筑波大学は東京教育大学を母体にしてできた大学です。そのため､教員を育成するための環境や気風が強くあります。数学類からも、これまでに多くの中学校・高等学校の教員を輩出してきました。また、数学類卒業後には、筑波大学大学院数理物質科学研究群数学学位プログラム（博士前期課程）に進学し、高度な数学を身につけることで、専修免許を取得することができます。

３．大学院への進学

より高度な数学の知識や経験を得たい場合は、筑波大学大学院数理物質科学研究群数学学位プログラム（博士前期課程）などの、数学を学べる国内外の大学院に進学します。現在では毎年５割ほどの学生が大学院に進学しています。大学院で修士号を取得した後は、上の１や２のように企業や公務員、教員に就職したり、数学の研究をさらに続けるために博士後期課程に進学したりします。もし、いわゆる数学者（大学の数学教員）を目指すのであれば、博士後期課程に進学して、研究論文を作成する必要があります。

【進学】

筑波大学(数理物質, 教育, システム情報), 東京大学(数理, 経済), 京都大学, 神戸大学, 東京工業大学, 北海道大学, 名古屋大学, 一橋大学, 東京都立大学, 山梨大学, 立教大学

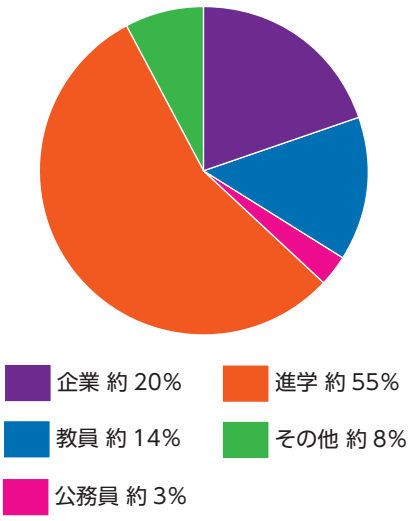
【企業】

常陽銀行，群馬銀行，三菱東京 UFJ 銀行，東邦銀行，りそな銀行，八十二銀行，筑波銀行，千葉銀行，かんぽ生命保険，損害保険ジャパン，野村證券，ほけんの窓口，大和総研，アイヴィス，アクセンチュア，一条工務店，インフィニット・フィールド, ヴイエムウェア，エス・ジー，キヤノン IT ソリューションズ，sizebook，Sky，ジャステック，スプリックス，ZEIN，トヨタシステムズ，日本航空，ビッグツリーテクノロジー＆コンサルティング，ベイカレント･コンサルティング，フューチャーアーキテクト, アウトソーシングテクノロジー, あしたのチーム, 東京商工リサーチ, ネオキャリア, リーバー, リクルートグループ，エフエムナックファイブ，サティス製薬，フジテレビジョン，三井不動産リアルティ【中国】，花王，タカラスタンダード，早稲田アカデミー　など

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材		数学が好きであり、分からないことがあれば、答えが出るまで根気強く考えることができる人材。また、論理的（数学的）思考能力を身につけたいと願っている人材。
入学までに学んでおいてほしいこと		高校レベルの数学の理解を深めておくこと。また数学のみならず自然科学全般に対する関心と理解を深める姿勢を養って欲しい。
入学者選抜方針	個別学力検査等（前期日程）	全般的な基礎学力と、数学を学ぶ上で必要な論理的思考力・数学的思考力・応用力を総合的に評価します。
	推薦入試	高等学校で優秀な成績を修めており、数学を学ぶ目的意識が明確であること、数学という学問に取り組む意欲等を総合的に評価します。
	国際バカロレア特別入試	自然科学に対する強い好奇心と国際的な広い視野を持っていること、数学に関連する基礎学力、および数学への学習意欲等を総合的に評価します。
	外国学校経験者特別入試（第1種･第2種）	数学に対する高い関心、入学後に数学を学ぶために必要な語学力、基礎学力を総合的に評価します。
	編入学試験	専門的な数学教育を受容できる基礎的な学力を有していること、数学に対する強い関心と思考力を有していること等を総合的に評価します。

過去6年度分



【公務員】

国土交通省，青森県，伊東市，鴻巣市，つくば市，国立障害者リハビリテーションセンター学院　など

【その他】

「調査時に就職活動中」など

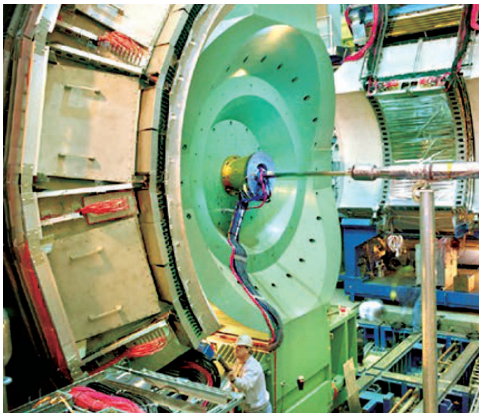
理工学群

物理学類

School of Science and Engineering
College of Physics

https://www.butsuri.tsukuba.ac.jp/

[人材養成目的] 多様に発展する現代物理学について、しっかりとした基礎と高度な専門的知識を備え、かつ、真理を探求する過程を通して育んだ柔軟な思考力と、物事の本質を洞察し問題を根本から解決する力を持つ人材を育成します。そして、それらの人材がそれぞれの能力を生かして社会の様々な分野で活躍することを目指します。





物理学は、自然界で起こる様々な現象の基本法則を解き明かしていく学問です。自然界の法則というと、原子・原子核・素粒子などのミクロな世界を理解するための量子論、広大な宇宙空間に浮かぶ星や銀河、時間と空間を理解するための相対論が思い浮かぶことでしょう。これら極限の世界で成り立つ普遍的な法則を探ることは、現代物理学の重要なフロンティアです。

私たちの周囲にある世界に目を向けましょう。物質は、固体・液体・気体・プラズマの姿を示し、また固体は金属や半導体、磁性体、超伝導など、様々な性質を示します。物理学はこれらの性質を理解する基礎を与えます。最近は生命現象に対する物理学も発展しています。このように、物理学は自然の成り立ちや自然界で起こる様々な現象を、その基礎から明らかにする学問であるという面も持っています。

さらに物理学は、現代の先端的な科学技術の基盤をなす学問でもあります。例えば、今日の情報社会を支える半導体技術や、様々な用途で用いられているレーザー技術は、原子物理学、固体物理学の発展なしには成しえなかったものです。さらに、近未来のIoT社会の実現に不可欠なエネルギー物質やエネルギーハーベスト技術の基盤は、物理学の新しいフロンティアになりつつあります。このように物理学は、現在そして未来の科学技術の根幹を支える学問です。

物理学類生は、物理学を学び研究する過程を通して何事でも「自ら主体的に学ぶ」姿勢を身につけて欲しいと願っています。これは将来のどのような分野においても力となり、また人生を豊かにすることでしょう。

	授業科目
1年次	物理学概論、物理学入門、力学1・2・3、電磁気学1・2・3、総合科目、体育、情報、英語、数学、化学、生物学、地球科学
2年次	量子力学Ⅰ、熱物理学、専門電磁気学Ⅰ・Ⅱ、特殊相対性理論、物理数学Ⅰ・Ⅱ、計算物理学Ⅰ・Ⅱ、実験物理学Ⅰ・Ⅱ、科学英語Ⅰ、課題探究実習セミナー、物理学実験Ⅰ、解析力学、量子力学序論、流体力学、連続体力学
3年次	量子力学Ⅱ・Ⅲ、統計力学Ⅰ・Ⅱ、専門電磁気学Ⅲ、一般相対性理論、計算物理学Ⅲ・Ⅳ、実験物理学Ⅲ、生物物理学Ⅰ・Ⅱ、科学英語Ⅱ、課題探究実習セミナー、物理学実験Ⅱ、生物物理学実験、素粒子物理学概論、原子核物理学概論、物性物理学概論、生物物理学概論、宇宙物理学概論、プラズマ物理学概論
4年次	素粒子物理学、原子核物理学、物性物理学、宇宙物理学、プラズマ物理学、卒業研究

物理学類パンフレットの請求方法

●パンフレット等は学類webページからダウンロード可能です。
https://www.butsuri.tsukuba.ac.jp/

特長

物理学類には70名以上の教員が在籍し、講義・演習・実験・セミナーなどを担当しています。これらの教員は、10の研究グループに属して様々な分野で最先端の研究を進めています。また、多くの教員は研究センター（計算科学研究センター、エネルギー物質科学研究センター、宇宙史研究センター、プラズマ研究センター等）にも所属しています。4年生では、研究グループのいずれかに属して卒業研究を行います。卒業生の多くは大学院に進学し、学類で学んだ物理学の知識を基礎に、最先端の研究に取り組んでいます。

筑波大学では1996年に当時世界最高速の並列計算機を開発するなど計算物理学の分野でも先駆的な研究を行っています。下の写真は計算科学研究センターにおいて2023年度から本格稼働したスーパーコンピュータPegasus（ペガサス）です。これを使って、素粒子・原子核・宇宙・物質・生命等における最先端の研究が行われています。



専門として学べる内容

皆さんは、高校で学ぶ「物理」を通して、「物理」の単純さに心を惹かれたのではないでしょうか。例えば、ニュートンの運動法則（力＝質量×加速度）という1つの簡単な式によって、いろいろな事象が説明できます。この「単純さ」と「普遍性」こそが物理の本質です。

大学で学ぶ「物理」は、数学（数式）を使って記述されています。皆さんは物事を考えるときは、もちろん、日本語ですよね。でも、物理を考えるときは、世界の共通言語である数学（数式）で考えます。なぜ数学かといいますと、数学が最も厳格であり最も論理的な言語だからです。数学には感情の入り込む余地はありませんし、世界中の誰が見ても一義的にしか読み取れません。ですので、大学では、物理学を学ぶために、まずは数学をしっかりと学習します。その上で、物理学の問題（これは日本語）を数式に翻訳し、数式を数学のルールに従って変形し、最終的な数式の意味するところを（日本語に置き換えて）理解する、こういった訓練を行います。この訓練にとって、高校でも履修する「力学」と「電磁気学」は、よい教材となります。

物理学は、先人が築き上げたものを元に、新たに見いだされたものを積み上げて行くという過程を繰り返して発展してきました。現代物理学は高度に発展し、それぞれの分野での専門性が高いですが、一方では、基本的な概念が広い領域で普遍的に用いられています。学群の4年間では、古典物理学から始まって、現代物理学の骨格を成す基礎的科目へ、さらには専門性の高い発展的科目を順番に学習することが必要です。それぞれの科目には標準履修年次を設定しています。

1年次…古典物理学を質点と場の観点から理解するとともに、数学・化学・生物学・地球科学などの自然科学を幅広く学びます。

2年次…古典物理学をさらに深く学ぶとともに、現代物理学の骨格を成す量子力学などの基礎を習得します。

3年次…現代物理学についてより発展的な内容を学ぶとともに、専門物理学を学びます。

4年次…専門物理学を学ぶとともに、研究室に所属して卒業研究を行います。

教員からのメッセージ



丸山　実那
物理学類2012年卒業
筑波大学大学院修了
現在：物理学類助教

物理学類の特徴は、教員の数が多いことです。教員一人当たりの学生数が少ないため、卒業研究の受け入れ定員が在学生の数よりも多いです。すなわち、比較的自分の希望した研究室への配属が叶いやすいという点で、非常に恵まれた環境だと思います。また、卒業研究はかなりしっかりとしたものです。そのおかげで、卒業研究で行った研究内容での学会発表や学術論文の作成が可能となります。研究室へ配属された当初、私は大学卒業後の進路として就職を希望していたのですが、卒業研究を進めていくうちに当時行っている研究を続けたいという気持ちが芽生え、2月期の大学院入試を経て筑波大の大学院へ進学することができ、卒研生から行っていた研究を続けることができました。通常、大学院入試は8月期が多いため、大学院への進学をめざす場合には学部4年の春頃までに心のうちを決める必要があります。私は幸運にも筑波大学の物理学類に所属したため、急な進路変更にもかかわらず自分の希望通りである研究室に所属することができ、充実した研究生活を送ることができました。

研究グループ

素粒子理論

格子量子色力学
超弦理論

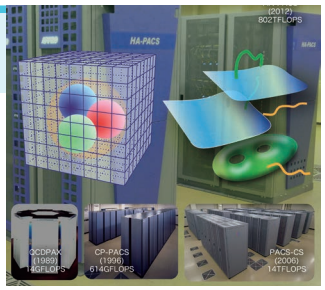


図:素粒子と時空の原理の探求と、専用計算機の開発

宇宙理論

銀河形成・宇宙論
計算宇宙物理学

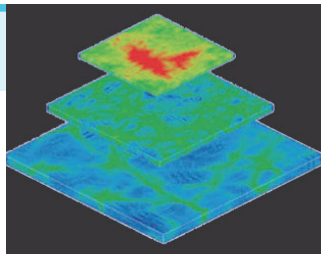


図:宇宙の再電解過程の計算機シミュレーション

原子核理論

原子核の構造と反応
量子ダイナミクスの計算科学

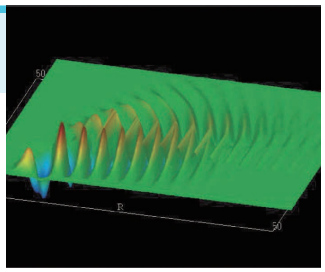


図:原子核分解反応の量子ダイナミクス

物性理論

量子輸送物性
量子物性理論
ナノ量子物性
表面界面物性
ナノ構造物性

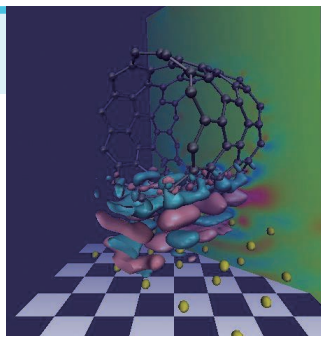


図:金属上におかれたカーボンナノチューブ

計算生命理論

生体機能の原子レベルでの理論的解明

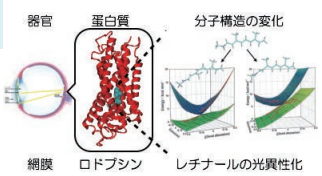


図:生体現象の階層性

素粒子実験

陽子陽子衝突実験ATLAS
ニュートリノ崩壊探索実験

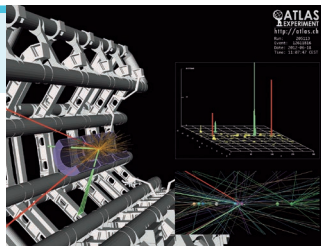


図:ATLAS実験で観測されたヒッグス粒子候補事象

宇宙観測

銀河・ブラックホール
南極望遠鏡計画

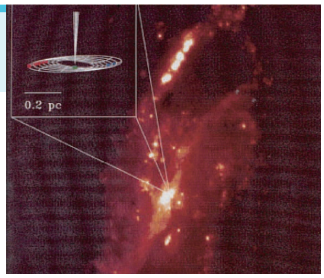


図:銀河中心にある巨大ブラックホールの観測

原子核実験

クオーク・グルーオン・プラズマ
不安定核、宇宙元素合成

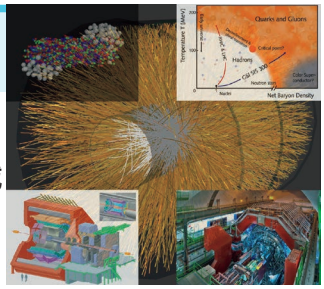


図:CERN-LHCでのALICE実験における鉛・鉛衝突

物性実験

エネルギー物質科学
構造科学
低温物性
ナノフォトニクス
光ナノ物性

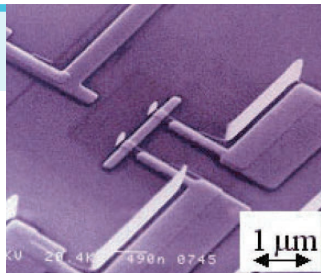


図:単一電子トランジスタ

プラズマ物理学

プラズマ閉じ込め、加熱
ミラー型核融合実験装置

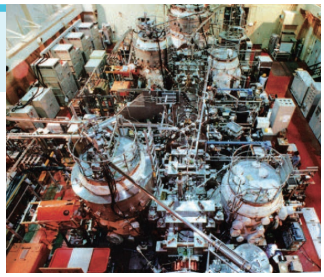


図:プラズマ実験装置ガンマ10

資格など

卒業要件以外の「教職科目」や「博物館学」の単位を修得すれば、教員や学芸員の資格が得られます。

取得できる資格

教員免許

中学校一種免許状（数学、理科）

高等学校一種免許状（数学、理科）

社会教育主事、学芸員、司書教諭、測量士補

卒業後の進路

物理学類の卒業生の進路は、大きく３つに分かれます。

①大学院への進学（基礎科学の探究）

②企業での開発研究（基礎科学の応用）

③中学・高校の教師（基礎科学の啓発）です。

①が70％程度で最も大きな割合を占めます。進学先は筑波大学の大学院である数理物質科学研究群が中心ですが、他大学の大学院に進学する場合もあります。大学院進学者のうちには、修士学位を取得後に、②、③に進む者も多く、②、③を目指す場合にも大学院に進み知識を拡げてから就職する場合が多くなっています。博士学位取得者は、大学や各種研究所の研究員となり研究者への道を歩んでいきます。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材		高等学校のさまざまな科目についての基礎学力を有し、それを元にさらに物理学を学んでゆく能力を持った人材を求めます。また、広い視野を持ち、自ら学び、未知の物事に対して柔軟に対応できることが要求されます。
入学までに学んでおいてほしいこと		高校レベルでの物理ならび数学に関する知識と理解、さらにはそれを応用する基礎的な能力。
入学者選抜方針	個別学力検査等（前期日程）	全般的な基礎学力と、物理学を学ぶ上で必要な論理力・思考力・応用力を総合的に評価します。
	個別学力検査等（後期日程）	全般的な基礎学力の評価に加えて、物理学を学ぶ上で必要な論理力・思考力・応用力、ならびに物理学における広い興味と高い学習意欲を総合的に評価します。
	推薦入試	高等学校において優秀な成績を修めていることに加え、物理に関する高い関心と目的意識、学習に取り組む意欲等を総合的に評価します。
	国際科学オリンピック特別入試	国際物理オリンピックに出場した者、またはその代表者選考会等において一定の成績を収めた者を対象として、明確な目標を持って学ぶ意欲や計画的に学ぶ意欲を評価します。
	国際バカロレア特別入試	自然科学に対する強い好奇心と国際的な広い視野を持ち、物理学に関連する基礎学力、そして物理学への学習意欲を総合的に評価します。
	外国学校経験者特別入試（第1種・第2種）	物理学に対する高い関心、入学後に物理学を学ぶために必要な語学力、基礎学力を総合的に評価します。
	編入学試験	大学２年生程度の基礎学力と物理学を学び修得するために必要な論理力・思考力・応用力を総合的に評価します。

先輩からのメッセージ

田中　萌鈴
2024年卒業
北海道札幌東高等学校卒



皆さんは、物理学類にどんな印象を持っているでしょうか。物理学は難しいと抵抗感を持つ方がいるかもしれません。ですが、全く不安に思うことはありません。物理学類では、4年間かけて段階的に進んでいく学習の中で、少しずつ理解を深めていくことができます。また、男女問わず活発に学生同士での教え合いや考察の共有ができるため、物理学に集中して刺激的な日々を送ることができます。皆さんもぜひ、物理学への理解を深める充実した日々を過ごしてみませんか。

楠川　将史
2021年卒業
岐阜県麗澤瑞浪高等学校卒



物理学の面白さは身の回りからミクロな世界に至るまで、なぜ？と思うことをとことん追求し、説明できることだと思います。物理学類では物理を理解する上で必要となる数学・化学に関しても、必要に応じて広く学ぶことができます。4年次からは研究室に配属されますが、筑波大学の近くには国立の研究機関がいくつかあり、研究環境が充実していることも魅力だと感じています。皆さんにも筑波大学で物理学を理解する楽しさと、自ら学び解決した時の喜びを経験してほしいです。

野村由仁香
2022年卒業
京都市立堀川高等学校卒



物理学を学ぶ上で良かったのは、大学周辺に研究施設が多いという点です。施設見学や外部講師による講義など最先端の研究を1,2年次から知ることができました。専門以外の事も自由に学べ、私は物理以外に考古学や古典などの講義をとっていました。また、図書館には専門書が多くあり自由スペースが広いため自習しやすい環境が整っています。

男女関係なく物理に興味がある人は充実した生活を送れると思います！

林　　美吹
2022年卒業
愛知県立瑞陵高等学校卒



物理学類では、ミクロな世界から広大な宇宙まで広い世界の自然の法則や性質を理解するための基礎を学びます。物理学に関する幅広い知識の習得に加え、科学的な見方や考え方を身に付けることができます。大学や大学周辺には多くの研究施設があり、充実した環境の中で最先端の研究を行うことができると思います。自然豊かな筑波大学で自然科学を学び、充実した学生生活を送れることを願っています。

理工学群

化学類

School of Science and Engineering
College of Chemistry

https://chemistry.tsukuba.ac.jp/ug/

[人材養成目的] 自然界における普遍的な法則と未知物質・未知現象の探求、機能性物質の創製と材料開発、環境問題やエネルギー問題の解決、生命現象の分子レベルでの解明などに必要な基礎的で幅広い化学の知識を有する人材を育成します。その上で、これらの知識と理解に裏打ちされた柔軟な思考力と、国際的に活躍できる能力を有する人材を育成します。





化学という学問

科学技術の進歩はめざましく、人類の発展を支えてきました。この技術革新において、基礎化学の果たした役割は極めて大きいといえます。化学者による新素材の研究を基盤として材料が開発され、実用化されているからです。化学とは、化学現象を分子・電子レベルで研究し、自然界における普遍的な法則を追求する学問ですが、そのような基礎研究から、新規化合物の創製、環境汚染やエネルギー問題の解決、生命現象を分子レベルで理解する研究などへ展開されています。このため、化学の重要性はますます高くなると言われています。

化学類で学ぶ4年間

化学類では、基礎知識の重視、柔軟な思考力の養成、国際的に活躍できる人材の育成などを念頭において、学生の指導・教育を行っています。

化学類の学生は、1年次に全学共通科目のほか、理学系学類共通の専門基礎科目を履修し、2年次では、無機化学、分析化学、物理化学、有機化学、生物化学などの専門的な講義と基礎的な化学実験を履修します。さらに、3年次では、学びたい化学分野を一層深く理解するために、専門科目が用意されています。特に、実験の時間が大幅に増えるのが特徴です。専門化学実験Ⅰ・Ⅱ（無機・分析化学、有機

	授業科目
1年次	化学概論、化学1、化学2、化学3、化学基礎セミナー、全学共通科目
2年次	無機化学Ⅰ、分析化学、物理化学Ⅰ・Ⅱ、有機化学Ⅰ・Ⅱ、生物化学、基礎化学外書講読、化学実験、化学実験Ⅱ
3年次	無機化学Ⅱ、分子構造解析、物理化学Ⅲ・Ⅳ、有機化学Ⅲ・Ⅳ、専門化学演習（無機・分析化学、有機化学、物理化学)、専門化学実験Ⅰ・Ⅱ（無機・分析化学、有機化学、物理化学)、専門化学外書講読、無機元素化学、放射化学
3年次または4年次	計算化学、生物分子化学、無機・分析化学特論、物理化学特論、有機化学特論、生体関連化学特論
4年次	卒業研究

化学類パンフレットの請求方法

●パンフレット等は化学類ホームページからダウンロード可能です。
https://chemistry.tsukuba.ac.jp/ug/about/#document
●テレメールによる請求もできます（p.167　資料請求番号は583680）

化学、物理化学）は必修科目で、毎週３日間、午後はこれらの専門化学実験で化学実験の手法を学び、技術を磨きます。2、３年次でそれぞれ開講されている基礎化学外書講読、専門化学外書講読では、英語論文を読む力をつけ、卒業研究の準備をします。

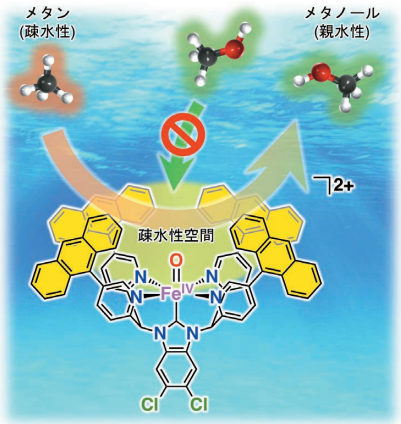
４年次では、卒業研究が中心になります。化学類では、無機反応化学、無機合成化学、分析化学、放射化学、凝縮系物理化学、分光物理化学、大気物理化学、有機合成化学、有機元素化学、超分子化学、構造生物化学、生物有機化学、製薬化学などの分野をおき、物質の構造、物性、反応、合成などに関する基礎研究をはじめ、広い視野に立った境界領域の研究を行っています。希望に応じてそれぞれの分野の研究室に配属され、教員の直接指導のもとに卒業研究を行います。教職員や大学院生、国内外の研究者らと親しく接しながら活発な雰囲気の中で卒業研究を行い、研究成果を研究室セミナー、卒業研究発表会や日本化学会の研究発表会で報告し、化学者としての第一歩を踏み出します。

研究紹介

化学類の学生が４年次に配属される研究室では、以下に示すテーマをはじめ、様々な最先端の研究を行っています。

錯体化学の最前線

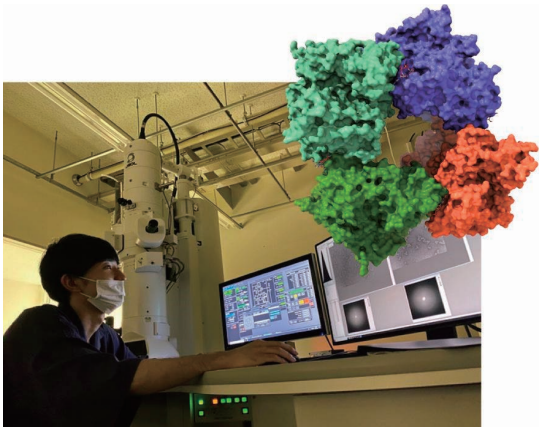
金属錯体は金属イオンと有機配位子からなる化合物であり、自然界や現代社会において反応触媒や機能性物質として重要な役割を担っています。最近、金属錯体の構造や電子状態を精密に制御設計することができるようになりました。また、金属イオンを組織的に集合させることにより、個々の金属イオンの特性が相乗的に機能する物質も合成され、新たな機能にますます期待が高まっています。錯体化学者は、その高度に設計された分子システムの化学的・物理的知の構造と機能に魅了され、日々物質合成と機能探索を続けています。



水溶液中における鉄触媒による高効率かつ高選択的なメタンからメタノールへの酸化反応

構造生物化学

ウイルスから人まで、生命は、DNA や RNA などの核酸、そしてそれら DNA も RNA も４種類のヌクレオチドから構成され、タンパク質も基本的に 20 種類のアミノ酸から作られています。このような限られたパーツから、ウイルスから人まで多様で複雑な機能をもった生命、すなわち分子の集合体が作られています。それには、原子の空間配置を変えることで異なる機能を生み出すという戦略を生命はとりました。従って、生命を原理から理解するには、分子の空間構造を明らかにすることが必須となります。この分野では 2017 年にノーベル化学賞を受賞したクライオ電子顕微鏡技術がその進展を急加速し、新型コロナウイルスの解析でも大活躍しました。そうした最先端の手法を武器に、腫瘍発生の仕組みや、遺伝子発現の仕組み、ウイルスや細菌が感染・増殖する仕組みなどが分子レベルで、すなわち化学の目で明らかにされつつあります。

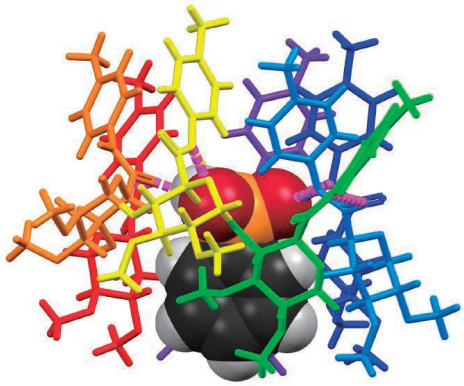


クライオ電子顕微鏡で明らかになった光センサータンパク質

精密有機合成

有機化合物は三次元構造をもっているため、その多くは空間における原子の配列だけが異なる立体異性体から成っ

ています。医薬品は立体異性体により効力が異なるため、その合成には、立体異性体や位置異性体などを自由に作りわける手段である精密有機合成が不可欠です。厳密に決められたある特定の立体構造をもつ化合物を正しい分子設計理論にもとづいて合成するのが、有機合成化学です。



精密合成された有機分子による低分子認識の様子

生物現象を化学の目で見る

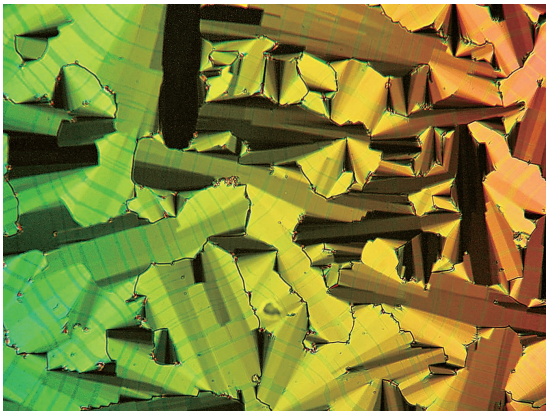
生物のかかわる現象の多くは化学物質によってコントロールされています。個体内あるいは個体間の情報伝達物質（ホルモン、フェロモンなど）や生物内に存在する様々な生物機能物質（生物毒、抗生物質など）を化学の目を使って研究する分野が生物有機化学や生物無機化学です。化学はますます力をつけてきており、生命現象を分子レベルあるいは分子集合体レベルで解明できるようになってきました。これらの研究は、我々の福祉に直接関わる医薬品や農薬などの開発研究を支える基礎を提供するとともに、生物現象をいっそう深く理解するための大切な情報となります。



卒業研究の様子

ソフトマターの物理化学

人類は古来、物質を「道具」の材料として利用してきました。その多くは、天然高分子を除くと、セラミックスや金属などの固い物質であり、高分子や液晶に代表される「やわらかい物質（ソフトマター）」の利用が本格化したのは20世紀の後半になってからです。たとえば、代表的なソフトマターである液晶を抜きにして現代の暮らしを想像することは難しいでしょう。また、私たちの体を作っている生体膜も代表的なソフトマターです。ソフトマターは、たくさんの分子が自発的に集まって複雑かつ柔軟な構造を作り出し、固い物質にはない性質を示すことを特徴としています。この仕組みを解明し、制御する方法を見つけることは、新材料の開発だけでなく生命の仕組みを明らかにすることにも繋がっています。



液晶性化合物の顕微鏡画像

界面の分子構造

固体と気体や固体と液体など、相と相の境界面とその近傍を界面と呼びます。相の内部（バルク）と界面では、分子を取り巻く環境が異なっています。一方、我々の周りにある様々な物体や生体組織では、界面が性質や機能を決める重要な要因である例が多く存在します。そのような例として、固体触媒上や電極上で起こる化学反応、生体膜を通した生体組織間の物質の移動などが挙げられます。レーザー光を使った最先端の測定技術（レーザー分光技術）を使えば、界面における分子の構造・配向・運動性の情報が得られます。今はじめて、界面の様子が分子レベルで解明されつつあります。

資格など

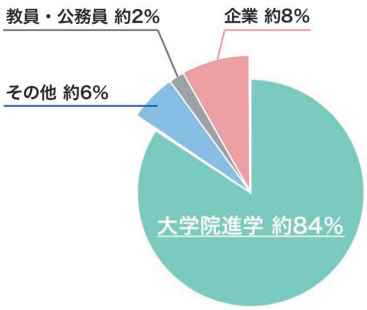
卒業要件以外の「教職科目」や「博物館学」の単位を修得すれば、教員や学芸員の資格が得られます。

取得できる資格

教員免許（中学校一種免許状（理科）、高等学校一種免許状（理科））、社会教育主事、学芸員、司書教諭

卒業後の進路

卒業生の約８割は大学院へ進学し、その他は公務員（県庁など）、教員（高等学校、中学校）、企業などへ就職します。大学院（博士前期課程：２年間）修了後の主な進路は、化学関連の企業や公的機関への就職、博士後期課程（３年間）への進学です。（就職先企業例：旭化成、味の素、アステラス製薬、ADEKA、出光興産、AGC、NTT ドコモ、JR 東日本、資生堂、信越化学工業、セイコーエプソン、セメダイン、ソニー、第一三共、大正製薬、大鵬薬品工業、田辺三菱製薬、中外製薬工業、東京ガス、TOTO バスクリエイト、デュポン、デロイト トーマツ、デンカ、東ソー、凸版印刷、トヨタ自動車、日本ペイント、日本製紙、日本ハム、丸善石油化学、三井化学、三菱ケミカル、ミルボン、ライオン）



入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材		化学に関する十分な学力と、関連する分野の基礎学力を有し、自然界における普遍的な法則の追求と、新規物質や未知現象を探求する意欲を有する人材を求めます。
入学までに学んでおいてほしいこと		高校レベルの化学についての基礎的知識を修得し、それを応用する能力を身につけていること。数学、物理学、生物学など関連分野に関する基礎的知識と語学の基礎的な能力を持つことが望ましい。
入学者選抜方針	個別学力検査等（前期日程）	全般的な基礎学力と、化学を学ぶ上で必要となる高度な理解力・思考力・応用力を総合的に評価します。
	個別学力検査等（後期日程）	全般的な基礎学力と、化学を学ぶ上で必要となる理解力・思考力・応用力、化学に関する興味と意欲・表現力等を総合的に評価します。
	推薦入試	高等学校において優秀な成績を修めており、化学に関する高い関心、目的意識、学習に取り組む意欲等を総合的に評価します。
	国際科学オリンピック特別入試	国際化学オリンピックに出場した者、またはその代表者選考会等において一定の成績を収めた者を対象として、明確な目標を持って学ぶ意欲や計画的に学ぶ意欲を評価します。
	国際バカロレア特別入試	自然科学に対する強い好奇心と国際的な広い視野を持ち、化学に関連する基礎学力、そして化学への学習意欲を総合的に評価します。
	外国学校経験者特別入試（第1種・第2種）	協調性、化学に対する高い関心、そして入学後に日本語で化学を学ぶために必要な語学力、基礎学力を総合的に評価します。
	編入学試験	専門的な化学教育を受容できる基礎的な学力、化学に対する強い関心、論理力、思考力、応用力を総合的に評価します。

学生からのメッセージ

思う存分化学を学ぼう



田﨑　秀悟

出身：茨城県立並木中等教育学校

2021 年度入学

化学類では、研究の最前線に立つ先生方の指導の下、物理・無機・有機化学を軸に専門性の高い知識を得ることができます。また、それらが相互に関連して実生活で果たす役割を素材や薬などの例を交えて学び、知識を広げることもできます。豊富な実験プログラムの中で学んだ知識を活用し、学類の仲間と協力しあうなかで実践的な技能も磨くことができます。思う存分化学について学びを深めることができるここ化学類で、ぜひ共に学んでみませんか。

化学に対する興味が深まりました



伊豆倉　夢那

出身：千葉県立東葛飾高等学校

2021 年度入学

化学類では、有機化学、無機化学、物理化学など、様々な分野の化学について学びます。高校では丸暗記で終わっていた事柄についても、その本質的な理屈を学ぶことができます。実験の授業では、充実した設備を用いて自らの手で合成や測定などを行うため、化学の面白さが感じられると思います。私自身、高校時代は化学が苦手でしたが、大学でより深く学ぶ中で興味を持ち、化学を好きになることが出来ました。ぜひ、化学類で充実した化学ライフを送りましょう！

理工学群

応用理工学類

School of Science and Engineering
College of Engineering Sciences

https://www.oyoriko.tsukuba.ac.jp/

[人材養成目的] われわれの社会を維持・発展させ続けるために必要な最先端工学の基盤となる科学・技術を原理から理解し、さらに発展させることができる、創造力豊かな技術者・研究者を養成します。

特定の分野にこだわった学部や学科では高度に細分化された専門性を学ぶことができます。しかしながらその一方で、現代、さらにはこれからの工学には、複雑化・難題化が進む社会の要請に応えるために広い学際性も要求されています。そのためには、自然科学の基礎を幅広く身に付け、それらを融合して難題に対応できる総合的な工学力が必要です。応用理工学類では、数学×物理学×化学×生物学で表されるように、各分野の経験・知識を相乗的に融合させることで、特に素材や計測技術など日常生活では直接目には触れなくとも工業の基礎となる分野において、現在の問題から将来の未知なる課題にも対応可能な工学士を育成することを目標としています。

主専攻	学びたいこと	授業で主に学べること
応用物理（視て現象の本質に迫る）	・光や粒子線を応用して、先進的な医療技術を確立したい。 ・核磁気共鳴などの物理現象を利用して、生体計測技術を開発したい。 ・核融合を目指したプラズマ制御や次世代エネルギー源の開発で、エネルギー問題を解決したい。 ・グリーン環境に配慮した、グラフェンなどの次世代機能性材料を開発したい。 ・バイオ技術や蛋白工学を駆使して、新たな病理診断や治療に役立てたい。	電磁波による生体計測技術、量子ビームによる表面計測・超微細加工・医療技術、プラズマ物理／核融合技術、理論計算による物質設計　など
電子・量子（ミクロな量子の力をエネルギーや環境のマクロな問題に応用）	・環境、資源、エネルギー問題を科学と技術で解決したい。 ・高効率太陽電池を研究・開発したい。 ・工学を医療分野へ応用することにより、技術で治療を支援したい。 ・環境に優しい材料で情報機器を作りたい。 ・情報機器を低消費電力化し、太陽光だけで稼働する高性能電子機器を作りたい。 ・原子・分子の配置を制御し、固体の性質を自在にデザインしたい。 ・レーザービームや反物質ビームで、固体、分子、原子構造を解明したい。	半導体・磁性体などの電子状態、トランジスタや太陽電池などの動作原理、有機・無機電子デバイス、ナノテクノロジーによるデバイス作製、パワー／グリーンエレクトロニクス　など
物性工学（新材料！科学を拓き未来を創る）	・超伝導素子や半導体メモリを開発し、エレクトロニクスを発展させたい。 ・電力不足の解消のために、新しいタイプの太陽電池やLEDなどの光機能素子を創成したい。 ・医療用金属、形状記憶合金、ナノ金属、原子細線など、次世代金属材料を実用化したい。 ・地球環境問題の解決に向けて、自然に優しいセラミックスや有機素子を創り出したい。 ・コンピュータ計算を用いて、役立つ人工物質を設計したい。 ・量子ビットを設計・制御して、量子コンピューターを実現したい。	超伝導現象の原理とその応用、物質内の原子・分子の配列状態、金属・半導体・セラミックスの特性、ナノ構造物質の性質、無機・有機材料の合成法、物質の性質の理論的な取り扱い　など
物質・分子（新しい物質で新しい時代を）	・誘電性ポリマーや有機磁性体のような新規な有機材料を開発したい。 ・原子や分子について理論的に研究したい。 ・環境やエネルギーの問題解決に貢献する触媒を開発したい。 ・ナノ粒子を利用した高純度、高活性な薬剤合成法を開発したい。 ・生体内の化学物質を高感度に検出するバイオセンサーを開発したい。 ・再生医療やがんの治療に関わる研究を行いたい。 ・太陽光のエネルギーを変換する植物の光合成について学びたい。	有機／無機化学、物理化学、化学合成法、触媒／表面反応、バイオケミストリー、バイオテクノロジー　など

応用理工学類ホームページ・パンフレット

●より詳しい情報は応用理工学類ホームページをご覧ください。
https://www.oyoriko.tsukuba.ac.jp/
●パンフレットの閲覧・ダウンロードも学類ホームページから可能です。
また、テレメールによるパンフレット請求もできます。
（p.167　資料請求番号は546340）

専門として学べる内容

応用理工学類の理念は、特定の分野に直結した応用ではなく、理学と工学を広く融合させることで、より複雑化・難題化する社会の要求に“応えて用いる”ことのできる工学力を養成することです。そのために、カリキュラムとして筑波大学の他学類や他大学の理科系学部に比べて多方面の学問にわたる科目が必修となっているのが特長です。1,2年では自然科学の基礎的な科目として数学、物理学、化学、生物学とともに、工学への応用のための導入科目を学びます。1,2年次に十分に基礎力を培い将来の夢や希望がより明確になった時点で次なるステップとして、3年進級時に4つの主専攻（応用物理、電子・量子、物性工学、物質・分子工学）に分かれて専門性を高めます（どのようなことが各主専攻で学べるかの具体例は前ページの表を参考にしてください）。主専攻に分かれても応用理工学類の理念である分野融合のもと、固体物理学、量子力学、統計力学、化学、生命科学は重要な共通的科目と位置付けています。4年進級時にはそれまでの授業主体の学びから、研究室に配属され本格的に研究活動を始めます。応用理工学類を担当する教員の専門分野は、デバイスや計測技術の応用開発から基礎的理論、物理から生物、化学分野と大変幅が広いです。これら教員のもとでの卒業研究を通して、工学分野での研究・開発に関する基礎を習得します。

教員からのメッセージ

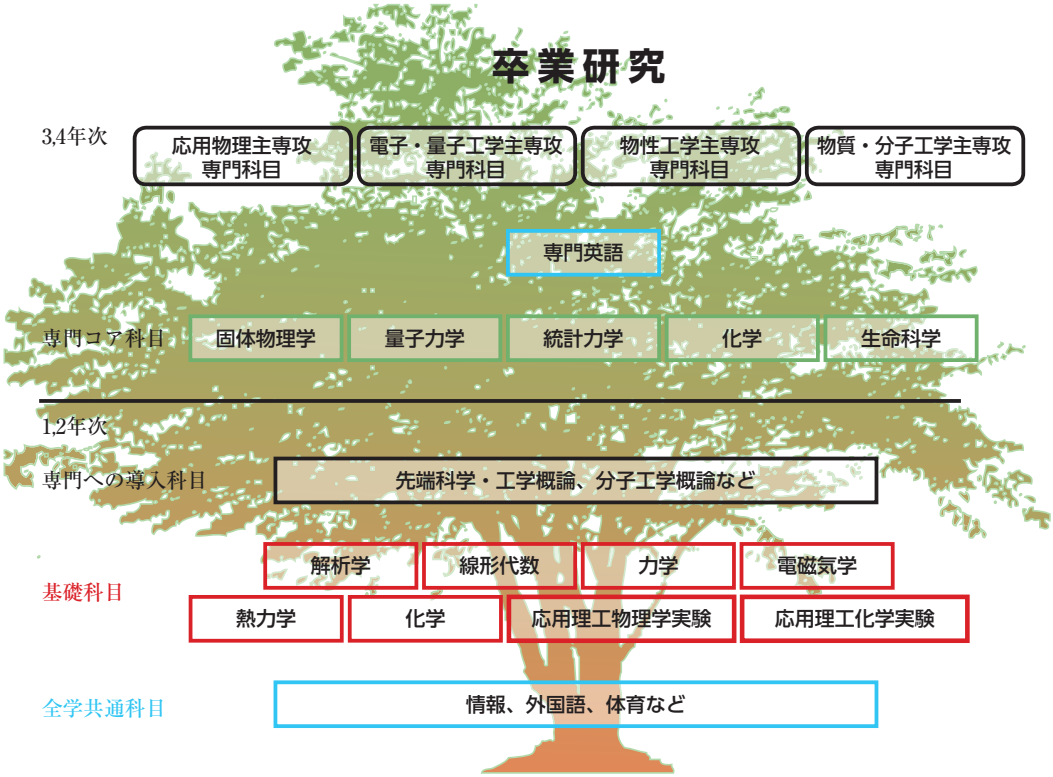


数理物質系物質工学域
准教授
鈴木 義和

最近では、もくもくと黒煙を吐きながら走るダンプカーやバスを見る機会はめっきり少なくなった。しかし、一歩日本から外にでてみるとこの状況は一変する。日本のように整備の行き届いた車が走っているというのは、どちらかといえばまれである。年季の入った旧式のディーゼル車が大量のモノや人を乗せ、黒煙をまき散らしながら街を行き交う。「…ディーゼル粒子除去フィルターだって？　そんなもの見たこともないよ。」

ここで我々材料研究者は考える。「今よりもっと安くて簡単に、いいモノを作ることができれば」、と。理系だからといって研究室にこもっているだけでは答えは出ない。インターネットは便利だけれど、その情報には限りがある。足を使って、いろんな人に話を聞き、具体的な解決策を考えていく。このテーマ設定が研究の醍醐味だ。無限の組み合わせの中から、化学や物理の知識を総動員し、新しい材料をイメージしながら、実現可能なプロセスを描き出していく。さあ、実験だ。

世界のさまざまなところで顕在化している環境やエネルギー問題。「新材料」をひっさげて、問題解決に挑んでみよう。

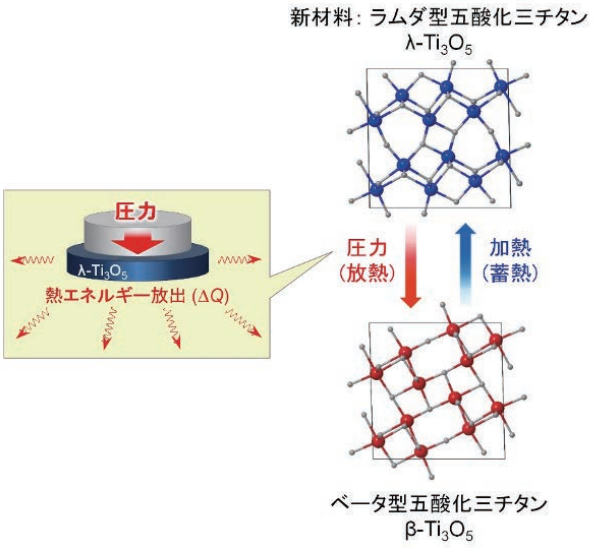


学類担当教員の研究紹介

永続的に熱エネルギーを保存する
スイッチング蓄熱材料！
（物質・分子工学主専攻
所裕子研究室）

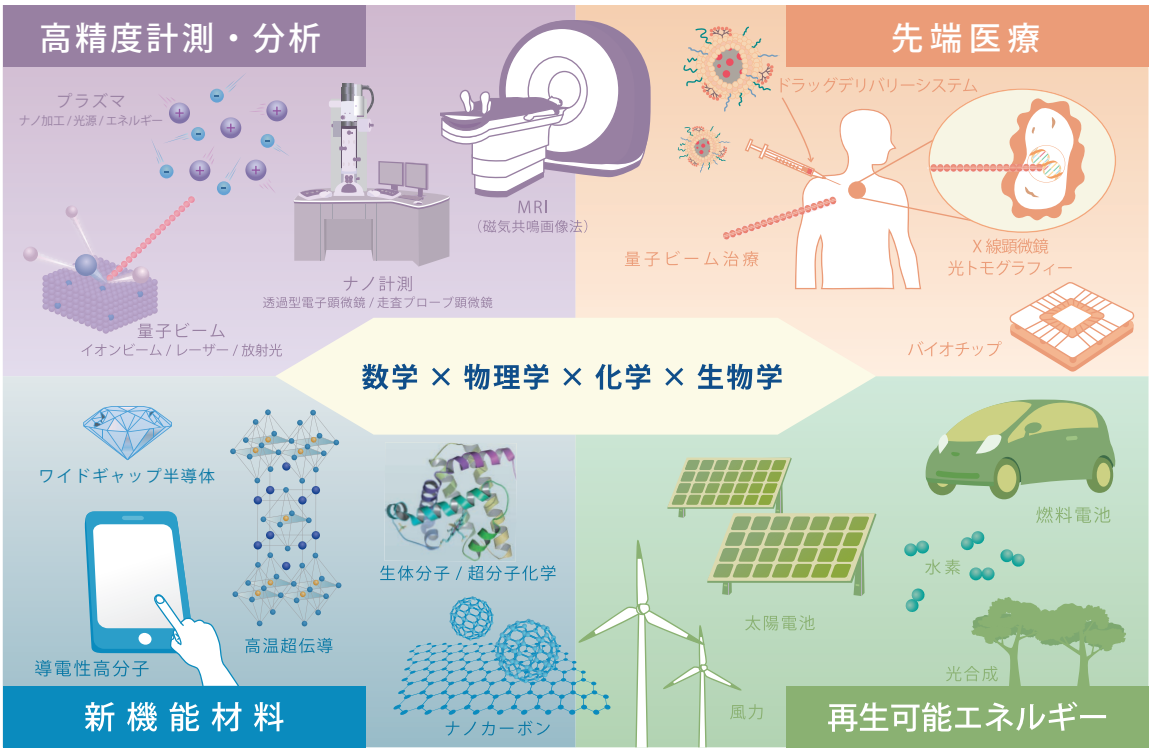


蓄熱材料とは、熱エネルギーを蓄えることのできる材料のことを言います。例えば耐熱材料として使われるレンガやコンクリートなどの顕熱蓄熱材料と、冷却シートとして利用されるエチレングリコールなどの潜熱蓄熱材料があります。このように蓄熱材料は私たちの生活に身近に存在していますが、これまでの蓄熱材料には、蓄えた熱エネルギーを時間とともに放出してしまうという性質がありました。そのため、限られた時間内に熱エネルギーを使う必要がありました。そこで私達の研究グループは、蓄えた熱エネルギーを永続的に保持でき、希望のタイミングでそのエネルギーを取り出すことができるような蓄熱材料を開発できれば、蓄熱を利用した省エネ技術の向上が期待できると考え、材料開発を行いました。開発したラムダ型五酸化三チタンという新しい材料は、蓄えた熱エネルギーを永続的に保存でき、圧力をかけるとエネルギーを放出するという、スイッチング特性をもつ潜熱蓄熱材料です。この技術を実際に応用できれば、熱資源の再利用によるエネルギー循環型社会の形成に役立つと考え、日々研究を行っています。



上図：ラムダ型五酸化三チタンで発見されたスイッチング性能をもつ蓄熱特性。圧力でベータ型五酸化三チタンに相転移し、熱エネルギーを放出する（放熱）。また、加熱により熱エネルギーを蓄えるため（蓄熱）繰り返し利用することが可能である。

応用理工学類が係わる研究分野



資格など

卒業要件以外の「教職科目」や「博物館学」の単位を履修すれば、次の資格が得られます。

取得できる資格

教員免許

中学校一種免許状（数学、理科）

高等学校一種免許状（数学、理科）

社会教育主事、学芸員、司書教諭

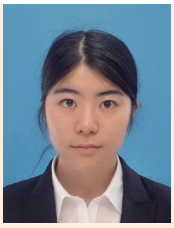
卒業後の進路

目覚ましい科学技術の進歩とともに、工学分野は急速に複雑多様化が進んでいます。最新の科学技術に触れ、より高度な対応能力や経験を身に付けるため、90% 近くの卒業生が大学院に進学しています。応用理工学類に直結した大学院は数理物質科学研究群です。そこでは、連携大学院制度などを通じて、筑波研究学園都市に存在する大学以外の研究機関にて世界レベルの科学技術を学ぶことも可能です。大学院修了生を含めた卒業生のほとんどは、大企業、大学や国立研究所などで研究者や技術者として活躍しています。その具体的な分野としては、電気・通信、半導体、精密機械・計測、鉄鋼・金属、自動車・機械、電力・インフラ、高分子化学、食品・バイオ、官公庁や教員など多方面にわたっています。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材		先端科学技術を原理・原則から理解するための基盤となる数学的・論理的思考力を有し、物理学・化学などの科学的基礎知識を備えたうえで、それらの先端的工学応用に興味を持つ人材。
入学までに学んでおいてほしいこと		数学Ⅲまでの数学および物理基礎・物理、化学基礎・化学の十分な知識・理解力・応用力を有していることが望ましい。また、生物基礎程度の基礎的知識と理解力が備わっているとさらに望ましい。
入学者選抜方針	個別学力検査等（前期日程）	科学の技術分野への応用やミクロな自然法則に基づく科学・技術の習得に必要とされる数学や理科の学力を中心に判断します。基礎学力と進学後の勉学に対する適性を評価します。
	個別学力検査等（後期日程）	先端技術を科学の視点から本質的に理解する基礎学力を持ち、かつ大学進学後の勉学の目的を明確に示すことができ、物理・化学法則に基づく工学分野へ進む意欲を持つ人材を選抜します。
	推薦入試	高等学校において優秀な成績を修めていることに加え、自然科学の技術分野への応用を理解し、自然法則や物質、材料に関連する事柄について自分の興味や進路を適切に表現できる能力を持ち、かつ考察能力、分析能力を有する人材を選抜します。
	国際バカロレア特別入試	先端科学技術を科学の視点から理解し発展させるために必要な強い意欲と数学や物理に関する基礎学力を有し、これを学ぶに必要な日本語および英語の語学力を有する人材を選抜します。
	編入学試験	専門的な工学教育を受容できる大学２年生程度の基礎学力と勉学意欲、工学に対する強い関心と論理的思考力、コミュニケーション能力を総合的に評価します。

卒業生からのメッセージ



岸 奈津子さん（2020 年 3 月 応用理工学類卒業）

応用理工学類では、入学当初から研究室に配属されるまでに幅広い分野の自然科学を学ぶことで研究の土台となる知識だけではなく、ものの見方、考え方を身につけることができます。それによって学生一人ひとりが既成の枠の範囲にとどまらない発想ができる素地ができ、さらに研究室で研究として結実させることができます。私自身、研究室に配属されて1年と経ちませんが、多岐にわたる知識がなければ新しい発想は生まれないことを日々実感しております。

また、応用理工学類は研究分野の幅も広く、世界レベルの研究に直に触れることができるため、入学してからも将来の専門分野についてじっくりと考えることができます。

多種多様な分野を取り扱っている応用理工学類には、個性的な学生が多く、日々新たな発見があります。近い将来皆さんと学び会えることを楽しみにしています。

卒業生からのメッセージ



佐々木 椋一さん（2018年3月 応用理工学類卒業）

応用理工学類は、自然科学の原理を十分に理解したうえでそれを技術に応用するという、いわば理学と工学の双方の視点を持っており、非常に先進的な学びの場となっています。数学・物理学・化学・生物学の幅広いバックグラウンドの知見をもとに、様々なミクロの分野での最先端研究が行われており、混沌とした現代社会で求められる研究者・技術者の理想像がここにあると思います。私は一昨年度応用理工学類を卒業し、本学大学院に進学しました。現在、大学院でMRIに関する研究や学会発表などに取り組んでいますが、学類時代に学んだ様々な科目が生かされていることを実感しています。研究の選択肢の幅広さも魅力で、入学後にじっくりと選ぶことができるほか、学類内の学生の仲も非常に良く、勉学以外でも充実した学生生活を送ることができます。皆さんもこのような魅力的な場で共に学びましょう！

理工学群

工学システム学類

School of Science and Engineering
College of Engineering Systems

https://www.esys.tsukuba.ac.jp

[人材養成目的] 安全で安心であり、快適で豊か、かつ持続可能な人間生活を工学面から支え牽引できる人材、すなわち、1．広い分野に応用できる基礎能力、2．広い視野を持った仕事の遂行能力、3．社会人・職業人としての人間基本力を身につけた技術者・研究者を養成します。

カリキュラム

「工学システム」は工学の新たに確立された学問体系です。工学システム学類では、急速に細分化が進み専門化されすぎた工学を、新しい観点から整理し系統立てて教育することにより、工学の様々な問題を解決できる独創的な人材を育成することを目的としています。このため、数学や物理といった工学全体の基礎を広く学ぶとともに、計算機の利用技術、情報処理技術を修得し、さらに新しい工学を作り出すための系統的（システム的）方法論と手法を学びます。また、高度な発展を遂げてきた諸技術の要点を把握し、それらの例を通じて系統的な考え方を理解し、まとまった機能を持つシステムの設計や実現を体験する中で、高度な工学的独創性を磨いていくことを目指します。

主専攻	学べること	主な専門科目	専門基礎科目
知的・機能工学システム	人に優しい、高度に知的・機能化された総合的なシステムの構築手法を学ぶことによって、安心と安全、快適さと豊かさをあわせ持った持続可能な社会を工学面から支え、牽引できる人材の育成を目指しています。数学・物理学・コンピュータに関する専門基礎科目を学んで、工学的な諸問題を分析できる基礎能力を身に付けた後、様々な専門科目の学修を通じて、科学技術と社会の関連を理解し、新たな技術を企画し、システムを設計できる能力を涵養していきます。卒業研究では、コミュニケーション、エンタテインメント、バーチャルリアリティ、拡張現実感、ソフトコンピューティング、システムデザイン、知的情報処理、人工知能、スマートセンシング、システム制御、ロボティクス、医療福祉、ヒューマンインタフェースなどに関する先端的なテーマに取り組み、研究課題の具体的な解決策を考案し、計画的に研究を進める能力を高めます。	プログラミング序論Ｃ・D、線形システム制御、メカトロニクス機構解析、コンピュータとネットワーク、数値解析、知的情報処理、ディジタル信号処理、システム最適化、ヒューマンインタフェース、人工知能、情報理論、システムダイナミックス、通信工学、データ構造とアルゴリズム、パターン認識、応用プログラミング、機械学習Ａ・B、メカトロニクス機能要素概論、ロボット工学、知的・機能工学システム実験など	数学リテラシー 微積分 線形代数 力学 電磁気学 複素解析 常微分方程式 線形代数総論 解析学総論 力学総論 電磁気学総論 材料力学基礎 流体力学基礎 熱力学基礎 プログラミング序論Ａ・B 工学システム原論
エネルギー・メカニクス	エネルギー・メカニクス主専攻では、工学システム学類が目標とする技術者像を念頭に置き、特に力学、電磁気学、熱力学などの物理現象に対する知識に立脚した、横断的な幅の広い工学教育を行います。社会のエネルギーシステムやインフラシステムに代表されるような基盤的システムの設計や維持、さらには、快適さと豊かさをあわせ持った未来社会の構築を目標とし、発展的に学ぶ「材料力学」、「流体力学」、「熱工学」、「構造力学」などの力学系科目、および「電磁力工学」などの電磁気系科目を基盤として、実物を対象とした実験系科目とともにコンピュータを用いたシミュレーション技術も同時に学んでいきます。卒業研究では、環境・エネルギーシステム、マルチスケール固体材料工学、宇宙開発工学、ディザスタ制御などを横断的に研究する各研究室に配属され、深く掘り下げた専門的工学知識を学びます。	電気回路、計測工学、確率統計、材料学基礎、応用数学、機械設計、フィードバック制御、信頼性工学、専門英語、専門英語演習、工学システム基礎実験、工学者のための倫理、卒業研究 材料力学、流体力学、熱力学、数値計算法、構造力学、振動工学、流体工学、複合材料学、伝熱工学、土質力学、防災工学、水環境論、電磁力工学、パワーエレクトロニクス、エネルギー機器学、設計計画論、建築環境工学、建築設計製図、電力工学、燃焼工学、エネルギー・メカニクス専門実験、エネルギー・メカニクス応用実験など	

令和３年度から、知的工学システム主専攻と機能工学システム主専攻、環境開発工学主専攻とエネルギー工学主専攻がそれぞれ統合され、知的・機能工学システム主専攻、エネルギー・メカニクス主専攻となりました。

工学システム学類パンフレットの請求方法

●パンフレット等は、学類Web ページからダウンロード可能です。
https://www.esys.tsukuba.ac.jp
●テレメールによる請求もできます（p.167　資料請求番号は541440）

工学システム学類のキャリアパス



専門として学べる内容

教育内容と2つの主専攻分野

工学システム学類のカリキュラムは、4 年間を通じて一般的な科目と専門的な科目とを融合的に学べるように配慮されています。このため 1 年次からレベルに応じた専門的な学問に触れることができます。2 年次後半から、「知的・機能工学システム」、「エネルギー・メカニクス」の 2 つの主専攻分野に分かれますが、学生本人の希望により他の主専攻、他学群・学類の講義も受けることができる柔軟な教育体制の中で深さと幅広さの両方を追求できるようになっています。

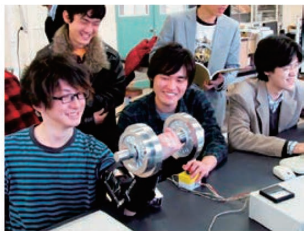
特徴

工学システム学類は、機械工学、情報工学、電気電子工学、建築学、土木工学、システム工学、原子力工学、エネルギー工学、環境工学、ロボット工学、航空宇宙工学、リスク工学など非常に広範囲な分野を専門とする教員を擁しています。これは一般的な大学工学部の大半の学科を網羅する守備範囲の広さともいえるでしょう。工学システム学類では，担当教員がこのように広い分野にまたがる集団をなすことを生かし、それらをできるだけ横断的に融合した教育プログラムを用意しています。この教育プログラムによって様々な工学分野の壁を超えた広い知識を習得できます．広い視野を持ち，斬新で卓越したアイデアを創造できる人材の育成を目指しています。

卒業後の進路

卒業生は、将来の先端的な分野で活躍することが期待されています。毎年の卒業生は約140名ですが、卒業後すぐに就職する学生がいる一方、120名余りが大学院に進学しその修了後に就職します。「知的工学システム主専攻と機能工学システム主専攻」（知的・機能工学システム主専攻の改組前の主専攻）の卒業生の主な就職先は、電気・電子、情報、機械、通信、サービス等の企業や官公庁です。また、「環境開発工学主専攻とエネルギー工学主専攻」（エネルギー・メカニクス主専攻の改組前の主専攻）の卒業生は、上記の企業や官公庁に加えて電力、航空宇宙、重工業、建設、材料分野等の企業へも就職先が広がっています。

特色のある授業や研究

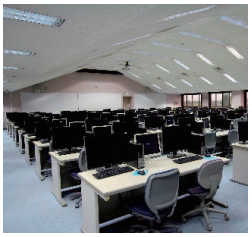


人の上腕の運動特性計測と、人と協調して働くシステムの設計・製作・実験・評価などを行い、サイバニクス技術について学びます。



ワンチップマイコン、超音波距離センサ、磁気センサ等を搭載して自律飛行する飛行船を設計・製作します。





3D プリンタなどのデジタル工作機械を利用し、プロトタイピングを実践できるデジタルファブリケーションルーム、自学自習に利用することができる計算機室やラウンジが整備されています。ラウンジには飲み物と軽食の自動販売機が設置されています。









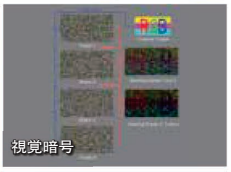










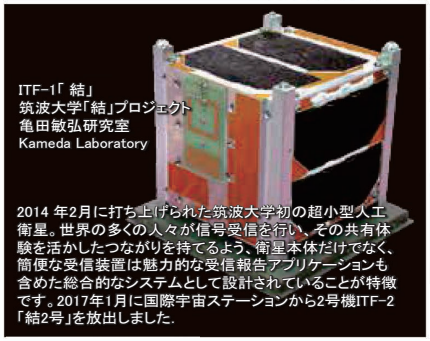


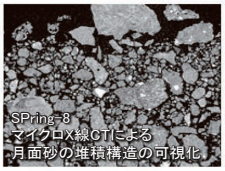


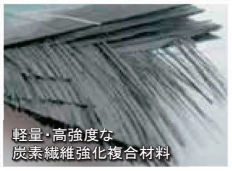


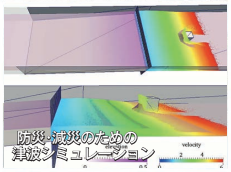


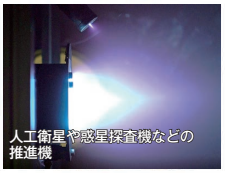






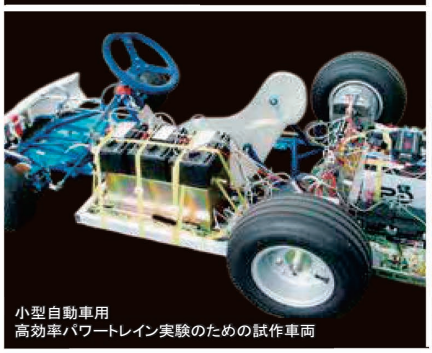






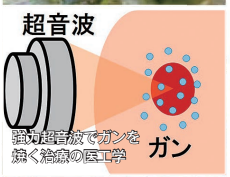






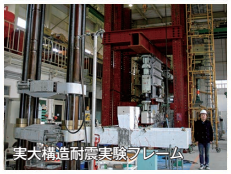












卒業生からのメッセージ

長谷川建（はせがわたける）
2022年度 エネルギー工学主専攻卒業



工学システム学類の特徴は何といっても分野横断性にあると思います。工学の広大な領域をカバーしており、何を学ぶかは個人が自由に選択することができるので、自身の興味の赴くままに工学を幅広く学ぶことができますし、将来の進路の選択肢を多様に広げることができます。また、研究室もバラエティに富んでおり、工学は勿論のこと、情報学や医学生物学、社会科学に工学的にアプローチしている研究室もあり、これもまた学類の面白い特徴だと思っています。工学システム学類で、あなたの好きなことを、心ゆくまで探求してみませんか。

島津彩香（しまづあやか）
2023年度 知的工学システム主専攻卒業

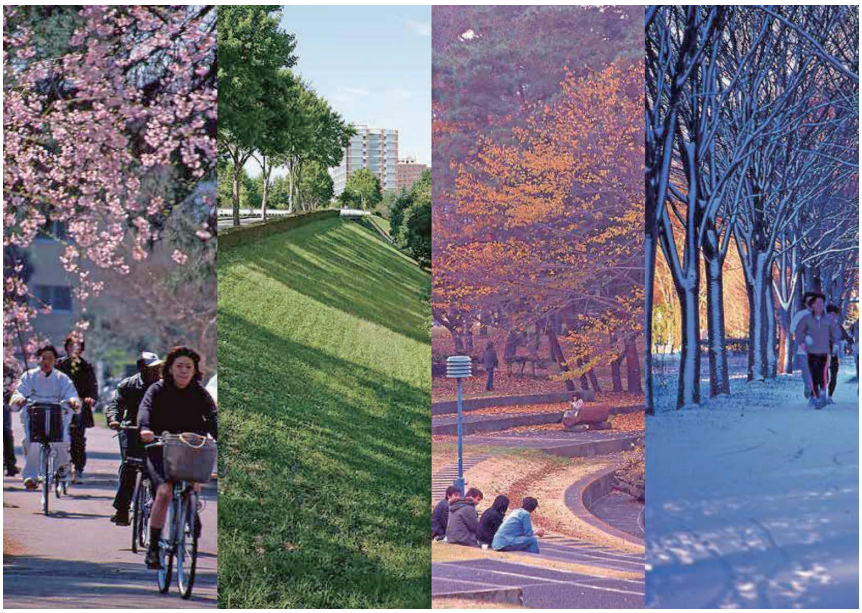


工学システム学類では主専攻配属が行われるまで、工学の基礎について広い知識を得ることができます。それによって自分の興味が深まり、知らなかった分野で興味を見つけることができた上で主専攻を選べるため、入学後に本当に自分がやりたいことを見つけることができます。知的工学システム主専攻では機械設計やプログラミング等の分野について実験を通して実践的に学ぶことができます。入学した際はぜひここでしかできない経験を通じて、充実したキャンパスライフを送ってください。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材		工学システム学類の入学者には以下のことを求めます： (1) 工学系に必要な基礎学力とセンスがあること。 (2) 好奇心と学習意欲に溢れていること。 (3) 技術者になるという明確な目的意識があること。 (4) 優れた思考力、判断力、表現力とコミュニケーション能力を身につけていること。
入学までに学んでおいてほしいこと		数学Ⅲと物理基礎・物理の内容および基礎的な英語能力を身につけていること。
入学者選抜方針	個別学力検査等（前期日程）	自然科学、数学における基本的な概念や原理・法則への理解の深さ、事象を自然科学的に考察して理解するとともに数学的に処理する能力の高さを評価します。
	個別学力検査等（後期日程）	基礎学力の評価に加えて、工学的システムに対する関心の高さと、自然科学や数学における基本的な概念の理解の深さ、並びに、勉学への意欲を評価します。
	推薦入試	高等学校在学中における、授業科目の学習と生徒会やスポーツなどの課外活動への取り組みの両立を評価するとともに、数学など工学系に必要な基礎学力と科学的思考姿勢と工学センス、並びに、思考力、判断力、コミュニケーション能力などを評価します。
	国際バカロレア特別入試	自然科学や数学の基礎学力に加えて、主体的に学び考える力およびコミュニケーション能力、工学を積極的に学ぶ強い学習意欲を評価します。
	外国学校経験者特別入試（第1種）	工学に対する関心や理解力、日本語能力に加え、入学後の学修に必要な基礎学力を総合的に評価します。
	編入学試験	専門的な工学教育を受容できる基礎学力と勉学意欲、工学に対する強い関心と論理的思考力、コミュニケーション能力を総合的に評価します。

その他、総合選抜入試で入学後、2年次より工学システム学類に移行することが可能です。この場合、1年次の授業は上記入試合格者とほぼ同じものとなります。



理工学群

社会工学類

School of Science and Engineering
College of Policy and Planning Sciences

https://www.sk.tsukuba.ac.jp/College/

[人材養成目的] 人間行動が複雑に絡み合う社会的諸問題を工学的・実践的・戦略的に分析するために必要な文理融合型思考能力とデータ分析・活用能力を持ち、総合的な問題解決のためのシステムを設計できる人材を養成します。



“つくばの社工”：筑波大学 理工学群 社会工学類

現代社会が直面する複雑・多様な諸問題は、もはや伝統的な学問の個別領域で単独に解決することが困難となっています。そこで“つくばの社工”では、社会・経済（社会経済システム主専攻）、企業･経営（経営工学主専攻）、都市･地域（都市計画主専攻）に関する社会問題に対して、そのメカニズムを科学的・客観的に理解し、新たなよりよい社会システムを提案できる未来構想人材の育成を行っています。

“つくばの社工”の 1 年次

1 年次は主として、「共通科目」および「専門基礎科目」を履修します。共通科目は、外国語、情報、体育など、大学での学修で必要とされる基礎的能力を養成する科目です。専門基礎科目は社会工学類の専門教育の基礎となる科目で、「数学関連科目」、「プログラミング関連科目」、「社工 3 主専攻の導入的科目」から構成されます。数学関連科目では数学リテラシー、線形代数、微積分、統計学を学びます。プログラミング関連科目では、Python 言語を用いてプログラミングやデータ分析の基礎を学び、人工知能・ビッグデータの時代を見据えた基本スキルを磨きます。社工 3 主専攻の導入的科目は、専門科目への入門的な性格を持ちます。経済学の数理、経済学の実証、会計と経営、社会と最適化、都市計画入門、都市数理の 6 科目が用意されています。

“つくばの社工”の 2 年次以降

2 年次から学生は社会工学を本格的に学びます。各学生は、1 年次の学修をふまえ、2 年次の春学期終了時点で自由に主専攻を選択できます。その後も他の主専攻を副専攻とし、より広い専門性を習得することもできます。また、他の主専攻の教員から研究指導を受けることも可能です。この自由な教育研究環境が“つくばの社工”ならではの大きな特徴です。2 年次には社会工学演習と社会工学英語を履修し，社会工学を学ぶ上で必要な知識とスキルを習得します。そして、各学生の希望する専門科目を学びます。3 年次と 4 年次の学生には、より高度な専門科目を学修できるようにカリキュラムを工夫しています。

“つくばの社工”では、各主専攻の専門科目をエリアという科目群に分けています。具体的には、社会経済システム主専攻には「計量分析システム」「公共システム」「戦略行動システム」の 3 エリアが、経営工学主専攻には「マネジメント」「情報技術」「数理工学モデル化」の 3 エリアが、そして都市計画主専攻には「環境とまちづくり」「都市構造・社会基盤」「地域科学」の 3 エリアがあります。幅広く専門領域を学修し、総合的・学際的な問題解決能力を醸成するために、所属する主専攻だけでなく他の 2 主専攻の専門科目を履修することを卒業要件としています。

総合学域群から社会工学類へ移行する学生は、2 年次春学期の必修科目「社会工学演習」を通じて社会工学類に馴染み、主専攻選択が不安なく行えるように配慮しています。

社会工学類パンフレットの請求方法

●パンフレット等は、学類ウェブサイトからダウンロード可能です。
https://www.sk.tsukuba.ac.jp/College/
●ご興味のある方は、インターネットで“社会工学類”を検索してください。

学類長からのメッセージ



激動の時代に向かっての社会工学　社会工学類長　イリチュ 美佳

AI 時代の到来、自然災害の頻発、国際紛争を含む世界の政治経済の変化、新型ウィルス感染症の蔓延など、今や、世界は激動の時代を迎えております。まさに「疾風怒濤の時代」の到来とも言えます。この怒濤の海を乗り切るには、優秀な船乗りが必要であることは言うまでもありません。私達、教育と研究に携わる者にとって、優秀な船乗りになれる人材を養成することが喫緊かつ最大の責務であると感じております。当筑波大社会工学類“つくばの社工”としては、新しい皆様を大きな期待を持って迎えられることを本当に喜ばしく思っております。当学類の大きな目標は「複雑な社会の生み出す諸問題を学術的に分析するための思考能力の素養を磨き、その能力を持って今の社会に対応し、貢献できる人材を養成する」ことにあります。具体的に申し上げますと、当学類は、「社会経済システム」「経営工学」「都市計画」の三つの主専攻から構成され、各主専攻間の専門領域の学際的叡智を結集して、多種多様の社会問題に対するための知識や技能の修得が図られています。そのための教育プログラムも多岐にわたり、経済学、経営学、心理学、社会学などの文系科目と数学、統計学、オペレーションズ･リサーチ、情報工学、計算機科学、都市･環境工学などの理系科目との文理融合型のカリキュラムを提供しております。また、実習や演習を重視し客観的分析力、実践的思考力と解決能力を身に付ける方法の教育も行ってきました。そして、それぞれの学問分野には、その学問に通暁された先生が数多くおられます。

「疾風怒濤の時代」に船出し、それを乗り越えるには、船を動かす者の力量にすべてがかかっております。そして、その力量は、より良き社会への変革を生む力量でもあります。「社会工学という知性と技能の力量」をしっかり身に付け、この荒波に立ち向かって頂きたいと切に願っております。

主専攻	学びたいこと	学べること
社会経済システム	☆社会・経済がどのような制度や慣習に基づいているかを知りたい。 ☆社会・経済問題を解決する制度設計のあり方を提示できるようになりたい。 ☆制度の中で人々がどのような行動をするのか、自発的に協調できるのかを追究したい。	現代社会の理解に必須のミクロ経済学、マクロ経済学、計量経済学を基盤として、経済・金融データの分析（マクロ計量分析、計量時系列分析など）、現代的な社会経済のあり方（公共経済学、国際金融論など）、人間の意思決定・戦略行動（ゲーム論、実証ミクロ経済学など）を幅広く学べます。
経営工学	☆経営問題の原因を科学的に特定し、解決策を提示できるようになりたい。 ☆世界で戦える経営技術（数学力× IT 力×現場力）を身につけたい。 ☆顧客と企業が互いにより Win-Win になる姿を追究したい。	数学力（数理最適化法、応用確率論など）、IT 力（情報ネットワーク、データ解析など）、現場力（経営学、ファイナンスなど）を身につけ、それらを駆使して経営問題の発見から解決までの一連のプロセスを実行できる人材を育てます。
都市計画	☆都市・地域の諸問題の原因と構造を科学的に特定したい。 ☆住み良い快適な都市のデザインや計画を提案できるようになりたい。 ☆地域の活性化に貢献できるようになりたい。 ☆世界中の都市について知りたい。	「都市計画の歴史」等で都市の成り立ちや蓄積されてきた文化を知り、「現代まちづくり論」等で現代の都市における各種の問題とその要因の理解を深め、「都市計画マスタープラン演習」等で将来的に都市計画やまちづくりの面から解決する実践力を身につけます。

経済学部との違い

社会経済システム主専攻と通常の経済学部の大きな違いは、理工系のカリキュラムの上で社会経済を学ぶことができる点です。学生は、理工学群共通カリキュラムの数学科目を学び、情報学群と共同開講されるプログラミングの教育を受けます。さらに、データ分析に関する講義科目・演習科目の履修を通じて数理的専門性を高めた上で、経済学に関する専門性を身につけることができます。卒業研究では、少人数の研究室に所属し、数理的手法・アプローチを重視した本格的な研究活動に、教員の手厚い指導の下で取り組むことが可能です。

経営学部や経営学科との違い

経営工学主専攻では、経営学、ファイナンス、マーケティングといった経営学部や経営学科でも学ぶ科目の他に、「ＩＴ力」としてのデータ解析や情報技術、「数学力」としての数理最適化や数理統計学などを学びます。「開かれた大学」として、産業技術総合研究所やアクセンチュアなどと協力した教育研究を行っていることも特徴です。経営工学主専攻の多くの研究室では、データサイエンス／ AIに関する基盤的・実装的研究を行っており、この点も経営学部や経営学科との大きな違いとなっています。

建築学科・土木工学科との違い

都市計画主専攻が建築学科・土木工学科と異なるのは、都市・地域の諸問題について、これらを分析し解決するための社会的・科学的・計量的アプローチを重視している点にあります。そのために演習では、身近な問題を取り上げ、実地調査などを踏まえ、対策を立案し表現する能力の養成に主眼が置かれています。つまり、従来のハード重視の建築学科・土木工学科に比べ、スマートシティ等の政策も含めたソフト面が重視された内容となっています。もちろん、建築士の受験資格を得るためのカリキュラムも用意されています。

“つくばの社工”の学際性強化

“つくばの社工”の学生は、他学類で開設されている全ての授業科目を「関連科目」として履修できます。筑波大学では、様々な分野の学生が各学類の専門の基礎を学べるように、各学類・専門学群から専門基礎科目等の一部が「専門導入科目」として提供されています。専門導入科目は、各学生の幅広い履修が可能になるように大学全体で時間割が調整されています。多様な分野の授業を履修することで、自分の専門分野の位置づけを理解するとともに、幅広い視野を育んで下さい。

卒業生からのメッセージ



玉井　恵美
（2005年卒業）
（社会経済システム主専攻）
筑波大学大学院
システム情報工学研究科修了
日興コーディアル勤務

筑波大学の良いところは、まず何といっても、緑に囲まれた広大な敷地でのびのびと充実した学生生活を過ごすことができるということです。社会人になって感じたのは、落ち着いた環境で勉強に励むことができたことは本当に恵まれていたんだということです。また、“つくばの社工”では経済を社会工学的アプローチで学べ、基礎から応用、実践的技能までしっかりとしたカリキュラムが組まれており、指導してくださる先生方も幅広い分野の先生方に恵まれております。経済を科学的・工学的アプローチで分析し、問題解決を図る力は、きっと社会に出た時に非常に強みになると思います。



流王　智子
（2007年卒業）
（経営工学主専攻）
筑波大学大学院
システム情報工学研究科修了
鉄道総合研究所勤務

“つくばの社工”では、問題に直面したときに、頭の中だけでなく、問題解決の裏づけとなる数学的な根拠の部分にまで踏み込んだ学習をします。この数学的根拠は非常に重要で、自分の考えを受け入れてもらうには必要不可欠です。その上で今どのような問題が社会で起きているのかを自ら発見し、何が原因となっていて、自分はその解決のために何ができるのか考える能力が重要です。この能力を養う機会が“つくばの社工”には多くあると思います。



嶋田　章
（2010年卒業）
（都市計画主専攻）
筑波大学大学院
システム情報工学研究科修了
環境省勤務

“つくばの社工”で都市計画を学んだことは、私にとって得難い経験です。都市計画主専攻では、フィールドワークやアンケートなどの調査と、モデル化、シミュレーションなどの数理的な手法とを組み合わせて都市・地域の問題解決を考えます。2～3年次の演習では、実在する地域・街区を題材に、問題解決のための提案や設計を考え、根拠とともにプレゼンテーションし、各分野でご活躍の先生方からアドバイスをいただきます。現場に足を運んで体感すること、また合理的な根拠とともに提案を示すことの重要さを学んだ経験は、行政官としての仕事にも非常に役立っています。





都市計画関連の演習では、実在の敷地を課題地とした集合住宅設計や、自治体を対象としたマスタープラン策定、環境に配慮したまちづくりの方法を学びます。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材		社会・経済、企業・経営、都市・地域において生起する多種多様な社会問題を認識し対処するために必要な学際的思考力を修得し、国際社会に貢献できることを希望する人材。
入学までに学んでほしいこと		社会・経済現象、企業経営、都市計画上の問題に対して高い関心を有し、かつ論理的・数理的な思考ができること。
入学者選抜方針	個別学力検査等（前期日程）	数学と外国語の基礎学力とともに、高等学校における国語・社会・理科の学習内容の理解度を評価して選抜します。
	個別学力検査等（後期日程）	高等学校における学習内容の理解度とともに、現代社会の課題や動きについての関心度、論理的・数理的分析力、自分の言葉で表現する能力を評価して選抜します。
	推薦入試	高等学校における学習習慣と、入学後の学習に必要な基礎学力を備えた志望者の中から、問題意識の高い人材を選抜します。現代社会の課題や動きについての関心度、論理的・数理的分析力、自分の言葉で表現する能力を評価します。
	国際バカロレア特別入試	数学の基礎学力を有し、国際的な経験を通して広い視野を持ち、一連の学習活動を主体的に行うことのできる明確な目的意識と勉学意欲を持つ人材を選抜します。
	外国学校経験者特別入試（第1種）	広い視野を持ち、入学後の学習に必要な基礎学力・日本語能力を備えた志望者の中から、問題意識の高い人材を選抜します。社会の出来事や課題についての関心度、論理的・数理的分析力、表現能力を総合的に評価します。
	外国学校経験者特別入試（第2種）	高等学校における学習習慣と、入学後の学習に必要な基礎学力を備えた志望者の中から、問題意識の高い人材を選抜します。現代社会の課題や動きについての関心度、論理的・数理的分析力、自分の言葉で表現する能力を評価します。
	編入学試験	社会工学における専門的知識を修得できる基礎学力と勉学意欲、社会工学に対する強い関心と論理的・数理的思考力、コミュニケーション能力を総合的に評価します。

卒業後の進路

卒業生の1/3が就職、2/3が大学院に進学しています。大学院修了者も含め、企業・団体、公務員、大学教員など、国内外で広く活躍しています。

社会工学類
- [他大学大学院]　大阪大学、京都大学、東京大学、東京工業大学、一橋大学　ほか
- [筑波大学大学院]　博士前期課程　システム情報工学研究群　ほか
- [筑波大学大学院]　博士後期課程　システム情報工学研究群　ほか

[主な企業・団体]

【起業】カンパイ！ブルーイング、キャッセン大船渡、地域ブランディング研究所、Next Cabinet IWATE
【建設・不動産】NTT都市開発、大林組、鹿島建設、クボタ、清水建設、大成建設、大和ハウス工業、東急不動産、日建設計、長谷工コーポレーション、三井不動産住宅リース、三菱地所、UR都市機構
【製造】旭硝子、NEC、花王、京セラ、コマツ、ソニー、東京計器、東芝、トヨタ自動車、日産自動車、パナソニック、日立製作所、ブリヂストン、本田技研工業、三菱重工、ヤマハ発動機
【情報通信】SCSK、NTTコミュニケーションズ、NTTコムウェア、NTTデータ、NTTドコモ、NTT西日本、NTT東日本、KDDI、ソフトバンク、日鉄ソリューションズ、日本アイ・ビー・エム、ヤフー
【流通・商社】伊藤忠商事、JR西日本、JR東日本、西武鉄道、東急電鉄、豊田通商、阪急電鉄、三井倉庫、三菱商事、ヤマト運輸
【金融・保険】ゴールドマン・サックス証券、信金中央金庫、損害保険ジャパン、第一生命保険、日本政策金融公庫、農林中央金庫、野村證券、みずほフィナンシャルグループ、三井住友銀行、三菱UFJ銀行、ゆうちょ銀行、りそな銀行
【専門・技術サービス】アクセンチュア、NTT研究所、監査法人トーマツ、構造計画研究所、新日本監査法人、帝国データバンク、電通、日本赤十字社、日本総合研究所、野村総合研究所、リクルート
【生活関連】味の素、アマゾンジャパン、資生堂、ディー・エヌ・エー、バンダイ、マツモトキヨシ、ユニクロ、楽天

[公的機関]

全国の都道府県庁・市役所。環境省、経済産業省、国土交通省、財務省などの中央官庁。筑波大学、東京工業大学、日本大学、一橋大学、早稲田大学などの教員・研究員。日本財団などの公益財団法人。宇宙航空研究開発機構（JAXA）などの独立行政法人 ほか

主な進路概況（50音順）

情報学群

情報科学類

School of Informatics
College of Information Science

https://www.coins.tsukuba.ac.jp/

[人材養成目的] 現代社会の原動力である情報を収集・分析・理解・伝達・変換・活用するための工学的な技術やその原理となる数理や自然科学を理解し、それを実社会における様々な問題に適用して解決する実践力を備え、グローバルな視点に立って情報技術の発展を主体的に担うことができる人材を養成することを目的とします。

21世紀に入り、世界の先進国は工業化社会から高度情報化社会へ変容を遂げつつあります。そこでは、「物」や「エネルギー」に比べて、「情報」とそれが内包する「知識」が、より大きな価値と役割を担います。知識集約型の情報産業は、既に我が国の産業の中で極めて重要な地位を占めていますが、今後もその重要性はますます増大し、「情報」の本質を理解し使いこなす人材の必要性も、ますます大きくなっていくに違いありません。「情報」は現代文明を支える科学技術のキーワードです。情報科学類では、社会のあらゆる分野で必要とされる「情報」に関する科学技術を対象にした学問ー情報学ーを学びます。情報学は、情報そのものについての科学と、コンピュータなどを用いて情報を

科目分類	概要	学べること
共通	1、2年次では、情報科学の全体像の理解、数学の素養、情報科学を支える理論や方法論、情報技術の基礎となるプログラミングやコンピュータの仕組みや構成などを学習します。講義形式の授業のほか、実験・実習をふんだんに取り入れた授業、学生が自ら学習テーマを設定する授業など多彩な科目を用意しています。 3年次では、情報科学の専門的学習の共通基盤となる科目を学習し、4年次では、情報科学類での学習の仕上げとして、研究室に所属して先進的な研究の一端を担う卒業研究を行います。	（1、2年次）線形代数、微分積分、情報数学、確率論、統計学、論理と形式化、電気回路、情報リテラシー、データサイエンス、プログラミング入門、コンピュータとプログラミング、論理回路演習、論理システム、数値計算法、オブジェクト指向プログラミング、情報特別演習など（3、4年次）Computer Science in English、インターンシップ、専門語学、卒業研究など
ソフトウェアサイエンス分野	自律して動作するロボットが人間の生活空間の中で活動したり、コンピュータが音楽を表情豊かに自動演奏したり、あるいは、ネットワークを通して何千台ものCPUが連携してシミュレーションを行ったり、このような活動の中で現代のコンピュータは複雑な情報を即座に処理しています。自然・社会・人間の脳などにある多種多様な情報をコンピュータで処理するためには、様々な問題を数理的手法を使ってモデル化し、適切な処理方法を考案してソフトウェアで解決することが必要です。ソフトウェアサイエンス分野の科目では、このような情報処理の基本となる理論とその応用技術を学びます。	数理アルゴリズムとシミュレーション、人工知能、オートマトンと形式言語、プログラム理論、プログラミングチャレンジ、システム数理、プログラム言語論、インタラクティブCG、情報線形代数、情報可視化など
情報システム分野	インターネットや携帯電話などの情報通信技術は、短期間に劇的に普及し、ダイナミックに変化を遂げる性質を持っています。しかし、表面的には目まぐるしい変化を遂げているように見える技術も、本質的な原理はそれほど大きく変わるものではありません。情報システム分野の科目では、情報化社会を支える基盤技術としてのオペレーティングシステム、プログラミング言語、データベース、プロセッサ、ネットワーク等を体系的に理解し、更なる発展を担う能力を身につけるための学習を行います。	コンピュータネットワーク、計算機アーキテクチャ、データベース概論、オペレーティングシステム、並列処理アーキテクチャ、VLSI工学、プログラム言語処理、システムプログラム、ソフトウェア工学、情報検索概論、分散システム、電子回路など
知能情報メディア分野	コンピュータに「目・耳・知能・安全を与える」技術を学びます。例えば、コンピュータにどのようにして知識を与えるのか、それを使えばどのような思考や推論が可能となるのか、コンピュータは画像や音声をどのように理解するのか、マルチメディア情報はどのようにデザインされ記憶・伝達されるのか、ネットワークでやりとりされる情報の安全を守るにはどのような工夫が必要かなどについて、演習や実習を交えながら理解を深めます。今後ロボットやコンピュータなどの機械はますます高度化・複雑化していきますが、これらの機械を「安全に、効率よく」かつ「簡単に」使えるようにするための学習を行います。	ヒューマンインタフェース、信号処理、音声聴覚情報処理、自然言語処理、視覚情報科学、情報セキュリティ、画像メディア工学、画像認識工学、機械学習、情報理論など

情報科学類パンフレットの請求方法

●パンフレット等は、学類Webページからダウンロード可能です。
https://www.coins.tsukuba.ac.jp/
●テレメールによる請求もできます。 (p.167　資料請求番号541280)

教員からの一言



阿部　洋丈

私が大学に入学した頃のコンピュータは、梱包から出して使えるようにするのも一苦労で、カバンに入れて出先に持ち運ぶなんてもっての外、という代物でした。その頃に比べると、コンピュータを使うことのハードルは格段に下がりました。これからの時代に求められているのは、革新的なアイディアを生み出すための発想力と、その発想をコンピュータで具体化するための実現力です。情報科学類は、基礎から応用までをカバーするカリキュラムや、情報特別演習等の特徴的な取り組みを通じて、そのような能力を備えた人材の育成に全力で取り組んでいます。

扱う技術とを対象にした学問であり、電子工学、通信工学、機械工学などの工学、数学、物理学、生命科学など自然科学、さらには、社会科学・人文科学や医学、芸術など、多様な分野に関連する新しい学問分野です。

専門として学べる内容

情報科学類には、ソフトウェアサイエンス、情報システム、知能情報メディアの3つの分野があります。1・2年次では、共通の基礎的知識や理論及び技術を学び、3・4年次では3つの分野の専門的な科目を学びます。4年次では、選択したテーマを基に研究室に配属され、卒業研究を行います。卒業研究では、ソフトウェア科学、計算機システム、知能情報、情報数理の各分野から提供される多彩な研究テーマを選択できます。

特長

情報科学類は、情報学の基礎となる考え方や技術を学ぶだけでなく、これらを実社会における様々な問題に適用して解決するための思考力と洞察力を養い、情報化社会の中核となる人材を育てることを目指しています。そのために情報科学類では、情報科学の基礎理論、コンピュータを用いた情報処理技術、基礎理論や技術を具体的な問題へ適用する情報システム工学、人にやさしい知能情報技術など、幅広い分野に対する充実したカリキュラムを用意しています。また、講義に加えて、コンピュータを用いた演習や実習を行い、情報学を体験的に学べるように配慮しています。

資格など

卒業要件以外に「教職科目」や「博物館学」の単位を修得すれば、教員や学芸員の資格が得られます。

取得できる資格

教員免許
- 中学校一種免許状（数学）
- 高等学校一種免許状（数学、情報）

社会教育主事、学芸員、司書教諭

この他に、以下のような資格を有している卒業生や学類生がいます。

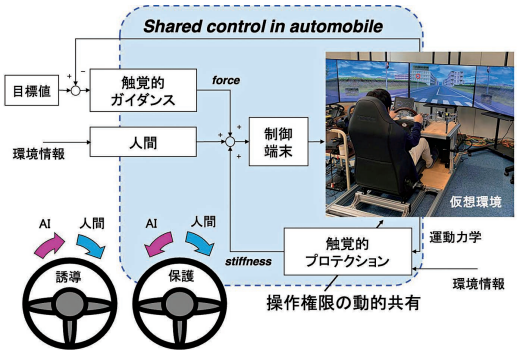
- 情報処理技術者試験
  - 基本情報技術者
  - 応用情報技術者
  - ネットワークスペシャリスト
  - エンベデッドシステムスペシャリスト
  - 情報セキュリティスペシャリスト
- Oracle認定Javaプログラマ
- LPICレベル1
- 第一級陸上無線技術士
- 工事担当者DD第1種
- 第3種電気主任技術者
- 技術士補（電気電子）
- 弁理士　など

設備

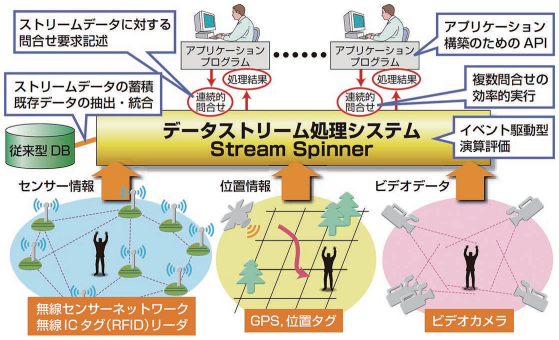


最先端のコンピューティング環境を計算機室やインターネットから24時間利用可能

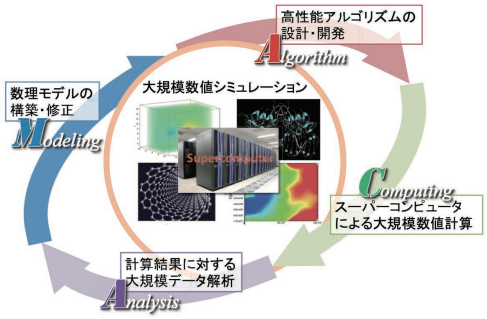
研究紹介



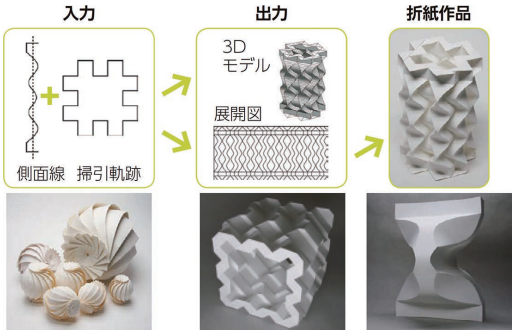
自動運転システムなどのヒューマンマシンシステムの設計とシミュレータ実験による HMI の評価



ユビキタス情報管理とストリーム処理



大規模数値シミュレーション技術の開発



計算機を用いた立体折紙の設計。1 枚の紙から立体的な折紙作品を作ることができる。曲線、曲面も含めることができる。

先輩からのメッセージ



来栖 壮馬
2020年卒
群馬県立桐生高等学校卒

総合大学であることを感じさせる開放的かつ広大で風光明媚なキャンパスは、筑波大学の大きな特徴の一つです。隔たりのない独特な生活を送りながら、学年・学類の枠に縛られずに興味のある分野を学ぶことが出来ます。そのため柔軟な履修計画を組みやすく、自分に合う学習環境を築くことが出来る点はとても魅力的です。

情報科学類は他の学類に比べてとても余裕のある履修計画を組むことが出来ます。基本の時間割に従うと、空き時間が多いため組み忘れてしまった科目も受けやすくなっています。また、1 年次と 2 年次について時間帯の違う必修科目が多いため、1 年次で積極的に他学類の科目を学び、進級してから 1 年次で履修しなかった科目を組むことも出来ます。僕は、先輩方から 3 年次に余裕がないことを聞いていたため、2 年次の空き時間に 3 年次の科目を少し取り入れることで軽くするなどしました。

情報学のためプログラミングの実践的な授業も必修としてありますが、入門レベルから学ぶため心配する必要はありません。プログラムを構成するアルゴリズムの元となるような知識も数学や物理学等から学ぶことが出来ます。ある程度身に付いてくると、プログラムをアレンジしたり、他の分野の視点への閃きがあったりするでしょう。皆さんには、情報科学類ならではの楽しさをぜひ経験してほしいと思います。



芳賀 慎也
2021年卒
福島県立福島高等学校卒

自分が感じる情報科学類の魅力を2点伝えたいと思います。

1つ目は、様々なスキルを持つ人たちと接点を持つことができる点です。自分たちで起業をしてサイトを運営する人たち、体育会系の部活に入り活躍する人たちなど、情報科学類には多様な分野で活躍している人たちがいます。中には大学対抗競技プログラミングの世界大会で上位入賞してしまうような人たちもいます。情報科学類では、このような多種多様なバックグラウンド持つたちと同じ環境で学び、時間をともにすることができます。彼らとともに切磋琢磨することで自分のスキルアップを目指したり、知見や考えを共有することでさまざまな価値観を形成したりすることができることは、居住地が大学に近い人が多く、時間を気にすることなく活動することができる筑波大学ならではのことではないでしょうか。

2つ目は、情報科学を学ぶ上で無理のないカリキュラムが組まれていることです。必要な授業を履修し、学習を進める中で、社会に出ても問題ない程度の知識とスキルをつけることができます。自分は入学当初、自分のパソコンすらろくに扱えない人でしたが、カリキュラムをこなし、専門分野の学習を進めることで学長表彰を頂くことができました。1、2年次に情報科学の一般的な素養を幅広く身につけることができ、3、4年次には、これから研究を進める上で自分で選択した専門的な知識を習得することができます。筑波大学には、ハードウェアやネットワーク、AIや情報セキュリティといった幅広い分野において第一線で活躍する先生方がたくさんいらっしゃいます。その中から自分が興味を持った研究室を選び、専門性を身につけていきましょう。

最後に、情報科学類ではたくさんの友人と多くの時間を過ごし、切磋琢磨できる環境が揃っていて、今後社会に出てからもすぐに活躍できるような知識や経験を積むことができます。充実したキャンパスライフをぜひ情報科学類で送りましょう。

卒業研究を行う研究室の選択

卒業研究を行う研究室は、３年次の秋に行う希望調査に基づいて決定します。研究室には定員がありますが、多くの担当教員の中から選択することができるため、学生の希望を反映した研究を行うことができます。

卒業後の進路

情報科学類の卒業生には、情報化社会の中核を担う活躍が期待されており、前途は非常に有望です。最近数年間の卒業生の進路は、大学院進学が約７～８割、企業などへの就職が約２～３割です。就職先企業は、情報・通信をはじめ、電機・自動車などの製造業から、金融、マスコミにいたるまで、幅広い分野に亘っています。また、公務員や教員［高校（数学、情報）、中学（数学）各々一種］を目指す道もあります。このように、分野を越えて活躍の場があることは、情報科学類に特有の自在さです。

情報科学類に対応する大学院である理工情報生命学術院システム情報工学研究群には、博士前期課程（２年）と博士後期課程（３年）があります。大学院に進学した人達は、さらに深く専門の研究を行って修士号や博士号を取得したあと、企業や大学、国公立の研究機関、海外などで活躍しています。

卒業生の主な進学先、就職先は以下の通りです。

主な大学院進学（敬称略・順不同）

筑波大学大学院：
情報理工学位プログラム、リスク・レジリエンス工学学位プログラム、グローバル教育院、情報学学位プログラム、教育学学位プログラム、生物学学位プログラム

他大学大学院：
東京大学、東北大学、東京工業大学、電気通信大学、名古屋大学、慶應義塾大学

主な就職先（敬称略・順不同）

情報・通信システム：
NTT コムウェア、NTT データ、NTT ドコモ、大塚商会、サイバーエージェント、ナビタイムジャパン、日本マイクロソフト、楽天、日本ユニシス、富士ソフト、等

電機：
TDK、アルパイン、オリンパス、キーエンス、ソニー、パナソニック、日本電気、日立製作所、富士ゼロックス、富士通、任天堂、等

通信サービス・生活サービス・鉄道：
クックパッド、JR 東日本、セガ、ディー・エヌ・エー、ドワンゴ、ヤフー、日鉄ソリューションズ、日本郵政、良品計画、等

自動車・機械・エネルギー：
スズキ、トヨタ自動車、マツダ、東レ、本田技研工業、等

マスコミ・出版・銀行保険など：
NHK、スルガ銀行、セゾン情報システムズ、つくば都市振興財団、ノジマ、三菱 UFJ 投信、三菱商事、新生銀行、東京海上日動火災保険、日本総研、野村證券、野村総研、リクルート、等

官庁・自治体：
陸上自衛隊、桜川市役所、栃木市役所、古河市役所、航空自衛隊、台東区役所、会計検査院、新潟県庁、茨城県庁、岐阜県庁、城里町役場、等

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材		情報技術や自然科学・工学に強い好奇心と探究心を持ち、その学習のために必要な基礎学力を有し、修得した知識を創造的に活用・発展させて新しい課題に積極的に取り組み、情報化社会の中核を担う意欲のある人材を求めます。
入学までに学んでおいてほしいこと		情報科学や情報技術についての基本的な理解力を身につけていることが望ましい。数学的な知識も備えていることが望ましい。
入学者選抜方針	個別学力検査等（前期日程）	数学、理科、外国語の基礎学力に加えて、高等学校等における主体性をもった活動の状況を評価します。
	推薦入試	高等学校における学習状況と課外活動への取組みとともに、情報科学や情報技術への関心、新しい技術を創造する意欲、自己表現能力、論理的に思考しその結果を的確に説明するコミュニケーション能力等を総合的に評価します。
	AC入試	情報科学や情報技術、または関連する分野に強い関心を持ち、自ら研究課題と明確な目標を設定して問題の分析や解決を創造的に図る意欲と能力を有し、その過程と結果を論理的に説明することのできる人材を選抜します。
	国際科学オリンピック特別入試	日本情報オリンピック本選でAランクとなった者、または情報処理推進機構が主催する未踏ＩＴ人材発掘・育成事業に採択されたテーマのクリエータを対象として、明確な目標を持って学ぶ意欲や計画的に学ぶ能力を評価します。
	国際パカロレア特別入試	情報科学や情報技術への関心、新しい技術を創造する意欲、論理的思考能力、語学力を含めたコミュニケーション能力等を総合的に評価します。
	外国学校経験者特別入試（第1種・第2種）	情報科学や情報技術への関心や学習意欲、数学の基礎学力と論理的思考力、日本語及び英語によるコミュニケーション能力等を評価します。
	編入学試験※	情報科学や情報技術を学ぶために必要な数学、情報基礎、専門的知識を学ぶために必要な大学２年次修了程度の英語（TOEFL/TOEICスコアによる）の学力を総合的に評価します。

※情報メディア創成学類との併願が可能です。



情報学群

情報メディア創成学類

School of Informatics
College of Media Arts, Science and Technology

https://www.mast.tsukuba.ac.jp/

[人材養成目的] これからのネットワーク情報社会を発展させるために不可欠な基盤的技術分野や、Web・映像・音楽などの多種多様な情報をコンテンツとして扱い流通させる分野などにおいて、革新的技術や科学的理論を創造的に生み出すことができる技術者、研究者を養成します。



春日エリアの概観

コンピュータや携帯端末の普及とネットワークの進歩により、人間を取りまく環境は一変し、かつては想像もできなかったネットワーク情報社会が実現されています。例えば、Webで知りたい情報を検索したり、スマートフォンを使って好きな場所でテレビを見たり、インターネットで音楽や映画をダウンロードしたり、またWebやSNSで世界中の人々に対して情報を発信し交流することが可能になっています。

このようなネットワーク社会を支え発展させるのに必要なのは、従来の情報技術者とは一線を画する新しいタイプの情報メディア創成科学に関する技術者、研究者です。つまり、コンピュータ、プログラミング、通信、ネットワーク、画像、音、言語、知識、知能など情報技術全般に対する基礎力を身につけ、幅広い視野と思考能力を持ち、Web・映像・音楽などの多種多様な情報をコンテンツとして扱う技術と、それらを流通させるためのネットワークメディア技術を創成できるような人材です。現在このような新しい人材のニーズはまだまだ潜在的で広く認知されているとは言えないかもしれませんが、今後のネットワーク社会の進化とともに情報メディア創成学の技術者、研究者の社会的重要性はますます高まっていくことは間違いありません。

情報メディア創成学類は、このような社会のニーズに応えるため、情報技術全般を基礎として、コンテンツやネットワークメディアに取り組む人材を育成する新しく誕生した学類です。

この「コンテンツ」、「ネットワークメディア」の二つが、本学類の教育を象徴するキーワードです。「コンテンツ」は中身・内容という意味ですが、音、映像、テキストなどの情報を伝える媒体を元にして構成されるWeb・映画・音楽・ゲームなどのことを指します。また、「ネットワークメディア」とは、インターネット、携帯端末、テレ

科目分類	専門基礎（1 ～ 2 年次）	専門科目（3 ～ 4 年次）
情報科学・情報技術、および数理科学に関する科目	プログラミング入門、プログラミング、コンピュータシステムと OS、データ構造とアルゴリズム、情報理論、パターン認識、画像・映像情報処理、音声・音響学基礎、プログラム言語論、微分積分、線形代数、情報数学、確率と統計、など	音楽・音響情報処理、オートマトンと形式言語、システム数理Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、知識・自然言語処理、ソフトウェア構成、数式処理システム論、など
コンテンツテクノロジーに関する科目	コンテンツ概論、コンテンツ入門、コンテンツ流通基盤概論、情報デザインⅠ、CG 基礎、信号とシステム、など	先端技術とメディア表現、情報デザインⅡ、ディジタルドキュメント、インタラクティブＣＧ、ディジタルコンテンツ表現実習、エンタテインメントコンピューティング演習、情報可視化、実世界指向システム、アドバンスト CG、など
ネットワークメディアテクノロジーに関する科目	情報メディア入門、コンピュータネットワーク、データ工学概論、Web プログラミング、など	マークアップ言語、通信ネットワーク、データベースシステムⅠ・Ⅱ、など
人間の科学、社会、文化に関する科目	情報社会と法制度、知的財産概論、メディア社会学、認知科学、人間計測の方法、など	視覚情報科学、知覚心理学、インタラクションデザイン、コンテンツプロデュース論、など

情報メディア創成学類パンフレットの請求方法

●パンフレット等は、学類のWebページからダウンロード可能です。
https://www.mast.tsukuba.ac.jp/
●テレメールによる請求もできます。(p.167　資料請求番号 541290)

学生の声



山縣　広大
2021年度入学

Q1. 入学の動機
私が情報系に興味をもったのは高校生のころで、その分野に関するこれといった知識は持っていませんでしたが、「パソコンを使ってなにか作れたらいいな」という漠然とした思いが当時からありました。そしてどうやら、情報メディア創成学類はコンテンツ制作やメディアアートといった分野との結びつきが強いということが判明し、その他雑多な理由も含めてこの学類を志望しました。しかし共通テストでひどい点数を取ってしまったほか、二次試験の数学に不安が生じたため、総合学域群第一類から情報メディア創成学類に移行するというルートを経て、晴れて情報系の分野を学べることと相成っております。

Q2. 情報メディア創成学類の魅力
情報系の知識がなかった私にとって、それを得ることができる「場」である情報メディア創成学類は魅力的に感じます。たとえばPythonやRuby、C言語といった様々な言語を実際に扱ってみること自体、高校生までの自分では考えられなかったことです。もちろん、高校生のうちから自分でプログラミング言語をいじって遊ぶ優秀な方もいらっしゃるとは思いますが、そのような経験がなかった私にとって、これを行うことができる「場」は願ってもないものです。またプログラミングだけでなく、デザインやコンテンツプロデュースといった「コンテンツ制作」に関連する授業が開設されていることも魅力の一つですね。



丸山あかね
2020年度入学

Q1. 入学の動機
私は小さい頃から音楽教室に通っていて、音楽に関わる勉強をしたいと思っていました。ただ、演奏技術を磨くというよりは、「人が音楽をどう聴いているのか」ということに興味があったので、音楽大学ではなく、情報学や工学も幅広く学べる情報メディア創成学類が自分にぴったりだと思い、志望しました。高校生まではほぼ授業でしかパソコンを触ったことがなく、プログラミングなんてしたこともなかったので、情報メディア創成学類に入学するのは正直不安もありました。ですが、「楽しそう、面白そう」という気持ちのほうが強かったので、チャレンジしてみようと思って受験を決意しました。

Q2. 情報メディア創成学類の魅力
自分の興味に合わせて様々な分野を学べるところが魅力だと思います。学類の名前を言うと、よく「何をするところなの？」と聞かれますが、それもそのはず、一言では表せないくらい専門分野が多様な学類なのです。私は音や認知に関わる授業を多く履修していましたが、他にもコンピュータサイエンスやメディアアート、ネットワークなど、様々な授業が開講されています。加えて他学類の授業も履修できるので、さらに視野を広げて学ぶこともできます。ちなみに私は、興味のある障害科学類の授業を履修したり、教職課程を履修して情報の教員免許を取得したりしました。

ビやラジオの放送などの情報を伝える流通経路全般のことを指します。

そして、確固たる情報技術の知識の上に、コンテンツを扱う情報機器や手法に関する技術的な知識や技能、実際に様々なコンテンツを制作・デザイン・評価したりビジネスにつなげるセンス、ネットワークの仕組みや管理に関する技術的な知識や技能、ネットワークの効果的な利用法やネットワークを使ったビジネスのセンスなどを身につけ、これからのネットワーク社会における中核として活躍できる技術者、研究者を育成します。

専門として学べる内容

コンピュータ、ネットワーク、コンテンツ、メディアの世界がダイナミックに変容している現代社会において、情報メディア技術は、コミュニケーションによる人間の可能性を飛躍的に拡大する推進力です。このような現状を踏まえて、情報メディア創成学類では、コンピュータサイエンスを基礎とする情報メディア技術の総合的な能力を修得し、それを土台にニーズに応じて自由に科目を選べる1主専攻でのカリキュラム構成になっています。

1～2年次では数学、プログラミング、コンピュータリテラシなどを始めとして、情報メディア技術の基礎となる科目を重点的に学びます。これらと並行して、コンテンツ表現演習、コンテンツ入門など、優れたコンテンツを評価し創造するセンスを養う科目や、技術を人間的側面から科学的に評価するために欠かせない認知科学などの科目も学べます。

これらの基礎的な科目の学習を踏まえて、3～4年次では情報メディア技術が対象とするコンピュータサイエンスやネットワークメディアテクノロジー、コンテンツテクノロジーなど、多彩な分野の高度な内容を、様々な専門科目として学びます。

科学技術に関する科目に加え、知的財産などの社会制度に関する科目、科学技術の流通やビジネスに関する科目なども用意されています。

また、演習や実習を重視し、本学の教員だけでなく、産業界で実際にコンテンツ開発などで活躍している方々をお招きしてのプロジェクトベースのグループ授業なども行われ、映像、音響、Web、ソフトウェアなどを実際に作成し、実践的な力を身につけることができます。



アーティストの福原志保先生によるバイオアートに関する講義

特色ある講義

第一線で活躍するクリエータ、プロデューサをお招きしての講義

アート・デザイン・エンターテイメントなど、人の心に訴えかけるクリエイティブ作品の制作のために活用される情報メディアに関して、実際にコンテンツの世界でご活躍中のクリエータやプロデューサの方に講義をしていただきます。創造活動のケーススタディを通じて、表現のための発想法などを学びます。これまでにアニメーション作家のシシヤマザキさん、アーティストの福原志保さん、CGアーティストの瀬尾拡史さんなど多彩なゲストにお越しいただき、講演と対談形式の二つのスタイルで様々な講義を行っていただきました。

組み込み技術キャンパスＯＪＴ

“OJT”は“On the Job Training”の略で、「実際に仕事をしながら仕事のやり方を学んでいく」という現実の職場でよく行われている訓練技術です。平成21年に筑波大学情報学群は、「組み込み技術」について、大学内で学生にOJTを行う産学協同教育プログラムを開設しました。本プログラムでは、寄附金で準備された学習環境下で産業界の第一線の方々から直接指導を3年次に通年で受けることができます。令和5年度の第15期までで約350名あまりの情報学群生を教育し、優秀な技術者を輩出しています。詳しい情報は、http://www.cojt.or.jp/tkb/ をご覧ください。



成果報告会の様子（ダメージスーツ：ゲーム体感 I/F）

enPiT-BizSysD

文部科学省補助事業「成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成（enPiT）」（2016 年度～ 2020 年度）を継続して、ソフトウェア開発をチームで行う PBL（Project Based Learning）型の授業を行っています。（情報学群共通科目として「ビジネスシステムデザイン」諸科目として開設し，１～４年次のいずれでも履修できます。）身近な問題の解決を開発テーマとし、学生自身による発案を重視しています。チームは５～６名の学生で構成されます。アジャイル開発手法（スクラム）を取り入れ、PDCA サイクルを繰り返すことで、学生自身が主体的に、プロダクトだけでなくチームおよび開発の進め方を改善します。教員はプログラム開発やチーム運営の解を直接与えるのではなく、学生が自分たちで解を探すためのサポートを行います。詳しい情報は、https://enpit.coins.tsukuba.ac.jp/ をご覧ください。

施設紹介

情報メディア創成学類には、学生の授業、実習をサポートするための施設があります。

主に情報メディア創成学類の授業で使用する全学計算機システム (教育用の計算機システム) の実習室には 70 台の計算機があります。各計算機は、科学技術計算用ソフトウェアや Adobe 製ソフトウェア等のマルチメディアコンテンツ開発環境・ソフトウェアなど、多種多様なソフトウェアを搭載しており、情報メディア処理の初歩から応用に至る授業・実験に利用されています。実習室は授業時間外に学生が自習に使うことができます。

クリエイティブメディアラボは、映画･アニメーション･写真・グラフィックデザインなど、コンテンツ制作に関する実習や研究を行う空間です。コンテンツ企画からアイディア会議、制作、プレゼンテーションまで、自由に使えるフリースペースになっています。

このほか、視線計測などができる心理実験用のラボもあります。



実習室の様子



クリエイティブメディアラボの様子



研究事例：一枚の画像の中の映り込み部分（光沢のあるテーブルや床）に、別の画像の映り込みをリアルに合成。

特長

細分化して進化した現在の情報技術を統合的に再構築するカリキュラム体系とクリエイティブメディアラボ、音響・心理ラボなど、充実した実習環境の提供を通じて、革新的な理論や技術を創成する知識・能力を養成します。また、多様なバックグラウンドを持つ教員を結集し、個別学問分野から派生する研究・教育における新しい学術領域を創成できる人材を養成します。

資格など

必要単位を履修することで、教員や学芸員の資格を得ることができます。教員免許の場合、通常授業以外の「教職科目」等を履修することで、「中学校一種免許状（数学）」、「高等学校一種免許状（数学、情報）」の取得が可能です。

卒業後の進路

現代のネットワーク情報社会においては、どのような分野・産業でも、情報システムやメディアは不可欠です。情報メディア創成学類はこれからのネットワーク社会の様々な分野に大きく貢献する技術者、研究者を育てることを目指しており、その卒業生の活躍の場は無限に広がっています。まずは大学院に進学し、高度な専門性を身につけて産業や研究の場で活躍していただくことが薦められますが、様々な業種・職種に直接就職することも可能です。

就職先としては、ソフトウェア・Webシステム・情報サービス・出版・放送・エンタテイメントなどの各種メディアやコンテンツを扱うサービス産業はもちろんのこと、電機・自動車などの製造業や、流通・金融・運輸・建設などの社会的インフラを構築する産業など、幅広い分野での活躍が期待されています。実際の卒業生もそれらを始めとする広範な業種に進んでいます。なおアニメやゲームなど、クリエータの道に進むことも可能ですが、それらの養成が学類の教育目的でないことにはご留意ください。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材		理数系の素養と文化や芸術に対する豊かな感性を兼ね備え、ネットワーク情報社会における各種の技術や学問分野に対する強い興味と学習意欲を持ち、創造的に社会貢献することを目指す人材。
入学までに学んでおいてほしいこと		在学中に学んだ科目、特に数学や英語についてはよく復習して内容を身につけておくこと。また、情報ネットワークを基盤とする社会全体に対して広く関心を持ち、知識や見識を意欲的に広げていくことを普段から心がける姿勢。
入学者選抜方針	個別学力検査等（前期日程）	幅広い基礎学力に加えて、数学並びに外国語の学力と主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を総合的に評価します。
	推薦入試	高等学校在学中の学習状況や基礎学力、課外活動への取組みとともに、情報メディアの科学と技術に対する学習意欲や目的意識、自己表現能力、自己分析能力、コミュニケーション能力を総合的に評価します。
	AC入試	コンテンツやネットワークメディアを支える情報メディアの科学と技術において、研究課題を自ら設定する創造性と意欲、課題を緻密に分析し創造的に解決する問題解決能力、その過程および結論を論理的に説明できる能力を総合的に評価します。
	国際科学オリンピック特別入試	日本情報オリンピック本選でAランクとなった者を対象として、明確な目標を持って学ぶ意欲や計画的に学ぶ能力を評価します。
	国際バカロレア特別入試	情報メディアの科学と技術に対する学習意欲や論理的思考能力、理解力、及び本学類での学修に必要な数学などの基礎学力や日本語でのコミュニケーション能力を総合的に評価します。
	外国学校経験者特別入試（第1種・第2種）	情報メディアの科学と技術に対する学習意欲や論理的思考能力、理解力及び本学類での学修に必要な数学の基礎学力や日本語及び発語でのコミュニケーション能力等を総合的に評価します。
	編入学試験※	情報メディアの科学と技術に対する高い学習意欲と、専門科目に関する知識を学ぶのに必要な大学２年次修了程度の英語（TOEFL/TOEICスコアによる）、数学および情報基礎の学力を有する人材を選抜します。

※情報科学類との併願が可能です。

さらに深く勉強や研究を行うためには大学院の博士前期課程・後期課程に進学することになります。進学先は、筑波大の研究群のほか、他大学大学院や留学なども可能です。大学院に進学した後には、企業・公共機関の研究所や、大学などの教育研究機関、一般企業や公務員、専門職で活躍する道が用意されています。

情報メディア創成学類の具体的な就職先の例や進学状況についてはP.130～132をご覧ください。

情報学群

知識情報・図書館学類

School of Informatics
College of Knowledge and Library Sciences

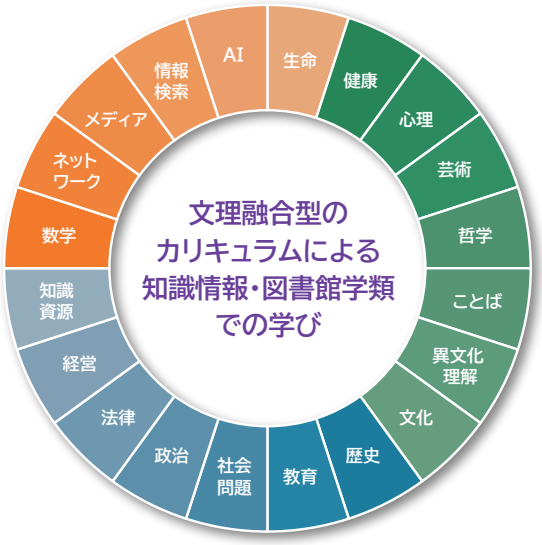
https://klis.tsukuba.ac.jp/

[人材養成目的] 知識や情報を活用する能力を育み、関連する社会制度と技術の専門教育を行います。これらの教育を通じて、知識資源の形成、加工、流通、利用の発展に寄与する専門家と人間、社会、技術にわたる総合的視野や問題解決能力を持った職業人を育成します。

知識情報・図書館学類の目指すもの

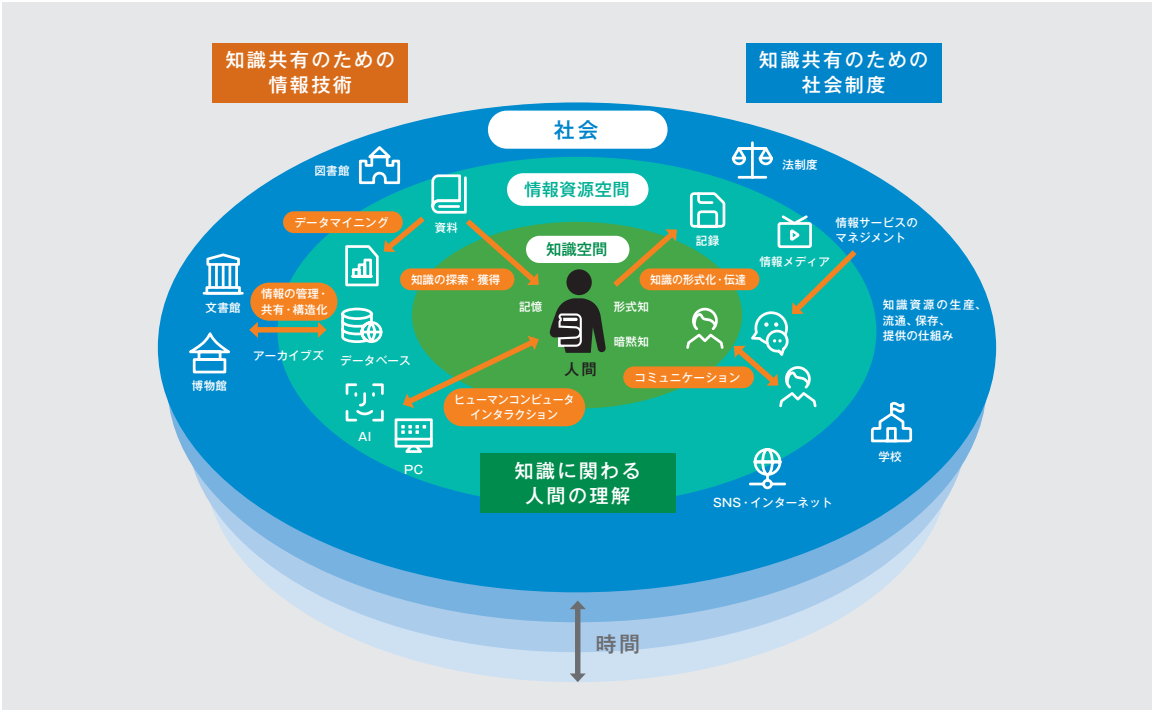
現代社会は急速に多様化・複雑化しており、理系だけ、あるいは文系だけの知識で問題解決を図るのはもはや困難です。知識情報・図書館学類は「つなぐ ― 知識、情報、人。」をキャッチフレーズに、文理融合型の教育研究を推進しています。

本学類では、文理融合型のカリキュラムを通して、知識や情報の管理や流通に関わるスペシャリストを育てます。さらに、知識や情報を蓄積・提供するだけでなく、知識や情報を活用でき、広い視野と論理的な思考力を備えた柔軟な発想のできる人材を養成します。



知識情報・図書館学類の学び

知識情報・図書館学類では、高度情報社会における知識や情報を有効活用するための多種多様な仕組みを扱います。



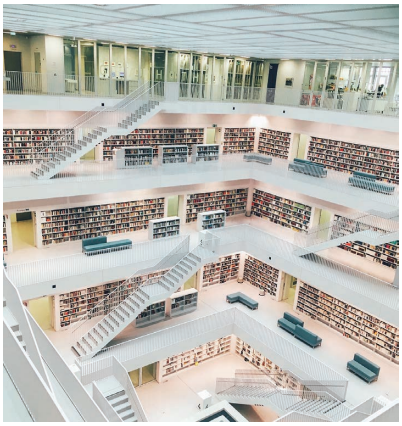
教育研究対象：知識や情報の創造、選択、収集、蓄積、分析、評価、利用という一連のプロセスに関わるあらゆる機関、システム、活動、現象を教育研究の対象とします

知識情報・図書館学類パンフレットの請求方法

●パンフレット等は、学類Webページからダウンロード可能です。
https://klis.tsukuba.ac.jp/
●テレメールによる請求もできます。(p.167　資料請求番号 561270)

知識情報・図書館学類の三つの主専攻

主専攻	キーワード	何を学ぶ？
知識科学	人間	知識の本質、知識と情報行動、知識獲得のあり方と方法、知識の抽出･表現･探索、思考法に関する理論と応用
知識情報システム	情報技術	知識と情報の共有、データベース、情報検索、デジタルライブラリなどの知識情報技術に関する理論と応用
情報資源経営	社会	知識共有に関する社会制度、メディアと図書館の文化、知識情報資源の構築とサービスのマネージメントに関する理論と応用



国際インターンシップで学類生が訪れたシュトゥットガルト市立図書館（ドイツ）

知識や情報を有効活用するには、その性質を的確にとらえ、それらを扱うシステムを設計・構築する必要があります。また、システムを創るには、制度や文化、運営方法を考えなければなりません。本学類では、知識科学、知識情報システム、情報資源経営の三つの主専攻が協力し、知識や情報と社会をつなげる人材を育成します。

学びの流れ

1、2 年次で全学共通の科目と本学類の全体的な内容を扱う専門基礎科目を学びます。3 年次から、三つの主専攻のいずれかに属し、より専門的な内容を扱う専門科目を学びます。各主専攻で 3 年次に実施される実習では、主専攻のテーマに沿った内容のグループ学習、それぞれが調査したことのプレゼンテーション、システムの構築などを行います。3 年次の 11 月に研究室に仮配属され、12 月から卒業研究の準備を始め、4 年生から 1 年かけてじっくりと研究に取り組みます。着手、中間、最終と 3 回の発表会を行い、卒業論文を提出します。

特色ある科目

「インターンシップ」や「国際インターンシップ」、少人数で行う「知的探求の世界」といった特色ある科目も用意しています。インターンシップや国際インターンシップは、国内外の図書館及び国内の官庁・企業体等での実務体験を通じて、情報の収集・処理・提供に関する業務の実際を理解し、専門的職業人としての意識を高めることを目的としています。

資格など

知識情報・図書館学類では、司書、教員免許状、司書教諭の資格が取得できます。司書資格に必要な科目は学類の科目を学ぶ過程で無理なく修得できます。教員免許状と併せて、指定の科目を修得することで、司書教諭を取得することができます。そのほか、所定の科目を修得することで、テクニカルコミュニケーター専門課程の修了認定が受けられます。

取得できる資格の一例：

- 司書資格
- 司書教諭資格
- 中学校教諭一種免許状（社会・数学）
- 高等学校教諭一種免許状（公民・数学・情報）
- テクニカルコミュニケーター専門課程修了認定
  （定められた科目を履習し JTCA に申請）

enPiT と COJT

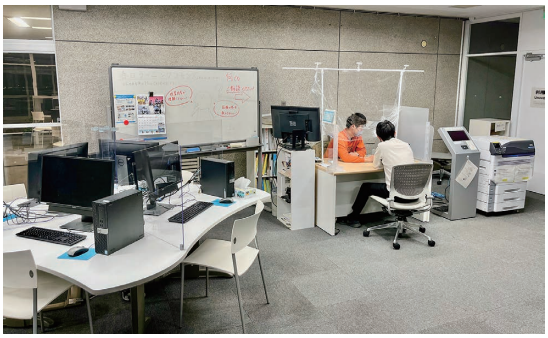
情報学群共通の演習科目、課題解決型アジャイルソフトウェア開発プログラム「ビジネスシステムデザイン基礎Ⅰ・Ⅱ」、および、「ビジネスシステムデザイン実践Ⅰ・Ⅱ」(enPiT) と、組み込み技術キャンパス OJT「体験型システム開発 A・B」を開講しています。いずれの授業も、キャンパス内で IT ベンチャー企業の技術者の指導を受けながら、先進的な実践技術やソフトウェア開発技法を習得できます。







全国でも数少ない図書館情報学の専門図書館として、約 26 万冊の資料を所蔵している「図書館情報学図書館」



チューターが学習相談にのってくれる「春日ラーニングコモンズ（KLC）」

施設・設備

知識情報・図書館学類は、つくば駅から徒歩 10 分の春日エリアで多くの授業を行います。春日エリアには「図書館情報学図書館」という専門図書館があり、チューターと呼ばれる先輩学生がいろいろな相談にのってくれる「春日ラーニングコモンズ（KLC）」もあります。KLC では履修計画の立て方、学生生活の過ごし方、レポートの書き方、PC の使い方などを教えてもらうことができます。

知識情報・図書館学類ではグループ作業を中心とする演習・実習が多いので、小グループでのディスカッション用にグループごとにホワイトボードと大型ディスプレイを占有できるグループ作業用の実習室を設けています。また、大判ポスタープリンタを用意しており、卒業研究の発表会や学会でのポスター発表に活用されています。IT 環境も充実しており、全教室や学生ラウンジ、食堂で無線 LAN が利用できるほか、春日エリア全体で約 230 台の教育用コンピューターが設置されています。

就職指導・キャリア支援

全学レベルでのキャリア支援活動に加えて、知識情報・図書館学類として、進路説明会や学生間で情報を共有するための進路情報カフェ等を実施しています。また、個別相談に対応するため、進路指導担当教員のほか、専門のキャリアアドバイザーを配置しています。さらに公務員・図書館員志望の学生にたいしては、公務員採用試験に向けて独自の教養試験対策を行っています。

卒業後の進路

本学類の特徴のひとつである文理融合のカリキュラムで学んだ知識と技術力を活かし、知識情報・図書館学類の卒業生は、幅広い分野で活躍しています。

大学院の進学先として人間総合科学研究群情報学学位プログラムなどがあり、海外に進学するケースもあります。就職先には、知識や情報のサービスを行う機関、図書館、企業や研究所の情報部門、製造業や印刷･出版･書店、サービス業及び官公庁などさまざまな進路があります。

卒業生からの声



文理が融合した教育環境は「学びたい」を叶えてくれる

稲福　和史（2017 年度卒）
株式会社リクルート勤務

幼少期から典型的な本の虫だった私が KLiS を選んだのは必然かも知れません。特に魅力を感じたのは、図書館情報学を扱う唯一の国立大学でありながら哲学や数学、芸術なども分野横断的に学べ、幅広い知識と教養を身につけられる点です。

私は、研究に携われる講義「知的探求の世界」をきっかけに博士後期課程への進学を決心し、自らの専門性を深めていきました。2～3 年生という早い段階からの積み重ねで得た研究実績は、インターンシップや就職活動においても大きなアピールポイントになったと思います。長い学生生活で日々移り変わる興味を与えてくれる KLiS は、私に文理融合の学びと研究活動の楽しさを教えてくれました。

未知の世界との出会いで新たな可能性がひろがる



矢澤　愛実（2019 年度卒）
水戸市役所 市長公室
みとの魅力発信課勤務

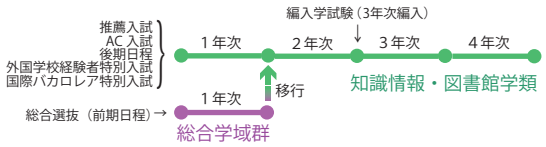
図書館や本について学びたい！と狭い視野で入学した私が、気付けば、情報数学の面白さにのめり込んだり、コンピューターの歴史に思いを馳せたり、プログラミングの奥深さに感動したりするまでに成長できたのは、文理や分野を超えた学習環境のおかげです。

自分とは異なる分野に関心を持つ友人との出会いも刺激的でしたし、600 もの企業が参加する学内の企業説明会では未知の職業の多さに驚き、将来について真剣に考えるきっかけにもなりました。好奇心のままに自分の世界を広げることができるのは、大学生ならではの特権です。今は興味の対象を絞れなくても、いろいろな経験することで、新たな自分と出会えるはずです。

※ KLiS：知識情報・図書館学類の略称

入試について

知識情報・図書館学類の入試には、推薦入試、AC 入試、後期日程のほか、外国学校経験者特別入試および国際バカロレア特別入試、高専等からの編入が可能な編入学試験（3 年次編入）があります。また、総合選抜を受験して総合学域群で 1 年間学び、その後に知識情報・図書館学類へ移行することも可能です。



推薦入試

推薦入試では、ビブリオバトル方式の面接を導入しています。ビブリオバトルとは、「人を通して本を知る。本を通して人を知る」をキャッチコピーとして全国に広がっている本の紹介コミュニケーションゲームです。一般的な面接では、どんな話題で議論するか事前に知らされないことも多いですが、ビブリオバトル方式では、自分の選んだ本で試験に臨み、その本についての紹介やディスカッションができることが大きな違いです。

試験までに、自分が面白いと思った本を選び、他の参加者にその本に対する興味を持たせるよう 5 分間の紹介を考えて発表を準備してください。試験当日の面接の流れは以下の通りです。



※チャンプ本に選ばれることと面接の評価は無関係です

Designed by Yuki Mishima

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材		知識スペシャリストにふさわしい豊かな発想と表現力をもった人材、知識ゼネラリストにふさわしい論理的思考力とコミュニケーション力をもった人材を求めます。
入学までに学んでおいてほしいこと		高等学校までの学習内容に広く関心を持ち、特に英語、国語、数学（数Ⅱ・数Ｂまで）の基礎学力を身につけていること。
入学者選抜方針	個別学力検査等（後期日程）	総合的な基礎学力に加えて、論理的思考力、表現力、広い視野からの発想を評価します。
	推薦入試	高等学校で学習する全教科がバランス良く優れていることに加え、論理的思考力、コミュニケーション能力、説得力、豊かな発想を評価します。
	AC 入試	社会における情報の伝達や知識の創造に関して幅広く興味を持ち、関連した課題を自ら発見し、分析・解決していく能力を評価します。課題の分析結果を論理的に説明することや、説得力のある提案ができることも評価します。
	国際バカロレア特別入試	主体的に学ぶ意欲のある者を対象として、語学力を含む基礎学力や論理的思考力、コミュニケーション能力、説得力を評価します。
	外国学校経験者特別入試（第1種・第2種）	知識と情報に対する学習意欲や日本語によるコミュニケーション能力に加えて、日本語及び英語による理解力、論理的思考力、表現力等を総合的に評価します。
	編入学試験	知識と情報に関する領域で学んだ知識・技術を深めたり、異なる領域で学んだ知識・技術を基に新しい領域に挑戦したりする意欲と学力を有する人材を選抜します。

※個別学力検査等（前期日程）を実施せず、総合選抜入学者を 2 年次から受け入れます。（総合選抜での受入定員：40 名）

推薦入試 Q&A

Q：使用する本の種類や制限を知りたい。

A：公序良俗に反する本や紹介でないかぎり、どのような本でもかまいません。文学作品が比較的多いようですが、ライトノベルやハウツー本が使われたこともあります。電子書籍も可です。

Q：どのような点を評価しますか。

A：本を紹介する時の説得力や表現力、ディスカッションにおける質問力や質問に対する回答力などを多面的に評価します。

Q：ビブリオバトルの実演を見たいのですが。

A：7～8 月のオープンキャンパスで推薦入試経験者による模擬ビブリオバトル等を行う予定です。ぜひご覧ください。

医学群
医学類
School of Medicine and Health Sciences
College of Medicine

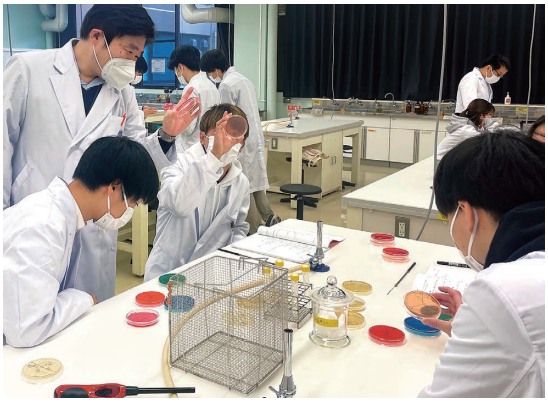
https://igaku.md.tsukuba.ac.jp/

[人材養成目的] 基本的な臨床能力と医学研究能力を備え、高い問題解決能力と良好なコミュニケーション力をもって、患者の立場を配慮した医療を行うことのできる人間性豊かな医師を育成します。将来優れた専門医、医学教育者、医学研究者、あるいは保健・医療・福祉行政者として、それぞれの分野でグローバルな活躍をもって社会に奉仕し貢献することが期待されます。

カリキュラム

医学類は、社会の要請に応えうる医師の養成を目標として、時代に合わせた新たな医学教育を行っています。これからの時代を担う医師として多彩な人材を育成するため、一般入試、推薦入試以外にも、県内の地域医療に従事することを求められる地域枠、多様な学識と社会経験を有する大学卒業者を対象にした編入学制度、国際バカロレア特別入試、研究型人材入試、総合学域群からの移行など、多種


感染対策実習


細菌学実習

主な授業科目	
1・2・3 年次	1 年次は全学類共通の基礎科目（総合科目、共通科目）、医学類に特化した専門科目と専門基礎科目から構成されています。医学類では入学直後から医師としての自覚を持ちながら学習態度を身につけることを目的として開設されている医療概論を並行して学びます。 1 年次後半から始まる医学の基礎は、PBL（Problem based learning：問題基盤型）チュートリアルや TBL（Team based learning：チーム基盤型）を用いた Active learning（能動的学修）を中心とした臓器別統合カリキュラムコースとして実施されます。ヒトの構造と機能の基礎、正常と病態など、基礎医学・臨床医学・社会医学の全てを統合された形で学び、問題解決能力や生涯学習の習慣を獲得しながら、グループ討論・学習における自分の考えをまとめ相手に伝えるコミュニケーション能力や協調性なども涵養していきます。
4・5 年次	4 年次から約 2 年間かけてクリニカル・クラークシップ（CC）が行われます。CC は医学生が診療を見学するというのではなく、診療チームの一員として加わり、実際の診療を通して必要な知識、臨床技能・態度を学ぶ参加型実習を行います。そのため、4 年次前半のカリキュラムでは、CC に必要となる知識や技術を統合して学び、医療現場に出るための知識や技術を習得できているか確認する共用試験（Computer based testing：CBT、臨床実習前 OSCE：Pre-clinical clerkship objective structured clinical examination：Pre-CC OSCE）に合格する必要があります。CC では、附属病院や県内を中心とした複数の病院をローテーションしながらチームの一員として過ごし、基本的臨床技能である医療面接、系統的身体診察、カルテ記載法、基本手技などを確実に身につけます。単に疾病を学ぶのではなく、患者さんを中心に問題をとらえ、多面的に解決する思考能力を習得します。 5 年次後半からは、医学研究室での研究、学外施設（地域病院、診療所など）、海外への短期留学、など様々な組み合わせの選択が可能となり、自分のキャリアを考えながら学んでいきます。
6 年次	約 2 年間の CC で医師としての臨床技術が獲得できたかを測る臨床実習後 OSCE：Post-clinical clerkship objective structured clinical examination：Post-CC OSCE）、6 年間のまとめである総括講義、卒業試験に臨みます。医師として必要な知識、技術、態度を習得し医学類を卒業すると、医師国家試験の受験資格が得られます。

医学群ガイドブックの請求方法

●医学群ガイドブックは、医学群Web ページからダウンロード可能です。
https://www.md.tsukuba.ac.jp/igakugun/index.html
●テレメールによる請求もできます（p.167　資料請求番号は541390）

類の採用方法があります。

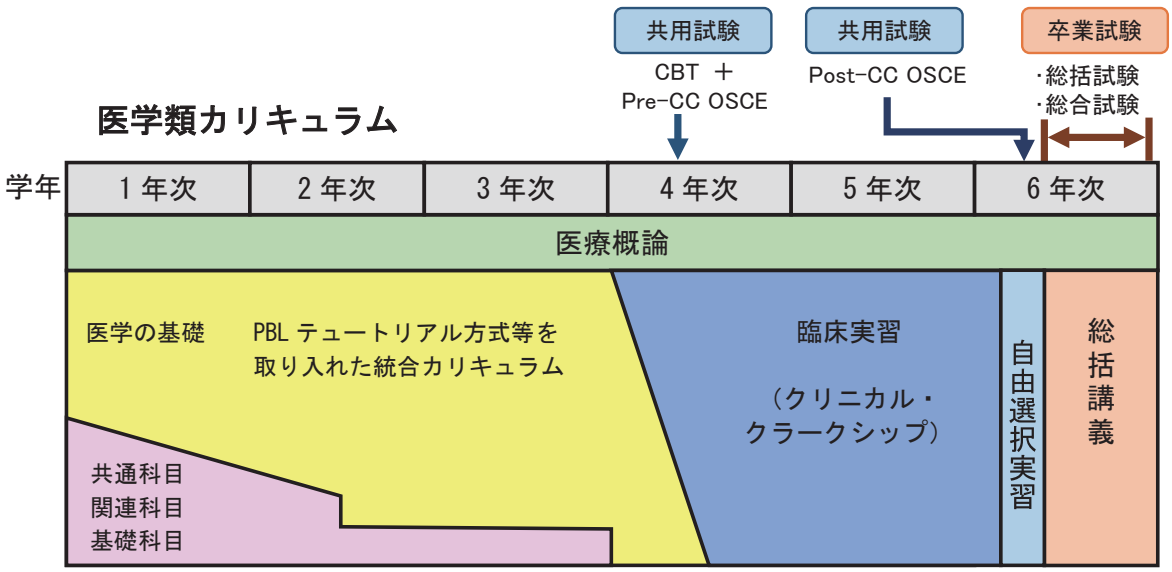
最近の医学の目覚しい進歩と医療の変化に伴い、医学生が学習すべき内容量は急速に増大し、質も変わり続けています。せっかく最新の知識と技能を最大限に詰め込んで卒業しても、そのままでは日進月歩の医学と医療の世界から取り残されてしまいます。そのため、医師は卒業後も生涯にわたり自己学習を続け、常に最新の病気の予防・治療や健康の保持・増進に、生涯にわたって取り組んでいく能力がなければなりません。

また、医師の対応する問題には身体的のみならず精神的・社会的な要素も含まれており、医学や自然科学だけでなく、人文・社会科学にわたる知識と洞察に基づいて問題を解決する能力も要求されます。医学類では、学生が基本的臨床能力と基礎的研究能力を備えて卒業することを教育の目標としてカリキュラムを改善し続けています。

専門として学べる内容

卒業生は将来、優れた医師（臨床医・専門医）、医学研究者、医学教育者あるいは保健・福祉の専門家としてそれぞれの分野で社会に貢献することが期待されます。この目標を達成するため、本学類では必要な知識と技能の修得にとどまらず、自ら学ぶ態度と習慣を身につけ、未知の問題を解決する能力を獲得することに教育の重点をおいています。全医学部で共通して取り組むべきとされる医学教育モデル・コア・カリキュラムを遵守したうえで、筑波大学独自の統合カリキュラムを取り入れた６年一貫の医学教育を行っています。

具体的には、１年次から医療現場での早期体験実習を通して医学・医療に触れるとともに、３年次終了までに、生命科学やヒトの構造と機能の基礎、ヒトの正常と病態を全てが統合された形で学びます。これらはナビゲーター役の教員と少人数グループでの討議（チュートリアル方式）で行われます。４～５年次の病院でのクリニカルクラークシップでは、参加型臨床実習として診療チームの一員として行動しながら、医師として必要な知識・技能・態度を学ぶことができます。６年次には海外の大学や病院での臨床実習、学外の医療施設での実習、基礎医学や社会医学の研究室での研究なども可能であり、将来の進路を考えながら学ぶことができます。



CBT：Computer based testing
Pre-CC OSCE：Pre-clinical clerkship objective structured clinical examination
Post-CC OSCE：Post-clinical clerkship objective structured clinical examination



血圧測定実習

教育の特色

医学類の教育の特色として、自己学習能力・問題解決能力の涵養を重視し、E-learning 環境など学習のサポート体制を整備している点、及び体験型プログラムが充実している点などがあげられます。また、教育の質を保証するために、医学教育企画評価室を設置し、カリキュラムのプランニング、各種教育プログラム実施支援、評価のすべての段階において、教育のコーディネートを行う役割を担っています。具体的には、社会のニーズに対応するための新たなプログラムの企画（チーム医療に関する医学群 3 学類合同コースなど）、評価結果に基づく現行プログラムの改善、テューター養成、教員研修会、卒業生のフォローアップ調査などを実施しています。

医学図書館は夜も開かれている他、全てのセミナー室にはネット環境が整備されており、E-learning システムを活用して学生が必要な時に、病理組織標本などにアクセスして自習できます。また臨床技能実習室には、身体診察や救急蘇生を練習するためのシミュレーターが多数整備されています。

資格など

学士（医学）

医師国家試験受験資格

卒業後の進路

令和 5 年 3 月末現在、第 43 回卒業生までの 4,539 名が医師国家試験を受験し、平均合格率は 97.8% です。卒業生の多くは臨床医として、医療の第一線で活躍しています。基礎医学の道を選び、研究者として国際的に非常に高い評価を受けている方、保健・福祉の行政者として国際機関や厚生労働省等の政府機関、都道府県の保健医療部局などで活動している方、本学及び大学等で医学教育者として活躍されている方、など様々です。

卒業生の多くは、本学附属病院をはじめ全国の研修病院で研修を受け、臨床医としての道を歩みます。附属病院と茨城県内を中心とした関連施設との緊密な連携により質の高い教育体制が整備されており、医師臨床研修マッチングにおける採用数も常に全国上位にあります。また、日本専門医機構の専攻医研修プログラムも各診療科で用意されており、それぞれの専門医への道も準備されています。



一次救命処置

先輩からのメッセージ



今野　諒也　6年生在学中

こんにちは。このご案内をお手にとっていただき、ありがとうございます。

筑波大学は、美しい自然に囲まれたキャンパスで学びながら、医学の知識を深める素晴らしい場所です。大学では様々な魅力的な教育プログラムが用意されており、その中でも特に注目すべきなのがPBLテュートリアルの「コアタイム」です。このプログラムでは、6～7人の学生がチームを組み、医療に関する実際のエピソードから問題を見つけ出し、解決策を協力して探ります。司会進行も学生が行い、各自が能動的に発言・参加することで充実したディスカッションが展開されます。実際の医療現場で活躍中の先生方がメンターとしてサポートしてくれるので、安心して取り組むことができます。このプログラムは1年生から受けられ、早い段階からチーム医療に携わる学びや経験を積むことができます。

さらに高学年に進むと、病院実習が始まり、医療の現場での実践がスタートします。筑波大学は4年生から6年生の6月までという長期にわたる実習期間を確保しており、豊富な診療科目や茨城県内の関連病院での実習機会が広がっています。これにより、多岐にわたる知識と実践的な経験を積むことができます。

筑波大学での6年間は、社会での飛躍に向けた力強い土台を築いてくれます。ぜひ皆さんも、筑波大学での医学生生活を体験してみてください。



森川　綾子　6年生在学中

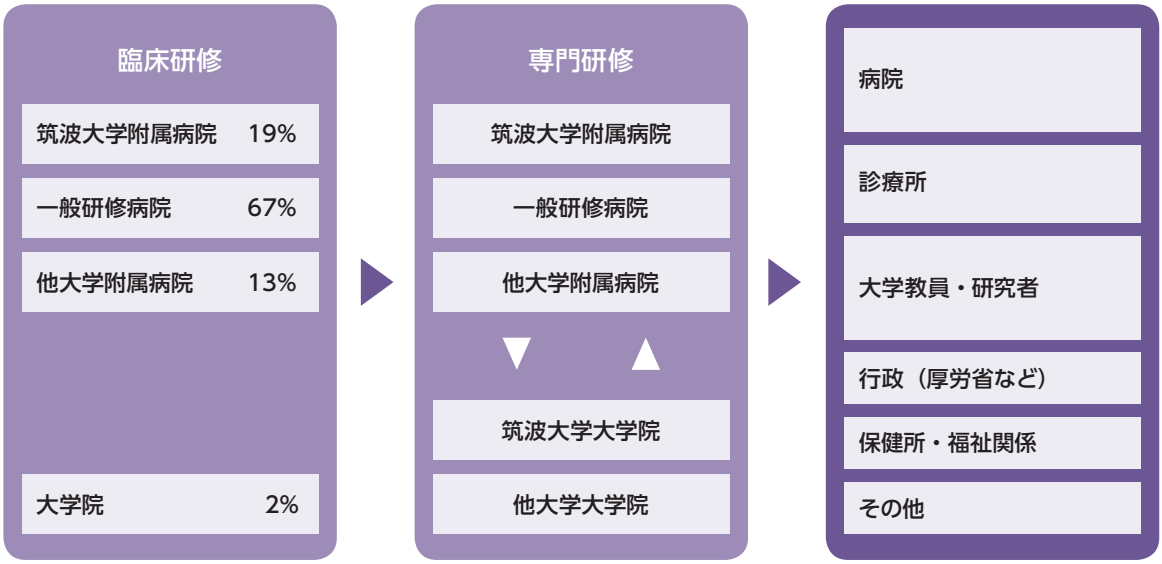
受験生の皆さん、こんにちは。ここでは私の思う本学の魅力をお伝えします。まず、本学が総合大学であることです。宿舎や全学類対象のサークルなどで、他学類の人とも仲良くなることができ、医学関係以外にも自分の世界を広げることができます。次に、医学生の多くがキャンパスの周りに住んでいることです。友達の家で一緒にご飯を食べたりして仲良くなれることはもちろん、試験前には一緒に勉強会をして助け合うことができます。先輩も親切で、皆で共に頑張ろうという雰囲気があります。最後に、実習が充実していることです。4年生の10月から6年生の6月まで、患者さんとお話したり治療方針を考えてプレゼンしたりと、医療チームの一員として実践的な実習ができます。他にも海外臨床実習のプログラムがあったり、研究室演習では、参加の頻度によっては学生でも自分の研究で卒業までに論文発表ができたりするなど、本学には様々な魅力があります。皆さんに先輩としてお会いできることを楽しみにしています。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材		自然科学、語学等の十分な基礎学力と豊かな創造性、探究心を有し、高い倫理観、協調性、コミュニケーション能力を持って、生涯にわたり人類の健康と福祉に貢献する強い意志を持つ人材。
入学までに学んでおいてほしいこと		自然科学、外国語についての十分な知識と理解、さらに応用する能力が必要である。特に自然科学や医学に関する英文記事を理解し要約する能力や、グループの中で積極的に討論に参加したり、意見をまとめる能力を備えていることが望ましい。
入学者選抜方針	個別学力検査等（前期日程）	広い基礎学力に加えて、数学、理科、英語の学力を評価するとともに、医学を志向する動機、修学の継続性、適性、感性、社会的適応力など総合的な人間性について評価します。 【地域枠】＊ 上記に加え、将来茨城県の医療を担う強い意志を有する人材を、総合的に評価します。
	推薦入試	高等学校で学習する全教科がバランス良く優れている者の中から、医師となる資質が十分な人材を小論文、適性試験によって総合的に評価します。 【地域枠推薦入試】＊ 上記に加え、将来茨城県の医療を担う強い意志を有する人材を、小論文、適性試験により総合的に評価します。
	研究型人材入試	広い基礎学力に加えて、自ら発見した自然科学の課題に対し、自主的かつ継続的に取り組み、その結果、到達した高い成果を評価します。また、医学を志向する動機、修学の継続性、研究者としての適性・資質、社会的適応力等総合的な人間性についても評価します。
	国際バカロレア特別入試並びに海外教育プログラム特別入試	広い基礎学力に加えて、数学、理科、英語の学力を評価するとともに、医学を志向する動機、修学の継続性、適性、感性、社会的適応力など総合的な人間性について評価します。
	編入学試験	広い基礎学力に加えて、数学、理科、英語の学力を評価するとともに、医学を志向する動機、修学の継続性、適性、感性、社会的適応力など総合的な人間性について評価します。

＊【地域枠】、【地域枠推薦入試】については、国との協議によって、募集の有無及び定員が確定次第本学ホームページにて公表します。

卒業後の進路



※医学類HP（http://igaku.md.tsukuba.ac.jp/）で、もっと詳しい医学類の情報（カリキュラム、進路、キャンパスライフ、入試など）を見ることができます。
※四捨五入により合計が100%にならない場合があります。

医学群

看護学類

School of Medicine and Health Sciences
College of Nursing

https://www.md.tsukuba.ac.jp/nurse/

[人材養成目的] 広い教養と深い人間理解を基盤に、人々のニーズに合った質の高い看護を提供し、保健・医療・福祉チームの一員として協働できる優れた看護職を育成するとともに、保健医療分野における行政官、国際的な視野に立った看護職など、広く社会に貢献する人材を養成することを目的とします。



学内演習風景

看護学とは

看護学とは人が生まれてから死を迎えるまでに直面する健康のあらゆるレベルの問題を人々が解決しようとするプロセスを支援する学問です。つまり看護は、病気や障害の治療過程にかかわるだけでなく、身体的、精神的、社会・文化的に健康でその人らしい生活が営めるよう地域や家族を含めた、病気の予防・健康の維持・増進に働きかけます。そして看護の対象となる人間のからだの構造・機能や疾病の理解のみならず、人々の生活環境や文化的背景、人間の発達に伴った社会・心理学的変化などの理解を通して、豊かな人間性を育む学問ともいえます。人々に看護を

主な授業科目

	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生
基礎科目	総合科目（学士基盤科目） 体育実技 総合科目 （ファーストイヤーセミナー、学問への誘い） 情報リテラシー、データサイエンス 国語 第１外国語	哲学通論 人間関係論 心の健康と相談活動 行動科学 コミュニティ・エンパワメント論	看護専門英語 保健医療福祉行政論Ⅰ・Ⅱ 国際保健学 医療経済学 環境保健	応用看護学演習Ⅱ（IBT） 医療チーム連携演習 応用看護学実習
専門基礎科目	人体機能学 人体構造学 医療生命科学とテクノロジー 日本国憲法	人体の代謝と栄養 臨床薬理学 機能形態学演習 遺伝と健康 微生物学 保健統計学 疫学・疾病の治療と看護Ⅰ・Ⅱ 障害理解・老化と健康 子どもの健康と障害		
専門科目	基礎看護学概論 看護生命倫理 公衆衛生看護学概論 精神看護学概論 高齢者看護学概論 生涯発達と家族支援	基本看護技術 基本看護技術演習 フィジカルアセスメント 看護過程 看護技術実習 看護過程実習 職域における保健活動 臨床看護学概論 精神看護方法論 高齢者看護方法論 高齢者看護学実習 家族病理とメンタルヘルス ウィメンズヘルス看護学概論 子どもの発達支援学概論 国際看護学 看護学探究概説	臨床看護方法論 臨床看護学実習（クリティカルケア） 臨床看護学実習（セルフケア） 精神看護方法論 精神看護学実習 高齢者看護方法論 高齢者看護学実習 ウィメンズヘルス看護学方法論 ウィメンズヘルス看護学実習 子どもの発達支援方法論 子どもの発達支援実習（保育所・施設ふれあい実習） 子どもの発達支援実習（病院実習） 地域・在宅看護論 地域・在宅看護方法論 地域・在宅看護論実習 ヘルスプロモーションと看護 家族病理とメンタルヘルス 看護マネジメント 災害看護学 応用看護学演習Ⅰ（OSCE） 研究方法概論 ヘルスプロモーション実習Ⅰ ヘルスプロモーション実習Ⅱ	看護師 看護学探究概説 看護学探究演習
選択科目	現代教育と教育理念 教育史概論 教職論 教育社会学概論 教育の法と制度 学校経営概説	教育心理学 道徳教育 総合的な学習の時間の指導法 特別活動の理論と実践	公衆衛生看護活動論 特別支援教育 教育課程編成論 教育の方法と技術 生徒指導 教育相談 養護概説	保健師選択 公衆衛生看護学実習 公衆衛生看護活動方法論 公衆衛生看護学応用論 公衆衛生看護管理論
				養護教諭選択 養護教諭課題演習 教職実践演習 養護実習

：基礎科目　：看護師授業科目
：専門基礎科目　：保健師選択科目
：専門科目　：養護教諭選択科目

注）保健師コースおよび養護教諭コースは選択（選抜）制です。

医学群ガイドブックの請求方法

●医学群ガイドブックは、医学群Web ページからダウンロード可能です。
https://www.md.tsukuba.ac.jp/igakugun/index.html
●テレメールによる請求もできます（p.167　資料請求番号は541390）

提供するための専門技術は、こうした幅広い人間理解と科学的な理論を基盤とした看護学のさまざまな演習や実習を有機的に取り入れながら修得していきます。

看護学類について

看護学類は2023年3月に第17期生を送り出し、そして4月、21年目の春を迎えました。この間、看護・医療科学類看護学主専攻から看護学類へと組織改正が行われただけでなく、2007年度には大学院看護科学専攻博士前期課程（修士課程）が、そして2009年度には看護科学専攻博士後期課程（博士課程）が開設されました。この背景には急速に変化する疾病構造や医療の進歩に伴い、それに対応できる研究者・教育者、管理者等の育成へと社会のニーズが高まってきたことがあげられます。看護学類ではこのようなニーズに応えるために特徴的なカリキュラムを構成しています。

教育の理念

近年の急激な社会環境の変化に伴い、看護や医療に求められる「質」が急速に変化しています。一方、看護を必要とする人たちが求める質の高い要請に対応できる看護師の数はまだ不足しています。本学類では、このような看護や医療に対する社会の要請に即応するために、広い教養と深い人間理解を基盤とし、大学病院のみならず地域の医療・福祉に従事している方々とも連携した教育をします。

人々のニーズに合った質の高い看護を提供し、専門性を生かして、保健、医療、福祉チームの一員として協働できる保健医療専門職を養成します。また、教育者、研究者、管理者としてそれぞれの専門分野で指導的役割を担い、社会に貢献できる人材を育成します。

教育の特色と進路

総合大学である特長を活かし、条件が許す限り、他学類あるいは他学群の授業を受けることができます。他学群・他学類の学生と一緒に受講する共通科目は、多くの学生との交流を通して豊富な知識の習得だけでなく、豊かな人間性の形成に役立ちます。さらに多くの留学生と交流することにより、グローバルな視野で物事を思考する国際性を養うことができます。また、1年次から他学類の学生と合同で受講する科目を設けております。4年次には医学・医療科学の他に、他大学（薬学部）の学生も参加するチーム医療演習を通して、医療における看護専門職の役割をより理解し深めることができます。正規の授業以外にも附属病院で行う研修会へ参加することで、最新の医療知識や医療安全などを学習することもできます。近年では国際看護研修として、米国イリノイ大学やベトナム、モンゴル等での研修に参加することで学びを深める学生も増えてきました。協定校である南インディアナ大学の2年間の留学プログラムに参加する意欲ある学生も複数います。

看護学類の入学定員の数は70名で、そのうち5名が総合学域群から2年次に移行してきます。また、3年次に10名の編入学を受け入れています。卒業要件を満たすと看護師の国家試験受験資格が得られます。2012年度の入学者から看護学類での助産師教育は実施せず、大学院で行っていますので助産師の国家試験受験資格は学類では取得できません。また選抜制になりますが保健師の国家試験受験資格あるいは養護教諭一種免許の申請が可能となります。卒業生は、医療機関における看護職として、学校保健や産業保健、地域保健などにおいて人々の健康生活の維持・増進のために活躍しています。また、高度実践看護を目指し、専門看護師や教育・研究職を視野に入れて人間総合科学研究科看護科学専攻に進学している卒業生もいます。あるいは行政機関等において指導者として力を発揮する道もあるでしょう。

看護学類は高度専門医療職の育成を通して人々の健康と安全な社会の実現に貢献したいと考え、「筑波スタンダード」を具現化し“Made in University of Tsukuba”の看護を社会に発信することを目指しています。皆さんの積極的な参加を期待します。



保健師実習



看護学実習

取得できる資格

看護師国家試験受験資格

保健師国家試験受験資格

教員免許

養護教諭一種免許状

（所定の選択科目を修得する必要があります）

養護教諭二種免許状

（保健師国家試験合格後、申請により授与されます）

取得実績（看護学類の実績を示す）令和５年度

看護師	65名（100%）	養護教諭	4名
保健師	19名（100%）		

取得できる資格とその概要	
看護師	看護師の役割は、健康上の問題から引き起こされる、人々の身体的、心理的な苦痛を軽減し、問題を抱えた人自らが、その問題を解決できるように支援することです。また、看護師は、医療の高度化に順応し、常に研究心を持ちつづける、科学的看護の実践者でなければなりません。そのような看護師を育成するために、本学類では、総合大学の特性を生かし、看護学を中心にしながら、医学、心理学、社会学との連携を図っています。また、実践能力の向上を目指して、臨床実習のほかに、臨床実技試験（OSCE）や、医学類、医療科学類、他大学の薬学部の学生たちとともにチーム医療演習といった、他学でもまだ例の少ない先駆的な教育を実施しています。本学類の学生は、卒業時に学士（看護学）の学位が授与されます。卒業後は、取得予定の国家資格を生かし、高度な医療を提供できる総合病院から町の診療所まで、全国各地の医療機関で、看護師として勤務することが可能です。
保健師	地域には、乳児から高齢者まで、そして健康な方から病気や障害や持つ方など、あらゆる年齢、健康レベルの人々が生活しています。地域住民の健康を保持増進し、病気を予防し、あるいは病気からの回復に向けて、人々がその人らしく生きがいをもって地域で暮らすことができるように、さまざまな支援活動を公的な立場から行っている医療専門職が行政保健師です。保健師の多くは、市町村の保健センターや保健所で公務員として活動するほか、企業で産業保健師として所属することもあります。また、福祉施設や地域包括支援センター等で活躍する保健師もいます。 本学類の保健師課程では、地域住民や企業で働く人々の健康づくりや組織づくり、県民そして日本のみならず世界の健康を守る視点の獲得を視野に入れた教育を実施します。実習は茨城県内の保健所や市町村、東京都内及び茨城県内の一般企業、附属の関連学校等で行い、地域に密着した活動を学ぶとともに、公衆衛生に関する広い視野を得られるよう、学内外の海外研修への参加も推奨しています。卒業後は、保健師として各都道府県や市町村、一般企業への保健師としての就職、大学院への進学が可能です。
養護教諭	養護教諭とは、学校で子どもの心身の保健管理・保健教育を担当する教員です。看護学と教育学の専門知識を兼ね備えた教員です。主に保健室に常駐し、けがや病気の応急処置、健康診断と保健指導、さまざまな問題や悩みをもつ子どもの健康相談、学校保健委員会のような委員会活動などを行っています。看護学類では、養護教諭一種免許状の取得に必要な看護学、教育学、心理学、医学などの科目が開講され、広い視野から学校保健・学校看護について学修していきます。4 年次の養護実習では実践を通して知識・技術を深めていきます。卒業後の進路には、大学院への進学や養護教諭としての就職などがあります。公立学校の養護教諭として就職する場合は、都道府県や市が行う教員採用試験に合格して採用されます。

※保健師コース、養護教諭コースは選抜制で人数の制限があります。

卒業後の進路

令和４年度進路状況
（看護学類）

病院（看護師・助産師）	45 名
市役所等（保健師）	8 名
養護教諭	1 名
進学	14 名
その他	6 名
合計	74 名

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材		科学的な知識や語学力などの十分な基礎学力を有し、看護学に関する深い興味と関心が有り、保健医療福祉を支えるための看護について探求し、新しい看護学を開拓できる能力と意欲を有する人材を求めています。
入学までに学んでおいてほしいこと		高等学校での学習内容を深めておくと共に、特に生物学および外国語については、十分な知識を有し理解していることが望ましい。また、優れた文章読解能力や文章表現能力を有していることが望ましい。
入学者選抜方針	個別学力検査等（前期日程）	国語、理科、英語の学力を中心に、基礎学力を評価するとともに、看護を志向する動機、適性、感性、社会的適応力及び人間性等について総合的に判断します。
	推薦入試	看護に関連する分野において必要とされる明確な問題意識と優れた洞察力について評価します。また、部活動、地域活動、社会活動等の実績について評価します。
	国際バカロレア特別入試	看護に関連する分野において必要とされる明確な問題意識と優れた洞察力、大学で看護学を修得するために必要な基礎知識ならびに思考力や学力などを総合的に評価します。
	私費外国人留学生入試	海外生活の経験を活かし、国際性と協調性を身に付け、グローバルな視点から保健医療福祉の分野を探求する意欲と能力をみます。
	編入学試験	医療人としての更なる飛躍を目指す動機に加えて、大学で看護学を修得するために必要な基礎知識ならびに思考力や学力などを総合的に評価します。
	私費外国人留学生 Japan-Expert(学士)プログラム特別入試	求める人材： 科学的な知識や語学力などの十分な基礎学力を有し、ヘルスケアに関する深い興味と関心が有り、国際的にヘルスケアサービスについて探求し開発できる能力と意欲を有する人材を求めています。 アドミッションポリシー： 基礎学力とヘルスケアシステムやヘルスケア技術を学習する動機、日本語での学習能力、適性、感性、社会的適応力、並びに人間性について総合的に評価します。

先輩からのメッセージ



佐々木　啓太
（12 期生）

2017（平成 29）年度卒業

筑波大学附属病院勤務

受験生のみなさん、こんにちは。私は看護学類を卒業後、看護師として働いています。

学類生時代は医学ラグビー部に所属し、看護以外の医学系の学生とともに汗を流しておりました。筑波大学は総合大学という特徴上、部活やサークル以外にも、様々な学部の学生と交流をする機会があるのが特徴です。

看護学類で行われるケア・コロキウムという授業では、看護、医学、医療科学の学生を含む小グループで症例について討議を行うことができます。臨床現場でも、多職種での連携を行う「チーム医療」が、患者家族にとってよりよい医療を提供する上で非常に重要です。学類生時代から様々な職種の様々な視点から意見を出し合い、方向性を定めていくという経験ができるのも、筑波大学の魅力といえます。

私は学類生時代から小児分野の看護に興味をもち、卒業後は小児病棟で勤務をしています。小児病棟での勤務は、つらく、苦しいこともありますが、そんな中でも頑張っている子どもたちの姿に勇気をもらい、子どもたちの笑顔に癒されながら働いています。現在は自宅での継続した医療が必要な子どもの家族への退院支援をより充実させ、家族が安心して自宅退院ができるために看護師ができることについて、臨床で働きながら大学院でさらに学びを深めています。筑波大学では興味のある分野を見つけ、それをさらに深めてくださる先生方とも出会うことができます。ぜひ、素敵な４年間を過ごしてください！



島田　早菜衣
（17 期生）

2022（令和 4）年度卒業

筑波大学大学院看護科学学位プログラム博士前期課程在学中

受験生の皆さん、こんにちは。私は看護学類を卒業後に大学院へ進学し、現在は助産師課程に在籍しています。

本学は総合大学であるため、医学系の分野だけでなく様々な分野について学ぶ学生と交流ができます。私は大学時代医学系のサークルに所属しておりましたが、他学類の学生も所属しているため様々な志を持った学生と繋がりを持つことができ、とても充実した学生生活を送ることができました。また、本学では専門科目だけでなく他学類で開設している科目を受講できることやサークル活動などが多数存在していることから、新しいことにチャレンジできる環境が整っていることも魅力の１つであると思います。私生活に関しても、宿舎や近隣のアパートなどで一人暮らしをする学生が多く、ともに助け合いながら安心して新生活を送ることができます。

私は現在大学院で助産師を目指し、看護学類での講義や実習から得た学びを活かしつつ、自身の専門性を高めるべく日々勉学に励んでおります。大学院では研究活動にも取り組んでおりますが、本学では学類生の時期から学会やゼミに参加したりと早くから研究に触れる機会も設けられているため、自分のキャリアに関する選択肢を増やし考えていくことができると思います。

筑波大学は自分が目指す以上の新たな道を切り開くことができる素晴らしい大学です。ぜひ本学で素敵な大学生活を送ってください！

医学群

医療科学類

School of Medicine and Health Sciences
College of Medical Sciences

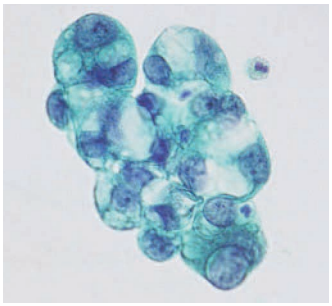
https://www.md.tsukuba.ac.jp/med-sciences/

[人材養成目的] 医学・医療の様々な分野で活躍するために必要な医科学の基礎的な知識、技能を修得し、医療人としての使命感と責任感を身に付け、将来、医療の向上と発展に貢献する医科学領域の研究・教育を推進する人材および診断や治療に必要な新たな技術の開発とその実践にかかわって高度専門医療を担う人材を養成します。

医療科学とは

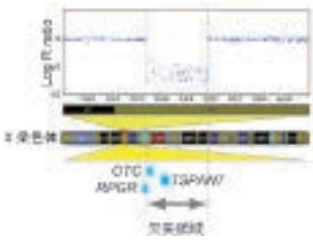
医療科学とは、基礎医学と臨床あるいは社会医学を包括的に捉え、人々の健康と安全に寄与する実践的な学問です。

わかりやすく言えば、医療に関連するいくつかの分野の橋渡しを科学的に支援し、医療が人間の幸福により寄与できるように考える分野とも言えましょう。



病理検査学実習で観察したがん細胞

先天代謝異常症のOTC欠乏症のゲノム診断



以前は診断が難しかったゲノム欠失の検出の証明も、DNAゲノム診断法の進歩で容易になった。診断を受けた子はOTC欠損症だけでなく、精神遅滞、網膜色素変性症の原因となる遺伝子*RPGR*,*TSPAN7*もないことが分かった。

特長

大学（University）は、特定の分野を深く学べると同時に広く教養を身につけることのできる場所です。筑波大学は、総合大学として幅広い学問分野の教育を通した人間教育を重視しており、医科学の専門的知識の習得とともに、幅広い教養を養うことができるのが特長です。

①医療科学教育のための独立した４年制教育組織です。

②３年次より医療科学主専攻と、国際医療科学主専攻（カリキュラムの項目参照）の２つのコースを選択できます。

③大学院修士課程および博士課程にスムースに連結し、学類大学院一貫教育を通して医科学スペシャリストとしてのスキルを高めます。

資格など

卒業時に臨床検査技師国家試験受験資格を取得できます。試験に合格すると、臨床検査技師として、卒後すぐに医療職に就く道が開かれています。また、大学院終了後にも資格を活用して、社会貢献ができます。さらに臨床検査技師の資格を生かして、細胞検査士の資格や超音波検査士などより専門的な資格取得の道も開かれます。



実習風景

主専攻	専門的な授業科目
1年次	人体構造学、人体機能学、医科生化学、医科分子生物学、電磁気学Ⅰ、医療科学概論
2年次	基礎医学総論、臨床病態学、免疫検査学、病理組織学、血液検査学、生化学成分検査学、RI検査技術学、医療経済学、微生物学、保健衛生論、医学検査学、医用工学、遺伝子検査学、胚操作実験動物法、イメージング総論
3年次	免疫検査学実習、病原微生物学実習、生理機能検査学実習、病態検査学、臨床薬理学、輸血学、画像検査学、検査情報管理学、医科学英語論文講読の基礎、細胞検査学、生理機能検査学、病原微生物学、凝固・線溶学、細胞・発生工学
4年次	医学検査学フロンティア、医療情報管理学、卒業研究、臨床実習

医学群ガイドブックの請求方法

●医学群ガイドブックは、医学群Web ページからダウンロード可能です。
https://www.md.tsukuba.ac.jp/igakugun/index.html
●テレメールによる請求もできます（p.167　資料請求番号は541390）

臨床検査技師について

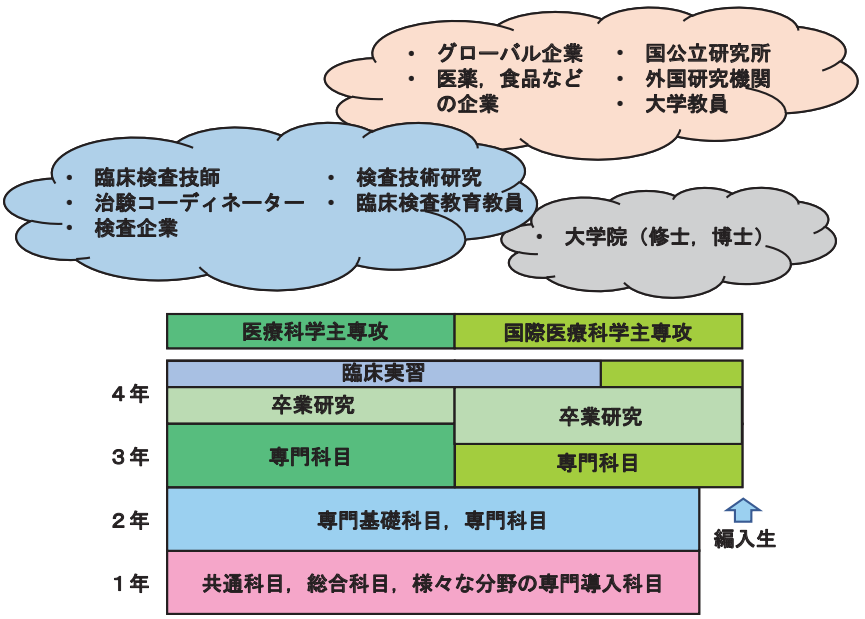
臨床検査技師とは、国家資格として臨床検査技能を認定された、医療に関わる多くの分野を支援するメディカルスタッフのことです。たとえば、病院では血液や尿などの生化学的検査をはじめとし、心電図や超音波（エコー）などの生理機能検査や、がんなどの確定診断に関わる病理検査、さらには細菌やウイルスの同定などの微生物検査や輸血など、広範な分野で、医師とともに医療に直接あるいは間接的に関わることのできる専門職です。このような、医療を支援する職種をコメディカルと呼んでいます。専門職としての活動分野は医療の進歩とともに広がっており、病院のみでなく医薬食品関連企業などにおいても活躍しています。

カリキュラム

平成23年度入学生から、3年次に2つのコースのうちから選択できるようになりました。ひとつは、これまでの医療科学主専攻であり、もう一つは新たに設置された国際医療科学主専攻です（下図参照）。医療科学主専攻は、臨床検査技師教育を柱に、研究者としての素養も身につけるという理念で教育をおこないます。国際医療科学主専攻は、医科学領域のグローバルな課題に取り組める人材の育成を目指しており、とくに専門英語能力と研究実践力を養うことが特徴です。この2つのコースは、2年次までは同じカリキュラムで教育が行われます。

①2つのコース共通のカリキュラム(2年次まで)
1年次は総合科目や体育、外国語など全学と共通の科目を履修し、基礎教養を高めると同時に、医科生化学、人体機能学などの医療系の基礎科目を学びます。2年次では、微生物学、病理組織学、血液検査学など医療科学の専門基礎科目や専門科目を中心としたカリキュラムです。それに加えて、様々な基礎医学分野に触れる科目など研究者としてのスキルを高める科目が開講されます。

②2つのコースの、3年次からの教育カリキュラムの違い
医療科学主専攻は臨床検査技師教育を柱としていますので、多くの手技を学ぶ実習が必修となり、卒業研究は約半年を充てます。一方、国際医療科学主専攻では、卒業研究は3年次から開始します。また、国際医療科学主専攻では医科学特論、医科学専門語学など国際的に活躍できるよう、語学の習熟にも力を入れます。2つの主専攻は、共通に受講できる科目も多く、専攻が分かれても興味や将来像に則した学習ができるよう配慮しています。なお、国際医療科学主専攻でも臨床実習など国家試験関連科目は選択科目として履修することが可能です。



卒業生からのメッセージ



三浦　悠樹
卒業年：2011年

所属：筑波大学グローバル教育院ヒューマンバイオロジー学位プログラム
卒業後の進路：米国スタンフォード大学医学部 Postdoctoral Fellow
出身高校：埼玉県立川越高校

皆さん、はじめまして。平成22年度卒業生の三浦悠樹です。

僕は「ヒトを理解したい」というシンプルな問いから、ヒトに関する医科学が学べる医療科学類を選びました。在学中の4年間では、基礎医学や臨床検査の知識を得ると同時に、病院実習を通して実際の医療現場を体験し、卒業研究では最先端の基礎医学の研究に触れる機会がありました。その中でも、卒業研究で取り組んだ、脳が発達する際の重要なプロセスである神経細胞突起伸長の分子メカニズムを自らの手で解明する「基礎研究」に最もやりがいを感じ、将来も基礎研究を続けたいと考え、5年間の博士課程への進学を決意しました。今年の3月に博士課程を修了し、4月から米国スタンフォード大学医学部にて博士研究員として、ヒトiPS細胞から再構築した3次元ヒト脳モデルを用いて、脳の発達障害である自閉症や統合失調症といった精神疾患の病態メカニズムの解明に取り組みます。将来的にこれらの精神疾患に対する治療薬や新規検査法の開発に寄与し、さらにヒトをヒトたらしめる脳の理解を通じて、かねてからの目標である「ヒトの理解」に迫りたいと考えています。

僕は医療科学類を卒業後、基礎研究を続ける道を選択しましたが、同級生は、病院で研究もこなしながら臨床検査技師として働いていたり、医薬品の開発における臨床試験の仕事に取り組んでいたりします。一方、僕と同様に博士課程に進学し基礎研究を続け、医療系の大学教授を目指す友人や製薬会社に就職し自分の手でがんの薬の開発を目指す友人もいます。このように、医療科学というキーワードを軸に多様なキャリアパスが開かれている点が医療科学類の最も魅力的な点です。

大学4年間の学びはゴールではなく、スタート地点だと卒業して実感しています。大学卒業後のキャリアを考慮する上で、病院実習や基礎研究など様々な経験が出来、多彩な卒後の選択肢を擁する医療科学類はとても魅力的な学類だと僕は思っています。そんな医療科学類に入学し、医療科学の分野をリードする人材となり、未来の医療科学類を共に盛り上げていってくれる後輩をお待ちしています。

③臨床検査技師としての専門教育

臨床検査技師の専門教育として重要な事は、正確で最新の知識をもって論理的に考えることができ、それを実践できる技能を持つことです。この技能を体得することも大変重要であり、そのため専門科目の多くには実習が組まれています。また、国家試験に対応するために医学検査学フロンティアという科目も設置され、できるだけスムースに資格の取得ができるようにしています。また、筑波大学医学群には、チームワーク演習という、医学類、看護学類、医療科学類、薬学部(東京理科大学)の４つの学部生が合同で実践的チームワーク医療について学ぶ、特徴的な科目もあり、幅広く医療を学ぶことができます。

④研究者養成としての専門教育

医療科学類では、専門性の高い研究者の育成を目指しています。研究者として重要な素養は、問題点を正確に理解し、それを解決するための科学的視点と適正な方法論を持つことです。専門基礎科目や専門科目で学んだことを基盤に、さらに研究者としての素養を涵養するために卒業研究を行います。これは、筑波大学医療医学系に属する多くの研究室のうちのいずれかに配属され、与えられた研究テーマに沿って研究をするものです。卒業研究によって、科学的視点や方法論の習得、論文の抄読や作成、さらにはプレゼンテーション力など、講義ではあまり触れない、研究の基本を修練します。医療科学類生は、全国の関連学部の中でも大学院への進学率が高く、半数以上の人が進学しています。このように、多くの学生が大学院でさらに研究者としてのスキルを学びます。

⑤教育の支援体制

筑波大学医学群では、教育の支援体制としてPCMEというカリキュラムの進行を統括する部署があり、いろいろな面で合理的に教育にあたっています。また、カリキュラムを効率よく進行させるために学習支援ポータルサイトを設け、学習を支援しています。







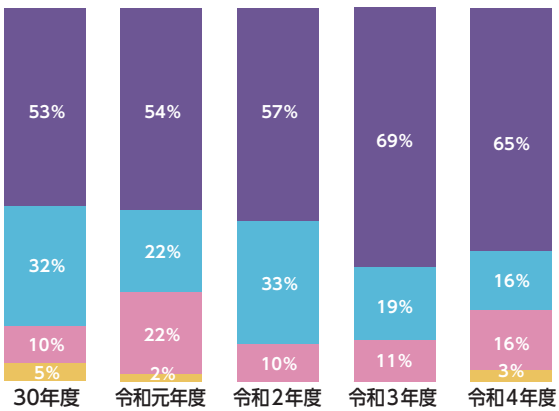
International Medical Science Training Course
(於：インドネシア大学)

卒業後の進路

進学と就職の２つの道があります。進学先としては、筑波大学人間総合科学研究群の修士課程であるフロンティア医科学学位プログラムが主ですが、分野によってはその他の大学院（東京大学、東京工業大学など）に、進学する学生もいます。

就職先としては、大学院での研究や臨床検査技師の資格を活かしたものが主ですが、一般企業に就職する場合もあります。また、臨床検査技師を対象とした資格には細胞検査士（卒後一定の研修が必要）、さらに臨床検査技師が資格要件となるものには超音波検査士、糖尿病療養指導士、健康食品管理士、治験コーディネーターなどがあります。病院や企業からの臨床検査技師の求人は増加しています。大学院を修了した臨床検査技師の求人も増えています。その他、大学院修了後に医学の知識を生かして企業に就職する学生も多く、さらに大学院博士課程を修了した学生は大学教員や研究員として就職しています。

これからは、人々の健康・疾病予防への関心の高まり、高齢化、環境重視などの社会的要請もあり、病院だけではなく多種多様な就職先や、就業形態が考えられます。真摯に勉学に励み、高い教養を身につけた学類生が新たな道を開拓していくことでしょう。



※四捨五入により合計が100%にならない場合があります。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材		医科学の分野に強い関心をいだき、医科学分野の研究や医学・医療分野の検査技術において国際的に活躍する意欲を持つとともに、チーム医療での役割を理解し、行動することができる柔軟性を持った人材を求めています。
入学までに学んでおいてほしいこと		数学、生物、物理、化学についての基礎的な知識と理解、日本語の文章表現力、英語の読み書き会話の能力を有し、医学や医療に関して関心のある分野と将来に対する希望を明確にもち、主体的に行動する能力を有していることが望ましい。
入学者選抜方針	個別学力検査等（前期日程）	広い基礎学力と数学、理科、英語の学力さらに医療を志す動機、適性、感性、社会的適応力、主体的に行動する能力などを総合的に評価します。
	推薦入試	医療人を志向する強い動機と適性、人を愛する感性、社会貢献への熱意に加えて、医科学を学ぶために必要な基礎学力と主体的に行動する能力を総合的に評価します。
	国際バカロレア特別入試	医療や医科学を志向する動機と適性、人を愛する感性、社会貢献への熱意に加えて、医科学を学ぶために必要な基礎学力と主体的に行動する能力を総合的に評価します。
	外国学校経験者特別入試（第1種・第2種）	英語・日本語の総合学力と数学・理科の基礎的学力、論理的思考力、文章表現力を総合的に評価します。
	編入学試験	医療人としての更なる飛躍を目指す動機に加えて、大学で基礎あるいは臨床医学を修得するに足る基礎知識、思考力や学力、主体的に行動する能力などを総合的に評価します。
学群英語コース特別入試（編入学）		(1) 求める人材 医療を取り巻く状況が急速に変化するなかで、感染症や生活習慣病等に関わる国際的な諸問題に対して学問的な関心を示し、多様な観点から事象を分析できる応用力を備え、主体的に行動する能力を有する人材を求めます。 (2) 入学者選抜方針 高い英語力・専門分野の知識を習得するための基礎学力とともに、医療科学分野の諸問題に対する独自の視点と分析力を、提出書類及び個別面接により総合的に評価します。

■進学
筑波大学大学院、東京大学大学院、東京医科歯科大学大学院、東京工業大学大学院、京都大学大学院、信州大学大学院

■病院
筑波大学附属病院、筑波メディカルセンター病院、順天堂大学医学部附属順天医院、慶應義塾大学病院、東京大学医学部附属病院、聖路加国際病院、日本赤十字社医療センター、埼玉県がんセンター、埼玉県立小児医療センター、自治医科大学附属さいたま医療センター、獨協医科大学越谷病院、亀田総合病院、千葉大学医学部附属病院、北里大学医学部附属病院、名古屋第二赤十字病院、金沢大学附属病院、奈良県立大学附属病院、京都大学医学部附属病院

■企業・公務員
茨城県庁、埼玉県庁、福井県警察本部科学捜査研究所、株式会社江東微生物研究所、筑波i-Laboratory有限責任事業組合、シミックホールディング株式会社、株式会社EP総合、株式会社Phone Appli、株式会社メディサイエンスプラニング、株式会社LSIメディエンス

■その他

体育専門学群

School of Physical Education, Health and Sport Sciences

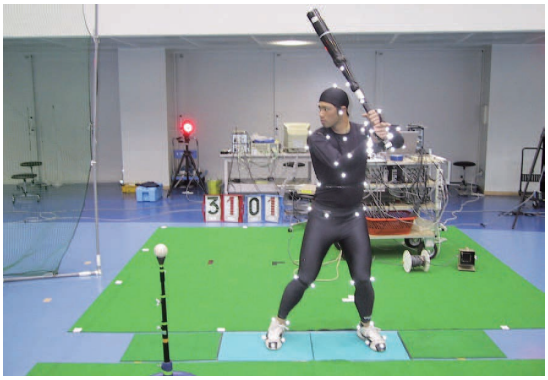
https://spehss.taiiku.tsukuba.ac.jp/

[人材養成目的] 優れた運動技能と幅広い運動経験を基盤に体育・スポーツ、健康、コーチングに関する総合的な知識と最新の科学的知見を活かしながら、組織を的確にマネジメントして諸々の問題解決を図ることのできる知・徳・体を具備した体育・スポーツ界のリーダーを育成することを目的とします。

"21世紀には人類はスポーツなしには生きられない" といわれるほど、人々の生活における運動やスポーツの意味や価値が高まっています。本学群は、この様な時代の要請を受けて、「学校教育」、「公共スポーツ」、「スポーツ関係産業」そして「競技スポーツ」の最先端分野で活躍する有能な専門家を養成しようとしています。いずれの分野においても、幅広い教養と専門的知識をベースに、優れたスポーツパフォーマンスが発揮でき、科学的知識の探求に意欲を持ち、さらに創造的な実践に取り組むことのできる人材を養成しようとしています。



バドミントン部　日本インカレ女子団体6連覇
(2021年度)



体育総合実験棟での三次元動作分析
(体育総合実験棟のアリーナ)

カリキュラム構成

基礎科目	専門科目　約50単位				教職科目	
約30単位	キャリア支援科目 職業領域で活用される実践的な知識・技術を習得する科目群 (保健体育教師論、地域保健学、スポーツにおける情報戦略、運動療法論など)	分野別専門科目 体育学を構成する専門知識を発展的に学習する科目群 (スポーツ倫理学、スポーツ戦術論、動きの解剖学など)	卒業研究領域科目 選択した研究領域の最新の知見や研究方法を習得する演習・実習型科目群	実技系科目 専門とする運動種目の実技力と指導力のレベルアップを目的とする科目群	教育実習	4年 ↑ 3年
総合科目 外国語 情　報 国　語	**専門基礎科目　約40単位** 体育学を専門的に学ぶ全ての学生に必要な最低限の基礎的知識 体育・スポーツ学領域科目 コーチング学領域科目 健康体力学領域科目 実技理論・実習				教育基礎学、教育心理学など	↑ 2年 ↑ 1年

カリキュラム

1・2年次では、幅広い教養としての国語、外国語、情報、総合科目や基礎的な専門科目及び各種実技理論・実習等の履修に重点が置かれます。

3年次以降はキャリア支援科目や卒業研究領域（分野）に対応した科目等、多様な講義、演習、実習、実験等が用意されています。

体育専門学群パンフレットの請求方法

●直接請求する場合は返信用封筒（角形２号）を下記の請求先へ送付してください。返信用封筒には210 円分の切手を貼り、請求者の住所、氏名を明記してください。なお、大学宛の封筒の表に「体育専門学群案内請求」と必ず朱書きしてください。

請求先　〒305-8574 茨城県つくば市天王台1－1－1
筑波大学体育芸術エリア支援室学群教務担当（学生募集要項の請求先とは異なります。）

●テレメールで請求できます。(p.167　資料請求番号561390)

●パンフレットの内容は、下記のアドレスでもご覧になれます。
https://spehss.taiiku.tsukuba.ac.jp/

特長

教員

本学群には、約120名の教員がおり、それぞれの専門性を発揮して国際的に誇ることのできる体系的なカリキュラムと充実した授業を展開しています。また、各種目の運動施設も整備されており、運動経験を高めるとともに、人生経験を深め、快適な大学生活を送れる場となっています。

課外活動

本学群では、運動部活動も専門教育とともに重視し、それぞれに顧問教員を置き、適切で高度な指導を行っています。その成果として、多くの運動部が国内の諸競技大会で優秀な成績をあげています。また、国際競技大会やオリンピックにも日本代表として出場し、輝かしい成績をあげている学生も多くいます。スポーツの国際交流の盛んな今日、本学群の学生が国際レベルの資質と実力をそなえて活躍することが期待されています。

筑波大学体育専門学群：スポーツの知と技の伝承と創造の空間

教育

◎体育・スポーツ界のリーダーを育成する
- 指導的立場に立てる中学校・高校教員の養成
- 体育・スポーツに精通した大学教員・研究者の養成
- 将来、指導的立場に立てるトップアスリートの養成
- 体育・スポーツ行政に関わる上級公務員の養成
- メディア業界、健康・スポーツ産業への体育・スポーツに精通した人材の輩出

研究

年間で約500件の論文・著書を公表し、約800件の学会発表を行っています。また、ヒューマン・ハイ・パフォーマンス先端研究センターを設置して、体育・スポーツ・健康に関するプロジェクト研究を推進しています。

◎体育・スポーツ界の発展に資する成果を創出し世界に発信する
- 新しい視点を提供できる体育・スポーツ・健康科学の構築
- 体育・スポーツ・健康科学に関わるプロジェクト（総合的）研究の推進
- スポーツによる開発支援（カンボジア・中央アジア）

地域貢献

◎体育系の教育研究成果を活かして地域に貢献する

評価

卒業生を対象に行った「キャンパスライフに関するアンケート」の結果では、本学群の大部分の学生は、第一志望として本学群に入学してきており、また本学での生活に「大いに満足した」と答えています。さらに約９割の学生は、「もし自分の子どもが本学に入学を希望すれば賛成する」と回答しています。このような結果は、本学群の教育条件や教育活動が大きな成果を収めている一つの証であるといえるでしょう。

卒業研究領域

キーワード；体育、スポーツ、運動、健康、文化、身体

分　野	領　域
体育・スポーツ学（人文社会科学的分野：10領域）	体育・スポーツ哲学、体育史・スポーツ人類学、スポーツ社会学、武道学、体育・スポーツ経営学、スポーツ政策学、スポーツ産業学、体育科教育学、アダプテッド体育・スポーツ学、体育心理学
コーチング学（種目特性、運動方法、指導方法など：17領域）	コーチング論・トレーニング学、スポーツ運動学、種目別コーチング論（体操、体操競技、陸上競技、水泳競技、バレーボール、バスケットボール、ハンドボール、サッカー、ラグビー、ラケットバット、柔道、剣道、弓道、野外運動、舞踊）
健康体力学（自然科学的分野：11領域）	健康教育学、運動生理学、運動生化学、運動栄養学、スポーツバイオメカニクス、応用解剖学、体力学、健康増進学、体育測定評価学、内科系スポーツ医学、外科系スポーツ医学

卒業生より一言



高品　圭佑

読売新聞社
平成27年度卒業

私は現在、読売新聞社の事業局という部署で、スポーツや美術展など様々なイベントに携わっています。大学では、幅広く体育・スポーツの基礎を学び、3年生で「スポーツ哲学」という分野に出会い、当時問題となっていた体罰や野球賭博などについて、先生や仲間と議論しながら勉強しました。また野球部では、チームの勝利と選手の技術力向上を目指し、日々データ分析なども行っていました。当時を振り返ると、たまに学生の頃にタイムスリップしたくなることもあります。広いキャンパスで、トップアスリートや他学群の学生との交流もあり、様々な視点や立場から考えることを学んだように思います。自分の興味にとことん向き合う機会や時間があるのは大学生の特権だと思います。筑波大学は膨大な蔵書を誇る図書館を始め、じっくり学べる環境が整っており、もっと読んでおけばよかったと思うこともあります。「体育・スポーツを専門的に勉強し、将来スポーツに関わる仕事をしたい」という漠然とした想いが筑波大学で膨らみ、形になりました。是非、皆さんも筑波大学で充実した日々を送ってもらえたらと思います。



鈴木　瑞生

栃木県教員
平成27年度卒業
平成29年度修了

「これまでの当たり前の感覚が覆された」

私が筑波大学での４年間を通し感じたことです。

「プロフェッショナルの一員になれるように」

私が大学院での２年間を通し思い続けてきたことです。私の６年間は先生方や仲間たちに必死に食らいつく毎日でした。しかしそれがとても充実していて、幸福感に満ち溢れた時間でした。私は剣道で日本一になりたい。この思いを胸に進学しました。超一流の集団の中での稽古はもちろん、先生方や仲間たちとの会話一つ一つが私の中ではとても貴重なものでした。自分の剣道が変わっていくことを実感できた時はとても嬉しく、ますます剣道を追究していきたいと思うようになりました。この思いは現在も変わらず持ち続けています。

「子どもの行動そのものを見るのではなく、その背景を見つめてみよう」

教員になるという夢を抱いて大学に進学した私に先生がくれたこの言葉は、今でも私の心に生き続けています。「高校教員になる」という夢をかなえることができた今、生徒と共に過ごす毎日がとても幸せでかけがえのないものになっています。今の私の中には大学在学時に先生からいただいた言葉や、仲間と共に積み重ねた経験が支えとなっています。筑波大学体育専門学群はたくさんの可能性であふれている学生たちの背中を押してくれて、夢を現実のものとしてくれる場所です。「挑戦する」この気持ちを持ち続けることが今の私の原動力です。

気概と行動の教育者



嘉納治五郎先生

講道館柔道の創始者
東京高等師範学校校長
アジアで最初のIOC委員

嘉納先生は、柔道の創始者として世界中に知られていますが、本学の前身である高等師範学校、東京高等師範学校の校長を通算23年間も務め、多大な業績を残された教育者でもあります。また、先生はアジア初の国際オリンピック委員会委員であり、体育・スポーツの普及（大日本体育協会設立、運動部活動の普及、駅伝など）に力を尽くされ、驚くべきことに100年以上も前に8000人以上の中国人留学生を受け入れています。そして、嘉納先生は柔道を世界に紹介しながら、「精力善用・自他共栄」の理念を確立しました。「精力善用」は、各自の持つ、あるいは高めた力や能力を意味のあることに有効に活用することを説いたものです。「自他共栄」はだれもが助け合いながら共に生きていくことを意味します。このような多大な業績を残された嘉納先生はわれわれの誇りです。



実技理論・実習「臨海実習」



実技理論・実習「野外運動（雪上）」授業風景

資格など

教職科目の履修により、中学校及び高等学校教諭一種の教育職員免許状（保健体育）が取得できます。また、卒業に必要な単位を取得することによって、スポーツ指導者の資格を得るための養成講習会共通科目の講習及び試験が免除されます。

卒業要件以外の「教職科目」や「博物館学」の単位を修得すれば、教員や学芸員の資格が得られます。

取得できる資格

教員免許

中学校一種免許状（保健体育）

高等学校一種免許状（保健体育）

※努力次第では、教育学類等で開設する教員免許に必要な単位を修得することにより、小学校一種免許状や特別支援学校一種免許状の取得も可能です。

社会教育主事、学芸員、司書教諭

JFA(公認) C級コーチ、健康運動指導士

日本スポーツ協会スポーツ指導者養成講習会免除適応コース・ハンドボールコーチ・水泳コーチ承認校

卒業後の進路

最近の卒業後の主な進路をみますと、中・高校の教職に進む者が8%、企業等へ進む者が61%、そして26%の者は、教職や指導的現場における高度な職業人や研究者を目指して大学院に進路を求めています。

本学体育系の大学院は、人間総合科学学術院の前期課程（修士）の学位プログラムとして体育学、スポーツウエルネス学、スポーツ・オリンピック学、及びスポーツ国際開発学共同専攻が、後期課程（博士）の学位プログラムとして体育科学、スポーツ医学、コーチング学、ヒューマン・ケア科学、パブリックヘルス、スポーツウエルネス学及び大学体育スポーツ高度化共同専攻があります。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材		体育・スポーツ、健康、コーチングに関する分野に強い関心があり、教養を高め運動経験の幅を広げるだけではなく、これまで身につけた運動技能や関連する知識をさらに高めて、体育・スポーツの国内的・国際的発展に貢献する情熱と意欲を持った人材。
入学までに学んでおいてほしいこと		高校の保健体育で学ぶ内容を習得し、さらに英語の基礎的能力を身につけていること。
入学者選抜方針	個別学力検査等（前期日程）	優れた学力及び運動能力を有し、体育・スポーツ、健康、コーチングの分野での活躍が期待できる人材を選抜するために、学力と運動能力の両方を対等に評価します。
	推薦入試	ひとつの運動種目に抜群の技能を有し、体育・スポーツ、健康、コーチングの分野での活躍ができる人材を選抜するために、本学群における修学力とともに、運動技能を重点的に評価します。
	AC入試	スポーツに関する科学的知識の主体的な活用と論理的思考力、およびそれらに基づいた、ひとつの運動種目における特に優れた技能や卓越した取り組みを多面的に評価します。
	国際バカロレア特別入試	体育・スポーツ、健康、コーチングの分野に強い関心をもち、将来、それらの分野で国際的に活躍できる学力、運動能力、国際性を総合的に評価します。
	外国学校経験者特別入試（第１種）	体育・スポーツ、健康に対する強い関心と、思考能力、基礎的な日本語能力、高い英語能力、及び優れた運動能力を総合的に評価します。
	外国学校経験者特別入試（第２種）	体育・スポーツ、健康に対する強い関心と、保健体育に関する基礎学力、高い英語能力、日本語能力、及び優れた運動能力を総合的に評価します。



サッカー場


陸上競技場


テニスコート

芸術専門学群

School of Art and Design

https://www.geijutsu.tsukuba.ac.jp/school/

[人材養成目的] 学際的・国際的な視野と確かな学力を持ち、かつ柔軟な発想力と豊かな表現力を備え、創造的活力に満ちた美術及びデザインの専門家を養成することを目的とします。



素描基礎演習（1・2 年次）



卒業制作展でのプレゼンテーション（4 年次）

教育の特色

学際的な知性と芸術的感性の統合

総合大学における芸術教育の場という特徴を活かし、広く学際的教養と深い専門能力に芸術的感性を統合した、創造力に溢れた人材を育成します。

選べる 14 の領域

入学後に様々な領域の専門基礎科目や横断的科目を履修することによって、美術・デザインの広い世界を見渡し、学生一人ひとりが自らの適性と意欲に応じて、自由に志望する領域を選ぶことができます。

基礎と専門が統合されたカリキュラム

1・2 年次では、多様な専門に繋がる基礎的な科目を横断的に履修します。3 年次から、諸領域におけるより高度で専門的な科目を学び、4 年次の卒業研究へと結びつけます。

学生の個性を尊重した教育

芸術教育において学生の個性は最大限に尊重されるべきものです。そのため、諸領域における専門教育は可能な限り少人数クラスとし、対話を通して個性を伸ばす指導を行います。

学際的な知性と芸術的感性を統合した自律的・社会的な創造的人材

専門科目
卓越した表現力の基盤を築く

横断的科目
創造的コミュニケーション力を養う

専門基礎科目
創造的表現力、問題解決能力、論理的思考力の基盤を育成

14領域

美術史	構成
芸術支援	総合造形
洋画	工芸
日本画	ビジュアルデザイン
彫塑	情報・プロダクトデザイン
書	環境デザイン
版画	建築デザイン

育成する能力とカリキュラムの構造

芸術専門学群ホームページ・パンフレット

●より詳しい情報は芸術専門学群ホームページをご覧ください。
https://www.geijutsu.tsukuba.ac.jp/school/
●テレメールによる請求もできます（p.167　資料請求番号 953560）

「現場」と繋がる授業

全学の学生・教員や市民と協働する学際的カリキュラムを配置し、企業へのインターンシップや、行政、美術館、教育現場等との協働や教育交流など、実務と直結した教育を実施し、時代に即した高いコラボレーション力と学際的な視野を持つ学生を育成します。

創造的表現力と論理的思考力の両立

制作と論文執筆の二つを卒業要件とすることで、ものづくりの実践による創造的表現力と、客観的・論理的な思考方法を基盤とした確実な文章表現力の習得を目指します。

世界的視野に基づく創造力の育成

作品交流展、国際インターンシップなどの機会を活用し、国際的コミュニケーション能力と世界的視野に立った創造力を育成します。一部の専門科目では、英語による授業も行われています。

留学

芸術の各組織は、世界各地の大学と部局間での交流協定を結んでいます。こうした協定校への交換留学では、学費の不徴収や単位の互換などの仕組みが準備されています。また奨学金制度が幅広く準備されています。

芸術専門学群の交流協定校

・国立台湾科技大学
・国立台湾芸術大学
・中国美術学院
・ホーチミン市美術大学
・フィレンツェ国立美術学院
・アイントホーフェン工科大学
・デルフト工科大学
・スウェーデン王立美術大学
・バルセロナ大学
・ヘルシンキ芸術大学美術アカデミー
・ストラートデザイン大学
・国立工業工芸大学（パリ工科大学）

筑波大学交流協定校（一部）

・精華大学
・中央美術学院
・韓国科学技術院
・弘益大学校
・ユタ州立大学
・サマルカンド国立外国語大学
・ボルドー・モンテーニュ大学
・ブランデンブルク工科大学コットブス・ゼンフテンベルク校
・ガジャマダ大学
・ペルー・カトリカ大学
・ディーキン大学



フォトグラフィー演習
(英語による授業)



書漢字演習

14 領域	学べる内容	主な授業科目
美術史	日本美術史、西洋美術史、美術論、博物館学　など	美術史特講 A ～ D、美術史演習 A ～ D
芸術支援	芸術支援学、芸術教育、アートライティング　など	芸術支援学演習 A ～ C、美術館教育演習 I ～ Ⅲ
洋画	油彩画、テンペラ、アクリル画　など	油彩画基礎演習 Ⅰ , Ⅱ、油彩画実習 A ～ D
日本画	日本画、古典模写、技法・材料研究　など	日本画技法演習、日本画表現演習 1 ～ 3
彫塑	塑造、木彫、石彫、鋳造、乾漆、テラコッタ　など	塑造実習 Ⅰ ～ Ⅲ、彫刻演習 Ⅰ ～ Ⅱ
書	漢字、仮名、中国書法史、日本書道史　など	書漢字・仮名演習、中国書法史、日本書道史
版画	木版画、銅版画、リトグラフ、シルクスクリーン　など	銅版画演習 Ⅰ ～ Ⅱ、木版画演習 Ⅰ ～ Ⅱ
構成	平面構成、立体構成、色彩構成、図案意匠、プリントデザイン　など	色彩学、平面・立体構成演習
総合造形	現代アート、メディア・アート、インタラクティブアート、映像、アニメーション　など	インスタレーションアート、メディアアート・プログラミング
工芸	陶磁、ガラス、木工・漆芸　など	工芸基礎演習 (陶磁、ガラス、木工)、陶磁・ガラス・木工基礎演習
ビジュアルデザイン	グラフィックデザイン、ブランド構築、パッケージデザイン、フォトメディア、マンガ、絵本、イラストレーション　など	ビジュアルデザイン演習 A, B、パッケージデザイン演習
情報・プロダクトデザイン	情報デザイン、プロダクトデザイン、コミュニケーションツールデザイン、感性科学、デザイン解析　など	デザインイノベーション論、情報・プロダクトデザイン演習 1 ～ 6
環境デザイン	環境デザイン、都市デザイン、ランドスケープデザイン、サイトプランニング　など	デザイン演習 2-B, 6-B、環境デザイン演習 A ～ C
建築デザイン	建築デザイン、建築計画、建築史　など	建築設計論、建築デザイン演習 A ～ D

14 の領域で学べる分野

卒業研究

４年間の集大成である卒業研究は学生の自立を保証するものです。美術・デザインの専門家として自律的に創造活動を行う基礎力を養い、豊かなコミュニケーション能力を磨きます。すべての卒業研究は学外の公立美術館で公開展示され、卒業研究作品集の公刊とともに社会の評価を仰ぎ、優秀作品は顕彰され大学に収蔵されます。

資格

所定の科目の単位を履修し、実習を修了すると以下の資格を取得することができます。

■学校教員免許状 (中学校一種美術、高等学校一種美術・工芸・書道)

■博物館学芸員資格

■一級建築士、二級建築士、木造建築士の受験資格





卒業制作展（卒業研究の公開展示）

卒業生の声



武藤はるか

常磐大学高等学校 美術教諭
洋画コース
2011 年卒業

Q1　現在の仕事について

陶芸家の両親の影響もあり、幼い頃から絵を描くことが好きで、大学では油絵を専門に学びました。卒業後は、私立高校で美術教諭をしながら作家活動をしています。作品は抽象画のつもりで、「肌触り」や「匂い」や「線」や「色」など感じた事を日記のように、日々高校生と制作しています。

Q2　大学で得たもの

まるで宇宙のような「芸術」の広さを実感することができました。たくさんのお世話になった先生方や先輩方、友人に教えていただきました。卒業する頃にはとても好奇心旺盛になっていて、今でも試してみたい道具や材料、行ってみたい美術館、会ってみたい作家さん・・・生徒と一緒にやりたい事が無限に見つかります。油絵を専門に学べたことも幸せのひとつですが、教員として授業の参考作品をつくる度に、他専攻の授業や実習室を思い出しては、もっと勉強すればよかった～と心の中で叫んでいます。

Q3　後輩へのメッセージ

楽しいが一番！楽しくなくなってからが本番！と制作や仕事、常に自分に言い聞かせています。せっかくの大学生活、どんなことも納得ゆくまで追及してみてください。最近は学校を中心に、地域の方々とワークショップや絵画教室をしています。受験生、在校生、卒業生のみなさん！高校生と一緒に何か楽しいことしませんか？興味がある方ぜひご連絡お待ちしています。



柳沢　知恵

シトロエン カラー & マテリアルデザインプロジェクトマネージャー
プロダクトデザイン領域
2005 年卒業
2007 年芸術研究科修了

Q1　現在の仕事について

自動車メーカーで色素材の提案をする「カラーデザイナー」をしています。外板色から内装まで「人が触れる部分」のデザインが担当です。まずはトレンド調査や販売地域の顧客の好みを元に、色のバリエーションを考えたり、車の世界観や個性を引き立てるイメージを作ります。その後、量産過程に入り、素材の色合わせや質感の監修を行います。どの部位にどんな素材を使うのかという具体的な指示を出し、各部品を目標の色に合わせていきます。

Q2　大学で得たもの

大学では、自分のやりたいことを実現していく方法をみつける術を学びました。大学自体は自由放任だったのですが、縦のつながりが生まれる授業が多く、先輩たちの就活風景をみたり、卒制の手伝いをする中で、今後の自分がやるべきことを想像できる環境だったのが良かったです。「自由な時間を買っているのが大学生活」という先輩の言葉で、時間の貴重さに気付かされました。また、後輩たちのひたむきさに我が身を省みたりも。

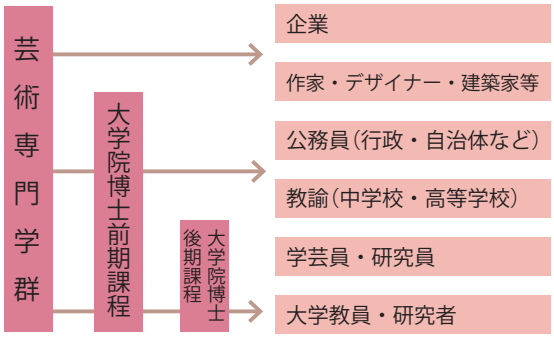
Q3　後輩へのメッセージ

今、フランス企業で働いていますが、自ら学び取っていく力が求められています。日本企業で働いていたときは、丁寧な社員教育があり、多少受動的に過ごしていても、知識や経験を積んでいくことができる仕組みがありました。海外で働くようになってからは、自分自身をどう育てていくかは自己責任になり、自由な大学で学んだことが活きていると感じます。筑波大生は海外で働くのに向いていると思うので、少しでも興味のある人はぜひ！

卒業後の進路

卒業生の数だけ進路はあります

卒業生は、大学院への進学、企業への就職、あるいは独立した作家、デザイナーなど、様々な分野において自己を実現していきます。



■主な進学先・就職先

【進学】
筑波大学大学院、東京大学大学院、東京藝術大学大学院、東京工業大学大学院、横浜国立大学大学院、京都大学大学院、京都市立芸術大学大学院、九州大学大学院　ほか

【企業】
インタフェースデザイン：ソニー、パナソニック、富士通、三菱電機、デンソー、京セラ　ほか
Web デザイン：ソニーデジタルデザイン　ほか
ゲーム・アミューズメントシステムデザイン：任天堂、バンダイ、セガ、タイトー、バンダイナムコゲームズ　ほか
プロダクトデザイン：パナソニック、トヨタ自動車、ソニー、ホンダ、東芝、日産、スズキ、スバル、三菱自動車、ダイハツ、マツダ、オカムラ、ミズノ、キャノン、コクヨ、パナソニック電工、ゼブラ、シャープ、三菱電気、乃村工藝社、TOTO　ほか
編集・エディトリアル・グラフィックデザイン：朝日新聞、NHK 出版、花王、コンセント、サン・アド、サイバーエージェント、ソニー、DNP、DNP メディアクリエイト、TBS、電通、ドラフト、凸版出版、博報堂、博報堂プロダクツ、パナソニック電工、ブラビス、森永製菓、ランドー・アソシエイツ、リクルート　ほか
建築・空間デザイン：鹿島建設、日建設計、SANAA、長谷工コーポレーション、大和ハウス工業、セキスイハイム、日本住研　ほか
都市計画・公園緑地デザイン、社会システムデザイン：横浜市、プレック研究所　ほか
芸術・文化関連：小学館、法蔵館書店、北海道新聞社、アートフロントギャラリー、シンワアートオークション、カウベル・コーポレーション、高島屋本社企業文化部　ほか

【作家・デザイナー】
画家、彫刻家、書家、造形作家、各種デザイナー、建築家、都市計画家、プロデューサー　ほか

【学芸員・研究員】
北海道立近代美術館、福島県立美術館、東京国立博物館、東京文化財研究所、東京国立近代美術館、東京都写真美術館、埼玉県立近代美術館、群馬県立近代美術館、ポーラ美術館、山梨県立美術館、新潟県立近代美術館、富山県立近代美術館、奈良国立博物館、姫路市立美術館、大原美術館、岡山県立博物館、愛媛県美術館、熊本市現代美術館　ほか

【教諭（中学校・高等学校）】
各都道府県（公立・私立）中学校・高等学校　など

【公務員】
国土交通省、経済産業省特許庁、都市再生機構、農業・食品産業技術総合研究機構、愛知県庁、岩手県庁、太田市役所、館林市、つくば市役所、横浜市役所、千葉市役所、藤枝市役所、三郷市役所、社会福祉法人基弘会、全国共済農業協同組合連合会、陸上自衛隊　ほか

注意：大学院修了後の就職先を含む

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材		芸術を追求する熱意のある人材，社会的・国際的観点から創造活動にチャレンジする意欲のある人材，多領域に関わる知識や方法に基づいた美術・デザインによる表現によって社会に貢献する意欲ある人材を求めています。
入学までに学んでおいてほしいこと		美術・デザインの専門に関する基礎的な知識と技能及び幅広い基礎学力を習得していることが望ましい。
入学者選抜方針	**個別学力検査等（前期日程）**	幅広い基礎学力と芸術に関する能力を総合的に評価します。
	個別学力検査等（後期日程）	基礎学力と芸術に関する基礎的な能力を総合的に評価します。
	推薦入試	高等学校（後期中等教育）における学習や活動の成果に加え，芸術に関する資質，意欲，能力を総合的に評価します。
	国際バカロレア特別入試	国際バカロレア資格を取得した者を対象として，本学の教育を受けるのに必要な基礎学力，問題発見・解決能力，行動力等の一般的能力と，芸術に関する資質，意欲，基礎的な能力を総合的に評価します。
	外国学校経験者特別入試（第 1 種）	高等学校（後期中等教育）における学習・活動の成果や日本語能力に加え，芸術に関する資質，意欲，基礎的な能力を総合的に評価します。
	外国学校経験者特別入試（第 2 種）	高等学校（後期中等教育）における学習・活動の成果に加え，芸術に関する資質，意欲，基礎的な能力を総合的に評価します。
	私費外国人留学生 Japan-Expert（学士）プログラム特別入試	高等学校（後期中等教育）における学習の成果や日本語能力に加え，提出された書類や作品等も含め，芸術に関する資質や意欲を総合的に評価します。

入学者選抜における試験科目

【推薦入試、前期日程「学類・専門学群選抜」】
＊変更の可能性もありますので必ず募集要項を確認してください。
以下は概要となります。

	科目記号	実技検査科目
午前	A1	論述
	A2	鉛筆デッサン
午後	P1	論述（鑑賞）
	P2	論述（デザイン構想）
	P3	デッサン（木炭又は鉛筆）
	P4	平面構成
	P5	書

午前の検査科目 A 群から 1 科目、午後の検査科目 P 群から 1 科目をそれぞれ事前に選択していただきます。
推薦入試では面接もあります。

【後期日程】
論述、鉛筆デッサンのどちらか 1 科目を事前に選択していただきます。
面接・口述試験はありません。

学ぶための環境

図書館

大学図書館は、大学における学習・教育・研究を支える不可欠な施設です。今日の大学教育は学生に単に知識を与えるだけでなく、考える能力を培うとともに、いかに知るかを教育し、国際化する社会に主体的に対応できる能力を育成することを目標としています。

大学図書館は、図書館資料の収集・保存・提供及びレファレンス・サービス等にとどまらず、急激な高度情報化・国際化に対応するために、インターネットによる情報の発信基地としての役割も果たしています。

■図書 270 万冊、雑誌 3 万タイトル

現在 270 万冊の図書と 3 万タイトルの雑誌を中央図書館、体育・芸術図書館、医学図書館、図書館情報学図書館および大塚図書館（東京キャンパス）の 5 つの図書館に配置しています。これらの資料は、だれでも自由に書架から取り出して利用できる全面開架となっています。また、4 万タイトルの電子ブックと 4 万タイトルの電子ジャーナルへのアクセスを提供しています。

利用者が必要とする情報を迅速・的確に得られるようにするため、効果的なナビゲーションを実現する検索システム「Tulips Search」を提供しています。

■施設・設備

館内には、学習・閲覧スペース、グループ学習のためのセミナー室、大学院生と教員が利用できる研究個室等があり、快適な学習環境を提供しています。

図書館内のパソコンでは、蔵書検索や各種データベースを使っての文献探索のほか、電子ジャーナルや電子ブックの利用ができます。また学術情報メディアセンターの全学計算機システムのパソコンも設置されており、課題や情報探索、コンテンツ作成などに利用できます。無線 LAN の使用も可能です。

■ Web によるサービス

https://www.tulips.tsukuba.ac.jp/

図書館 Web サイトでは、自宅やキャンパス内など、場所にとらわれずいつでも利用できる Web サービスを提供しています。例として Tulips Search、OPAC（蔵書検索）、電子ジャーナル、電子ブック、図書の予約・取り寄せ、貸出期間の延長、個室の予約などがあります。

■多様な取組とサービス

中央図書館には貴重書展示室があり、貴重な所蔵資料を紹介する常設展示を行うほか、特別展を開催し、地域の方々にも公開しています。また、国立大学図書館としては初めてボランティアによる活動を導入し、外国人や障害のある利用者への支援を行っています。

2 階の「ラーニング・スクエア」には、グループ学習スペースや学生サポートデスク等があります。学生サポートデスクでは、大学院生のラーニング・アドバイザーが学生の質問・相談に対応し、学習活動を多面的に支援しています。

各図書館では、図書館の利用方法・資料・事項調査等に関する相談に応じたり、所蔵していない資料の取り寄せサービス等を行っています。また、図書館を上手に利用するための講習会を開催しています。

■開館時間（筑波キャンパス）

平日 8：30 ～ 22：00
土・日・祝休日 9：00 ～ 20：00
（体育・芸術図書館と図書館情報学図書館は 10：00 ～ 18：00、医学図書館は 9：00 ～ 22：00）
※休業期間中、年末年始および大塚図書館の開館時間については、図書館の Web サイトをご覧ください。また、開館時間の変更および臨時休館等はその都度、図書館 Web サイト等でお知らせします。


中央図書館ラーニング・スクエア


中央図書館

外国語教育

外国語の教育を効果的に行うために、グローバルコミュニケーション教育センター（通称：CEGLOC ／セグロック）が設置されています。CEGLOC では、英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、ロシア語、中国語、韓国語の 7 つの外国語のほかに、留学生向けの日本語、および日本人学生向けの国語が開講されています。外国語については、海外研修も用意されています。

CEGLOC 併設のメディアライブラリーでは、外国語や日本語授業の自習・復習用に、オンラインコンテンツ、DVD、オーディオ教材（英語、日本語、初修外国語、外国語検定試験対策等）を利用することができます。同セミナー室では英語のライティング活動を支援する Academic Writing Support Desk のセッションが行われています。

この他、学生の自主的な外国語活動を独自評価する「優れた外国語活動」認定制度もあります。詳しくは、CEGLOC の Web サイトやメディアライブラリーで確認してください。留学生向けには、日本語・日本事情遠隔教育拠点が提供している日本語教育コンテンツが無料で利用できます。

卒業するまでの期間に複数の外国語を学修し、将来の留学、進学や就職のために活用してください。

体育

学生の体育・スポーツに関する持続発展的な教育課程及び課外教育活動、本学主催の体育事業並びに本学教職員のレクリエーション活動の実施指導を行うとともに、大学体育・スポーツを通じた多様な人材育成及び体育施設を広く社会開放し、体育・スポーツ活動の普及振興に寄与することを目的に体育スポーツ局が設置されています。局では学生・教職員、地域住民、全国現職教員等幅広い層を対象に、体育スポーツ事業や施設開放を行うとともに、体育施設の管理運営を行っています。

コンピュータとインターネット

教育や研究において、近年ではコンピュータとネットワークの利用は欠かせないものとなってきています。筑波大学では、コンピュータやネットワークを利用するために全学計算機システムおよび認証ネットワークシステムが用意されています。

全学計算機システムは、図書館を含むサテライトと呼ばれる拠点に 1,500 台以上の端末（パソコン）が配置され、共通科目「情報」を始めとした、コンピュータを利用した情報基礎教育と専門教育で利用されます。これらの端末は、授業外での学習やレポート作成などにも利用可能です。電子メールなどの基盤的な情報サービスも利用できます。

サテライトへの入室には学生証（IC カード）が必要です。IC カードは印刷をする際にも利用します。端末は Windows および Linux の両方が使えるデュアルブート方式になっています。全学計算機システムについては次のページを参照してください。

https://www.u.tsukuba.ac.jp/

認証ネットワークシステムは、個人で所有するパソコンを学内ネットワークへ接続するためのものです。学生食堂や教室では、無線 LAN のアクセスポイントが用意されています。

全学計算機システムや認証ネットワークシステムは学内ネットワークを介して、学外の SINET などの超高速インターネットに接続されており、さまざまな教育、研究活動や、図書の検索、教員と学生のコミュニケーション等にも利用されています。

また、ソフトウェアメーカーとの包括的な契約により、学生が個人で所有するパソコンなどへインストール可能なソフトウェアもあります。詳細は学術情報メディアセンターの Web サイトをご覧ください。

https://www.cc.tsukuba.ac.jp/wp/service/sl/

国際交流

筑波大学は、国際性においても「開かれた大学」となることを目指し、海外留学等の国際的な学術交流によって、国際的視野を持つ人材の養成に努めるとともに、キャンパス内の日常的な国際化を進めています。

海外留学

海外留学は、国際性豊かな感性を磨き、幅広い視野から物事を考える習慣を身に着けるための貴重な機会となります。

筑波大学では、海外留学を希望する学生を支援するため、以下のような制度を用意しています。

・交流協定による交換留学制度
・Campus-in-Campus による海外留学制度
・短期海外研修制度
・奨学金制度
・単位互換制度

留学を希望する学生は、早い時期から準備をすることをお勧めします。留学を実現するためには、留学先の国や大学の情報収集にはじまり、言語の習得、パスポートやビザ取得などの国内手続き、学内の留学手続き、留学資金の確保など、しなければいけないことがたくさんあります。また、卒業までの履修計画も同時に考えるようにしてください。

海外留学に向けた包括的な情報提供のため「筑波大生のための海外留学情報誌 Go Abroad ！ 」を発行しています。さらに、「留学説明会」を開催し、個別相談やセミナー等を実施しています。



筑波大生のための海外留学情報誌　Go Abroad ！

交換留学制度

筑波大学では令和６年４月現在67か国・地域、381の大学・研究機関と交流協定を締結しています。この協定に基づき、海外の大学に学生を派遣するものが、交換留学です。協定校への交換留学には、次のようなメリットがあります。

○筑波大学及び独立行政法人日本学生支援機構が実施する奨学金制度に申請できます。
○授業料相互不徴収に関する協定を締結している協定校にあっては、相手大学での授業料が免除されます。

2022 年度派遣　交換留学生数（学群のみ）

国名・大学名	派遣数
アメリカ	
ニューヨーク州立大学 オスウェゴ校	4
ハワイ大学マノア校	1
イギリス	
マンチェスター大学	3
オックスフォード・ブルックス大学	1
シェフィールド大学	3
エディンバラ大学	2
イタリア	
ミラノ工科大学	1
フィレンツェ国立美術学院	1
エストニア	
タリン大学	2
オーストラリア	
ディーキン大学	1
ジェームズクック大学	3
オランダ	
ユトレヒト大学	2
カザフスタン	
アルファラビ・カザフ国立大学	5
カナダ	
プリンス・エドワード島大学	4
モントリオール大学	1
ブロック大学	1
ブリティッシュ・コロンビア大学	2
サスカチュワン大学	1
クロアチア	
ユライ・ドブリラ大学プーラ	1
コロンビア	
ロスアンデス大学	1
スロベニア	
リュブリャーナ大学	2
タイ	
マヒドン大学	1
コンケン大学	1
カセサート大学	1

国名・大学名	派遣数
ドイツ	
ケルン大学	2
ボン大学	1
ボーフム大学	2
デュッセルドルフ大学	1
トルコ	
ボアジチ大学	1
ブラジル	
サンパウロ大学	3
フランス	
ボルドー大学	11
パリ・ラ・ヴィレット建築大学	2
ストラートデザイン大学	1
フランシュ＝コンテ大学	2
パリ第八大学	2
マレーシア	
ケバンサアン・マレーシア大学	2
マレーシアサバ大学	1
マレーシア・プトラ大学	1
マレーシア科学大学	1
マレーシア工科大学	2
ウタラマレーシア大学	1
メキシコ	
グアダラハラ大学	1
モロッコ	
アル・アハワイン大学	2
ラオス	
ラオス国立大学	2
リトアニア	
ヴィリニュス大学	1
韓国	
韓国外国語大学校	1
梨花女子大学校	3
台湾	
国立台湾大学	2
国立台湾芸術大学	1
中華人民共和国	
華東師範大学	2
総計	96

奨学金制度

■筑波大学海外留学支援事業　はばたけ！筑大生

次の5つのプログラムにより、学生の海外派遣を支援します。

①国際交流協定校交換留学支援プログラム
②キャンパスインキャンパス（CiC）等支援プログラム
③海外武者修行支援プログラム
④海外学会等参加支援プログラム
⑤語学研修・海外研修参加支援プログラム

支援額 …… 50,000～200,000 円（プログラム・派遣内容により異なる）

採用人数 …… 873人（令和元年度採用実績）
332人（令和2年度採用実績）
287人（令和3年度採用実績）
517人（令和4年度採用実績）
663人（令和5年度採用実績）

（注）新型コロナウイルス感染症の影響により、令和 2 年度は全て採用取消、令和 3 年度は 10 名程度に留まった他は採用取消となりましたが、令和 2 年度に新設したオンライン形式による留学等への経費支援制度により支援を行いました。

■海外留学支援制度（協定派遣）

筑波大学が学生交流に関する協定を締結している大学に、本学の教育組織等が実施する派遣プログラムにより、1年以内の期間派遣される学生に、独立行政法人日本学生支援機構が奨学金を支給する制度です。

奨学金 …… 60,000～100,000 円（月額・金額は留学先地域により異なる）

本学の支援人数 …… 42人※学群のみの数
（令和 5 年度支援実績）

（注）新型コロナウイルス感染症の影響により、令和 2 年度及び令和 3 年度ともに、学群生の支援実績はありませんでしたが、令和 4 年度には 30 人の学群生を支援しました。

単位互換制度

海外の大学で学習する場合、「留学」の身分によるものと、「休学」の身分によるものがあります。「留学」の場合、本学の在学年限に換算され、留学先で履修した単位は、本学の卒業要件となる単位（学群の場合は 60 単位まで）に認められます。「休学」の身分であっても、教育上有益と認められるときは、休学期間中に外国の大学等において修得したものとみなし、認定されることがあります。

［海外留学情報］

https://ssc.sec.tsukuba.ac.jp/ssc-top/ies-top/go-abroad-top

海外拠点

筑波大学では、数多くの国際交流事業を展開しています。その一つとして、教育研究活動の国際連携を推進するための海外拠点が設置されています。現在、チュニスオフィス（チュニジア）、タシケントオフィス（ウズベキスタン）、アルマトイオフィス（カザフスタン）、ホーチミンオフィス（ベトナム）、ジャカルタオフィス（第 1 オフィス）（インドネシア）、ジャカルタオフィス（第 2 オフィス）（インドネシア）、クアラルンプールオフィス（マレーシア）、台湾オフィス（台湾）、北京オフィス（中国）、グルノーブルオフィス（フランス）、ボルドーオフィス（フランス）、ボーフムオフィス（ドイツ）、アーバインオフィス（米国）、サンパウロオフィス（ブラジル）の 14 か所の事務所が活動しています。



ホーチミンオフィス（ベトナム）


台湾オフィス（台湾）

国際交流協定締結機関一覧

地域	国・地域	協定数
アジア 161	インド	5
	インドネシア	14
	カンボジア	2
	タイ	17
	バングラデシュ	2
	フィリピン	7
	ブルネイ	1
	ベトナム	19
	マレーシア	10
	モンゴル	4
	ラオス	2
	韓国	19
	台湾	18
	中国	41
アフリカ 23	アルジェリア	3
	エジプト	3
	ケニア	1
	チュニジア	5
	ナイジェリア	1
	マラウイ	1
	モーリタニア	1
	モロッコ	6
	ルワンダ	2

地域	国・地域	協定数
欧州 87	イタリア	5
	ウクライナ	3
	エストニア	1
	オーストリア	2
	オランダ	8
	クロアチア	1
	ジョージア	1
	スウェーデン	1
	スペイン	3
	スロベニア	1
	チェコ	1
	ドイツ	22
	ノルウェー	1
	ハンガリー	3
	フィンランド	1
	フランス	17
	ベルギー	1
	ポーランド	4
	ラトビア	1
	リトアニア	1
	英国	9
中東 3	トルコ	2
	ヨルダン	1

地域	国・地域	協定数
CIS 38	アゼルバイジャン	2
	アルメニア	1
	ウズベキスタン	8
	カザフスタン	6
	キルギス	3
	タジキスタン	2
	トルクメニスタン	1
	ベラルーシ	2
	モルドバ	1
	ロシア	12
大洋州 13	オーストラリア	11
	ニュージーランド	2
北米 37	カナダ	6
	米国	31
中南米 17	アルゼンチン	1
	コロンビア	2
	チリ	1
	ブラジル	7
	ペルー	3
	メキシコ	3
その他	国際連合	2

67か国・地域 381協定
2024 年 4 月 1 日現在

・詳細は下記サイトをご覧ください
https://www.bgi.sec.tsukuba.ac.jp/partner-organizations/

Campus-in-Campus (CiC) による海外留学について

Campus-in-Campus (CiC) とは、CiC 協定を締結した海外のパートナー大学との間でキャンパス機能を共有し、学生・教職員等が国境や機関の壁を越えて教育研究交流ができる環境を実現する取り組みです。授業料相互不徴収の規定により、筑波大学の学生が留学先の CiC 協定校へ支払う授業料は不徴収となります（本学への授業料納付は必要です）。

学生は、「科目ジュークボックス」に登録された海外パートナー大学の授業科目（2024 年 3 月現在、約 1,600 科目登録）をもとに、留学する前に具体的な履修計画を立てられ、現地での学びを一層深めることができます。

学生交流の対象となる CiC 協定校（2024年3月現在）：国立台湾大学（台湾）、ボルドー大学（フランス）、マレーシア工科大学（マレーシア）、サンパウロ大学（ブラジル）、オハイオ州立大学（米国）、グルノーブル・アルプ大学（フランス）、ボーフム大学（ドイツ）、アルファラビ・カザフ国立大学（カザフスタン）、国立成功大学（台湾）、インド工科大学グワハティ校（インド）。

●科目ジュークボックス



Campus-in-Campus を活用するメリット
1．人数制限のない交換留学※
2．現地オフィスによるサポート
3．充実した経済支援
4．多彩なプログラム

※オハイオ州立大学については人数制限・分野制限あり。



国立台湾大学との
学生交流プロジェクト
（国立台湾大学にて）



ボーフム大学の学生と
筑波大学生との
Student Virtual Exchange

スチューデント・コモンズにおける留学情報と国際交流の場の提供

包括的な留学情報（学生スタッフによる留学相談）を提供し“日本人学生と留学生が日常的に交流する場”として「スチューデント・コモンズ（コミュニティスペース）」を第一エリアに設置しています。

スチューデント・コモンズの活用方法

・留学相談や英文書類作成等に

留学等の海外経験のある学生スタッフが、留学希望の学生に留学情報の提供を行います。交換留学制度で留学した学生や短期海外研修制度を利用して留学した学生、海外インターンシップに参加した学生など、様々な経験を持つ学生スタッフが相談に対応します。また、留学のための英文書類作成のサポート（ライティング・ヘルプデスク）等も行っています。

・国際交流イベント等に

国際交流サークル等による国際交流イベントを定期的に開催しています。「Global Chat」では、留学生との交流を通じて、外国語でのコミュニケーションを実践できます。また、スクリーンやプロジェクター、小テーブル付きの椅子が利用でき、事前申請により国際交流を目的とした各種イベントを開催できます。

・留学情報収集に

本学の留学に関するチラシやパンフレットを入手できます。また、海外留学説明会なども随時開催しています。

・フリースペースとして

イベント開催時以外は、勉強や食事、おしゃべりなど、自由にスペースを利用できます。



国際交流イベント「日本文化ウィーク」の様子



台湾の学生との交流の様子



チャットイベントの様子

危機管理体制

海外滞在中には、深刻な怪我、事故、犯罪被害、災害やテロといった不足の事態に巻き込まれるケースも想定されます。そこで、筑波大学では、危機管理情報を集約し、随時、学生の安否確認を行うなどの対応をしています。また、渡航中の健康管理や届け出の重要性など、学生自身の海外渡航中の危機意識を高めることが必須であるため、長期休暇の前には「海外危機管理セミナー」を開催し、危機管理の徹底に努めるよう注意喚起をしています。包括的な情報提供として、「危機管理ハンドブック」を作成しています。

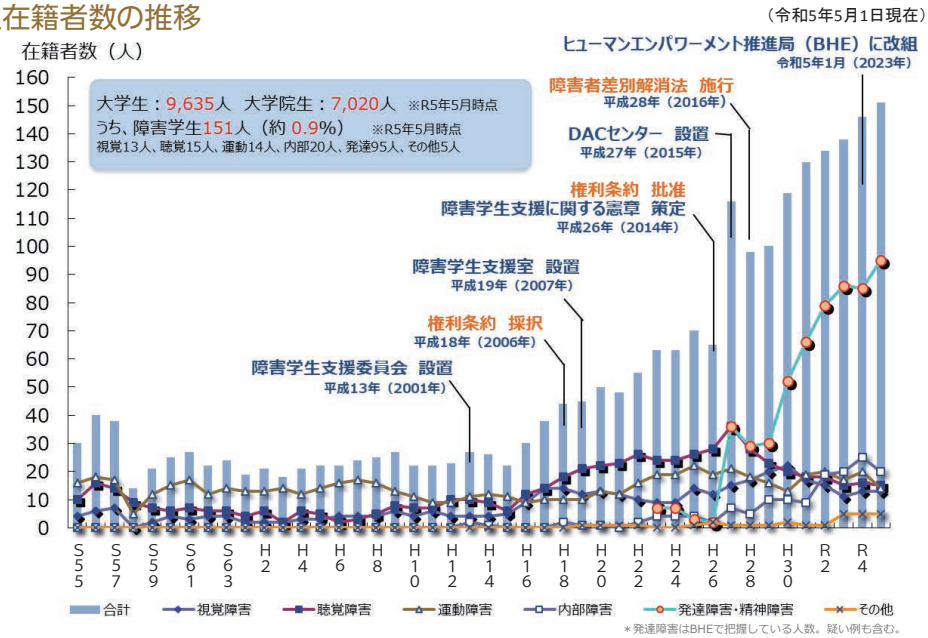


危機管理ハンドブック

障害学生支援・LGBTQ＋学生支援

筑波大学では、開学以来障害等のある多くの学生が学んでおり、積極的に支援しています。現在、視覚障害、聴覚障害、運動障害、内部障害、発達障害等の障害のある約150名の学生が、学群と大学院のさまざまな分野に在籍しています。LGBTQ＋の学生への支援も行っています。

障害学生在籍者数の推移



＊発達障害はBHEで把握している人数。疑い例も含む。

ヒューマンエンパワーメント推進局支援体制

筑波大学ヒューマンエンパワーメント推進局（以下「BHE」という）は、「特定のマイノリティを支援する」だけではなく、大学が学生や職員を含む「ひとりひとり」の「人のエンパワーメントを推進する」というチャレンジを実現するために、2023年1月に設立されました。障害のある学生の修学支援は、BHEのチームの一つであるアクセシビリティ支援チームが担っています。アクセシビリティ支援チームでは、障害学生の支援に関する方針の検討、全学的な環境整備に関する調整、各教育組織及び事務組織等との連携を密にし、全学に公平に行き渡る支援体制を作っています。

＜障害のある学生への支援＞
場所：スチューデントプラザ２階
開室時間：月～金 8:30-12:15 ／ 13:15-17:15
TEL：029-853-4584　FAX：029-853-2257
Email：shougai-shien@un.tsukuba.ac.jp
URL：https://dac.tsukuba.ac.jp/shien/
※詳細はWebサイトをご覧ください。

支援の特色

❶すべての学生の成長を期待する学生中心の支援活動

障害学生の日常的な修学支援のために「ピア・チューター（注1）制度」を設け、本学で学ぶ多くの学生が支援活動の中核を担っています。障害学生自身もピア・チューターとして、養成講座の企画・運営や他の障害学生への支援に携わるなど、学生たちが主体的な支援活動を展開しています。

また、すべての学生への理解・啓発を目的として、学士基盤科目「ダイバーシティ&インクルージョン入門」を開設し、障害のある方を含め多様な人々と共生する心を育てています。

❷各教育組織の専門性に基づく支援内容

全学の方針に基づいて、各教育組織が障害学生に対する支援の責任を担っています。このことにより、それぞれの専門分野の特性に応じた支援が保障されています。

❸障害科学に裏付けられ、全学に公平にいきわたる支援体制

障害科学を専門とする教員が中心となって障害学生支援の専門部会を構成し、本学全体の障害学生支援を支えています。支援対象の範囲や具体的な支援内容等について、専門的な見地から指導・助言を行っています。

主な支援内容

●入学まで

オープンキャンパス参加者への支援、入試での受験上の配慮の実施に関する教育組織への助言、入学時相談（注２）

●修学支援

障害学生個々の合理的配慮文書作成、定期試験等における合理的配慮の実施、ピア・チューター制度、障害学生支援準備室（注３）の整備、大学図書館における障害者サービス（図書館資料の電子化・対面朗読・文献複写等）

●学内のバリアフリー化

学生宿舎バリアフリー室への入居、個々のニーズに応じた施設・設備の改善にあたっての関係各所へのアドバイス

●一般学生の啓発・指導

学士基盤科目「ダイバーシティ＆インクルージョン入門」、自由科目（特設）「障害学生支援技術（ピア・チューター養成講座）」「手話コミュニケーションⅠ（入門・基礎）」「手話コミュニケーションⅡ（応用・実践）」
大学院共通科目「アクセシビリティリーダー特論」「脳の多様性とセルフマネジメント」

（注１）障害の種類や程度、学習環境（学群・大学院、理系・文系等）等、個々の障害学生の状況に応じて、修学上必要な人的支援を提供する制度です。支援の時間数は、障害の程度や学習環境等を考慮し決定します。

ピア・チューターは原則として本学の学生から募集し、BHEが開講する「ピア・チューター養成講座」で支援について学んだ後に授業等での支援に携わります。

ピア・チューターの支援には、大学の規定に基づいて謝金を支給し、また、一定時間の活動に対しては学長名の活動証明書を発行しています。支援内容としては、授業準備、受講時の情報支援、授業の課題作成補助、キャンパス内の移動支援などがあります。

（注２）障害学生の入学時には、個別相談会を実施します。

障害学生本人、保護者、クラス担任、語学や実習・実技科目の担当者、BHEの教職員、関係支援室職員等が一堂に集まって打ち合わせを行います。支援ニーズの把握、具体的な支援内容の確認、大学の支援体制に関する情報提供などが主な内容です。

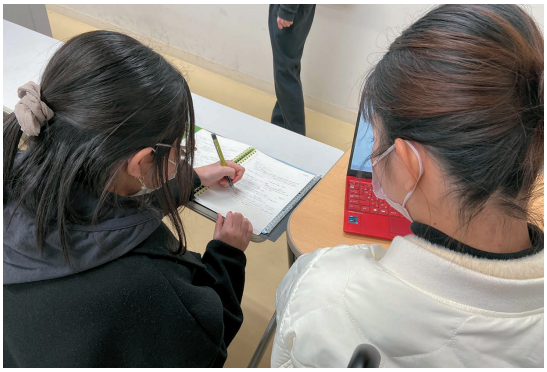
（注３）障害学生の支援のための準備及び自習・休憩やグループ活動を行うスペースがあります。それぞれ必要な機器を備え、支援活動の拠点として使われています。

ＰＣ要約筆記



パソコン要約筆記（手前）の画面を見ながら聴覚障害学生（奥）が授業に参加しています。

ノート等の代筆支援



自筆でノートやメモを取ることが難しい学生に代わって、ピア・チューターが授業中のノートを代筆しています。

LGBTQ＋学生支援

筑波大学では、LGBTQ＋を含む性的マイノリティの学生に対して、「LGBQ＋に関する筑波大学の基本理念と対応ガイドライン」に基づき、ヒューマンエンパワーメント推進局に相談窓口を設け、各学生が有意義で快適な学生生活を送れるよう、関係組織と協力してサポートしています。

＜LGBTQ＋の学生への支援＞
場　　所：スチューデントプラザ2階
開室時間：月～金　8:30-12:15／13:15-17:15
TEL:029-853-8504
E-mail：diversity-au@un.tsukuba.ac.jp
URL：https://diversity.tsukuba.ac.jp/

医・食・住環境

学生生活のサポート

■総合相談窓口

総合相談窓口は、ちょっと困ったことがあったときに気軽に相談に立ち寄ってもらうための、なんでも相談窓口です。

・予約なしで随時対応します。電話での相談も可能です。
・カウンセラーが相談を担当します。

■学生相談室

学生相談室では、学生生活に関するいろいろな問題や悩み、困ったことなどについてカウンセリングや助言を行っています。学生生活を送る間には、喜怒哀楽いろいろなことを体験することになると思います。そんな中で、ちょっとしんどくなったり、困りごとができたり、あるいは、ちょっと立ち止まってじっくりと考えたくなったら、お気軽にご利用ください。



心と身体の健康管理

■保健管理センター

定期健康診断、急病時や負傷時の応急治療・処置、健康相談（内科、整形外科、精神科の診療）などを行っています。健康上の問題が生じたときは、まず保健管理センターを訪れることをお勧めします。



保健管理センター

学生教育研究災害傷害保険

正課中・学校行事中はいうまでもありませんが、課外活動中・学校施設内を含めた教育研究活動中のほとんどの傷害事故や通学中の事故が補償の対象となる「学生教育研究災害傷害保険」（学研災）という補償救済制度があります。本学では、入学後安心して教育を受け研究活動が行えるよう、全員の加入を義務付けしています。

食堂、喫茶、書店等

学内には食堂、喫茶、売店や書店などの福利厚生施設が多数あり、学生の利便を図っています。

食堂、喫茶は、学生のニーズに応えられるようメニューに工夫をこらし、より安く、おいしいものを提供しています。書店は一般の雑誌などのほか、専門的な書籍も購入することができます。

売店には日用品のほか、画材等の専門用品を扱う店もあります。





医学食堂

学生宿舎、アパート等

■学生宿舎（平砂・追越・一の矢・春日）

約3,800人分の個室があり、新入生はトイレ、補食室、洗濯室、シャワー室（100円/回）が共用の一般単身（約10㎡）と呼ばれるタイプの部屋に1年間（春日地区に入居となる学類（情報メディア創成学類、知識情報・図書館学類）については申込により2年間）優先的に入居できるよう配慮されています。なお、2年次以降の入居募集も数種類用意されていますが、定員を超えた場合は、書類選考・抽選で入居者を決定することになります。また、室内にはベッド・机・椅子・洗面台（春日は除く。）が設置されています。

平砂学生宿舎共用棟には、管理事務室、理容室、電気店、浴場が、追越学生宿舎共用棟には、管理事務室、電気店が、一の矢学生宿舎共用棟には、管理事務室、理容室、電気店、売店があります。

全室にLANが敷かれ、インターネットが利用できます。（民間プロバイダーとの個別契約不要）

また、キャンパスの国際化推進のため、平成29年4月から国際交流を重視したシェアハウスタイプの学生宿舎（グローバルヴィレッジ）が運用開始され、2年間の入居が可能となっています。



学生宿舎

■アパート、マンション等

大学の周辺には多くのアパート等があり、種類も豊富です。

大学から物件を直接あっせんすることはありませんので、情報を収集して予算を立てたら各自で不動産業者へ問い合わせ、物件を見学してから契約するようにしましょう。平均的なアパート（6 畳・台所・バス・トイレ付）の家賃は月額約 35,000 円～ 50,000 円ぐらいで、契約時には家賃のほか、管理費、敷金（保証金）、礼金、火災保険料などが必要です。





宿舎に入居する新入生を歓迎する在学生



学生宿舎（グローバルヴィレッジ）

授業料・奨学金

授業料等

入学料　282,000円
授業料（第1期 春学期）267,900円
（第2期 秋学期）267,900円
（年額　535,800円）
●1年次納入額 817,800円

なお、入学時及び在学中に学生納付金の改定が行われた場合は、改定時から新たな納付金額が適用されます。

■大学独自の授業料免除制度

各期（第1期・第2期）ごとに納入すべき授業料の全額または一部を免除する制度があります。

経済的理由によって納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められることが申請資格となります。

詳細はWEBページ（奨学金・修学支援）に掲載されています。

■高等教育の就学支援新制度

国が住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯の学生に対して「授業料・入学料の免除」と「給付奨学金」を支援する制度です。

日本学生支援機構給付奨学金の区分（第Ⅰ～Ⅲ区分）によって授業料・入学料の免除額が決定しますので併せて申請する必要があります。

奨学金

奨学金制度としては、筑波大学学生奨学金「つくばスカラシップ」、日本学生支援機構、地方公共団体、民間奨学団体があります。

■筑波大学学生奨学金「つくばスカラシップ」

留学生に対する経済支援及び緊急時の学資支援を行うことにより、学生が安心して勉学に専念できる環境を確保することを目的とした奨学金制度です。

詳細については、WEBページ（奨学金・修学支援）の筑波大学学生奨学金「つくばスカラシップ」をご覧ください。

■日本学生支援機構

日本学生支援機構の奨学金制度は、勉学に励む意欲がありまたそれにふさわしい能力を持った学生が、経済的理由により修学をあきらめることがないよう支援することを目的として国が実施する制度です。留学生には申込資格がありません。

奨学金の種別・募集時期（令和6年度1年生）

	貸与奨学金 第一種奨学金	貸与奨学金 第二種奨学金	入学時特別増額貸与奨学金
貸与月額	（自宅通学）2万, 3万, 4万5千 （自宅外通学）2万, 3万, 4万, 5万1千	2万から12万までの間で1万円単位で選択できます。	希望により10万から50万の間で10万円単位で額を選択できます。申込は入学時の1回に限ります。
貸与形態	無利子貸与	有利子貸与（利率算定方法選択制）	
募集期間	4月1日～4月22日 その他家計急変のため緊急-応急採用については年間を通じて随時		

	給付奨学金
給付月額	世帯の所得金額に基づく区分（第Ⅰ～Ⅲ区分）、通学形態（自宅通学・自宅外通学）に応じて定まります。
募集期間	4月1日～4月22日 併せて、秋にも実施予定（詳細は後日掲示） その他家計急変のための奨学金については年間を通じて随時

全てWEB掲示により周知しますので、十分に注意してください。

本学の日本学生支援機構奨学生数（令和6年2月1日現在）

●給付奨学生　642人
●第一種奨学生　1,067人
●第二種奨学生　971人
合　計　2,680人
第一種及び第二種併用（内数）　295人

■地方公共団体及び民間奨学団体奨学金
（返済の必要がない給与奨学金が多い）

奨学生の募集は、大学を通じて募集するものと、奨学団体が直接募集するものがあります。大学に募集案内が送付されてきた奨学団体はWEBページ（奨学金・修学支援）に掲載されています。

【奨学金・修学支援】
https://www.tsukuba.ac.jp/campuslife/support-scholarship/

学生組織

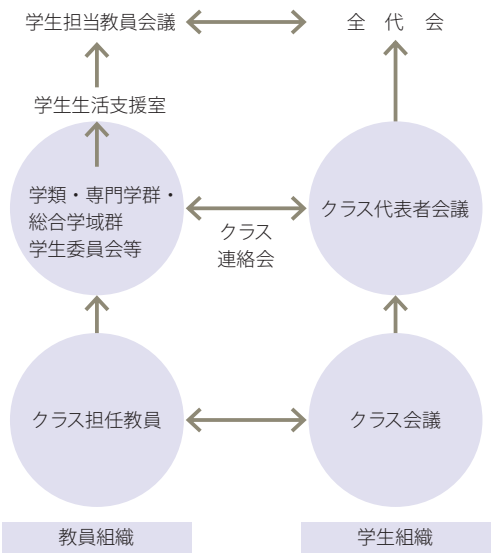
クラス制度

入学すると、原則として 20 ～ 40 人ごとにクラスが編成されます。クラスには学生により自主的に運営される組織として、クラス会議が置かれ、学修や生活全般にわたる話し合いが持たれます。

全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議

各クラスは、年度初めにクラス代表を選出します。このクラス代表により、各学類・専門学群・総合学域群ごとにクラス代表者会議が構成されます。さらにここから代表3名が選出され、全学学生を代表する全代会を構成します。

これらの組織の運営は全て学生に任されており、全代会においては、学生の意向を反映させるため、学生生活、教育活動等に関する事項を自主的に討議する組織となっています。



学外関連団体

茗渓会

筑波大学の同窓会です。設立は東京高等師範学校時代の明治15年にさかのぼります。全国に80の支部があり、会員数は約5万人。全国各県の教育界で指導的立場にあるなど、各界で活躍中です。

http://www.meikei.or.jp/

学内行事と学生による実行委員会

学園祭（雙峰祭）

本学の学園祭（雙峰祭）は11月に開催されます。研究や課外活動の成果を発表して、広く大学を社会に紹介するとともに、大学と市民との交流を行う機会となっています。学園祭の運営は、全代会の下部組織として学生が組織する学園祭実行委員会が行っています。


学園祭

スポーツ・デー

本学では、全学の学生にスポーツ活動の機会を提供し、健康で明朗な大学生活の充実と学内スポーツ活動の振興を図ることを目的に、春と秋の2回、スポーツ・デーを開催しています。球技などさまざまな種目に、学生や教職員のチームあるいは個人で自由に参加します。この行事の企画と運営は、全代会の下部組織であるスポーツ・デー学生委員会が、体育会の協力のもとで行っています。

宿舎祭（やどかり祭）

宿舎祭は、本学の約五十年の伝統の中で、学生が生み出した行事であり、宿舎に暮らす学生同士の親睦を深める場であるとともに、地域の方々との交流の場となっています。その企画、運営は学生の自発的組織である宿舎祭実行委員会が行っています。



スポーツ・デー



宿舎祭（ゆかたコンテスト）

文化系のサークル

文化系サークル連合会　https://bunsastaff.wixsite.com/mysite-3

課外活動団体文化系

(文化系サークル連合会組織団体)

筑波大学電気通信研究会
Amusement Creators
E.S.S.（English Speaking Society)
池坊華道部
宇宙工学研究会
映画研究部
ＳＦ研究会アルビレオ
園芸クラブ
海洋研究会
歌留多部
斬桐舞
CLOVER
～難民と共に歩むユース団体～
現代視覚文化研究会
茶道同好会
茶道部和敬清寂社
社会福祉研究会
写真部さくら組
手話サークル
将棋部
図画団
ストーリーテリング研究会
Ｔ．Ａ．Ｓ．Ｃ．
筑波大鉄研「旅と鉄道の会」
つくば鳥人間の会
天文研究会
TOJO K - ON
ねっしー・自然教育研究会
文芸部
マジシャンズクラブ
漫画研究会
野外活動クラブ
野生動物研究会
歴史探訪会

一般学生団体文化系

アイセック筑波大学委員会
筑波大学宇宙技術プロジェクト
クイズ研究会
筑波大学宿舎祭実行委員会
聖書研究会
筑波大学台湾留学生会
チェスサークル Café・Rejansu
筑波大学中国留学生学友会
つくっく
筑波医学生国際交流連盟（TIMSA)
つくばぬいぐるみ病院
つくばポケモン大好きクラブ
つくばろぼっとサークル
筑波大学聖書部
(Tsukuba Christian Fellowship)
Tsukuba Programming Circle
筑波大学桐政会
日本史研究会
筑波大学花火研究会
HS CaT
プライマリケア研究会
お菓子作りサークル　ヘンゼルとグレーテル
学び場さくら塾
筑波大学ミステリー研究会
ラジオサークル　roots
ジオネットアース
のうりんむら
UTIC (University of Tsukuba
International Community)
LGBTQ+ サークル　にじひろ
Tsukuba for 3.11
日本マラウイ学生団体
Association of African Students,
University of Tsukuba(AASUT)
TEDx イベント運営委員会
CoMed つくば
筑波大学公認ボランティアサークル LUZ
Omochi Language Club
筑波大学音楽ゲームサークル TEA
筑波大学広域ＢＢＳ会
FAST(フィリピン留学生会)
インドワークキャンプ団体 namaste!
Nu Ink.
STUDY FOR TWO 筑波大学支部
CASA
Echo UT
雙峰論叢
つくば現代短歌会
筑波大学地理愛好会
Neurodivergents Anonymous Circle
麻雀同好会
Bench Time
筑波大学ダーツ同好会
ASSOCIAÇÃO DE ESTUDANTES
BRASILEIROS DA UNIVERSIDADE DE
TSUKUBA (AEBUT)
Indonesian Student Association in
Ibaraki
THAI STUDENTS' ASSOCIATTION IN
UNIVERSITY OF TSUKUBA
Association of Latin American
student's of the University of Tsukuba
異界・怪奇愛好会
つくば市まちづくり学生団体　かざぐるま
筑波大学研究支援同好会（RSUT)
つくぶい！
筑波大学広告研究会　アド研
医学音楽同好会 SoundLoop
iGEM TSUKUBA
Vietnamese Students Association at
University of Tsukuba (VSAUT)
環境サークル REVELOP
筑波大学オセロ同好会
筑波大学韓国人留学生会
Student Society on Climate Change
and Sustainability (SSCCaS)

体育系のサークル

体育会　https://www.stb.tsukuba.ac.jp/~taiikukai/

課外活動団体体育系

(体育会組織団体)

■部会

アーチェリー部
合気道部
アイススケート部
男子アイスホッケー部
女子アイスホッケー部
アメリカン・フットボール部
オリエンテーリング部
鹿島神流武道部
空手道部
弓道部
剣道部
硬式庭球部
硬式野球部
サイクリング部
蹴球部

女子サッカー部
柔道部
準硬式野球部
少林寺拳法部
水泳部
スキー部
漕艇部
男子ソフトボール部
女子ソフトボール部
体操部
体操競技部
卓球部
ダンス部
トライアスロン部
軟式庭球部
馬術部
男子バスケットボール部
女子バスケットボール部
バドミントン部
男子バレーボール部
女子バレーボール部
男子ハンドボール部
女子ハンドボール部
フィールドホッケー部
ライフセービング部
ラグビー部
男子ラクロス部
女子ラクロス部
陸上競技部

■同好会
アルティメット同好会
剣道同好会
サッカー同好会
トランポリン同好会
バスケットボール同好会
バドミントン同好会
バレーボール同好会
フェアリースキークラブ
ワンダーフォーゲルクラブ
医学アイスホッケー部
医学弓道部
医学剣道部
医学硬式庭球部
医学ゴルフ部
医学サッカー部
医学準硬式野球部
医学水泳部
医学スキー部
医学ソフトテニス部
医学卓球部
医学バスケットボール部
医学バドミントン部
医学バレーボール部
医学ハンドボール部
医学ヨット部
医学ラグビー部
医学陸上競技部

一般学生団体体育系

筑波大学弓道同好会春霞
硬式テニス愛好会 FOREST
硬式テニスサークル ADVANT
硬式ﾃﾆｽ同好会 Fancy Tennis Club
柔道同好会
水泳同好会
SPIKERS'Inc
ソフトテニスサークル On the Line
卓球同好会
知的障害者スポーツ支援「スポーティア」
筑波ジョギングクラブ
筑波マリンダイビングクラブ
軟式野球部
PICNIC Tennis Team
ULIS バドミントン部
ULIS バレーボール部
陸上競技同好会
WorldFut TSUKUBA
スポーツ愛好会
ラグビー同好会 U.T.C
カヌークラブ
ハンドボール同好会
新体操 競技部
筑波大学医学フットサル同好会
Scramble
筑波スマブラ会
e-sports サークル FiO
筑波大学 Kpop コピーダンスサークル
고구마（コグマ）
筑波大学ラッファ同好会

芸術系のサークル

芸術系サークル連合会　https://www.stb.tsukuba.ac.jp/~geisa/

課外活動団体芸術系

（芸術系サークル連合会組織団体）

アカペラサークル Doo-Wop
E.L.L.（筑波軽音楽協会）
応援部 WINS
合唱団むくどり
管弦楽団
ギター・マンドリン部
劇団筑波小劇場
混声合唱団
ジャグリングサークル Sheep
写真部
JAZZ 愛好会
ジャズ楽団 Neopolis BIGBAND
書道部
吹奏楽団
男声合唱団メンネルコール
津軽三味線倶楽部無絃塾
筑波音楽協会
筑波能・狂言研究会
つくばフォーク村
THK 筑波放送協会
ときめき太鼓塾
人形劇団 NEU
ピアノ愛好会
ViCC—映画をつくる会—
フォルクローレ愛好会
競技ダンスサークル舞研
ブロックフレーテ同好会
邦楽部
ミュージカル集団 ESSASSA
落語研究会

一般学生団体芸術系

ダブルダッチサークル purplume
バンドストッククラブ PBCM
弾き語りクラブ「アンプラグド」
医学フィルハーモニー
ヒーローアクション同好会
アイドル研究会
作曲サークル DTM Lab.
つくば VSC
焼き物をつくる会
Realjam
筑波大学ケルト音楽愛好会 T-Celt
The Empire of TSUKUBA

就職・進学・取得免許・国家試験等

筑波大学のキャリア形成・就職支援

筑波大学には、学生の学びと将来を関連付けていくための様々なプログラムが用意されています。ヒューマンエンパワーメント推進局は、授業やイベント、各種情報提供、個別キャリア相談等を通じて、学生が自分自身について考えながら社会についての視野を広げ、将来に向けて具体的な準備を進めていけるようサポートしています。

学群１年生からのキャリア形成支援

学群１年生から参加できるプログラムも実施しています。例えば、学士基盤科目「キャリアデザイン入門〜世界にはばたく未来の自分〜」は、学生一人ひとりが大学生活を積極的かつ有意義に過ごし、その後の人生設計（キャリアデザイン）の準備に不可欠な基礎づくりを目的としています。また、学生時代の経験・出会い・学びを記録に残せるよう本学オリジナルの「つくばキャリアポートフォリオ（愛称：CARIO)」があり、学群１年生にはファーストイヤー・セミナーにてこの CARIO の活用方法やワークシートの使い方をグループワークを通して紹介し、自身のキャリアをデザインするサポートをしています。学群生から大学院進学、修了までをフォローするキャリア支援を提供しています。

社会動向を踏まえた就職支援

就職環境に関しては、これまで企業・団体ごとに様々な形式で実施されてきたインターンシップの取扱いが整理され、一定の基準を満たすことによってインターンシップで得られた学生情報を企業が利用できるようになりました。長らく喧伝されている選考活動の早期化も相まって、優秀な学生を採用するために早い段階から動き出す企業・団体も散見されます。しかしながら当推進局では、キャリア教育や個別相談などを通して企業等への就職のみに注力するのではなく、自己理解 / 社会理解を進めるよう学生に伝えています。これらを疎かにすると就職上のミスマッチが起きやすくなり、企業と新入社員の両者が望まない結果をもたらす場合があるためです。

就職内定は人生の通過点であってゴールではありません。ヒューマンエンパワーメント推進局では、学生の皆さんが落ち着いて納得のいく進路選択ができるよう、中長期的な視点に立ったキャリア形成支援を引き続き行っていきます。

ヒューマンエンパワーメント推進局キャリア支援チーム Web サイト
https ://syushoku.sec.tsukuba.ac.jp/career/

入学 → 視野を広げ、自己を高める → 将来に向けて具体的に行動する → 卒業

ファーストイヤー・セミナー	履修計画やキャリア形成、メンタルヘルスなど学習面・生活面の両面から大学生活に適用できるよう支援するとともに、教員と学生及び学生間のコミュニケーションを図る科目です。
CDP科目	「CDP（Career Development Program）科目」は、授業を通じてキャリア形成を考えるのに役立つ内容を含んでいる科目です。
インターンシップ等	企業や官公庁等のインターンシップ等の情報を紹介しています。学群1、2年生から参加できるキャリア形成支援のプログラムもあります。

各種就職ガイダンス	企業、公務員等それぞれの志望者向けに就職ガイダンスを実施しています。
各種対策講座	就職活動を進める上で必要な面接対策、集団討論対策等の様々なスキルアップ講座を実施しています。
学内業界研究会・企業説明会	3月1日の企業の広報活動開始と同時に、学内にて説明会を実施し例年、多くの優良企業が参加します。

つくばキャリアポートフォリオ（CARIO）
自己成長診断ツール（SAGASU）
個別キャリア相談
OB・OG キャリアカフェ

国家試験受験結果　令和５年度（令和６年２月実施）

卒業生の、医師国家試験、看護師国家試験、保健師国家試験、助産師国家試験、臨床検査技師国家試験の合格実績を紹介します。

国家試験	本学受験者数		本学合格者数		本学合格率		全国平均	
第１１８回 医師国家試験	141	136	136	132	96.5%	97.1%	95.4%	92.4%
第１１０回 保健師国家試験	19	19	19	19	100.0%	(100.0)%	95.7%	97.7%
第１０７回 助産師国家試験	5	(5)	5	(5)	100.0%	(100.0)%	98.8%	99.3%
第１１３回 看護師国家試験	65	65	65	65	100.0%	(100.0)%	87.8%	93.2%
第 ７０ 回 臨床検査技師国家試験	28	27	25	24	89.3%	88.9%	76.8%	88.0%

＊（　）内は現役生

資格の取得

取得できる資格については、下表を参照してください。どのような資格を取れるのかと同時に、資格を取るためにはどのような条件が必要になるかを調べておくことも大切です。

例えば教員免許状のように、大学で所定の科目を履修して要件を満たせば、申請の手続きをとることで取得できる資格があります。一方で、医師免許、看護師免許のように医学類や看護学類を卒業することで国家試験の受験資格を得て、その上で国家試験に合格しなければ取得することのできない資格もあります。

資格の取得を考える際には、その資格を取ることが自分のキャリアにどのような意味を持つのかを考えてみることも大切でしょう。

教員免許状の取得について

教員免許は大学で取得できる最もポピュラーな資格の一つと言えるでしょう。筑波大学でも多くの学群、学類で教員免許を取得することができます。

教員免許状を取得するには、学士の学位を有すること（つまり大学を卒業すること）に加え、教職課程すなわち「教科及び教科の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目」などの所定の単位を修得しなければなりません。

教職課程で取得した単位は、ある程度卒業に必要な単位に組み込むことができますが、すべてが認められているわけではありません。ですので、卒業に必要な授業科目に加えて、自分の意志で教職科目を履修しているのだという自覚がとても大切になります。

教員免許状を得て、卒業後すぐに教員になる人はそれほど多くはありません。一方で、大学院の修士課程に進学してより上級の免許状（専修免許状）を取得してから教員になる人が増えています。教員免許状の取得実績については、次ページをご覧下さい。

各学群・学類で取得できる教員免許状の教科及び諸資格一覧

学群	学類	中学校教諭一種免許状	高等学校教諭一種免許状	その他の資格
人文・文化学群	人文学類	国語、社会、英語	国語、地理歴史、公民、英語	社会教育主事、学芸員、司書教諭
	比較文化学類	国語、社会、英語	国語、地理歴史、公民、英語	社会教育主事、学芸員、司書教諭
	日本語・日本文化学類	国語	国語	社会教育主事、学芸員、司書教諭
社会・国際学群	社会学類		公民	社会教育主事、学芸員、司書教諭
	国際総合学類	英語	英語	社会教育主事、学芸員、司書教諭
人間学群	教育学類	社会	地理歴史、公民	小学校教諭一種、社会教育主事、学芸員、司書教諭
	心理学類		公民	社会教育主事、学芸員、司書教諭
	障害科学類		福祉	特別支援学校教諭一種、社会教育主事、学芸員、司書教諭、社会福祉士受験資格
生命環境学群	生物学類	理科	理科	社会教育主事、学芸員、司書教諭
	生物資源学類	理科、技術	理科、農業	社会教育主事、学芸員、司書教諭、司書、測量士補、樹木医補、自然再生士補
	地球学類	理科	地理歴史、理科	社会教育主事、学芸員、司書教諭
理工学群	数学類	数学	数学	社会教育主事、学芸員、司書教諭、測量士補
	物理学類	数学、理科	数学、理科	社会教育主事、学芸員、司書教諭、測量士補
	化学類	理科	理科	社会教育主事、学芸員、司書教諭
	応用理工学類	数学、理科	数学、理科	社会教育主事、学芸員、司書教諭
	工学システム学類	数学、理科	数学、理科、情報、工業	社会教育主事、学芸員、司書教諭、一級・二級建築士・木造建築士受験資格（エネルギー・メカニクス主専攻）、施行管理技士受験資格（エネルギー・メカニクス主専攻）
	社会工学類	数学	数学	社会教育主事、学芸員、司書教諭、一級・二級建築士・木造建築士受験資格（都市計画主専攻）
情報学群	情報科学類	数学	数学、情報	社会教育主事、学芸員、司書教諭
	情報メディア創成学類	数学	数学、情報	社会教育主事、学芸員、司書教諭
	知識情報・図書館学類	社会、数学	公民、数学、情報	社会教育主事、学芸員、司書教諭、司書
医学群	医学類			医師国家試験受験資格
	看護学類			* 養護教諭一種、看護師・* 保健師国家試験受験資格（* は看護学類のページを参照）
	医療科学類			臨床検査技師国家試験受験資格
体育専門学群		保健体育	保健体育	社会教育主事、学芸員、司書教諭、スポーツリーダー、ハンドボールコーチ、水泳コーチ、（公認）C 級コーチ、健康運動指導士
芸術専門学群		美術	美術、工芸、書道	社会教育主事、学芸員、司書教諭、一級・二級建築士・木造建築士受験資格

＊社会教育主事、学芸員については任用資格
＊各学群・学類で取得できる教員免許状の教科については、今後変更になる場合があります。

教育職員免許状取得状況

過去 4 年間に、卒業時に教員免許状を取得した人数と免許状の種類を紹介します。

学類	年度	種類毎の人数	免許合計	人数
人文学類	R5	小学校 1/ 国語（中 1・高 1）/ 社会 13/ 地歴 12/ 公民 8/ 農業 1/ 英語（高 1）	38	16
	R4	国語（中 1・高 1）/ 社会 4/ 地歴 7/ 公民 4/ 英語（高 1）	18	9
	R3	国語（中 3・高 3）/ 社会 7/ 地歴 9/ 公民 8/ 英語（中 6・高 6）	42	18
	R2	国語（中 5・高 5）/ 社会 14/ 地歴 17/ 公民 11/ 英語（中 4・高 5）/ 特別支援 1	62	27
比較文化学類	R5	国語（中 6・高 8）/ 社会 5/ 地歴 5/ 公民 4/ 英語（中 1・高 3）	32	16
	R4	国語（中 3・高 3）/ 社会 1/ 地歴 1/ 公民 1/ 英語（高 1）	10	5
	R3	国語（中 3・高 3）/ 社会 1/ 地歴 1/ 公民 1/ 英語（中 5・高 5）	19	9
	R2	国語（中 2・高 2）/ 社会 2/ 地歴 2/ 公民 3/ 英語（中 2・高 2）/ フランス語（中 1・高 1）	17	6
日本語・日本文化学類	R5	小学校 1/ 国語（中 8・高 10）	19	10
	R4	国語（中 9・高 9）/ 社会 2/ 地歴 2/ 公民 2/ 英語（中 1・高 1）	26	12
	R3	国語（中 10・高 10）/ 社会 1/ 地歴 1	22	11
	R2	国語（中 11・高 11）/ 社会 3/ 地歴 2/ 特別支援 1	28	14
社会学類	R5	英語（中 1・高 1）	2	1
	R4	公民 3	3	3
	R3	公民 1	1	1
	R2	社会 1/ 公民 1	2	1
国際総合学類	R5	英語（中 2・高 4）	6	4
	R4	小学校 1/ 英語（中 4・高 6）	11	6
	R3	英語（中 6・高 6）	12	6
	R2	英語（中 1・高 2）	3	2
教育学類	R5	小学校 6/ 国語（中 5･高 5）/ 社会 5/ 地歴 6/ 公民 4/ 数学（中 2･高 2）/ 理科（中 2･高 2）/ 英語（中 5・高 5）	49	21
	R4	小学校 8/ 国語（中 5・高 5）/ 社会 7/ 地歴 9/ 数学（中 1・高 1）/ 英語（中 4・高 4）/ 特別支援 2	50	25
	R3	小学校 7/ 国語（中 4･高 4）/ 社会 6/ 地歴 7/ 公民 5/ 数学（中 2･高 2）/ 理科（中 2･高 2）/ 英語（中 3・高 3）/ 特別支援 2	49	23
	R2	小学校 9/ 国語（中 3・高 3）/ 社会 12/ 地歴 10/ 公民 9/ 数学（中 2・高 3）/ 理科（高 1）/ 英語（中 6・高 7）	65	27
心理学類	R5	数学（高 1）	1	1
	R4		0	0
	R3	公民 1/ 数学（高 1）/ 英語（中 1・高 1）	4	3
	R2		0	0
障害科学類	R5	小学校 5/ 保体（中 1・高 1）/ 英語（中 4・高 4）/ 特別支援 9	24	9
	R4	小学校 6/ 国語（中 2･高 2）/ 社会 1/ 地歴 1/ 公民 1/ 数学（中 1･高 1）/ 保体（中 1･高 1）/ 英語（中 1・高 1）/ 特別支援 13	34	13
	R3	小学校 7/ 国語（中 2・高 3）/ 社会 2/ 地歴 2/ 理科（中 3・高 3）/ 英語（中 1・高 1）/ 特別支援 13	37	15
	R2	小学校 3/ 国語（中 3・高 3）/ 社会 2/ 地歴 3/ 公民 1/ 理科（高 1）/ 保体（中 3・高 3）/ 福祉 1/ 英語（中 1・高 1）/ 特別支援 15	40	15
生物学類	R5	理科（中 12・高 13）	25	13
	R4	理科（中 12・高 14）	26	14
	R3	理科（中 15・高 19）	34	17
	R2	理科（中 8・高 15）/ 農業 1	24	15
生物資源学類	R5	理科（中 8・高 11）/ 農業 1	20	11
	R4	理科（中 5・高 8）/ 農業 1	14	8
	R3	地歴 1/ 理科（中 3・高 5）/ 農業 1	10	11
	R2	理科（中 4・高 9）/ 技術 1/ 農業 2	16	10
地球学類	R5	社会 2/ 地歴 2/ 理科（中 7・高 10）	21	12
	R4	地歴 1/ 理科（中 3・高 5）	9	6
	R3	地歴 1	1	1
	R2	社会 1/ 地歴 3/ 公民 1/ 理科（中 5・高 7）	17	10

学類	年度	種類毎の人数	免許合計	人数
数学類	R5	数学（中 8・高 9）/ 情報 3	20	9
	R4	数学（中 12・高 18）/ 情報 2	32	18
	R3	数学（中 15・高 19）/ 情報 1	35	19
	R2	数学（中 10・高 19）/ 情報 1	30	19
物理学類	R5	理科（中 5・高 7）	12	7
	R4	数学（高 1）/ 理科（高 1）	2	2
	R3	理科（中 7・高 14）	21	14
	R2	理科（中 1・高 4）	5	4
	R1	数学（中 2・高 1）/ 理科（中 2・高 11）	16	12
化学類	R5	理科（中 1・高 4）	5	4
	R4	理科（中 8・高 13）	21	13
	R3	理科（高 4）	4	4
	R2	理科（高 3）	3	3
応用理工学類	R5	数学（中 2・高 2）/ 理科（中 1・高 1）	6	3
	R4	数学（中 3・高 4）/ 理科（中 2・高 2）	11	6
	R3	数学（中 1・高 1）/ 理科（中 5・高 11）	18	12
	R2	理科（中 2・高 5）	7	5
工学システム学類	R5		0	0
	R4	情報 1	1	1
	R3	数学（中 1/ 高 2）	3	2
	R2	数学（中 1/ 高 1）	2	1
社会工学類	R5		0	0
	R4		0	0
	R3	数学（中 1・高 1）	2	1
	R2	数学（高 1）	1	1
情報科学類	R5	数学（中 1・高 1）	2	1
	R4		0	0
	R3	数学（中 1・高 1）/ 情報 1	3	1
	R2	数学（中 1・高 1）/ 情報 1	3	1
情報メディア創成学類	R5	情報 1	1	1
	R4		0	0
	R3	数学（中 1・高 1）/ 情報 1	3	1
	R2		0	0
知識情報・図書館学類	R5	公民 1/ 情報 3	4	4
	R4	公民 2	2	2
	R3	保体（中 1・高 1）/ 情報 1	3	2
	R2		0	0
看護学類	R5	養護 4	4	4
	R4	養護 6	6	6
	R3	養護 6	6	6
	R2	養護 6	6	6
体育専門学群	R5	保体（中 115・高 154）/ 英語（高 1）/ 特別支援 1	271	154
	R4	小学校 1/ 保体（中 109・高 134）	244	135
	R3	保体（中 126・高 146）	272	146
	R2	小学校 1/ 保体（中 123・高 138）	262	138
芸術専門学群	R5	国語（中 5・高 5）/ 美術（中 14・高 15）/ 書道 7/ 特別支援 1	47	22
	R4	国語（高 4）/ 美術（中 7・高 11）/ 書道 5	27	16
	R3	国語（中 6・高 6）/ 美術（中 16・高 24）/ 書道 8	60	32
	R2	国語（中 8・高 8）/ 美術（中 14・高 20）/ 工芸 2/ 書道 11	63	31
		合計　令和　5 年度	609	322
		令和　4 年度	526	287
		令和　3 年度	661	355
		令和　2 年度	656	336

進路状況（学群）

学群卒業者数（令和４年度）

※主な教育組織を示しています。

学群・学類	人文・文化学群			社会・国際学群		人間学群		
	人文学類	比較文化学類	日本語・日本文化学類	社会学類	国際総合学類	教育学類	心理学類	障害科学類
卒業者	117	78	37	104	83	34	52	36

学群・学類	生命環境学群			理工学群					
	生物学類	生物資源学類	地球学類	数学類	物理学類	化学類	応用理工学類	工学システム学類	社会工学類
卒業者	87	131	51	32	49	50	127	132	126

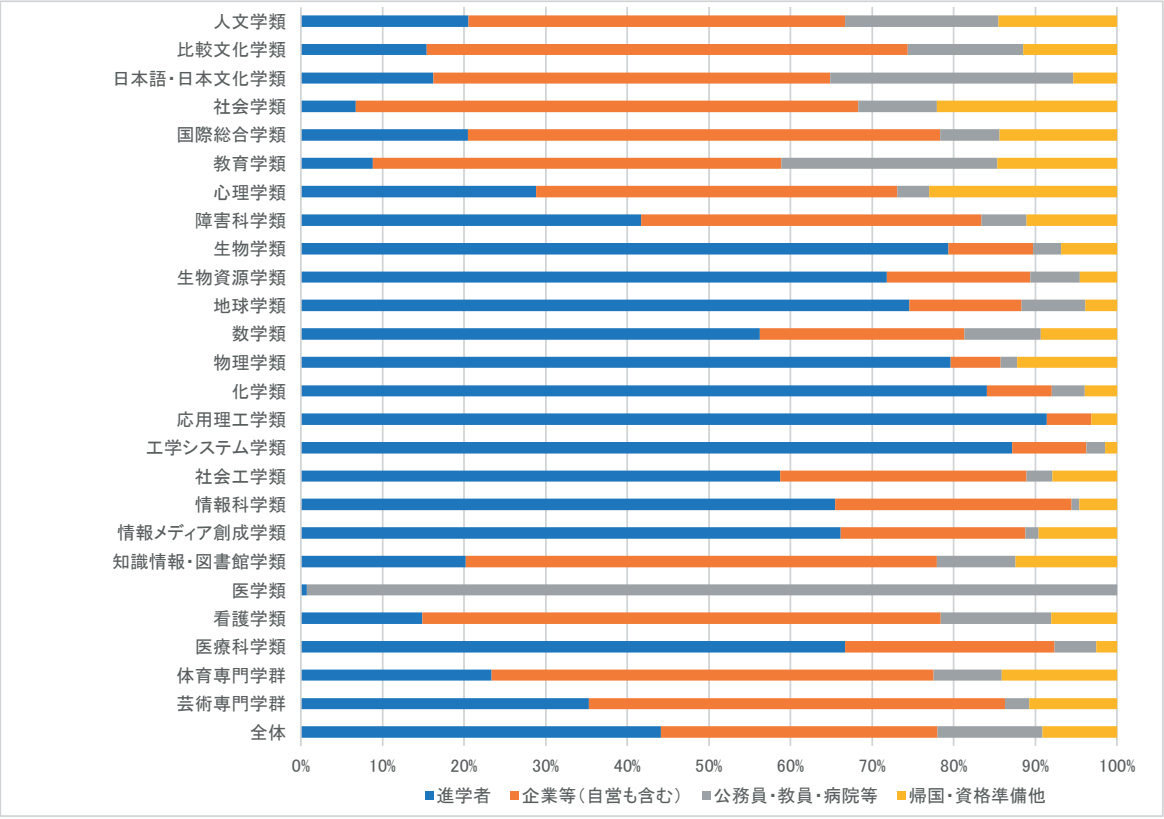
学群・学類	情報学群			医学群			体育専門学群	芸術専門学群	合計
	情報科学類	情報メディア創成学類	知識情報・図書館学類	医学類	看護学類	医療科学類			
卒業者	107	62	104	135	74	39	240	102	2,194

産業別進路内訳（学群全体）

卒業者	進学者		就職者	就職者の内訳					研究生等	資格・試験等準備他	帰国	その他
		うち本学大学院		企業	教員	公務員	独法等	研修医				
2,194	968	900	1,025	743	37	99	12	134	12	117	5	67

産業別進路内訳（学類・専門学群別）

※主な教育組織を示しています。



令和４年度就職先例（学群）

主な教育組織とその就職先企業名等を掲載しています。「株式会社」などの表記をはじめ、名称を適宜省略しています。
【教員等】の「高」には中高一貫校や中等教育学校、「中」には義務教育学校を含みます。
令和５年度の情報については、令和６年５月以降に入試情報サイトで公開予定です。

学類・専門学群	就職先例
人文学類	【企業等】千葉銀行、足利銀行、日本政策金融公庫、伊藤忠丸紅住商テクノスチール、富士通、セプテーニ、日本ライフライン、カプコン、小松製作所、グリーンハウス、アクセンチュア、パーソルテンプスタッフ、良品計画、昭和システムエンジニアリング、イースト・ファクトリー、アクティブ・ワーク、フィクシー、森六、アドバンスクリエイト、ユメックス、シンフォニアテクノロジー、日立 Astemo、マサル、長谷工リアルエステート、テー・オー・ダブリュー、TPR、カーテン・じゅうたん王国、CSS 技術開発、大林組、ジェーソン、クスリのアオキ、つくばソフトウェアエンジニアリング、日本空調サービス、日研トータルソーシング、サン・ライフ、トーマツ、アイオス、イオンリテール、DIK & Company、しんきん共同センター、リクルートドクターズキャリア、楽天、東急ホテルズ、成学社、広島ホームテレビ、日刊工業新聞社、小学館集英社、十一房印刷工業、茨城県国民健康保険団体連合会、日本教職員組合、JA 共済連、【教員等】茨城県公立高、秋田県公立高、茨城県私立高、群馬県公立小、【公務員等】国土交通省、厚生労働省、東京都庁、大阪府庁、茨城県庁、埼玉県庁、長野県庁、名古屋市役所、宇都宮市役所、柏市役所、物質・材料研究機構、森林総合研究所、陸上自衛隊、門司税関　等
比較文化学類	【企業等】みずほフィナンシャル、三菱 UFJ 信託銀行、サーバーワークス、サイバーエージェント、PKUTECH、アルク、キャムコム、SHOFarm、リンクス、ギガフォトン、コムチュア、ノバレーゼ、コーエーテクモ、東急コミュニティー、三菱製紙、日立物流、スパイク・チュンソフト、サバイバル、プリティッシュ・ヒルズ、日本タタ・コンサルタンシー・サービシズ、カンダコーポレーション、プレッシオ、グッド・サン、ネオ・ウィング、国分首都圏、宝塚舞台、バリューマネジメント、NTT・TC リース、メディカル・プリンシプル、関東スチール、LAVA International、ゼロイン、アセットガーディアン、クラシエ製薬、楽天、あずさ監査法人、日本出版販売、尚文出版、新潟日報社、NHK、社会保険診療報酬支払基金、東京スマイル農業協同組合、【公務員等】財務省、外務省、国税庁、東京都庁、鹿児島県庁、高山市役所、豊田市役所、桐生市役所、農業・食品産業技術総合研究機構、日本年金機構、東京入国管理局、東京大、筑波技術大　等
日本語・日本文化学類	【企業等】野村證券、アクサ生命保険、日本航空、オフィス・ドゥーイング、日立産機システム、ポプラ社、コスモス薬品、レオ・バルゴ、Cheer、システナ、ジンズ、米屋、東急リゾートサービス、テレビ朝日映像、凸版印刷、朝日新聞社、日本経済新聞社、【教員等】茨城県公立高、埼玉県公立高、岐阜県公立高、神奈川県公立中、【公務員等】東京都庁、千葉県庁、茨城県庁、つくば市役所、さいたま市役所、美郷町役場 等
社会学類	【企業等】三井住友信託銀行、常陽銀行、筑波銀行、ゆうちょ銀行、第一生命保険、東京電力、日本製鉄、日産自動車、小西安、FREEDiVE、リコージャパン、みらいワークス、ソフトバンク、ビズリーチ、DRIVE LINE、ジュピターテレコム、TDC ソフトウェアエンジニアリング、住友化学、パーソルキャリア、エン・ジャパン、ホームロジスティクス、ベネッセ、JIS&T、セプテーニ・ホールディングス、コニカミノルタビジネステクノロジーズ、FIELD MANAGEMENT EXPAND、大和ハウス工業、ディスコ、スタンレー電気、Dirbato、成城石井、西武、NTT ファイナンス、郵船ロジスティクス、ファーストステージ、鴻池運輸、NSG、日本システムケア、カチタス、シティ・コム、シンプレクス、アドバンテッジ・リスクマネジメント、社会システム、DNP 情報システム、Chance For All、Hitz 日立造船、エル・ティー・エス、あとらす二十一、EIGHT、茨城セキスイハイム、明電舎、FIS、トーマツ、星野リゾート、QUICK、ニチイ学館、ベネッセ、毎日新聞社、凸版印刷、NHK、【教員等】茨城県私立高、【公務員等】厚生労働省、総務省、農林水産省、経済産業省特許庁、東京都庁、さいたま地方裁判所、産業技術総合研究所　等
国際総合学類	【企業等】大分銀行、伊予銀行、住信 SBI ネット銀行、丸紅、ソニー、東レ、D ダイレクションズ、アールナイン、レバレジーズ、サイバーエージェント、ビズリーチ、プレセナ・ストラテジック・パートナーズ、近鉄エクスプレス、ヤマザワ、ライズ・コンサルティング、PwC コンサルティング、レイヤーズ・コンサルティング、i-NOS、NEC プラットフォームズ、ネオキャリア、ジェイエイシーリクルートメント、JEMS、大和ハウス工業、レインボーシェイク、ユナイテッド、フージャースコーポレーション、日鉄エンジニアリング、ポート、チェンジ、AIC エデュケーション、郵船ロジスティクス、スズキ、JFE エンジニアリング、JAL スカイ、阪急阪神不動産、アイレップ、サニーサイドアップ、アマゾンジャパン、QUICK、日本マイクロソフト、トーマツ、M&A 総合研究所、山王台病院、世界文化社、ベネッセ、NOVA、宮城テレビ放送、【教員等】茨城県公立高、広島県公立高、【公務員等】公安調査庁、長野県庁、千葉地方検察庁、ルワンダ日本国大使館　等
教育学類	【企業等】第一生命保険、野村證券、イズミ、リ・カレント、大成建設、NTT ラーニングシステムズ、ラーニングエージェンシー、ユーザーローカル、パーソルプロセス & テクノロジー、揚羽、飛騨高山森林組合、デロイトトーマツコンサルティング、セレブリックス、クイック、中央大、【教員等】埼玉県公立高、神奈川県公立中、東京都公立小、茨城県公立小、群馬県公立小、長野県公立小、【公務員等】佐賀県庁　等
心理学類	【企業等】フタバ食品、シンクロ・フード、ベネッセスタイルケア、ステップ、ソニーミュージック、NTT コムウェア、ディスカヴァー 21、フォリウム、土屋鞄製造所、物語コーポレーション、アイヴィス、メイテック、東京システム技研、SOMPO ケア、シロ、スタッフサービス、EDUCOM、アマゾン、Olivier、サンマーク出版、中央労働災害防止協会、明治大、【公務員等】国税庁、江戸川区役所　等
障害科学類	【企業等】野村総合研究所、ソフトバンク、日本ユニシス、LITALICO、パーソルキャリア、アイリスオーヤマ、アドバンテッジ・リスクマネジメント、Learning for All、リシュモンジャパン、嬉泉、福祉楽団、南風会、社会福祉協議会、共同通信社、【教員等】熊本特別支援、【公務員等】さいたま市役所　等
生物学類	【企業等】三菱 UFJ 銀行、花王、ポーラ・オルビス、メディックメディア、恒和システム、本州化学工業、Coastal Paradise Nursery、アデコ、博報堂コンサルティング、【教員等】埼玉県公立中、【公務員等】農林水産省、船橋市役所　等
生物資源学類	【企業等】りそな銀行、三井住友カード、野村證券、NTT データ・イントラマート、京成トランジットバス、ソフトバンク、パティスリーリュパン、パナソニックエコソリューションズテクノサービス、太平洋貿易、リクルート、秋水社、サンワ、住友林業ホームテック、カスミ、SMBC 信託銀行、スポーツプロテクト、エコ・プラン、カルビーかいつかスイートポテト、ハースト婦人画報社、東京青果、生活協同組合、JA 山口、【公務員等】農林水産省、茨城県庁、青森県庁、愛知県庁、上田市役所　等
地球学類	【企業等】アフラック生命保険、ダイヤコンサルタント、デル・テクノロジーズ、伊藤忠エネクス、三ッ輪、応用地質、東京地図研究社、【公務員等】東京都庁、愛知県庁、東海村役場、筑波大　等

学類・専門学群	就職先例
数学類	【企業等】一条工務店、日本航空、リーバー、ZEIN、スプリックス、ジャステック、ベイカレント・コンサルティング、アクセンチュア、【教員等】東京都公立高、茨城県公立高、茨城県私立高　等
物理学類	【企業等】DYM、アクセンチュア、新日本有限責任監査法人、【公務員等】国土交通省　等
化学類	【企業等】セキ薬品、関東電化工業、佐竹マルチミクス、Ridgelinez、【公務員等】福島県庁、茨城県庁　等
応用理工学類	【企業等】本田技研工業、スプリックス、リトルプロパティ、デロイトトーマツアクト、TIS、潤工社、システムサポート　等
工学システム学類	【企業等】東京電力、富士通、ベオスアイティー、大崎電気工業、アクセンチュア、鹿島建設、積水ハウス、三精テクノロジーズ、シチズンファインデバイス、アルテミス、暁飯島工業、【公務員等】特許庁、富津市役所　等
社会工学類	【企業等】横浜銀行、常陽銀行、三菱 UFJ 信託銀行、三井住友信託銀行、商工組合中央金庫、東京海上日動火災、楽天、ENERGIZE、小金井不動産、ジール、トライアルカンパニー、レバレジーズ、アクセンチュア、UR リンケージ、スプリックス、DYM、ライブリッツ、エン・ジャパン、JTB、日鉄ソリューションズ、ダイレクトマーケティングミックス、ボストン・コンサルティング・、ダイハツ工業、ネオキャリア、山田コンサルティング、富士テクニカルリサーチ、キッセイコムテック、ウイングアーク 1ST、富士通、ソリューションズ東京、昭和設計、トーマツ、JR 東日本企画、三菱総合研究所、日本総合研究所、日本茅葺き文化協会、JA 水郷つくば、【公務員等】茨城県庁、宮崎県庁、府中市役所、国土技術政策総合研究所　等
情報科学類	【企業等】ヤフー、DeNA、ソニー、富士ソフト、NEC プラットフォームズ、freee、FFRI セキュリティ、昭和システムエンジニアリング、アクセンチュア、SB テクノロジー、ギブリー、ソフトウエア情報開発、ワンキャリア、ビッグツリーテクノロジー＆コンサルティング、ネットワンシステムズ、オリオン機械、JBCC、スタッフサービスエンジニアリング、BEENOS、アドテックエンジニアリング、レノボ・ジャパン、日立システムズエンジニアリングサービス、エイジング、Relic、トイロジック、アイベックステクノロジー、マイナビ、日本航空、【公務員等】北海道庁　等
情報メディア創成学類	【企業等】任天堂、ヤマトシステム開発、KSK、ラクスル、Donuts、メタップス、TBS スパークル、ARK CONSULTING、パーソルクロステクノロ　ジー、Gugenka、シンプレクス、Smallit、公立昭和病院、【公務員等】海上自衛隊　等
知識情報・図書館学類	【企業等】山梨中央銀行、丸紅、東京海上日動キャリアサービス、リクルート、レイス、構造計画研究所、東京レコードマネジメント、NTT コミュニケーションズ、サイバーエージェント、ギブリー、良品計画、三越伊勢丹システム・ソリューションズ、ソフトバンク、CSM ソリューション、ファーストリテイリング、I2C、日立ソリューションズ、バスクリン、ノット、コダマコーポレーション、内田洋行、豊田自動織機、アクセル・モード、ヤフー、ビッツ、ANA ウイングス、NTT データ、ディップ、あさひ、富士通、エムエスデー、佐藤商事、エスエスサポート、三越伊勢丹、エフネット、パナソニック コネクト、楽天、三和、つくばソフトウェアエンジニアリング、三洋グラビア、クスリのアオキ、阪急阪神、エイティワンプロデュース、グルコース、メンバーズ、シンプレクス・、三信電気、奉優会、日本総合研究所、テレビ東京、日本入試センター、啓隆社、関東図書、図書館流通センター、読売新聞、江戸川学園、河合塾、【公務員等】神奈川県庁、岩手県庁、埼玉県庁、大洲市役所、柏市役所、前橋市役所、東京都立図書館、情報処理推進機構、東京大、横浜国立大　等
看護学類	【企業等】筑波大附属病院、東京大医学部附属病院、千葉大医学部附属病院、慶應義塾大病院、杏林大医学部付属病院、昭和大附属病院、昭和大江東豊洲病院、災害医療センター、埼玉病院、茨城県立こころの医療センター、茨城県立こども病院静岡県立こども病院、がん研有明病院、国立成育医療研究センター、東京都立松沢病院、富山県立中央病院、虎の門病院、仙台徳洲会病院、埼玉森林病院、柏厚生総合病院、新久喜総合病院、北水会記念病院、三郷中央総合病院、山王病院、伊那中央病院、コメリ、コノミティ、【教員等】静岡県公立中学校、福井県公立中学校、筑波大附属高、新潟市立西幼稚園、【公務員等】東京都庁、茨城県庁、川崎市役所、荒川区役所、横浜市役所　等
医療科学類	【企業等】筑波大附属病院、金沢大附属病院、東京労災病院、筑波メディカルセンター病院、北総白井病院、三宿病院、福寿会、PT JNET TRAVEL、エスアールエル、日立ハイテク、【公務員等】茨城県庁、筑波大　等
体育専門学群	【企業等】アルビレックス新潟、琉球フットボールクラブ、徳島ヴォルティス、姫路ヴィクトリーナ、日立 Astemo リヴァーレ、ヨネックス、七十七銀行、三井住友海上火災、野村證券、大和証券、SMBC 日興証券、東京海上日動火災保険、損害保険ジャパン日本興亜、カーブスジャパン、パナソニックスポーツ、パーソルキャリア、関彰商事、本田技研工業、ヤフー、デンソー、パナソニック、トヨタホーム、リーバー、Budai Farkasok、ウィル、奥村組、長谷工コーポレーション、Wonder Space、旭化成、昭和電工マテリアルズ、エディオン、ケアこげら、ソフトバンク、キユーピー、日本航空、ミトアス、プレステージ・インターナショナル、DYM、クイック、ブレス浜松、LayerX、茨城ロボッツ・スポーツエンターテインメント、東海テレビ放送、NEC キャピタルソリューション、AOI Pro.、日本住宅、トヨタ自動車、プロジェクトカンパニー、アイエイアイ、日立ハイテク、エン・ジャパン、クラウン・パッケージ、JTB、羽田ヴィッキーズ女子バスケットボールクラブ、セプテーニ、山から、キーエンス、因幡電機産業、Unia Tarnow、ジャクエツ、富士山の銘水、北関東綜合警備保障、すかいらーく、積水化学工業、リクルート、ベイカレント・コンサルティング、NOK、大塚製薬工場、ベルガロッソ浜田、Any Mind Japan、リスト、ANA ウイングス、DE-SIGN、日本ハム、ディスコ、富士観光開発、Helvetia Anaitasuna、阪和興業、コスモス薬品、山梨クィーンビーズ、NPO 法人名古屋スポーツクラブ、京阪、黒崎播磨、ライオン、アドレ、日立システムズエンジニアリングサービス、シグマクシス、トイウェア、リクルート、エクシング、一条工務店、リンクアカデミー、西武管商、全日空商事、竹中工務店、ヤマハ発動機、劇団四季、ビクトリースポーツ、丸紅、日立製作所、清水建設、エル・ティー・エス、NHK、福岡放送、佐賀県スポーツ協会、【教員等】山梨県公立高、新潟県公立高、愛知県公立高、愛媛県公立高、茨城県私立高、大阪府公立中、群馬県公立小、【公務員等】静岡県庁、川越市役所、新居浜市役所、警視庁、石川県警察本部、北海道警察本部、福岡市役所、愛知県警察本部、神奈川県警察本部、兵庫県警察本部、東京消防庁　等
芸術専門学群	【企業等】三井住友信託銀行、アズロッソ、ヤマハ発動機、くじら塾、カクダイ、ライフコーポレーション、i-NOS、メタップス、オプロ、松井証券、地山堂、ポラス、アクタス、東京電力、コダマコーポレーション、ヨコヤマ、ゆめみ、アド・プラン、俳優座劇場、あかしや、全国設備 CAD センター、ThinkX、カチタス、サンゲツ、星箱 Works、ゲオネットワークス、Too、グリーンロード、高島屋、Loop、庫や、シャトレーゼ、日立建機、日本経済広告社、メンバーズ、京都奉製、中央競馬ピーアール・センター、トーイン、加藤文明社、野村総合研究所、伴印刷、ムサシノ広告社、富沢印刷、旺文社、思学舎、中日新聞社、征峯会、【教員等】茨城県公立高、【公務員等】本庄市役所、日本芸術文化振興会　等

大学院

筑波大学の大学院には修士課程、博士課程及び専門職学位課程があります。また、社会人再教育のための夜間大学院・昼夜開講制の実施、短期在学コース・長期履修学生制度・博士後期課程「早期修了プログラム」など標準修業年限の弾力化、筑波研究学園都市等の研究機関の施設・設備や人的資源を活用して大学院教育を行う連携大学院方式の実施など教育方法・形態の多様化を図っています。2020年4月より大学院を改組し、3学術院6研究群に再編しました。6つの研究群には合計56の学位プログラムを編成し、各研究群の専任教員を中心とした幅広い学問分野の教員が協働して学位プログラムでの授業と研究指導を行っています。

◇修士課程及び博士前期課程

修士課程及び博士前期課程は、幅広く深い学識の涵養を図り、専門分野における研究能力又はこれに加えて高度の専門的な職業を担うための卓越した能力を培うことを目的としています。

◇一貫制博士課程、博士後期課程及び3年制博士課程

一貫制博士課程、博士後期課程及び3年制博士課程は、専攻分野について、研究者として自立して研究活動を行うに足る、又は高度の専門性が求められる社会の多様な方面で活躍し得る高度の研究能力とその基礎となる豊かな学識を養うことを目的としています。

◇専門職学位課程

専門職学位課程は、幅広い分野の学士課程の修了者や社会人を対象として、特定の高度で専門的な職業能力を有する人材の養成に特化して、国際的に通用する高度で専門的な知識・能力を涵養することを目的としています。

◆人文社会ビジネス科学学術院

ビジネス科学、人文学、社会科学に関する多面的かつ高度な教育研究を通じて、人間の価値や人と社会のあり方を時間軸、空間軸を交差させて総合的に探究することによって、新たな知を創造し具現化できる研究者、大学教員、高度専門職業人を養成します。

◎人文社会科学研究群
(https://www.hass.tsukuba.ac.jp/)

◎ビジネス科学研究群
(https://www.gsbs.tsukuba.ac.jp/)

◎法曹専攻（法科大学院）
(https://www.lawschool.tsukuba.ac.jp/)

◎国際経営プロフェッショナル専攻
(https://www.mbaib.gsbs.tsukuba.ac.jp/)

◆理工情報生命学術院

総合科学技術を支える理学・工学・農学の基礎と応用、システム・情報・社会が融合・複合する学際新領域において、人間を取り巻く複雑で困難な問題を発見・解決できる独創的かつ行動的な研究者、大学教員、高度専門職業人を養成します。

◎数理物質科学研究群
(https://grad.pas.tsukuba.ac.jp/)

◎システム情報工学研究群
(https://www.sie.tsukuba.ac.jp/)

◎生命地球科学研究群
(https://www.life.tsukuba.ac.jp/life-graduate/)

◎国際連携持続環境科学専攻
(https://www.envr.tsukuba.ac.jp/jmses/)

◆人間総合科学学術院

人間の心身及び諸活動に関する基礎から応用までの豊富かつ高度な教育研究を通して、固有の学問領域において高度でグローバルな視点に基づいた研究を計画実行でき、人間に関する幅広い知識をもち優れた学際的な学術研究や国際的かつ学際的な教育研究環境を背景に異分野の先端的な融合が図れる優れた学術研究を計画実行できる研究者と大学教員、及び複合的な視点から人間を捉え、柔軟かつ適切な援助・支援を研究・設計して社会的ニーズに対応できる高度専門職業人を養成します。

◎人間総合科学研究群
(https://www.chs.tsukuba.ac.jp/)

◎スポーツ国際開発学共同専攻
(https://tkjids.taiiku.tsukuba.ac.jp/)

◎大学体育スポーツ高度化共同専攻
(https://kododaigaku.taiiku.tsukuba.ac.jp/)

◎国際連携食料健康科学専攻
(https://www.gip.tsukuba.ac.jp/)

グローバル教育院

グローバル教育院では、「卓越大学院プログラム」に採択された学位プログラムや、筑波大学が独自に開設する学術分野横断的な学位プログラムの運営を行っています。

文部科学省卓越大学院プログラム（平成 30 年度採択）

◆ヒューマニクス学位プログラム　https://www.phd-humanics.tsukuba.ac.jp/

“ヒューマニクス”とは、生命の恒常性の原理、個としての「ヒト」の生理と病理を明らかにし、社会のなかで「人」として健康で快適な生活が実現できる新たな科学・技術を生み出す学問領域です。これを習得した「ヒューマニクス人材」を育成するため、本プログラムでは、生命医科学と理・工・情報学の両研究分野における「バイディシプリンの専門力」を養う、他に類を見ない充実した教育体制を提供します。同時に、研究課題の策定から成果の社会応用までの実践に必要な「目利き力」「突破力」「完結力」を養成します。

大学院研究群と対応する主な出身学群・学類

学術院	研究群	学位プログラム／専攻	サブプログラム	課程等	対応する主な出身学群・学類
人文社会ビジネス科学学術院	人文社会科学研究群	人文学	哲学・思想	△□	人文学類、比較文化学類、日本語・日本文化学類、社会学類、国際総合学類
			歴史・人類学		
			文学		
			言語学		
			現代文化学		
			英語教育学		
		国際公共政策		△□	
		国際日本研究		△□	人文学類、比較文化学類、日本語・日本文化学類、社会学類、国際総合学類、生物資源学類
	ビジネス科学研究群	法学		△□	社会人対象
		経営学		△□	
		法曹専攻		▲	
		国際経営プロフェッショナル専攻		▲	
理工情報生命学術院	数理物質科学研究群	数学		△□	数学類、物理学類、化学類、応用理工学類、工学システム学類
		物理学		△□※	
		化学		△□※	
		応用理工学	電子・物理工学	△□※	
			物性・分子工学		
			NIMS 連係物質・材料工学		
		国際マテリアルズイノベーション		△□	
	システム情報工学研究群	社会工学		△□※	社会学類、国際総合学類、数学類、物理学類、化学類、応用理工学類、工学システム学類、社会工学類、情報科学類、情報メディア創成学類
		サービス工学		■※	
		リスク・レジリエンス工学		△□	
		情報理工		△□※	
		知能機能システム		△□※	
		構造エネルギー工学		△□※	
		エンパワーメント情報学		○	
		ライフイノベーション（生物情報）		△□	

■修士課程　○５年一貫課程　△博士前期課程　□博士後期課程　▼後期の課程のみの博士課程
◎医学を履修する４年制課程　※連携大学院方式を実施　▲専門職学位課程
博士後期課程、後期の課程のみの博士課程には、大学院の２年の課程を経て進学します。

学術院	研究群	学位プログラム／専攻	サブプログラム	課程等	対応する主な出身学群・学類
理工情報生命学術院	生命地球科学研究群	生物学		△□※	生物学類、生物資源学類、地球学類
		生物資源科学		△※	
		農学		□※	
			NARO 連係先端農業技術科学		
		生命農学		□※	
		生命産業科学		□※	
		地球科学		△□※	
		環境科学		△※	
		環境学		□※	
		山岳科学		△※	
		ライフイノベーション（食料革新）		△□	
		ライフイノベーション（環境制御）		△□	
		ライフイノベーション（生体分子材料）		△□	
		国際連携持続環境科学専攻		△	
人間総合科学学術院	人間総合科学研究群	教育学	国際教育	△	教育学類、心理学類、障害科学類、医学類、看護学類、医療科学類、体育専門学類、芸術専門学類、情報メディア創成学類、知識情報・図書館学類
			次世代学校教育創成		
			教育基礎科学		
				□	
		心理学	心理基礎科学	△□※	
			心理臨床学		
		障害科学		△□	
		フロンティア医科学		■	
		公衆衛生学		■	
		ヒューマン・ケア科学		▼	
		パブリックヘルス		▼※	
		ニューロサイエンス		△□※	
		看護科学		△□	
		スポーツ医学		▼※	
		体育学		△	
		スポーツ・オリンピック学		△	
		体育科学		□	
		コーチング学		▼	
		芸術学		△□	
		デザイン学		△□※	
		世界遺産学		△□	
		ヒューマンバイオロジー		○	
		ライフイノベーション（病態機構）		△□	
		ライフイノベーション（創薬開発）		△□	
		スポーツ国際開発学共同専攻		■	
		大学体育スポーツ高度化共同専攻		▼	
		情報学		△□	
		カウンセリング		△	社会人対象のため、特に対応する出身学群・学類はありません。
		カウンセリング科学		□	
		リハビリテーション科学		△□	
		スポーツウエルネス学		△□	
		医学		◎※	医学類
		国際連携食料健康科学専攻		■	医療科学類、生物資源学類

■修士課程　○５年一貫課程　△博士前期課程　□博士後期課程　▼後期の課程のみの博士課程
◎医学を履修する４年制課程　※連携大学院方式を実施　▲専門職学位課程
博士後期課程、後期の課程のみの博士課程には、大学院の２年の課程を経て進学します。

連携大学院とつくばの研究所

筑波大学は平成4年度に日本で初めて連携大学院を設置しました。

連携大学院では、多くの研究所が設置されている筑波研究学園都市や1都4県に所在する国立、独立行政法人（国立研究開発法人を含む）、民間の研究所の研究者を、筑波大学の教授・准教授として迎えています。それにより、学生は最新の設備と機能を有する研究機関において広い領域で最先端レベルの研究指導を受けることができます。

大学の1年生から4年生までの間にはあまり接することのなかった、研究所に勤務する研究者の研究生活に触れることができるとともに、より多くの研究分野に興味を広げていくことができます。

また、平成16年度からは研究機関の研究者で専攻を組織する、新たな連携大学院方式（連係大学院専攻）もスタートしています。

筑波大学の連携大学院は、現在では教授138名、准教授69名という規模になりました。また、教育研究協力に関する協定を31研究機関と締結しています。



(注)(厚)は厚生労働省、(国)は国土交通省、(独)は独立行政法人(そのうち、○は国立研究開発法人)、(公財)は公益財団法人。

進路状況（大学院）

修士課程・博士前期課程修了者数（令和４年度）

※研究群は主な組織を掲載しています。

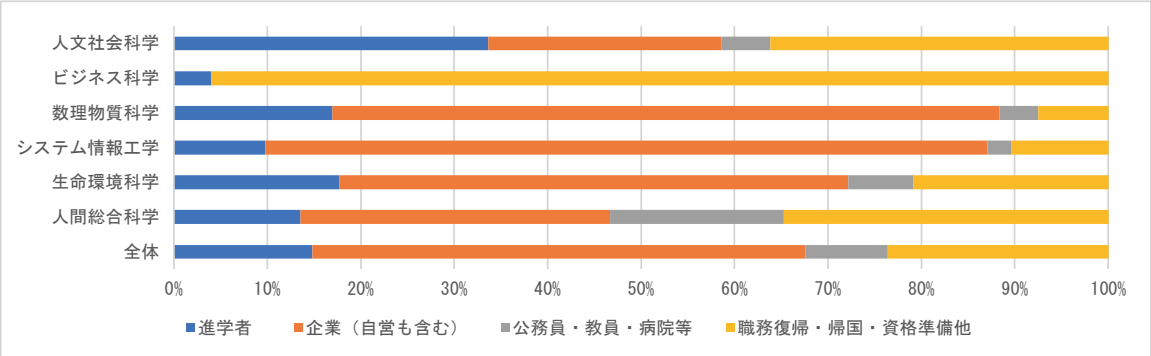
研究科（研究群）	人文社会科学	ビジネス科学	数理物質科学	システム情報工学	生命環境科学	人間総合科学	合計
修了者	123	48	273	469	339	507	1,828

産業別進路内訳（修士課程・博士前期課程全体）

修了者	進学者		就職者	就職者の内訳					学振・外部資金研究員等	研究生等	資格・試験等準備他	帰国	職務復帰	その他
		うち本学大学院		企業	教員	大学教員	公務員	独法等						
1,828	268	249	1,126	983	61	5	49	28	2	3	49	121	199	60

産業別進路内訳（研究科別）

※研究群は主な組織を掲載しています。



一貫制博士課程・博士後期課程修了者数

研究科（研究群）	人文社会科学、ビジネス科学、人文社会ビジネス科学	数理物質科学	システム情報工学	生命地球科学、生命環境科学	人間総合科学	図書館情報メディア	グローバル教育院	合計
修了者	42	64	63	112	149	3	21	454

産業別進路内訳（一貫制博士課程・博士後期課程全体）

修了者	就職者	就職者の内訳						学振・外部資金研究員等	博士特別研究員	資格・試験等準備他	帰国	職務復帰	その他
		企業	教員	大学教員	公務員	独法等	研修医						
454	166	92	0	43	7	21	3	62	22	14	34	150	6

令和４年度（大学院修士課程・博士前期課程）

主な教育組織とその就職先企業名等を掲載しています。「株式会社」などの表記をはじめ、名称を適宜省略しています。
【教員等】の「高」には中高一貫校や中等教育学校、「中」には義務教育学校を含みます。
令和５年度の情報については、令和６年５月以降に入試情報サイトで公開予定です。

研究群	学位プログラム等	就職先例
人文社会科学／ビジネス科学	人文学、国際公共政策、国際日本研究、法曹	【企業等】ゆうちょ銀行、日本貿易保険、三菱 UFJ インフォメーションテクノロジー、みずほリサーチ＆テクノロジーズ、コンフィデンス、NEC ネッツエスアイ、ソリッドコミュニケーション、デロイトトーマツコンサルティング、DXC テクノロジー、CTW、パーソルプロセス＆テクノロジー、日立物流、ビットエー、プロパティエージェント、LITALICO、NTT データ SMS、櫻木日語、PwC コンサルティング、森永乳業、シークス、日本 IBM デジタルサービス、誠心誠意、富士通、ストライク、パーソルプロセス＆テクノロジー、メルカリ、朝日新聞社、角川書店、東京都立病院、【教員等】茨城県公立高、神奈川県公立高、東京都私立高、茨城県私立高、埼玉県私立高、愛媛県私立高、茨城県公立中、【公務員等】富山県庁、前橋市役所、人間文化研究機構、筑波大、Ministry of Natural Resources　等
数理物質科学	数学	【企業等】NEC ソリューションイノベータ、NTT 東日本、三菱 UFJ インフォメーションテクノロジー、パナソニックインフォメーションシステムズ、りそなホールディングス、ジョンソンコントロールズ、ネクサスエージェント、ダイテック、アドウェイズ、日本プロセス、VSN、SHIFT、学究社、大和総研、【教員等】茨城県公立高、栃木県公立高、静岡県公立高、沖縄県公立高、長崎県公立中学、【公務員等】国土交通省、厚生労働省　等
	物理学	【企業等】日立製作所、NTT 東日本、NEC ソリューションイノベータ、キヤノン、ルネサスエレクトロニクス、有人宇宙システム、宇宙技術開発、TIS、ウエスタンデジタルジャパン、アクセンチュア、長野日本無線、ニューフレアテクノロジー、テクノスジャパン、テクトロニクス＆フルーク、エデュソル、テクノシステム、日本信号、AGC、Sansan、超音波工業、日本ガイシ、日本ルメンタム、アイヴィス、ザインエレクトロニクス、オリックス・レンテック、セイコーエプソン、Japan Advanced Semiconductor Manufacturing、東京エレクトロン、JR 東海、エーディーシー、スタンダードファクトリー、MonotaRO、フューチャーアーキテクト、トライコーン、京セラ、シンプレクス・ホールディングス、フィリップス・ジャパン、NTT データビジネスシステムズ、ソニーセミコンダクタソリューションズ、野村総合研究所、Z 会、【公務員等】厚生労働省、物質・材料研究機構　等
	化学	【企業等】第一三共、関東電化工業、田辺三菱製薬、大鵬薬品工業、富士フイルム和光純薬、白鳥製薬、アステラス製薬、味の素、デュポン、ADEKA、ロンシール工業、日立グローバルライフソリューションズ、シーエスラボ、キヤノンオプトロン、日華化学、TOTO バスクリエイト、日鉄総研、東ソー、日本航空電子工業、ミルボン、クラシエホームプロダクツ、太陽ホールディングス、セイコーエプソン、デンカ、東洋インキ SC、寺岡製作所、オカモト、日東電工、デロイトトーマツコンサルティング、日東紡、キオクシア、丸善石油化学、JA 全農、【公務員等】国土交通省、会計検査院、産業技術総合研究所　等
	応用理工、国際マテリアルズイノベーション	【企業等】住友電気工業、日立製作所、ソニーセミコンダクタソリューションズ、キオクシア、ディスコ、NTT データ、ルネサスエレクトロニクス、東京エレクトロン、日立ハイテク、トヨタ自動車、JX 金属、コニカミノルタ、PwC コンサルティング、TDK、富士ゼロックス、レーザーテック、日本電子、東芝デバイス＆ストレージ、日本 NCR、カプコン、佐藤製薬、アース製薬、リガク、キッセイ薬品工業、日本電気、NTT コミュニケーションズ、福井村田製作所、TOYO TIRE、旭化成、ローム、古河電気工業、東京ガス、シード、NEC プラットフォームズ、ブリヂストン、三井化学、住友化学、ぺんてる、キヤノン、豊田自動織機、能美防災、インフィニオンテクノロジーズジャパン、ボッシュ、東京精密、KPMG コンサルティング、マイクロンメモリジャパン、キリンホールディングス、新日鉄住金ソリューションズ、日本分光、中外製薬、キヤノンマーケティングジャパン、ヤフー、日本電気通信システム、セイコーエプソン、日鉄エンジニアリング、リコー、日産自動車、富士電機、日産化学、資生堂、石油資源開発、三和シャッター工業、日清紡ホールディングス、タワーパートナーズセミコンダクター、豊田通商、PHC、太陽誘電、富士フイルムソフトウエア、三菱重工環境・化学エンジニアリング、パナソニック、フューチャーアーキテクト、日揮ホールディングス、日本光電工業、ソニーグローバルマニュファクチャリング＆オペレーションズ、ポリプラスチックス、武蔵コーポレーション、第一三共、日本無機、トクヤマ、日立産業制御ソリューションズ、首都圏新都市鉄道、みずほ証券、第一生命保険、テレビ朝日映像、思学舎、東京理科大、華為技術有限公司、【公務員等】大分県庁　等

研究群	学位プログラム等	就職先例
生命地球科学	生物学、 生物科学	【企業等】明治、味の素、アサヒ飲料、ハウス食品、雪印メグミルク、高砂香料工業、サティス製薬、カネコ種苗、宮城十條林産、セラク、アクセンチュア、大日本印刷、イー・アンド・イー・ソリューションズ、ブルボン、NTT コムウェア、積水メディカル、ワールドインテック、エリクソン・ジャパン、東日本技術研究所、イーピーエス、ウインウイン、クラシエホームプロダクツ、キーエンス、キリンホールディングス、いであ、パスコ、新日本科学 PPD、ヤフー、日本テトラパック、日本オラクル、太陽ホールディングス、富士通、クラシコム、トキワ、三井住友カード、ニトリ、テクノプロ、日本通運、コベルコシステム、海遊館、生態工房、九州環境管理協会、【公務員等】茨城県庁、科学技術振興機構　等
	生物資源科学	【企業等】森永乳業、アサヒ食品、明治、ネスレ日本、サッポロビール、味の素、ヤマサ醤油、キッコーマン、宝酒造、アサヒビール、正田醤油、タキイ種苗、カネコ種苗、サカタのタネ、ミツカン、理研ビタミン、日東富士製粉、日清製粉ウェルナ、アステラス製薬、塩野義製薬、中外製薬、栗田工業、復星医薬、日本電気、楽天、日本航空、スカイウイル、ブレインパッド、エス・ディー・エス バイオテック、CLIS、サントリーホールディングス、日本総合研究所、Ctrip China、ちふれ、構造計画研究所、旭化成、大成建設、天野エンザイム、NTT 東日本、ピックルスホールディングス、ユーベック、日立ソリューションズ、三井物産、エン・ジャパン、デリバリーコンサルティング、サーモス、ロック・フィールド、大王製紙、東京ガス、日揮ユニバーサル、花王、クレハ、日本出版販売、キリンホールディングス、三井化学アグロ、マイクロンメモリジャパン、SCSK、広栄化学工業、武蔵野ホールディングス、帝人フロンティア、東京シティ青果、NTT ドコモ、日本工営、江ノ島電鉄、大林組、ライオン、トヨタ自動車研究開発センター、リコー、ルネサスエレクトロニクス、アスパーク、PIGNUS、フューチャーアーキテクト、ENERGIZE、Sola、パナソニックオートモーティブシステムズ、ハマネツ、農林中央金庫、日本政策金融公庫、JA 全農、材料科学技術振興財団、電装智能科技有限公司、【教員等】埼玉県公立高、【公務員等】防衛省、農林水産省、林野庁、茨城県庁、埼玉県庁、農林水産消費安全技術センター、農業・食品産業技術総合研究機構、産業技術総合研究所、筑波大　等
	地球科学	【企業等】ウェザーニューズ、JTB パブリッシング、パスコ、NEC ソリューションイノベータ、朝日航洋、アジレント・テクノロジー、日立ハイテク、いえらぶ GROUP、パシフィックコンサルタンツ、横浜 DeNA ベイスターズ、NTT データ CCS、ダイキン工業、デロイトトーマツベンチャーサポート、東京海上リスクコンサルティング、東日本高速道路、日立システムズ、新日鉄住金ソリューションズ、常陽銀行、日本プロセス、ヤフー、日本地下探査、J-POWER 設計コンサルタント、三菱商事、清水建設、コスモエネルギー、JERA、TBS テレビ、NHK、日本総合研究所、日本気象協会、Liberty International School、【教員等】栃木県公立高、茨城県私立高、【公務員等】環境省、総務省、茨城県庁、千葉県庁、鉄道建設・運輸施設整備支援機構、日本原子力研究開発機構　等
	環境科学、 山岳科学、 ライフイノベーション	【企業等】アサノ大成基礎エンジニアリング、トピー実業、UBE 三菱セメント、サミー、大阪市高速電気軌道、フォックスコン、マイクロンメモリジャパン、コムチュア、アルトナー、建設技術研究所、新日鉄住金ソリューションズ、クラウドエース、日立製作所、PwC コンサルティング、カルビー、ソフトバンク、みずほフィナンシャル、十六銀行、アークコミュニケーションズ、日本小水力発電、日本経済新聞社、伊那食品工業、環境総合研究所、砂防・地すべり技術センター、リモート・センシング技術センター、日本気象協会、【教員等】Erdenet Institute of Technolog、【公務員等】宮内庁、農業・食品産業技術総合研究機構　等

研究群	学位プログラム等	就職先例
システム情報工学	社会工学	【企業等】富士通、NTT データ、NEC ソリューションイノベータ、清水建設、東芝デジタルソリューションズ、NTT ドコモ、日本 IBM、エヌ・ティ・ティ・データ・イントラマート、安田不動産、ザイマックス、川崎重工業、伊藤忠都市開発、大成建設、出光興産、東芝情報システムテクノロジー、UD トラックス、パシフィックコンサルタンツ、国際航業、中央コンサルタンツ、CTI リード、PwC コンサルティング、日本信号、鹿島建設、エー・ディー・ワークス、静岡銀行、CARTA HOLDINGS、日本郵政不動産、デロイトトーマツベンチャーサポート、みずほフィナンシャル、オリエンタルコンサルタンツ、新日鉄住金ソリューションズ、日本 IBM システムズ・エンジニアリング、ヤフー、東急コミュニティー、日建設計、日本工営、中日本高速道路、ランドブレイン、フージャースコーポレーション、日産自動車、首都高速道路、アサヒ飲料、ジー・エス・エス、サイボウズ、イオンモール、近鉄不動産、KDDI、東急不動産、日立製作所、サーバーワークス、八千代エンジニヤリング、DHL サプライチェーン、トレンドマイクロ、PwC コンサルティング、みずほ銀行、三井住友信託銀行、船総合研究所、野村総合研究所、鉄道総合技術研究所、中冶賽迪情報技術有限公司、【公務員等】国土交通省、静岡県庁、茨城県庁、都市再生機構　等
	リスク・レジリエンス工学、 サービス工学	【企業等】東京ガス、NTT データ、日本電気、日立製作所、ヤマトホールディングス、サイバーエージェント、パーソルプロセス & テクノロジー、ディー・エヌ・エー、スズキ、トヨタ自動車研究開発センター、ヤフー、シンプレクス・ホールディングス、東電設計、NRI セキュアテクノロジーズ、住友不動産、復建調査設計、日本ユニシス、アクセンチュア・テクノロジー・ソリューションズ、東京電力、コナミ、日産自動車、野村総合研究所、東芝三菱電機産業システム、IIJ グローバルソリューションズ、アウトソーシングテクノロジー、MonotaRO、西日本鉄道、KDDI、アマゾンジャパン、小松製作所、アクセンチュア、三菱 UFJ 銀行、野村総合研究所、貴州電網有限責任公司電力科学研究院、【公務員等】国土交通省、東京消防庁、宇宙航空研究開発機構　等
	情報理工学	【企業等】ヤフー、野村総合研究所、日立製作所、KADOKAWA、ソフトバンク、楽天、ソニー・インタラクティブエンタテインメント、Sky、富士通、KDDI、日本電気、NTT ドコモ、シンプレクス・ホールディングス、LINE、オリンパス、パナソニックシステムネットワークス、JFE プラントエンジ、ソニーセミコンダクタソリューションズ、本田技術研究所、NTT コミュニケーションズ、NEC ソリューションイノベータ、サイバーエージェント、ナビタイムジャパン、NTT 東日本、NTT 西日本、アクセンチュア、日立ソリューションズ、ソニー、エリクソン・ジャパン、NTT コムウェア、PwC コンサルティング、日産オートモーティブテクノロジー、キーエンス、東芝研究開発センター、リクルート、ジャステック、Chatwork、いい生活、サステナ、東芝デジタルソリューションズ、グーグル、Ridgelinez、アンリツ、ブルーワールドネット、アマゾンウェブサービスジャパン、グリー、コーエーテクモ、ディー・エヌ・エー、pluszero、アデリー、クラウドエース、東京エレクトロン、富士フイルムソフトウエア、アクセル、レノボ・ジャパン、レアゾン・ホールディングス、コアコンセプト・テクノロジー、日立システムズエンジニアリングサービス、情報基盤研究所、メルカリ、デジタルアーツ、そらいろ、フューチャーアーキテクト、三菱商事、アクセンチュア、【公務員等】中華民国陸軍　等
	知能機能システム	【企業等】NTT データ、ヤフー、日本電気、アクセンチュア、ヤマハ発動機、コーエーテクモ、KDDI、住友電気工業、横河電機、CRI・ミドルウェア、ソニーセミコンダクタソリューションズ、小松製作所、沖電気工業、イーソル、パナソニックホールディングス、パナソニック、パナソニックインダストリー、JX 金属、アルプス技研、ソフトバンク、アルプスアルパイン、NEC ソリューションイノベータ、ソニー PCL、NTT 東日本、DTS インサイト、プラス、セガ、リオン、ソニーグローバルソリューションズ、マツダ、NS ソリューションズ東京、TBS アクト、アズビル、住友重機械工業、キヤノン、中国銀行、NTT コムウェア、フォスター電機、コナミデジタルエンタテインメント、日鉄ソリューションズ、クボタ、ヤマハ、ソニー、豊田自動織機、大和総研、ANA ウイングス、NEC 中央研究所、みずほフィナンシャル、セキュア、ベルウクリエイティブ、Tencent、デンソー、大林組、オリエンタルモーター、SUBARU、富士通、SAP ジャパン、Japan Advanced Semiconductor Manufacturing、図研、富士フイルム、ピクシブ、モリマシナリー、ヒューリック、Speee、ACCESS、ヴィエムウェア 東京オフィス、サイボウズ、ソニーグローバルマニュファクチャリング & オペレーションズ、トーマツ、日本総合研究所、静岡銀行、中国商用飛機有限責任公司　等
	構造エネルギー工学	【企業等】日本電気、清水建設、建設技術研究所、三菱電機、荏原製作所、川崎重工業、NTT ドコモ、IHI、美津濃、三菱重工業、シチズン時計、東京ガス、ミネベアミツミ、ファナック、住友重機械工業、トヨタ自動車、日揮プラントイノベーション、クボタ、ダイキン工業、アビームコンサルティング、いすゞ自動車、ビッグツリーテクノロジー & コンサルティング、ダイハツ工業、公益財団法人鉄道総合技術研究所、三井住友建設、天合光能股分有限公司、ギフティ、富士電機、SUBARU、横河システム建築、古河機械金属、青木あすなろ建設、マルチコミュニケーション、JFE エンジニアリング、三菱総合研究所、ヤマハ発動機、コスモエネルギーホールディングス、村田製作所、本田技研工業、リンナイ、ウフル、東洋エンジニアリング、構造計画研究所、シンプレクス・ホールディングス、ニップン、エヌ・シー・エヌ、バンプージャパン、ソニーセミコンダクタソリューションズ、日立製作所、NTT 東日本、宇宙技術開発、朝日放送、【公務員等】日本原子力研究開発機構、産業技術総合研究所、都市再生機構　等

研究群	学位プログラム等	就職先例
人間総合科学	芸術、デザイン学、世界遺産学	【企業等】JR 東日本、コーエーテクモ、ZUU、ネクスウェイ、丹青社、くら寿司、SNK、愛植物設計事務所、トータルシステムデザイン、JCBC、メガネトップ、旭化成、サントリー、丸善石油化学、日本郵政、トヨタ紡織、リンナイ、アリババ、GK ダイナミックス、久米設計、福耀集団、アワーカンパニー、イビソク、アイエスエフネット、伊勢化学工業、I&J デジタルイノベーション、日本 IBM デジタルサービス、三井住友銀行、博報堂、岩瀬牧場、ふくやま芸術文化振興財団、青山学院大、【教員等】東京都公立高、京都府私立高、広島県私立高、茨城県公立中、【公務員等】東京都庁、葛飾区役所、茨城県近代美術館　等
	教育学、心理、障害科学	【企業等】ハヤブサドットコム、リンク・インタラック、じょぶれい、サッポロビール、京セラみらいエンビジョン、みずほリサーチ & テクノロジーズ、リヴァンプ、ARISE analytics、ファーストリテイリング、LITALICO、オムロンソフトウェア、シーユーシー、ヘラルボニー、エルチェ、バンダイナムコオンライン、メンバーズ、デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム、インテージヘルスケア、バンダイナムコビジネスアーク、伊藤忠テクノソリューションズ、INCLUSIVE、慧誠教育学院、芝浦工業大、NTT 東日本関東病院、青森県立中央病院、【教員等】茨城県公立高、千葉県公立高、静岡県公立高、東京都私立高、茨城県私立高、群馬県私立高、長野県私立高、茨城県公立中、千葉県公立中、神奈川県公立中、宮崎県公立中、茨城県公立小、新潟県公立小、大分県公立小、千葉県特別支援、岩手県特別支援、秋田県特別支援、栃木県特別支援、京都府特別支援、岐阜県インターナショナルスクール、【公務員等】法務省、内閣府、東京都庁、千葉県庁、埼玉県庁、長崎県庁、つくば市役所、鎌倉市役所、渋谷区役所、松江市役所、東京大　等
	フロンティア医科学、ニューロサイエンス、ライフイノベーション、パブリックヘルス	【企業等】日立製作所、日本光電工業、デロイトトーマツベンチャーサポート、デル、三井住友銀行、IQVIA サービシーズ、ラボコープ・ディベロップメント・ジャパン、伊藤園、シンプレクス・ホールディングス、三和化学研究所、サイネオス・ヘルス・クリニカル、日本イーライリリー、日本ユニシス、アフラック生命保険、キヤノンメディカルシステムズ、新日本科学、富士通 Japan、日本メドトロニック、バイテック・グローバル・ジャパン、ロシュ・ダイアグノスティックス、シミックホールディングス、アドバンテック、サザンウィッシュ、日本電気、医学生物学研究所、筑波大附属病院、東邦大医療センター大森病院、茨城県立こころの医療センター、市民総合医療センター、日本保健医療大、【公務員等】農業・食品産業技術総合研究機構、新エネルギー・産業技術総合開発機構、国立保健医療科学院、筑波大　等
	体育学、スポーツ・オリンピック	【企業等】アビスパ福岡、阪神タイガース、ソフトバンク、サントリーホールディングス、シスメックス、オカムラ、LDH JAPAN、NRI ネットコム、かどや製油、サインポスト、あおき接骨院、綜合警備保障、ラーニングエージェンシー、リーフラス、パーソルキャリア、ソニー、ベイカレント・コンサルティング、リンクアンドモチベーション、エーザイ、キーエンス、NTT データ九州、ディー・エヌ・エー、チャコット、アシックス、味の素、ライクキッズ、東京スター銀行、Speee、ネスレ日本、デル・テクノロジーズ、アークレイ、美津濃、電通、フラット、日本スケート連盟、ダイナミックスポーツ医学研究所、コーチングバリュー協会、大学スポーツ協会、スリートアンドスポーツインストラクターアカデミー、日本サッカー協会、江戸川学園、山梨学院、津田塾大、帝京平成大、【教員等】明星大、龍谷大、久留米大、大阪経済大、新潟青陵大、茨城県公立高、栃木県公立高、兵庫県公立高、熊本県公立高、東京都私立高、神奈川県私立高、三重県私立高、茨城県公立中、栃木県公立中、茨城県公立小、香川県特別支援、【公務員等】筑波大、静岡県庁　等
	情報学	【企業等】野村総合研究所、電通、日立製作所、フューチャーアーキテクト、LINE、Pinduoduo、エムティーアイ、NRI ネットコム、インテージ、ソニー、PwC コンサルティング、Gunosy、京王電鉄、NSSLC サービス、グーグル・クラウド・ジャパン、富士ソフト、中国建設銀行、リクルート、三菱 UFJ 銀行、スクウェア・エニックス、ネツゲン、イルカ、日本アイ・ビー・エムデジタルサービス、パイオニア、博報堂プロダクツ、SCSK、ヤフー、テクノプロ・エンジニアリング、富士通、NTT データジェトロニクス、エーツー、日本タタ・コンサルタンシー・サービシズ、アカツキ、フォルシア、島津製作所、日本ファルコム、共同プロ保険事務所、トヨタシステムズ、日本語教育交流推進研究所、【公務員等】法務省、東京都庁、つくば市役所、科学技術振興機構、農業・食品産業技術総合研究機構、筑波大、東京大　等

共同利用施設

研究・教育活動に必要な大型、あるいは特殊な施設・設備の共同利用や、教職員、学生に対する各種の研究・教育上のサービスの提供などを目的として、共同利用施設を設置しています。

全国共同研究施設

計算科学研究センター



筑波大学計算科学研究センター（CCS）は、科学のさまざまな分野と計算機科学分野の協働・融合を軸とした「学際計算科学」を推進しています。スーパーコンピュータ及び超高速ネットワーク技術の開発を行うとともに、物理・生命・地球環境など諸領域における超高速シミュレーション及び大規模データ解析や情報技術の革新的な応用研究を行っています。文部科学省共同利用・共同研究拠点「先端学際計算科学共同研究拠点」の認定を受け、素粒子物理研究部門、宇宙物理研究部門、原子核物理研究部門、量子物性研究部門、生命科学研究部門、地球環境研究部門、高性能計算システム研究部門、計算情報学研究部門の８つの部門で研究を推進しています。

下田臨海実験センター

伊豆半島の先端、下田の豊富な生物環境を利用して海洋生物学と関連する分野の基礎研究・応用研究・教育活動を推進することにより、海洋生物の細胞機能、発生、多様性、行動、進化、生態、ならびに海洋環境、地球環境と生物の関わりを解明しています。



つくば機能植物イノベーション研究センター



植物バイオテクノロジーと遺伝資源保全利用を基調とした基盤的遺伝子研究、生産・流通を見据えた応用的研究ならびに研究成果を活用したイノベーションの創出支援と教育への展開など、食料・生物資源の安定的な確保を目的とする一貫した研究・教育を行っています。

プラズマ研究センター

世界最大のタンデムミラー型装置並びに超伝導ミラー型装置を用い、プラズマ理工学を基盤として、高温プラズマの閉じ込め性能の向上やプラズマ加熱機器開発、計測器開発、プラズマと物質との相互作用に関する研究などを通して未来エネルギー核融合に貢献する学際的な研究・教育を行っています。



放射線・アイソトープ地球システム研究センター



本センターは、陸域及び海域、生態系における放射性物質の拡散・輸送・沈着・移行過程を同定し、その実態とメカニズムを解明すること及び長期的な汚染状況の予測と被ばく線量に及ぼす影響を解明することを目的とし、放射性物質移行の実態とメカニズム、環境影響評価に関する国内外の共同研究を推進し、文科省認定拠点事業の研究成果を集約する中核機関として、環境中の放射性物質動態における世界最高レベルの研究・教育拠点形成を目指し、放射性物質をトレーサとした異分野融合型の新学問領域「アイソトープ環境動態解析学」の創成のための研究を推進しています。

ヒューマン・ハイ・パフォーマンス先端研究センター



筑波大学体育系ヒューマン・ハイ・パフォーマンス先端研究センター（Advanced Research Initiative forHuman High Performance：ARIHHP）は、心・技・体の3つの研究部門を中心として、多角的、総合的な視点からの身体活動能力最適化（ヒューマン・ハイ・パフォーマンス）の実現、ひいては人と社会の活力増進に貢献する最先端研究を行っています。さらに、健康・スポーツ科学分野初の共同利用・共同研究拠点「人の活力・健康を増進するヒューマン・ハイ・パフォーマンス先端研究拠点」として文部科学省から認定を受け、異分野融合、学内外の連携を強化しながら研究を推進しています。

先端研究センター群

生存ダイナミクス研究センター
国際統合睡眠医科学研究機構
地中海・北アフリカ研究センター
サイバニクス研究センター
人工知能科学センター
陽子線医学利用研究センター
山岳科学センター
微生物サステイナビリティ研究センター
トランスボーダー医学研究センター
宇宙史研究センター
エネルギー物質科学研究センター
西アジア文明研究センター

研究支援センター群

研究基盤総合センター
学術情報メディアセンター

教育等センター群

グローバルコミュニケーション教育センター（CEGLOC）
体育センター
アドミッションセンター
保健管理センター

筑波大学データ

令和６年度都道府県別入学者数

都道府県	入学者数	男	女
北海道	37	29	8
青森県	11	5	6
岩手県	12	6	6
宮城県	23	14	9
秋田県	12	7	5
山形県	21	13	8
福島県	30	17	13
茨城県	335	178	157
栃木県	59	31	28
群馬県	53	28	25
埼玉県	198	136	62
千葉県	170	97	73
東京都	324	199	125
神奈川県	136	88	48
新潟県	33	22	11
富山県	27	19	8
石川県	12	6	6
福井県	15	9	6
山梨県	18	7	11
長野県	40	24	16
岐阜県	20	13	7
静岡県	57	28	29
愛知県	82	48	34
三重県	13	9	4
滋賀県	10	8	2
京都府	11	7	4
大阪府	38	23	15
兵庫県	28	18	10
奈良県	12	8	4
和歌山県	10	5	5
鳥取県	8	4	4
島根県	6	3	3
岡山県	16	8	8
広島県	23	8	15
山口県	14	11	3
徳島県	7	1	6
香川県	15	7	8
愛媛県	9	4	5
高知県	8	6	2
福岡県	31	22	9
佐賀県	7	4	3
長崎県	9	7	2
熊本県	13	7	6
大分県	15	9	6
宮崎県	12	8	4
鹿児島県	18	14	4
沖縄県	29	18	11
その他	33	20	13
総　計	2,120	1,263	857

教員数　令和５年５月１日現在

区分	現員						
	学長・副学長 専任の部局長	教授	准教授	講師	助教	助手	合計
系・重点研究センターに属さない教員	14	23	16	1	18		72
人文社会系	1	64	70	4	56		195
ビジネスサイエンス系	1	25	18	0	2		46
数理物質系	1	61	63	20	60		205
システム情報系	1	67	80	3	46		197
生命環境系	1	60	68	7	71		207
人間系	1	35	34	4	33		107
体育系	1	35	39	2	49		126
芸術系	1	19	23	0	16		59
医学医療系	1	120	102	153	95	1	472
図書館情報メディア系	1	13	22	5	13		54
計算科学研究センター	0	14	9	1	17		41
生存ダイナミクス研究センター	0	5	0	4	14		23
合　　計	24	541	544	204	490		1,804

学生数　令和５年５月１日現在

学類・専門学群	１年		２年		３年		４年		５年		６年	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
総合学域群	315	98	19	1	1	1	0					
人文学類	49	47	70	51	68	50	87	69				
比較文化学類	20	43	25	58	29	55	39	69				
日本語・日本文化学類	3	18	12	22	9	18	14	33				
社会学類	37	27	44	36	59	29	67	44				
国際総合学類	39	26	37	47	35	50	41	58				
教育学類	19	15	16	20	23	14	24	23				
心理学類	16	32	27	29	15	39	21	38				
障害科学類	8	25	11	27	9	28	14	27				
生物学類	34	29	43	40	48	34	55	44				
生物資源学類	49	54	56	65	70	63	72	78				
地球学類	21	18	38	16	38	15	44	20				
数学類	27	4	34	5	39	2	44	5				
物理学類	35	11	55	12	51	12	73	10				
化学類	23	14	33	18	40	17	46	13				
応用理工学類	72	15	100	16	114	18	142	14				
工学システム学類	83	14	116	13	129	11	152	9				
社会工学類	72	20	100	21	100	33	121	39				
総合理工学位プログラム	6	3	9	1	5	2	3	0				
情報科学類	53	10	79	6	86	10	112	8				
情報メディア創成学類	22	12	42	9	61	4	77	13				
知識情報・図書館学類	35	27	63	41	61	60	87	59				
医学類	84	44	83	49	83	48	93	46	89	50	103	54
看護学類	2	65	4	65	5	75	2	92				
医療科学類	8	20	12	25	10	30	15	29				
体育専門学群	186	67	175	76	184	71	202	80				
芸術専門学群	15	87	20	84	26	79	35	94				
地球規模課題学位プログラム	1	2	3	4	2	1	2	8				
合計	1,334	847	1,326	857	1,400	869	1,684	1,022	89	50	103	54

入試情報

アドミッション・ポリシー

筑波大学は、自立して世界的に活躍できる人材を育成するため、本学の教育を受けるのに必要な基礎学力を有し、探究心旺盛で積極性・主体性に富む人材を受け入れます。

入学者選抜日程の概要

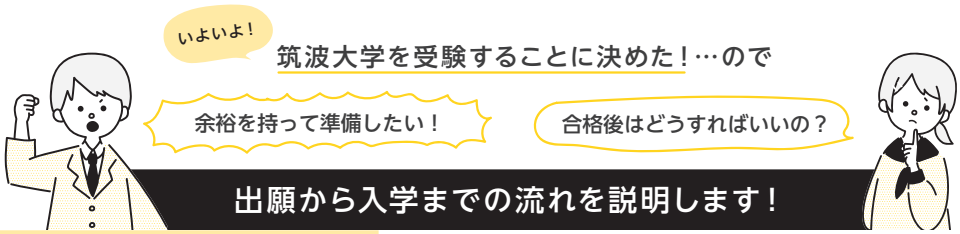
日程については、変更になる場合がありますので、学生募集要項を必ずご確認願います。

国際バカロレア特別入試（7月募集）	海外教育プログラム特別入試	アドミッションセンター入試	国際科学オリンピック特別入試	研究型人材入試	国際バカロレア特別入試（10月募集）
出願期間 令和6年7月3日(水)～7月16日(火)	出願期間 令和6年7月3日(水)～7月16日(火)	出願期間 令和6年9月2日(月)～9月4日(水)	出願期間 令和6年9月2日(月)～9月4日(水)	出願期間 令和6年9月2日(月)～9月4日(水)	出願期間 令和6年10月1日(火)～10月4日(金)
第1次選考結果通知 令和6年8月2日(金)	第1次選考結果通知 令和6年8月2日(金)	第1次選考結果通知 令和6年9月30日(月)		第1次選考結果通知 令和6年9月30日(月)	第1次選考結果通知 令和6年11月1日(金)
第2次選考(面接・口述試験) 令和6年8月19日(月)～8月22日(木)	第2次選考(面接・口述試験) 令和6年8月19日(月)～8月22日(木)	第2次選考(面接・口述試験) 令和6年10月8日(火)～10月22日(火)	個別面接試験 令和6年10月8日(火)～10月22日(火)	第2次選考(適性検査・面接・口述試験) 令和6年10月8日(火)～10月22日(火)	第2次選考(小論文、面接等) 令和6年11月28日(木)～11月29日(金)
最終合格者発表 令和6年8月28日(水)		最終合格者発表 令和6年11月1日(金)		第2次選考結果通知 令和6年11月1日(金)	最終合格者発表 令和6年12月11日(水)
入学手続 令和6年10月1日(火)～10月3日(木)		入学手続 令和6年12月4日(水)～12月6日(金)		最終合格者発表 令和7年2月12日(水)	入学手続 令和6年12月12日(木)～12月19日(木)
				入学手続 令和7年2月12日(水)～2月18日(火)	

一般選抜（個別学力検査等）		推薦入試		外国学校経験者特別入試（第1種・第2種）	
大学入学共通テスト 令和7年1月18日(土)～1月19日(日)		共通テストを課さない	共通テストを課す	10月募集	1月募集
前期日程	後期日程	出願期間 令和6年11月1日(金)～11月8日(金)		出願期間 令和6年9月13日(金)～10月3日(木)	出願期間 令和7年1月6日(月)～1月20日(月)
出願期間 令和7年1月27日(月)～2月5日(水)					
第1段階選抜発表 令和7年2月12日(水)	第1段階選抜発表 令和7年2月12日(水)	小論文,面接等 令和6年11月28日(木)～11月29日(金)		予備選考結果発表 令和6年10月31日(木)	予備選考結果発表 令和7年2月12日(水)
学力検査等 令和7年2月25日(火)～2月26日(水)	学力検査等 令和7年3月12日(水)		第1段階選抜発表 令和6年12月11日(水)	小論文、面接等 令和6年11月28日(木)～11月29日(金)	小論文、面接等 令和7年2月25日(火)
合格発表 令和7年3月8日(土)	合格発表 令和7年3月20日(木)	合格発表 令和6年12月11日(水)	合格発表 令和7年2月12日(水)	合格発表 令和6年12月11日(水)	合格発表 令和7年3月8日(土)
入学手続 令和7年3月8日(土)～3月14日(金)	入学手続 令和7年3月20日(木)～3月26日(水)	入学手続 令和6年12月12日(木)～12月19日(木)	入学手続 令和7年2月12日(水)～2月18日(火)	入学手続 令和6年12月12日(木)～12月23日(月)	入学手続 令和7年3月20日(木)～3月26日(水)

※学群英語コース特別入試、Japan-Expert（学士）プログラム特別入試、地球規模課題プログラム（学士）入試、総合理工学位プログラム（学位）入試の日程については、筑波大学入試情報サイトにてご確認ください。

出願から入学手続きまでの流れ



STEP 1　学生募集要項を確認

「学生募集要項」という提出書類、試験日程、試験会場、検定料など、受験するために必要な情報がすべて記載された資料を入試ごとに発表します（発表時期は次ページをご確認ください）。Webサイトで閲覧・ダウンロードしてください。よく確認して出願の準備をしましょう。

STEP 2　インターネット出願

インターネット出願登録サイトにアクセスし、マイページ登録後、入試種別の選択や出願者情報の入力を行ってください。

STEP 3　検定料の支払い

インターネット出願登録完了後、指定された期限までに検定料を払い込んでください。

Webへはこちらから
https://ac.tsukuba.ac.jp/apply/application-guidelines/
（入試日程と募集要項）

STEP 4　出願書類を郵送する

インターネット出願登録サイトから印刷する書類に加え、出願者が用意する書類（学校からもらう調査書等）をすべて揃え、市販の封筒に入れて出願期間内に到着するよう簡易書留・速達で郵送してください。

STEP 5　受験票の印刷

大学が出願書類を受理したあと、学生募集要項で予告している期日以降に、インターネット出願登録サイトにて受験票を取得できます。受験票に記載された内容を確認のうえ印刷し、試験当日に忘れずに持参してください。

STEP 6　試験当日



筑波キャンパス内に複数の試験場が設置されます。学生募集要項や受験票で試験場の場所や最寄りのバス停留所をよく確認してください。時間割や持ち物についても学生募集要項や受験票で案内します。余裕を持って行動しましょう。

STEP 7　合格発表

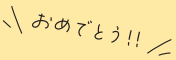


合格者の受験番号を筑波大学入試情報サイトに掲載します。受験番号で合否を確かめてください。合格者には合格通知書及び入学手続書類を合格発表日に発送します。

STEP 8　入学手続きをする

手元に届いた入学手続書類の案内をよく読んで期限までに入学手続を完了してください。Webサイト上で行う手続きと郵送で行う手続きの両方を完了する必要があります。やむを得ず入学を辞退する場合は、辞退の手続きを行ってください。

STEP 9　入学式・オリエンテーション



入学式・オリエンテーションに全員参加してください。ここから筑波大生としてスタートです！日程・場所は大学Webサイトで案内します。

令和７年度
(2025年度)

学類・専門学群の定員と募集人員

学群	学類・専門学群	入学定員	一般選抜(個別学力検査等) 前期日程 総合選抜 選抜区分別	一般選抜(個別学力検査等) 前期日程 総合選抜 2年次受入人数	一般選抜(個別学力検査等) 前期日程 学類・専門学群選抜	一般選抜(個別学力検査等) 後期日程	学校推薦型選抜 推薦入試	総合型選抜 アドミッションセンター入試	総合型選抜 研究型人材入試	総合型選抜 国際科学オリンピック特別入試	グローバル選抜 国際バカロレア特別入試 7月募集	グローバル選抜 国際バカロレア特別入試 10月募集	グローバル選抜 海外教育プログラム特別入試	グローバル選抜 外国学校経験者特別入試 第1種:私費外国人留学生等長期就学者 10月募集	グローバル選抜 外国学校経験者特別入試 第1種:私費外国人留学生等長期就学者 1月募集	グローバル選抜 外国学校経験者特別入試 第2種:帰国生徒等短期就学者 10月募集	グローバル選抜 外国学校経験者特別入試 第2種:帰国生徒等短期就学者 1月募集	グローバル選抜 学群英語コース特別入試	グローバル選抜 Japan Expert プログラム特別入試(学士)	グローバル選抜 総合理工学位プログラム(学士)入試	グローバル選抜 地球規模課題学位プログラム(学士)入試 *5
学びの言語			日本語															英語	日本語	英語	英語
入学時期			4月															9月	10月	9月	10月
大学入学共通テストを課す			○				*2		○												
筆記、実技、面接等実施時期			2/25~26			3/12	11/28~29	10/8~22			8/19~22	11/28~29	8/19~22	11/28~29	2/25	11/28~29	2/25	2/28~3/10	5/12~16	2/26~3/4	3/10~3/11
人文・文化学群	人文学類	120		30	45	20	15	5				若干		5							若干 *5
	比較文化学類	80		20	35		16	5				若干		4							
	日本語・日本文化学類	40		20			14	3				若干							3		
社会・国際学群	社会学類	80		20	40		16					若干						4			
	国際総合学類	80		20	36		20					若干						4			
人間学群	教育学類	35		3	20	3	7				若干	若干			1	1					
	心理学類	50		5	26	4	12*2				1	若干			1	1					
	障害科学類	35		3	16	3	11				若干	若干			1	1					
生命環境学群	生物学類	80		20	18	12	22	3				若干			若干	若干		5			
	生物資源学類	120	文系 126	20	52	15	27*3					若干		若干				6	若干		
	地球学類	50	理系Ⅰ 154	13	21	4	10					若干				2		若干			
理工学群	数学類	40		10	20		8					若干		2*4		2*4					
	物理学類	60	理系Ⅱ 41	15	20	8	14			若干		若干		3*4		3*4					
	化学類	50	理系Ⅲ 84	13	14	9	12			若干		若干		2*4		2*4					
	応用理工学類	120		30	49	19	16					若干								13	
	工学システム学類	130 <8>*7		33	52 <4>	20	18 <4>					若干		若干							
	社会工学類	120		30	60	12	12					若干		6*4		6*4					
情報学群	情報科学類	80 <6>*7		20	38 <4>		10 <2>	8		若干		若干		4	若干	若干					
	情報メディア創成学類	50 <4>*7		15	20		8 <2>	4 <2>		若干		若干			3*4		3*4				
	知識情報・図書館学類	100		40		10	40	5				若干		5*4		5*4					
医学群	医学類	98 <36>*7		5	44 <18>		44 <18>		若干		3		2								
	看護学類	70		5	37		25					若干							3		
	医療科学類	37		10	12		10					若干		5*4		5*4					
体育専門学群		240			130		90	8				若干		12*4		12*4					
芸術専門学群		100		5	45	10	35					若干		5*4		5*4			若干		
合計		2065 <54>	405		850 <26>	149	512 <26>	41 <2>	若干	若干	4+若干		2	64+若干				19+若干	6+若干	13	若干

*1 < >は、国による所定の審査を経て、募集の有無及び定員が確定次第、本学ウェブサイトにて公表します。医学群医学類の< >は地域枠を示します。
*2 人間学群心理学類の推薦入試では、大学入学共通テストを課します。
*3 専門高校・総合学科特別入試若干名を含みます。
*4 第1種と第2種を合わせた人数です。
*5 地球規模課題学位プログラムに所属します。

令和7年度 総合選抜入学者の2年次受入人数と優先受入人数

「総合選抜」の選抜方針

- 共通の選抜方針　外国語及び受験生が得意とする領域における思考力・判断力・表現力を重視しつつ、高等学校で学ぶ基礎・基本的な学力を全般的に評価します。
- 文系　入学の時点で、文科系志向の学生を選抜します。
- 理系Ⅰ　入学の時点で、物理学の素養を必須として理科系志向の学生を選抜します。
- 理系Ⅱ　入学の時点で、特定の分野にとらわれない理科系志向の学生を選抜します。
- 理系Ⅲ　入学の時点で、数学に重点をおいて理科系志向の学生を選抜します。

2年次の移行先候補を確認してみよう！

○は受け入れがあることを、◎は優先する選抜区分と優先受入人数を示します。

令和7年4月入学者		選抜区分募集人員	文系 126名	理系Ⅰ 154名	理系Ⅱ 41名	理系Ⅲ 84名
学群	学類	2年次受入人数※	2年次優先受入人数			
人文・文化学群	人文学類	30名	◎ (25名)	○	○	○
	比較文化学類	20名	◎ (17名)	○	○	○
	日本語・日本文化学類	20名	◎ (18名)	○	○	○
社会・国際学群	社会学類	20名	◎ (16名)	○	○	○
	国際総合学類	20名	○	○	○	○
人間学群	教育学類	3名	○	○	○	○
	心理学類	5名	○	○	○	○
	障害科学類	3名	○	○	○	○
生命環境学群	生物学類	20名	○	○	◎ (15名)	○
	生物資源学類	20名	○	○	◎ (5名)	○
	地球学類	13名	○	◎ (6名)	◎ (4名)	○
理工学群	数学類	10名	○	◎ (8名)	○	◎ (1名)
	物理学類	15名	○	◎ (10名)	○	○
	化学類	13名	○	◎ (10名)	○	○
	応用理工学類	30名	○	◎ (27名)	○	○
	工学システム学類	33名	○	◎ (30名)	○	○
	社会工学類	30名	○	◎ (15名)	○	○
情報学群	情報科学類	20名	○	○	○	◎ (16名)
	情報メディア創成学類	15名	○	○	○	◎ (12名)
	知識情報・図書館学類	40名	◎ (8名)	○	○	◎ (27名)
医学群	医学類	5名	○	○	○	○
	看護学類	5名	◎ (2名)	○	○	○
	医療科学類	10名	○	○	◎ (4名)	○
体育専門学群		受け入れはありません。				
芸術専門学群		5名	○	○	○	○
合計		405名				

学類から選ぶ場合

？

看護学類に興味があるけど、文系区分で受験して移行できるの？



該当する学類の行を見てみよう

区分で選ぶ場合

？

理系Ⅱ区分で受験すると、どの専門学群・学類に移行しやすいの？



該当する区分の列を見てみよう

どの学類・専門学群も（体育専門学群と学際サイエンス・デザイン専門学群以外）すべての区分で受験し入学した学生を受け入れの対象としています。
◎がある学類は、その区分で入学した学生を優先して受け入れる人数を設定しています。
○のみの学類・専門学群は、特定の区分を優先することなく受け入れます。
※2年次受入人数は募集人員をベースに示したものです。実際の受入人数は、入学者数によって異なります。

■個別学力検査等

大学入学共通テストを課す、前期・後期日程試験を次のように実施します。

【前期日程】

学習内容の理解度と、それに基づく思考力・応用力を評価します。各募集区分が入学者選抜方針に応じて設定する試験科目は、入学後の学習に求められる基礎能力を端的に示しています。

また、高等学校教育の内容を踏まえつつ、思考力・応用力を測る問題の作成に努めるとともに、多様化する高等学校教育への対応を図っています。

○総合選抜

令和３年度入試から、学類・専門学群の枠を超えて選抜する総合選抜を導入しました。総合選抜で入学した学生は２年次から学類や専門学群に所属します。

＊「体育専門学群」は前期日程（総合選抜）の移行先に含まれません。

○学類・専門学群選抜

出願時に学類・専門学群を決める方式です。

＊「日本語・日本文化学類」「知識情報・図書館学類」は、前期日程（学類・専門学群選抜）を実施しません。前期日程（総合選抜）を受験して、２年次から移行することになります。

令和６年度　個別学力検査等（前期日程）実施結果

学群・学類 ＼ 事項		募集人員	志願者数	志願者倍率	個別学力検査等受験者数	合格者数	総合点	合格者最高点	合格者最低点	合格者平均点	入学辞退者数	追加合格者	入学者数	過去の志願倍率 R5年度	過去の志願倍率 R4年度
総合選抜	文系	128	474	3.7	455	133	2,400	1,982	1,633	1,714.7	12	7	128	2.8	3.3
	理系Ⅰ	154	509	3.3	495	155	2,400	1,998	1,590	1,703.4	5	4	154	2.2	2.9
	理系Ⅱ	41	165	4.0	158	43	2,400	1,889	1,585	1,682.1	2	0	41	4.6	3.1
	理系Ⅲ	90	241	2.7	235	93	2,400	1,995	1,564	1,709.5	4	1	90	3.6	3.1
人文・文化学群	人文学類	45	158	3.5	151	48	2,700	2,113	1,818	1,905.4	2	0	46	3.1	3.4
	比較文化学類	37	98	2.6	94	41	1,800	1,440	1,232	1,308.9	5	1	37	3.0	3.0
	日本語・日本文化学類	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
社会・国際学群	社会学類	40	184	4.6	174	43	1,250	1,074	934	998.5	6	3	40	5.8	4.8
	国際総合学類	36	105	2.9	99	38	1,300	1,140	956	1,033.1	3	1	36	3.4	3.9
人間学群	教育学類	22	58	2.6	57	23	1,000	847	745	777.6	2	1	22	3.0	3.0
	心理学類	26	104	4.0	88	29	1,000	864	758	791.0	1	0	28	5.0	4.7
	障害科学類	17	65	3.8	63	17	1,000	850	728	773.4	0	0	17	3.9	4.8
生命環境学群	生物学類	14	52	3.7	51	14	1,800	1,473	1,293	1,370.6	0	0	14	3.9	2.8
	生物資源学類	52	138	2.7	136	52	1,800	1,465	1,248	1,306.8	1	1	52	2.6	1.9
	地球学類	21	77	3.7	77	22	2,000	1,541	1,391	1,459.6	1	0	21	2.6	2.6
理工学群	数学類	22	56	2.5	55	22	2,400	2,004	1,557	1,727.6	1	1	22	3.7	1.6
	物理学類	20	60	3.0	59	20	2,400	2,095	1,621	1,773.1	1	1	20	4.9	4.1
	化学類	14	42	3.0	41	14	2,400	1,987	1,705	1,809.1	0	0	14	2.6	3.0
	応用理工学類	49	127	2.6	122	49	2,400	2,040	1,654	1,745.2	0	0	49	2.8	2.7
	工学システム学類	55	135	2.5	132	56	2,400	1,974	1,644	1,760.1	3	2	55	2.9	3.1
	社会工学類	60	214	3.6	210	60	2,000	1,709	1,491	1,576.4	3	3	60	3.3	4.0
情報学群	情報科学類	42	144	3.4	139	44	2,500	2,169	1,845	1,986.1	5	3	42	3.4	2.9
	情報メディア創成学類	21	76	3.6	72	23	1,700	1,480	1,258	1,372.1	1	0	22	3.9	3.4
	知識情報・図書館学類	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
医学群	医学類	46	180	3.9	122	48	2,300	1,993	1,849	1,907.6	4	4	48	2.6	3.0
	医学類地域枠（全国）	10	18	4.1	18	2	2,300	—	—	—	0	0	2	3.3	2.0
	医学類地域枠（茨城）	8	56		48	8	2,300	—	—	—	0	0	8		
	看護学類	40	71	1.8	68	40	1,700	1,364	1,083	1,169.4	2	2	40	2.7	2.4
	医療科学類	15	47	3.1	47	15	1,700	1,281	1,163	1,203.8	1	1	15	3.5	3.0
体育専門学群		140	465	3.3	427	149	1,400	1,236	1,040	1,094.6	0	0	149	3.3	3.1
芸術専門学群		50	192	3.8	186	52	1,400	1,178	1,034	1,098.1	0	0	52	2.8	2.4
合　計		1,315	4,311	3.3	4,079	1,353					65	36	1,324	3.2	3.2

合格者が 10 人以下の学群・学類についての点数は公表しない。
「医学類」の各数値には地域枠併願者を含む。
「医学類地域枠（全国）」の合格者数には、「医学類地域枠（茨城）」出願者のうち、第２希望の「医学類地域枠（全国）」への合格者を含む。

【後期日程】

小論文・論述試験や面接など様々な形式の試験によって、各専門分野への関心や入学後の学習に必要な基礎能力を総合的に評価します。いずれの場合も論理的な思考力・表現力を重視した評価を行い、大学入学共通テストが測る能力とは異なる、本質に迫る理解力や分析力を重視して評価します。

なお、一部の学群・学類では、後期日程試験を実施していません。

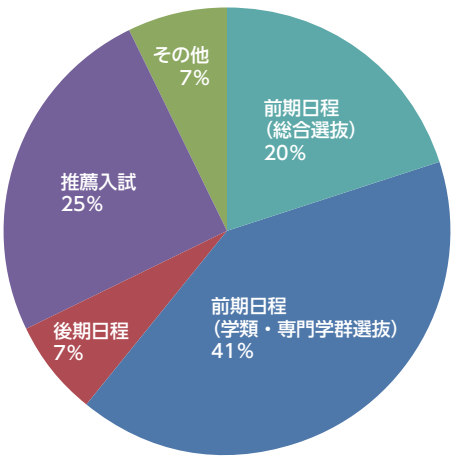
令和６年度　個別学力検査等（後期日程）実施結果

学群・学類 ＼ 事項		募集人員	志願者数	志願者倍率	個別学力検査等受験者数	合格者数	総合点	合格者最高点	合格者最低点	合格者平均点	入学辞退者数	追加合格者	入学者数	過去の志願倍率 R5年度	過去の志願倍率 R4年度
人文・文化学群	人文学類	20	226	11.3	88	26	1,100	998	865	900.1	4	0	22	13.1	17.3
	比較文化学類	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	日本語・日本文化学類	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
社会・国際学群	社会学類	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	国際総合学類	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
人間学群	教育学類	3	45	15.0	13	4	550	—	—	—	1	0	3	11.7	7.3
	心理学類	4	45	11.3	18	5	550	—	—	—	0	0	5	19.3	16.5
	障害科学類	3	30	10.0	14	3	550	—	—	—	0	0	3	10.7	7.7
生命環境学群	生物学類	18	116	6.4	55	18	1,100	949	855	890.3	2	2	18	4.7	4.0
	生物資源学類	15	104	6.9	49	15	1,000	809	741	765.1	1	1	15	7.5	7.5
	地球学類	4	31	7.8	14	4	1,200	—	—	—	2	2	4	6.0	7.0
理工学群	数学類	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	物理学類	10	126	12.6	63	11	1,000	920	846	872.9	2	1	10	10.3	10.0
	化学類	10	44	4.4	11	10	950	—	—	—	1	0	9	7.7	3.9
	応用理工学類	22	130	5.9	45	24	1,050	940	854	892.0	3	1	22	5.2	4.4
	工学システム学類	20	182	9.1	77	21	800	722	659	687.3	3	2	20	8.8	8.7
	社会工学類	15	118	7.9	61	15	1,360	1,149	1,071	1,097.6	0	0	15	8.5	10.4
情報学群	情報科学類	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	情報メディア創成学類	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	知識情報・図書館学類	11	59	5.4	28	15	1,100	984	810	854.3	2	0	13	7.1	8.3
医学群	医学類	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	看護学類	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	医療科学類	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
体育専門学群		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
芸術専門学群		5	144	28.8	31	6	600	—	—	—	0	0	6	11.8	17.4
合　計		160	1,400	8.8	567	177					21	9	165	8.5	8.8

合格者が 10 人以下の学群・学類についての点数は公表しない。

令和７年度　募集人員

個別前期（総合選抜）	個別前期（学類・専門学群選抜）	個別後期	推薦	その他	合計
405	850	149	512	149	2,065



募集人数における割合（令和7年度2,065人中）

■推薦入試

一般公募制の推薦入試です。指定校制度はありません。高等学校における平素の学習や活動の成果などによって、志願者を総合的に評価します。しっかりとした学習習慣・生活習慣を身につけた志願者の中から、小論文・面接等によって、明確な目的意識と勉学への意欲を持ち、各専門分野への適応性を示す人材を選抜します。

体育専門学群、芸術専門学群では、高度な実技能力を評価しています。

生物資源学類では専門高校・総合学科卒業見込み者を対象とした推薦入試、医学類においては地域枠推薦入試を実施しています。なお、心理学類のみ大学入学共通テストを課します。

令和６年度　推薦入試　実施結果

学群・学類 ＼ 事項			募集人員	志願者数	志願者倍率	受験者数	合格者数	入学辞退者数	入学者数	過去の志願倍率 R5年度	過去の志願倍率 R4年度
人文・文化学群	人文学類		20	67	3.4	67	21	0	21	2.5	2.3
	比較文化学類		20	44	2.2	44	20	0	20	2.3	1.6
	日本語・日本文化学類		14	25	1.8	24	15	0	15	1.6	1.8
社会・国際学群	社会学類		16	59	3.7	58	16	0	16	3.3	3.5
	国際総合学類		20	62	3.1	62	21	0	21	1.7	1.9
人間学群	教育学類		7	45	6.4	44	7	0	7	4.9	4.0
	心理学類		15	54	3.6	54	14	0	14	2.3	2.1
	障害科学類		12	34	2.8	33	14	0	14	1.6	1.9
生命環境学群	生物学類		20	59	3.0	59	20	0	20	1.5	2.2
	生物資源学類	一般推薦	27	76	2.8	76	27	0	27	1.8	1.3
		専門高校・総合学科特別入試		0		0	0	0	0		
	地球学類		12	22	1.8	22	12	0	12	1.7	1.6
理工学群	数学類		8	24	3.0	24	9	0	9	4.3	3.8
	物理学類		15	34	2.3	34	15	0	15	2.2	2.1
	化学類		13	42	3.2	42	13	0	13	1.8	2.8
	応用理工学類		16	33	2.1	33	16	0	16	1.9	2.3
	工学システム学類		20	73	3.7	73	21	0	21	3.2	3.3
	社会工学類		15	58	3.9	57	15	0	15	2.5	2.7
情報学群	情報科学類		10	38	3.8	38	10	0	10	4.3	3.7
	情報メディア創成学類		8	31	3.9	31	8	0	8	4.3	3.6
	知識情報・図書館学類		40	56	1.4	55	40	0	40	1.5	1.6
医学群	医学類	一般推薦	44	254	5.8	254	44	0	44	5.3	5.0
		地域枠	18	78	4.3	78	18	0	18	3.8	3.8
	看護学類		25	59	2.4	59	25	0	25	2.3	2.3
	医療科学類		12	46	3.8	46	12	0	12	2.8	1.8
体育専門学群			88	156	1.8	155	91	0	91	1.8	1.6
芸術専門学群			40	152	3.8	152	40	0	40	3.7	2.8
合　計			555	1,681	3.0	1,674	564	0	564	2.6	2.5

■アドミッションセンター（AC）入試

ペーパーテストでは測れない学力―問題発見・解決能力―を重視する選抜です。

志願者が自由に作成する自己推薦資料に基づいて、明確な目的意識を持ち、自ら学び自ら考え、主体的に判断して行動する人材を選抜します。学校長の推薦は必要ありません。調査書の成績基準もありません。既卒者、社会人も出願できます。

なお、この入試の合格者は、募集人員より多い場合も少ない場合もあります。合格者が募集人員に満たない場合は、その分の人数を「個別学力検査等（前期日程）」の募集人員に含めますが、合格者が募集人員より多い場合は、ほかの入試の募集人員が減ることはありません。詳しくは、本学入試情報サイトをご覧ください。
https://ac.tsukuba.ac.jp

令和６年度　アドミッションセンター入試　実施結果

学群・学類 ＼ 事項		募集人員	志願者数	志願者倍率	第１次選考の合格者数	最終合格者数	入学辞退者数	入学者数	過去の志願倍率 R5年度	過去の志願倍率 R4年度
人文・文化学群	人文学類	5	30	6.0	7	4	0	4	5.6	4.0
	比較文化学類	5	43	8.6	9	5	2	3	8.2	5.2
	日本語・日本文化学類	3	5	1.7	4	3	0	3	4.0	4.7
生命環境学群	生物学類	3	31	10.3	6	4	1	3	9.7	7.0
情報学群	情報科学類	8	52	6.5	8	8	0	8	4.5	4.6
	情報メディア創成学類	4	36	9.0	5	4	1	3	7.3	7.3
	知識情報・図書館学類	5	18	3.6	8	5	2	3	5.4	4.4
体育専門学群		12	103	8.6	20	14	2	12	8.7	6.5
合　計		45	318	7.1	67	47	8	39	6.8	5.5

■研究型人材入試

自然科学において自ら発見した課題に対し、主体的かつ継続的に取り組み、その結果、到達した高い成果を評価する新たな入学者選抜を実施します。

入学後は研究室演習、新医学専攻、ヒューマニクス学位プログラム等に積極的に参加し研究者としての素養を培うことができ、卒業後は医学・生命科学を担う研究者として国際的に活躍することが期待されています。

令和６年度　研究型人材入試　実施結果

学群・学類 ＼ 事項		募集人員	志願者数	第１次選考の合格者数	第２次選考の合格者数	最終合格者数	入学者数	過去の状況 R5年度 志願者数	過去の状況 R5年度 合格者数	過去の状況 R4年度 志願者数	過去の状況 R4年度 合格者数
医学群	医学類	若干名	3	1	1	0	0	6	0	7	1
合　計		―	3	1	1	0	0	6	0	7	1

■国際科学オリンピック特別入試

筑波大学は、理数分野における秀でた人材の育成を応援したいと考えています。そのため、理数分野に関して高度な理解力、思考力、応用力と強い学習意欲を持つ人を対象に特別入試を行っています。

国際科学オリンピック特別入試は、過去３年間に、物理学、化学、情報の国際科学オリンピックに出場した人や、その代表者選考会等において一定の成績を収めた人を対象として、明確な目標を持って学ぶ意欲や計画的に学ぶ意欲を評価する入試です。

令和６年度　国際科学オリンピック特別入試　実施結果

学群・学類 ＼ 事項		募集人員	志願者数	合格者数	入学者数	過去の状況 R5年度 志願者数	過去の状況 R5年度 合格者数	過去の状況 R4年度 志願者数	過去の状況 R4年度 合格者数
理工学群	物理学類	若干名	1	1	1	0	0	1	1
	化学類	若干名	0	0	0	0	0	1	1
情報学群	情報科学類	若干名	0	0	0	1	1	0	0
	情報メディア創成学類	若干名	0	0	0	0	0	0	0
合　計		―	1	1	1	1	1	2	2

■国際バカロレア特別入試

国際バカロレア資格を取得した者を対象として、主体的に学ぶための知識や思考力、明確な目標をもって学ぶ意欲、また語学力を含めたコミュニケーション能力などを重視して入学者を選抜します。

令和６年国際バカロレア特別入試　実施結果

7月募集

学群・学類 ＼ 事項		志願者数	合格者数	入学者数	過去の状況 R5年度 志願者数	R5年度 合格者数	R4年度 志願者数	R4年度 合格者数
人間学群	教育学類	0	0	0	0	0	0	0
	心理学類	0	0	0	5	1	1	0
	障害科学類	1	0	0	1	1	0	0
医学群	医学類	8	3	2	9	4	3	2
	看護学類	0	0	0	0	0	0	0
合　計		9	3	2	15	6	4	2

10月募集

学群・学類 ＼ 事項		志願者数	合格者数	入学者数	過去の状況 R5年度 志願者数	R5年度 合格者数	R4年度 志願者数	R4年度 合格者数
人文・文化学群	人文学類	1	0	0	1	0	0	0
	比較文化学類	0	0	0	0	0	3	1
	日本語・日本文化学類	0	0	0	0	0	0	0
社会・国際学群	社会学類	4	1	0	2	0	4	1
	国際総合学類	8	2	1	6	3	2	1
人間学群	教育学類	0	0	0	0	0	2	1
	心理学類	1	1	1	2	0	3	0
	障害科学類	1	0	0	0	0	0	0
生命環境学群	生物学類	1	0	0	2	0	2	0
	生物資源学類	1	0	0	0	0	0	0
	地球学類	0	0	0	0	0	0	0
理工学群	数学類	0	0	0	0	0	1	1
	物理学類	1	0	0	0	0	0	0
	化学類	1	0	0	0	0	0	0
	応用理工学類	0	0	0	1	1	1	1
	工学システム学類	0	0	0	2	0	4	0
	社会工学類	3	0	0	5	2	1	0
情報学群	情報科学類	4	1	0	2	0	0	0
	情報メディア創成学類	0	0	0	0	0	2	0
	知識情報・図書館学類	0	0	0	0	0	0	0
医学群	医学類	4	0	0	3	0	5	2
	看護学類	1	0	0	0	0	0	0
	医療科学類	0	0	0	0	0	0	0
体育専門学群		1	0	0	0	0	2	1
芸術専門学群		4	2	2	1	1	2	2
合　計		36	7	4	27	7	34	11

募集人員は、医学類は3名（7月募集と10月募集の合計）、その他は募集単位毎に若干名である。

■地球規模課題学位プログラム（学士）入試

本プログラムを通じて地球規模課題全般を俯瞰する幅広い基礎知識を身に付け、人間と環境に関する課題を解決するために分野を超えて必要な情報・技術を自ら意欲的に求めていく姿勢をもち、多くの選択肢の中から最適な解決を意思決定できる人材を養成します。

令和５年度 地球規模課題学位プログラム（学士）入試実施結果

募集人員	志願者数	合格者数	入学者数	過去の状況 R4年度 志願者数	R4年度 合格者数	R3年度 志願者数	R3年度 合格者数
若干名	56	9	9	37	6	33	8

■海外教育プログラム特別入試

この入試では、ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められるアビトゥア（Zeugnis der Allgemeinen Hochschulreife）、フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア（Diplôme du Baccalauréat de l'Enseignement du Second Degré）、英国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル（GCE Advanced level）、米国において College Board が主催する SAT Reasoning Test, SAT Subject Tests 及び Advanced Placement の資格取得者や受験者を対象として、入学者を選抜します。

令和６年度海外教育プログラム特別入試 実施結果

学群・学類 ＼ 事項		募集人員	志願者数	合格者数	入学者数	過去の状況 R5年度 志願者数	R5年度 合格者数	R4年度 志願者数	R4年度 合格者数
医学群	医学類	2	10	1	1	13	0	18	1

■Japan-Expert（学士）プログラム特別入試

日本に興味・関心を有する留学生を対象に、高度な日本語能力を習得の上、日本の文化・社会を理解し、農業、ヘルスケア、日本芸術、日本語教育のいずれかの専門性を身に付け、各専門分野における問題の発見・解決を日本語により可能とする専門知識と思考力を有する人材育成を目的としています。

本プログラムでは、日本語能力の要件を緩和することにより、これまで日本語能力不足で受験できなかった学生にも受験の機会を広げ、入学後は半年間の日本語教育を集中的に行います。

令和５年度 Japan-Expert（学士）プログラム特別入試 実施結果

	募集人数	志願者数	合格者数	入学者数	過去の状況 R4年度 志願者数	R4年度 合格者数	R3年度 志願者数	R3年度 合格者数
アグロノミスト養成コース（生命環境学群生物資源学類）	若干名	12	1	1	14	1	22	2
ヘルスケアコース（医学群看護学類）	若干名	11	3	3	11	3	21	3
日本芸術コース（芸術専門学群）	若干名	12	2	2	5	2	5	1
日本語教師養成コース（人文・文化学群日本語・日本文化学類）	3	7	3	3	20	3	52	3
合　計	3+若干名	42	9	9	50	9	100	9

■総合理工学位プログラム（学士）入試

総合理工学位プログラム（学士）へ入学するための入試です。本入試は、外国の正規の学校教育における 12 年の教育課程の修了者など募集要項に示す出願資格を満たす者を対象としています。

本プログラムでは、世界標準化された講義等を英語で履修して工学士が取得できます。近未来の超スマート社会の実現と付加価値の高いイノベーション創出のために、ナノテクノロジーやデバイス等のミクロスケールからロボティクスや宇宙工学等のマクロスケールにわたる工学分野の課題を原理から理解したうえで、高度なプログラミング技術の素養のもと創造的解決に結びつけることのできるグローバル人材を育成することを目指しています。

令和５年度 総合理工学位プログラム（学士）入試実施結果

募集人員	志願者数	合格者数	入学者数	過去の状況 R4年度 志願者数	R4年度 合格者数	R3年度 志願者数	R3年度 合格者数
若干名	111	22	8	70	10	83	11

■学群英語コース特別入試

主に日本以外の国で教育を受けた人のための入試です。社会学類及び国際総合学類は１年次入学のみを対象とし、グローバルな視点で日本を含む国際社会の問題解決に貢献できる人材を育成します。生物学類、生物資源学類及び地球学類は１年次入学と編入学両方を対象とし、地球環境、エネルギー、食糧等の地球規模の問題解決に必要な視座を学びます。医療科学類は編入学のみを対象とし、国際医療科学の現場で活躍できる人材養成を目指し教育を行います。いずれの学類においても、入学時期は秋学期となり、英語による授業のみで学位を取得できます。

令和5年度 学群英語コース(学士)入試実施結果　過去の状況

学群・学類＼事項		募集人員	志願者数	合格者数	入学者数	R4年度 志願者数	R4年度 合格者数	R3年度 志願者数	R3年度 合格者数
社会・国際学群	社会学類	4	22	9	3	32	8	38	8
	国際総合学類	4	20	9	8	27	8	43	7
生命環境学群	生物学類	5	58	9	6	41	7	45	8
	生物資源学類	6	20	9	5	13	6	31	6
	地球学類	若干名	10	2	1	9	2	7	4
合計		19+若干名	130	38	23	122	31	164	33

(編入学)

学群・学類＼事項		募集人員	志願者数	合格者数	入学者数	R4年度 志願者数	R4年度 合格者数	R3年度 志願者数	R3年度 合格者数
生命環境学群	生物学類	若干名	2	0	0	3	3	1	0
	生物資源学類	若干名	1	1	1	0	0	2	0
	地球学類	若干名	0	0	0	0	0	1	0
医学群	医療科学類	若干名	2	2	2	1	1	4	3
合計		若干名	5	3	3	4	4	8	3

■私費外国人留学生入試

日本国籍をもたず、外国人のための教育を受けた人のための入試です。大学入学共通テストを免除し、日本留学試験を課しています。本入試は令和７年度より「外国学校経験者特別入試」に再編されます。同入試については次ページをご参照ください。

令和６年私費外国人留学生入試　実施結果　過去の状況

学群・学類＼事項		志願者数	合格者数	入学者数	R5年度 志願者数	R5年度 合格者数	R4年度 志願者数	R4年度 合格者数
人文・文化学群	人文学類	6	0	0	6	0	4	0
	比較文化学類	12	2	1	14	3	12	4
	日本語・日本文化学類	−	−	−	−	−	−	−
社会・国際学群	社会学類	−	−	−	−	−	−	−
	国際総合学類	−	−	−	−	−	−	−
人間学群	教育学類	4	1	0	3	0	13	2
	心理学類	10	1	1	12	2	12	1
	障害科学類	2	0	0	1	0	1	0
生命環境学群	生物学類	15	1	0	8	0	15	2
	生物資源学類	−	−	−	−	−	−	−
	地球学類	4	1	1	1	0	4	1
理工学群	数学類	8	0	0	2	0	4	0
	物理学類	16	3	2	13	1	6	4
	化学類	6	2	1	12	1	15	2
	応用理工学類	−	−	−	4	0	13	2
	工学システム学類	16	3	3	19	0	13	0
	社会工学類	3	0	0	12	1	5	2
情報学群	情報科学類	13	3	2	9	0	12	0
	情報メディア創成学類	4	1	1	4	0	7	1
	知識情報・図書館学類	9	5	5	12	5	14	5
医学群	医学類	−	−	−	−	−	−	−
	看護学類	0	0	0	1	0	0	0
	医療科学類	6	0	0	1	1	1	1
体育専門学群		2	0	0	2	0	1	0
芸術専門学群		3	1	1	4	2	3	1
合　計		139	24	18	140	16	155	28

募集人員は、募集単位毎に若干名である。

■編入学試験

高等専門学校や短期大学卒業後さらに学びたい人等を対象とした学群編入学試験、医学を志す人を対象とした医学類編入学試験（2年次編入）を実施しています。 学群編入学は3年次編入が原則ですが、2年次編入となる場合があります。編入年次は合格発表時にお知らせします。

令和６年　編入学試験実施結果　過去の状況

学群・学類＼事項		募集人員	志願者数	合格者数	入学者数	R5年度 志願者数	R5年度 合格者数	R4年度 志願者数	R4年度 合格者数
社会・国際学群	社会学類	10	67	11	10	72	12	120	10
	国際総合学類								
生命環境学群	生物学類	若干名	20	4	4	15	5	20	2
	生物資源学類	10	34	10	10	32	11	32	12
	地球学類	若干名	8	1	1	4	1	4	2
理工学群	数学類	若干名	13	1	0	11	2	7	0
	物理学類	若干名	17	1	1	19	2	13	4
	化学類	若干名	26	1	1	21	6	11	7
	応用理工学類	10	47	12	10	39	21	40	20
	工学システム学類	若干名	82	4	1	53	10	61	12
	社会工学類	若干名	27	2	1	36	6	28	9
情報学群	情報科学類	10	116	16	14	138	19	111	16
	情報メディア創成学類	10	61	15	13	91	14	51	12
	知識情報・図書館学類	10	42	14	14	31	14	38	16
医学群	医学類	5	103	7	5	103	6	113	6
	看護学類	10	21	10	10	20	10	16	10
	医療科学類	3	3	1	1	2	1	2	0
合　計		78+若干名	687	110	96	687	140	667	138

情報科学類及び情報メディア創成学類の志願者数については、単願者及び併願第１志望者の合計である。
なお、情報科学類の第２志望者は 53 名、情報メディア創成学類の第２志望者は 92 名である。

■帰国生徒特別入試

【10 月入学】

10 月に生命環境学群生物学類の学群英語コースへ入学を希望する帰国生徒向け特別入試です。

令和７年度入試から帰国生徒が学群英語コースへ出願可能となるため、本入試は実施しません。

【4 月入学】

４月に体育専門学群と芸術専門学群へ入学を希望する帰国生徒向け特別入試です。本入試は令和７年度より「外国学校経験者特別入試」に再編されます。同入試については次ページをご参照ください。

令和５年度帰国生徒特別入試(10月入学)実施結果　過去の状況

学群・学類＼事項		志願者数	合格者数	入学者数	R4年度 志願者数	R4年度 合格者数	R3年度 志願者数	R3年度 合格者数
生命環境学群	生物学類	9	0	0	8	1	—	—
合　計		9	0	0	8	1	—	—

募集人員は、募集単位毎に若干名である。

令和６年度帰国生徒特別入試(4月入学)　実施結果　過去の状況

学群・学類＼事項	志願者数	合格者数	入学者数	R5年度 志願者数	R5年度 合格者数	R4年度 志願者数	R4年度 合格者数
体育専門学群	0	0	0	3	2	2	1
芸術専門学群	3	0	0	1	1	3	0
合　計	3	0	0	4	3	5	1

募集人員は、募集単位毎に若干名である。

■外国学校経験者特別入試

筑波大学は、学生の多様性を高め、国際社会で活躍する人材の育成をさらに推進するため、学習にグローバルな視点を活かせる機会を拡大します。2025 年度（令和 7 年度）より、志願者の国籍を問わず、外国の教育制度のもとで一定期間学校教育を受けた者を対象とした入試を実施します。これは、従前の私費外国人留学生入試、帰国生徒特別入試を統合改編したもので、長期間にわたって国外の教育課程で学んだ「第 1 種：私費外国人留学生等長期就学者」と、日本での教育課程と海外の教育課程の両方で学んだ「第 2 種：帰国生徒等短期就学者」の 2 種類があります。

入試は 11 月または 2 月に筑波キャンパスで実施し、4 月に入学し、一般選抜や推薦入試を受験した者と同じ教育課程で学び、日本語で学位を取得します。学類・専門学群によって異なりますが、日本留学試験（EJU）、日本語能力試験（JLPT）、英語資格・検定試験、小論文、面接、実技検査（体育専門学群及び芸術専門学群）などで選考します。

第 1 種：私費外国人留学生等長期就学者は、小学校・中学校・高等学校にあたる期間のうち通算 8 年以上を外国の教育機関に就学した者をあるいは国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCEA レベルを外国において取得した者を対象にします（日本の小学校・中学校・高等学校に通算 4 年以上在学した者を除く）。

第 2 種:帰国生徒等短期就学者は、日本の小学校･中学校･高等学校に通算 4 年以上在学し、日本の中学校最終学年と高等学校にあたる期間のうち、外国の学校教育課程に基づく教育機関に継続して 2 年以上就学した者あるいは国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCEA レベルを外国において取得した者を対象とします。

なお、同一年度に「第 1 種」と「第 2 種」の両方を受験することはできません。「推薦入試」「国際バカロレア特別入試（10 月募集）」との併願はできません。

入学準備教育に係る各教育組織の取組みについて（令和５年度入学者）

アドミッションセンター入試

●比較文化学類

入学手続きを完了した学生に、①「比較文化学類入学後の抱負」について 400 字詰原稿用紙 2 枚（800 字程度、横書き）、②比較文化学類ＨＰに掲載している「お薦め図書」から選んだ一冊の感想について 400 字詰原稿用紙 5 枚（2,000 字程度、横書き）にそれぞれまとめ、比較文化学類長室まで郵送することを、在籍する学校長を通じて依頼している。また、入学までの勉学の進め方や推薦図書などを紹介した冊子を送付している。

●日本語・日本文化学類

日本語・日本文化学類のウェブサイトにある「入学試験案内」のページに「推薦図書　―日本語・日本文化学類に入るまでに読んでほしい本―」として、教員からの推薦図書を掲載している。(http://www.japanese.tsukuba.ac.jp/admission/#suisen)

●生物学類

入学手続きを完了した学生に、入学後に必要な学力やスキルを記した課題ならびに指定教科書を知らせ、入学前の自主学習を指示している。

国際バカロレア特別入試

●比較文化学類

入学手続きを完了した学生に、①「比較文化学類入学後の抱負」について 400 字詰原稿用紙 2 枚（800 字程度、横書き）、②比較文化学類ＨＰに掲載している「お薦め図書」から選んだ一冊の感想について 400 字詰原稿用紙 5 枚（2,000 字程度、横書き）にそれぞれまとめ、比較文化学類長室まで郵送することを、在籍する学校長を通じて依頼している。また、入学までの勉学の進め方や推薦図書などを紹介した冊子を送付している。

推薦入試

●比較文化学類

入学手続きを完了した学生に、①「比較文化学類入学後の抱負」について 400 字詰原稿用紙 2 枚（800 字程度、横書き）、②比較文化学類ＨＰに掲載している「お薦め図書」から選んだ一冊の感想について 400 字詰原稿用紙 5 枚（2,000 字程度、横書き）にそれぞれまとめ、比較文化学類長室まで郵送することを、在籍する学校長を通じて依頼している。また、入学までの勉学の進め方や推薦図書などを紹介した冊子を送付している。

●日本語・日本文化学類

日本語・日本文化学類のウェブサイトにある「入学試験案内」のページに「推薦図書―日本語・日本文化学類に入るまでに読んでほしい本―」として、教員からの推薦図書を掲載している。(http://www.japanese.tsukuba.ac.jp/admission/#suisen)

●生物学類

入学手続きを完了した学生に、入学後に必要な学力やスキルを記した課題ならびに指定教科書を知らせ、入学前の自主学習を指示している。

●生物資源学類

主に推薦入試合格者を対象として、高校から大学へ学習観・学習法をアップデートすることを目的とし、15 年以上にわたって独自の入学前教育プログラムを実施している。原則的に希望者を対象とし、以下の内容を提供している。

・自習に適した教科書の推薦
・基礎学力自己診断と結果に対する助言
・オンラインによるスクーリング
・レポート課題の提出と助言・上級生が担当するピア
・チュートリアル教育

●社会工学類

数学科目に関する入学前の準備の手引きを送付している。

●体育専門学群

入学予定者・保護者・学校長・クラス担任・部活顧問に文書を送付し次の内容を依頼している。

(1) 英語の基礎を学習・復習しておくこと（保護者・学校に指導依頼）

(2) 学群長推薦書（課題図書）の中から 2 冊を選択し、印象に残った部分の要旨および印象に残った理由を各 2400 字程度にまとめ、提出を求めた（保護者・学校に指導依頼）。

●芸術専門学群

高等学校長宛に文書を送付し、入学予定者に英語の基礎的学習を行っておくよう依頼している。

前期日程・後期日程の試験科目等

（令和７年度入試）

注：令和７年度入試から、新しい学習指導要領に対応した教科・科目に変更します。以下に示す教科・科目等は、今後変更が生じる可能性があります。詳細は、令和６年７月以降に公開予定の入学者選抜要項、および該当する入試の学生募集要項を必ず参照してください。

※筑波大学では、大学入学共通テストの「情報Ⅰ」を全員に課します。導入初年度の令和７年度入試では、以下の負担軽減策を講じます。

【令和７年度入試の「情報Ⅰ」負担軽減措置】

受験者全員に対し一律に点数（75 点）を与え、その点数に、実際の得点（100 点満点）を 25% に圧縮した点数を加えたものを換算得点（100 点満点）とします。

よって、換算得点の算出式は　換算得点＝ 75+ 実際の得点× 0.25　となります。

※令和８年度入試以降の負担軽減措置は、当該年度入試の募集要項等でご確認ください。

※大学入学共通テストの「地理総合／歴史総合／公共」を選択した者は、選択解答した問題の出題範囲の科目と同一名称を含む科目の組合せを選択することはできません。

※大学入学共通テストにおいて、旧教育課程履修者（平成 21 年３月告示の高等学校学習指導要領に基づく教育課程）は、「経過措置科目」という旧課程の学習指導要領内容からの出題科目を利用できます。

※個別学力検査において、旧教育課程履修者（平成 21 年３月告示の高等学校学習指導要領に基づく教育課程）に対して特別な経過措置はとりませんが、出題内容によって配慮します。

①個別学力検査等　前期日程（総合選抜）

学力検査等の区分・募集人員		大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
総合選抜 405名	文系 126名	国 地歴公民 数 理 外 情	国語 地総地探、歴総日探、歴総世探、地歴公、公倫、公政経 } から2 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C } 計2 物基・化基・生基・地基、物理、化学、生物、地学 } から1 英（リスニング含む。）、独、仏、中、韓から1 情報Ⅰ [6・7教科8科目]	国語 地歴 公民 数 外	論国・文国・古探 地理探、日探、世探から1 倫 } 1教科選択（事前選択） 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C 英、独、仏、中から1 （事前選択）
	理系Ⅰ 154名	国 地歴公民 数 理 外 情	国語 地総地探、歴総日探、歴総世探、地歴公、公倫、公政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C } 計2 物理、化学、生物、地学から2 英（リスニング含む。）、独、仏、中、韓から1 情報Ⅰ [6教科8科目]	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C 物基・物 化基・化、生基・生、地基・地から1 } 計2科目 英、独、仏、中から1 （事前選択）
	理系Ⅱ 41名	国 地歴公民 数 理 外 情	国語 地総地探、歴総日探、歴総世探、地歴公、公倫、公政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C } 計2 物理、化学、生物、地学から2 英（リスニング含む。）、独、仏、中、韓から1 情報Ⅰ [6教科8科目]	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C 物基・物、化基・化、生基・生、地基・地 } 2科目選択 英、独、仏、中から1 （事前選択）
	理系Ⅲ 84名	国 地歴公民 数 理 外 情	国語 地総地探、歴総日探、歴総世探、地歴公、公倫、公政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C } 計2 物理、化学、生物、地学から2 英（リスニング含む。）、独、仏、中、韓から1 情報Ⅰ [6教科8科目]	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C 物基・物、化基・化、生基・生、地基・地 } 2科目選択 英、独、仏、中から1 （事前選択）

令和8年度入試から、日本語・日本文化学類の前期日程試験を実施します。

②個別学力検査等　前期日程（学類・専門学群選抜）
③個別学力検査等　後期日程

人文学類

学力検査等の区分・募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
	教科	科目名等	教科等	科目名等
前期〔学類・専門学群選抜〕45名	国	国語	国	論国・文国・古探
	地歴公民	地総地探、歴総日探、歴総世探、地歴公、公倫、公政経 から2	地歴 公民	地理探、日探、世探から1 倫 1教科選択
	数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C 計2	外	英、独、仏、中から1 (事前選択)
	理	物基・化基・生基・地基、物理、化学、生物、地学 から1		
	外	英（リスニング含む。）、独、仏、中、韓から1		
	情	情報Ⅰ		
		[6・7教科8科目]		
後期 20名			その他	小論文 〔哲学、史学、考古学・民俗学、言語学等の人文系諸分野の勉学への意欲と適性を問う。特に日本語の文章の読解を通して、論理的な思考力と表現力を評価する。〕

比較文化学類

学力検査等の区分・募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
	教科	科目名等	教科等	科目名等
前期〔学類・専門学群選抜〕35名	国	国語	国	論国・文国・古探
	地歴公民	地総地探、歴総日探、歴総世探、地歴公、公倫、公政経 から2	地歴 公民	地理探、日探、世探から1 倫 1教科選択
	数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C 計2	外	英、独、仏、中から1 (事前選択)
	理	物基・化基・生基・地基、物理、化学、生物、地学 から1		
	外	英（リスニング含む。）、独、仏、中、韓から1		
	情	情報Ⅰ		
		[6・7教科8科目]		
後期	実施しない。			

日本語・日本文化学類

学力検査等の区分・募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
	教科	科目名等	教科等	科目名等
前期〔学類・専門学群選抜〕	実施しない。			
後期	実施しない。			

個別学力検査等（前期・後期日程）を実施せず、総合選抜入学者を2年次から20名受け入れます。

社会学類

学力検査等の区分・募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
	教科	科目名等	教科等	科目名等
前期〔学類・専門学群選抜〕40名	国	国語	国	論国・文国・古探
	地歴公民	地総地探、歴総日探、歴総世探、地歴公、公倫、公政経 から1	地歴 数	地理探、日探、世探から1 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C 1教科選択（事前選択）
	数	数Ⅰ・数A、数Ⅰ、数Ⅱ・数B・数Cから1	外	英
	理	物基・化基・生基・地基、物理、化学、生物、地学 から1		
	外	英（リスニング含む。）、独、仏、中、韓から1		
	情	情報Ⅰ		
		[6教科6科目]		
後期	実施しない。			

国際総合学類

学力検査等の区分・募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
	教科	科目名等	教科等	科目名等
前期〔学類・専門学群選抜〕36名	国	国語	国	論国・文国・古探
	地歴公民	地総地探、歴総日探、歴総世探、地歴公、公倫、公政経 から1	地歴 数 理	地理探、日探、世探から1 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C 物基・物、化基・化、生基・生、地基・地 から1 1教科選択（事前選択）
	数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C 計2		
	理	物基・化基・生基・地基、物理、化学、生物、地学 から1	外	英、独、仏、中から1 (事前選択)
	外	英（リスニング含む。）、独、仏、中、韓から1		
	情	情報Ⅰ		
		[6教科7科目]		
後期	実施しない。			

教育学類

学力検査等の区分・募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
	教科	科目名等	教科等	科目名等
前期〔学類・専門学群選抜〕20名	国	国語	国	論国・文国・古探 ｝1教科選択（事前選択）
	地歴公民	地総地探、歴総日探、歴総世探、地歴公、公倫、公政経 ｝から1	地歴	地理探、日探、世探から1
			公民	倫
	数	数Ⅰ・数A ｝計2 数Ⅱ・数B・数C	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C
	理	物基・化基・生基・地基、物理、化学、生物、地学 ｝から1	理	物基・物、化基・化、生基・生、地基・地 ｝から1
	外	英（リスニング含む。）、独、仏、中、韓から1	外	英、独、仏、中から1（事前選択）
	情	情報Ⅰ		
		［6教科7科目］		
後期 3名			その他	論述〔応答性、論理性等を評価する。〕

心理学類

学力検査等の区分・募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
	教科	科目名等	教科等	科目名等
前期〔学類・専門学群選抜〕26名	国	国語	国	論国・文国・古探 ｝1教科選択（事前選択）
	地歴公民	地総地探、歴総日探、歴総世探、地歴公、公倫、公政経 ｝から1	地歴	地理探、日探、世探から1
			公民	倫
	数	数Ⅰ・数A ｝計2 数Ⅱ・数B・数C	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C
	理	物基・化基・生基・地基、物理、化学、生物、地学 ｝から1	理	物基・物、化基・化、生基・生、地基・地 ｝から1
	外	英（リスニング含む。）	外	英
	情	情報Ⅰ		
		［6教科7科目］		
後期 4名			その他	論述〔応答性、論理性等を評価する。〕

障害科学類

学力検査等の区分・募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
	教科	科目名等	教科等	科目名等
前期〔学類・専門学群選抜〕16名	国	国語	国	論国・文国・古探 ｝1教科選択（事前選択）
	地歴公民	地総地探、歴総日探、歴総世探、地歴公、公倫、公政経 ｝から1	地歴	地理探、日探、世探から1
			公民	倫
	数	数Ⅰ・数A ｝計2 数Ⅱ・数B・数C	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C
	理	物基・化基・生基・地基、物理、化学、生物、地学 ｝から1	理	物基・物、化基・化、生基・生、地基・地 ｝から1
	外	英（リスニング含む。）	外	英
	情	情報Ⅰ		
		［6教科7科目］		
後期 3名			その他	論述〔応答性、論理性等を評価する。〕

生物学類

学力検査等の区分・募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
	教科	科目名等	教科等	科目名等
前期〔学類・専門学群選抜〕18名	国	国語	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C
	地歴公民	地総地探、歴総日探、歴総世探、地歴公、公倫、公政経 ｝から1	理	物基・物、化基・化、生基・生、地基・地 ｝2科目選択
	数	数Ⅰ・数A ｝計2 数Ⅱ・数B・数C	外	英
	理	物理、化学、生物、地学から2		
	外	英（リスニング含む。）		
	情	情報Ⅰ		
		［6教科8科目］		
後期 12名			その他	個別面接〔生物学に対する考え方、理解力、広い興味を問う。〕

生物資源学類

学力検査等の区分・募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
	教科	科目名等	教科等	科目名等
前期〔学類・専門学群選抜〕52名	国 地歴公民 数 理 外 情	国語 地総地探、歴総日探、歴総世探、地歴公、公倫、公政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C } 計2 物理、化学、生物、地学から1 英（リスニング含む。） 情報Ⅰ ［6教科7科目］	数 理 地歴 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C 物基・物、化基・化、生基・生、地基・地 } 2科目選択 地理探 } 英
後期15名	国 数 外 情	国語 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C } 計2 英（リスニング含む。） 情報Ⅰ	その他	個別面接 〔生物資源学類における勉学の意欲、主体性、論理的思考力、表現力、学習適格性等を評価する。〕
	① 地歴公民 理	地総地探、歴総日探、歴総世探、地歴公、公倫、公政経 } から2 物基・化基・生基・地基、物理、化学、生物、地学 } から1 ［6・7教科8科目］		
	② 地歴公民 理	地総地探、歴総日探、歴総世探、地歴公、公倫、公政経 } から1 物理、化学、生物、地学から2 ［6教科8科目］		

地球学類

学力検査等の区分・募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
	教科	科目名等	教科等	科目名等
前期〔学類・専門学群選抜〕21名	国 地歴公民 数 理 外 情	国語 地総地探、歴総日探、歴総世探、地歴公、公倫、公政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C } 計2 物理、化学、生物、地学から2 英（リスニング含む。）、独、仏、中、韓から1 情報Ⅰ ［6教科8科目］	数 理 地歴 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C 物基・物、化基・化、生基・生、地基・地 } 2科目選択 地理探 } 英
後期4名	国 地歴公民 数 理 外 情	国語 地総地探、歴総日探、歴総世探、地歴公、公倫、公政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C } 計2 物理、化学、生物、地学から2 英（リスニング含む。） 情報Ⅰ ［6教科8科目］	その他	志望の動機、個別面接 〔志望の動機と個別面接に基づいて、地球学類における勉学の意欲や主体性、論理的思考力、表現力、学習適格性等を評価する。〕

数学類

学力検査等の区分・募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
	教科	科目名等	教科等	科目名等
前期〔学類・専門学群選抜〕20名	国 地歴公民 数 理 外 情	国語 地総地探、歴総日探、歴総世探、地歴公、公倫、公政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C } 計2 物理、化学、生物、地学から2 英（リスニング含む。）、独、仏、中、韓から1 情報Ⅰ ［6教科8科目］	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C 物基・物 化基・化、生基・生、地基・地から1 } 計2科目 英、独、仏、中から1 （事前選択）
後期	実施しない。			

物理学類

学力検査等の区分・募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
	教科	科目名等	教科等	科目名等
前期〔学類・専門学群選抜〕20名	国	国語	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C
	地歴公民	地総地探、歴総日探、歴総世探、地歴公、公倫、公政経 から1	理	物基・物 / 化基・化、生基・生、地基・地から1 計2科目
	数	数Ⅰ・数A / 数Ⅱ・数B・数C 計2	外	英、独、仏、中から1（事前選択）
	理	物理、化学、生物、地学から2		
	外	英（リスニング含む。）、独、仏、中、韓から1		
	情	情報Ⅰ		
		[6教科8科目]		
後期 8名			その他	小論文〔全般的な基礎学力に加え、物理学を学ぶ上で必要な論理力・思考力・応用力を総合的に評価する。〕

化学類

学力検査等の区分・募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
	教科	科目名等	教科等	科目名等
前期〔学類・専門学群選抜〕14名	国	国語	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C
	地歴公民	地総地探、歴総日探、歴総世探、地歴公、公倫、公政経 から1	理	化基・化 / 物基・物、生基・生、地基・地から1 計2科目
	数	数Ⅰ・数A / 数Ⅱ・数B・数C 計2	外	英、独、仏、中から1（事前選択）
	理	物理、化学、生物、地学から2		
	外	英（リスニング含む。）、独、仏、中、韓から1		
	情	情報Ⅰ		
		[6教科8科目]		
後期 9名			その他	個別面接〔化学に関する興味と意欲、理解力、表現力、また主体性を持って学ぶ態度を評価する。〕

応用理工学類

学力検査等の区分・募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
	教科	科目名等	教科等	科目名等
前期〔学類・専門学群選抜〕49名	国	国語	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C
	地歴公民	地総地探、歴総日探、歴総世探、地歴公、公倫、公政経 から1	理	物基・物 / 化基・化、生基・生、地基・地から1 計2科目
	数	数Ⅰ・数A / 数Ⅱ・数B・数C 計2	外	英、独、仏から1（事前選択）
	理	物理、化学、生物、地学から2		
	外	英（リスニング含む。）、独、仏、中、韓から1		
	情	情報Ⅰ		
		[6教科8科目]		
後期 19名			その他	個別面接〔専攻に関わる能力及び適性を判定するために口頭試問を含み、論理的思考力及び表現力、並びに主体性をみる。口頭試問の中には数学Ⅲなどの科目に関する試問も入る。〕

工学システム学類

学力検査等の区分・募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
	教科	科目名等	教科等	科目名等
前期〔学類・専門学群選抜〕52名	国	国語	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C
	地歴公民	地総地探、歴総日探、歴総世探、地歴公、公倫、公政経 から1	理	物基・物 / 化基・化、生基・生、地基・地から1 計2科目
	数	数Ⅰ・数A / 数Ⅱ・数B・数C 計2	外	英、独、仏、中から1（事前選択）
	理	物理、化学、生物、地学から2		
	外	英（リスニング含む。）、独、仏、中、韓から1		
	情	情報Ⅰ		
		[6教科8科目]		
後期 20名			その他	個別面接〔勉学に対する主体的な意欲及び本人の希望分野と本学類の教育内容の適合性を評価する。〕

社会工学類

学力検査等の区分・募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
	教科	科目名等	教科等	科目名等
前期〔学類・専門学群選抜〕60名	国	国語	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C
	地歴公民	地総地探、歴総日探、歴総世探、地歴公、公倫、公政経 から1	外	英、独、仏から1 (事前選択)
	数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C 計2		
	理	物基・化基・生基・地基、物理、化学、生物、地学 から1		
	外	英(リスニング含む。)、独、仏、中、韓から1		
	情	情報Ⅰ		
		[6教科7科目]		
後期 12名			その他	個別面接 〔社会工学を学ぶ上で必要な基礎学力、論理的思考力及び表現力、並びに勉学に対する主体性を総合的に評価する。〕

情報科学類

学力検査等の区分・募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
	教科	科目名等	教科等	科目名等
前期〔学類・専門学群選抜〕38名	国	国語	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C
	地歴公民	地総地探、歴総日探、歴総世探、地歴公、公倫、公政経 から1	理	物基・物、化基・化、生基・生、地基・地 2科目選択
	数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C 計2	外	英、独、仏、中から1 (事前選択)
	理	物理、化学、生物、地学から2		
	外	英(リスニング含む。)、独、仏、中、韓から1		
	情	情報Ⅰ		
		[6教科8科目]		
後期	実施しない。			

情報メディア創成学類

学力検査等の区分・募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
	教科	科目名等	教科等	科目名等
前期〔学類・専門学群選抜〕20名	国	国語	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C
	地歴公民	地総地探、歴総日探、歴総世探、地歴公、公倫、公政経 から1	外	英、独、仏、中から1 (事前選択)
	数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C 計2		
	理	物理、化学、生物、地学から2		
	外	英(リスニング含む。)、独、仏、中、韓から1		
	情	情報Ⅰ		
		[6教科8科目]		
後期	実施しない。			

知識情報・図書館学類

学力検査等の区分・募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等	
	教科		科目名等	教科等	科目名等
前期〔学類・専門学群選抜〕	実施しない。				
後期 10名	国		国語	その他	小論文 〔論理的思考力、表現力、広い視野からの発想等を評価する。〕
	数		数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C 計2		
	外		英(リスニング含む。)、独、仏、中、韓から1		
	情		情報Ⅰ		
	①	地歴公民	地総地探、歴総日探、歴総世探、地歴公、公倫、公政経 から2		
		理	物基・化基・生基・地基、物理、化学、生物、地学 から1		
			[6・7教科8科目]		
	②	地歴公民	地総地探、歴総日探、歴総世探、地歴公、公倫、公政経 から1		
		理	物理、化学、生物、地学から2		
			[6教科8科目]		

個別学力検査等(前期日程)を実施せず、総合選抜入学者を2年次から40名受け入れます。

医学類

学力検査等の区分・募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
	教科	科目名等	教科等	科目名等
前期〔学類・専門学群選抜〕44名	国 地歴公民 数 理 外 情	国語 地総地探、歴総日探、歴総世探、地歴公、公倫、公政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C } 計2 物理、化学、生物から2 英（リスニング含む。）、独、仏、中、韓から1 情報Ⅰ ［6教科8科目］	数 理 外 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C 物基・物、化基・化、生基・生から2 英 適性試験（1） 〔筆記試験により、適応力や学習意欲、人間性等を評価する。〕 適性試験（2） 〔個別面接により、医学を志向する動機、修学の継続力、適性、感性、社会的適応力等総合的な人間性について評価する。〕
後期	実施しない。			

看護学類

学力検査等の区分・募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
	教科	科目名等	教科等	科目名等
前期〔学類・専門学群選抜〕37名	国 数 外 情	国語 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C } 計2 英（リスニング含む。）、独、仏、中、韓から1 情報Ⅰ	国 理 外 その他	論国・文国（古文、漢文を除く） 物基・物、化基・化、生基・生から1 } 1教科選択（事前選択） 英、独、仏から1 （事前選択） 個別面接 〔看護学を志向する動機、適性、感性、社会的適応力等について総合的に判断する。〕
	① 地歴公民 理	地総地探、歴総日探、歴総世探、地歴公、公倫、公政経 } から2 物基・化基・生基・地基、物理、化学、生物 } から1 ［6・7教科8科目］		
	② 地歴公民 理	地総地探、歴総日探、歴総世探、地歴公、公倫、公政経 } から1 物理、化学、生物から2 ［6教科8科目］		
後期	実施しない。			

医療科学類

学力検査等の区分・募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
	教科	科目名等	教科等	科目名等
前期〔学類・専門学群選抜〕12名	国 地歴公民 数 理 外 情	国語 地総地探、歴総日探、歴総世探、地歴公、公倫、公政経 } から1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B・数C } 計2 物理、化学、生物から2 英（リスニング含む。）、独、仏、中、韓から1 情報Ⅰ ［6教科8科目］	数 理 外 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C 物基・物、化基・化、生基・生から2 英 個別面接 〔医療を志向する動機、適性、感性、社会的適応力等について総合的に判断する。〕
後期	実施しない。			

体育専門学群

学力検査等の区分・募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
	教科	科目名等	教科等	科目名等
前期〔学類・専門学群選抜〕130名	国 地歴公民 数 理 外 情	国語 地総地探、歴総日探、歴総世探、地歴公、公倫、公政経 } から1 数Ⅰ・数A、数Ⅰ、数Ⅱ・数B・数Cから1 物基・化基・生基・地基、物理、化学、生物、地学 } から1 英（リスニング含む。）、独、仏、中、韓から1 情報Ⅰ ［6教科6科目］	その他	実技（事前選択） 〔実技①の検査では、当該種目に関する基礎及び応用技能について評価する。実技②の検査では、主に入学後の実技履修上の観点から、基礎技能を中心に評価する。〕 保健体育理論に関する論述試験 〔保健体育に関する基礎的学力及び文章表現能力をみる。〕
後期	実施しない。			

芸術専門学群

学力検査等の区分・募集人員	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
	教科	科目名等	教科等	科目名等
前期 〔学類・専門学群選抜〕 45名	国 地歴公民 数 理 外 情	国語 地総地探、歴総日探、歴総世探、 地歴公、公倫、公政経　} から1 数Ⅰ・数A、数Ⅰ、数Ⅱ・数B・数Cから1 物基・化基・生基・地基、 物理、化学、生物、地学　} から1 英（リスニング含む。）、独、仏、中、韓から1 情報Ⅰ ［6教科6科目］	その他	実技（事前選択） 〔芸術に関する基礎的表現力、適性、感性、主体性等について評価する。〕 次の科目の中から、午前1科目、午後1科目を選択する。 午前：論述、鉛筆デッサン 午後：論述（鑑賞）、論述（デザイン構想）、デッサン（木炭または鉛筆）、平面構成、書
後期 10名	国 地歴公民 数 理 外 情	国語 地総地探、歴総日探、歴総世探、 地歴公、公倫、公政経 数Ⅰ・数A、数Ⅰ、数Ⅱ・数B・数C　} から1 物基・化基・生基・地基、 物理、化学、生物、地学 英（リスニング含む。）、独、仏、中、韓から1 情報Ⅰ ［4教科4科目］	その他	実技（事前選択） 〔芸術に関する基礎的表現力、適性、感性、主体性等について評価する。〕 次の科目の中から、1科目を選択する。 論述、鉛筆デッサン

推薦入試　推薦要件一覧

注：下記に示す推薦要件は令和６年度推薦入試のものです。令和７年度推薦入試については、令和６年９月以降に公開予定の「推薦入試学生募集要項」を必ず参照してください。

各学群・学類ごとに下表に示す推薦要件のいずれかに該当する者のうち、学校長が責任をもって推薦し、合格した場合には入学することを確約できるものとします。

なお、下表において、“個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者”とは、推薦校において、「筑波大学に個別検査等（一般選抜）により入学した者」以上の学力（高校の学習成績）があると認められた者とします。

学群	学類名	推薦要件
人文・文化学群	人文学類	(1) 調査書の学習成績概評Ａ段階に属する者、または筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 希望する主専攻分野（哲学、史学、考古学・民俗学、言語学）の内容に深い関心を有し、当該分野に関連する教科・科目において優れた能力を持つ者（それらを証明する客観的資料があれば適宜添付すること。） (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者
	比較文化学類	(1) 調査書の学習成績概評Ａ段階に属する者、または筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 文学・思想・地域研究・文化学等比較文化主専攻に関わる分野において、特に優れた能力を持つ者（その能力を証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。） (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者
	日本語・日本文化学類	(1) 調査書の学習成績概評Ａ段階に属する者、または筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 旺盛な知的好奇心や日本語・日本文化を学ぶにふさわしい明確な問題意識を持ち、専攻に関わる分野において特に優れた能力を持つ者（その能力を証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。） (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者
社会・国際学群	社会学類	(1) 調査書の学習成績概評Ａ段階に属する者、または筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 社会科学（社会学、法学、政治学、経済学）に関連する分野について、明確な問題意識と優れた能力を有する者（その能力を証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。） (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者
	国際総合学類	(1) 調査書の学習成績概評Ａ段階に属する者、または筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 国際関係及び国際開発の諸分野の現実的問題に強い関心を持ち、世界的視野からそれを分析しようとする意欲があり、国際的に活躍できる資質を有する者で、外国語に優れた能力を持つ者、または理数系に優れた能力を持つ者（いずれもそれを証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。） (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、柔軟な発想と構想力をもち、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者
人間学群	教育学類	(1) 調査書の学習成績概評Ａ段階に属する者、または筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 教育についての問題意識を明確に持ち、それに関連する自主研究や部活動、社会活動等において優れた実績を有する者（その実績を証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。） (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、英語等の外国語の能力が抜群で、将来、教育学の分野における国際舞台で活躍する資質が十分と考えられる者
	心理学類	(1) 調査書の学習成績概評Ａ段階に属する者、または筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 人間のこころと行動について、旺盛な知的好奇心を持ち、明確な問題意識を持っている者で、このことに関連する自主研究や部活動、社会活動等において優れた実績を有する者（その実績を証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。） (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、英語等の外国語の能力が抜群で、将来、心理学の分野における国際舞台で活躍する資質が十分と考えられる者
	障害科学類	(1) 調査書の学習成績概評Ａ段階に属する者、または筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 障害科学についての問題意識を明確に持ち、それに関連する自主研究や部活動、社会活動等において優れた実績を有する者（その実績を証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。） (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、英語等の外国語の能力が抜群で、将来、障害科学の分野における国際舞台で活躍する資質が十分と考えられる者

学群	学類名	推薦要件
生命環境学群	生物学類	(1) 生物界や生き物の仕組みに関する広い興味を有し、調査書の学習成績概評A段階に属する者、または筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 生物界や生き物の仕組みに関する広い興味を有し、生物や数学に優れた能力を持ち、かつ、生物の学習や実験に意欲的で、生物に関連する自主研究や国際生物学オリンピック（国内予選も含む。）等で実績を有する者（本要件の場合、生物の学習や実験に意欲的であることを証明する客観的資料があれば添付すること。） (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、生物界や生き物の仕組みに関する広い興味を有し、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者
	生物資源学類	(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、または筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 理科、数学、英語のうち1教科に特に優れた能力を持ち、かつ、本学類に関連する部活動、地域活動、社会活動等において、実績を有する者（それを証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。これら諸活動の実績も評価の対象とします。） (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者
	地球学類	(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、または筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 数学、理科及び地理のうち、少なくとも1教科・科目において、優れた能力を持つ者、国際地学オリンピックもしくは国際地理オリンピックに日本代表として選抜された者、または、いずれかの国内選考会で好成績を収めた者（日本地学オリンピック予選通過者もしくは科学地理オリンピック日本選手権の金メダルもしくは銀メダルの受賞者。） (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、地球環境学や地球進化学に関する広い興味を有し、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者
理工学群	数学類	(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、または筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 数学において、特に優れた能力を持つ者（その能力を証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。） (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者
	物理学類	(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、または筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 数学または理科のいずれかにおいて、特に優れた能力を持つ者（その能力を証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。） (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者
	化学類	(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、または筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 化学において、特に優れた能力を持つ者（その能力を証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。） (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者
	応用理工学類	(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、または筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 数学または理科の能力が抜群で（例えば、その学習成績が推薦校の上位5%以内）、かつ、希望する主専攻分野に対して旺盛な好奇心を持つ者（それを証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。） (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者
	工学システム学類	(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、または筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 数学と理科の能力が卓越しており、論理的な思考力とその表現力に優れている者 工学の分野に強い関心を持ち、工学について熱意を持って勉強しようと考えている者（それを証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。） (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有し、将来、国際舞台で活躍する資質が十分と考えられる者
	社会工学類	(1) 文系・理系を問わず、調査書の学習成績概評A段階に属する者、または筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 数学及び英語に優れた能力を持ち、希望主専攻分野に関連する問題（社会経済システム主専攻では社会や経済に関する諸問題、経営工学主専攻では経営上の諸問題や経営計画における数学的手法、都市計画主専攻では地域・都市・環境に関する諸問題）について強い関心を持ち、その分野で一定の成果を挙げた者（それを証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。） (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者
情報学群	情報科学類	(1) 情報科学や情報技術に興味を持ち、調査書の学習成績概評A段階に属する者、または筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 情報科学や情報技術の分野に強い関心を持ち、論理的思考力と表現力に優れ、豊かな発想ができる者（その能力を証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。） (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者
	情報メディア創成学類	(1) 情報メディアの科学と技術に興味を有し、調査書の学習成績概評A段階に属する者、または筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 情報メディアの科学と技術に強い関心を持ち、論理的思考能力と表現力に優れ、豊かな発想ができる者（その能力を証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。） (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者（その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。）で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者

学群・学類名		推薦要件
情報学群	知識情報・図書館学類	(1) 調査書の学習成績全体の平均評定値が4.0以上の者、または筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 知識や情報に対して明確な問題意識を持ち、それらに関する自主研究や部活動、社会活動において優れた実績を有する者 (実績を証明する客観的資料があれば添付のこと。) (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者 (その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。) で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者
医学群	医学類	(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、または筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 全教科がバランスよく優れている上に、英語及び理数系特に数学、理科 (物理学、化学、生物学のうち2科目) の能力が抜群で、医師となる資質が十分と考えられる者 (それを証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。) (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者 (その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。) で、英語及び理系科目の能力が抜群で、将来、国際舞台で活躍する資質が十分であると考えられる者
	看護学類	(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、または筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 看護に関連する分野について、明確な問題意識と優れた能力を有し、部活動、地域活動、社会活動等 (看護に関するものである必要はない。) において実績を有する者 (その能力を証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。) (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者 (その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。) で、筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者
	医療科学類	(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、または筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 医療科学に関連する分野について、明確な問題意識と優れた能力を有し、特に数学、理科 (物理、化学、生物のうち2科目) 及び英語の能力に優れている者 (その能力を証明する客観的資料があれば適宜添付のこと。) (3) 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする探究的な学習や、国際交流に関する活動に取り組み、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的な素養を身に付けた者 (その根拠として、本人の作成する「活動報告書」を添付のこと。) で、英語及び理系科目の能力が抜群で、将来、国際舞台で活躍する資質が十分であると考えられる者
体育専門学群		(1) 一つの運動種目に抜群の技能を有し、かつ、本学群における十分な修学力を備え、将来体育・スポーツ・健康の分野で活躍が期待できる者 なお、抜群の技能を有する者とは、次の要件のいずれかに該当するものをいいます。 ①国際大会等に日本を代表して選抜された者 ②全国的な大会等において16位以内の成績を収めた者 ③①②と同等程度の水準にあると認められる者 ④都道府県大会で優勝、あるいは地域 (関東、東海等) 大会で入賞し、全国大会出場に相当する成績を収めた者 (上記①～④を証明する客観的資料を必ず添付のこと。)
芸術専門学群		(1) 調査書の学習成績概評A段階に属する者、または筑波大学の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 (2) 志望する芸術専門学群の領域で優れた資質または能力を持つ者 (客観的資料として作品写真等があれば適宜添付のこと。)

(注) 外国の高等学校を卒業した者について
日本国籍を有する者または日本国の永住許可を受けている者で、外国の高等学校を卒業した者または卒業見込みの者は、次の (ア) または (イ) のいずれかに該当する者のうち、出身高等学校長が責任をもって推薦し、合格した場合には入学することを確約できる者とします。
(ア) 各科目にわたり極めて優秀な成績を修めた者
(イ) 志願する学群・学類に関連する分野において特に優れた能力を持つ者
※「関連する分野」については、下表の主専攻分野を参考にしてください。

学群・学類名		主専攻分野
人文・文化学群	人文学類	哲学、史学、考古学・民俗学、言語学
	比較文化学類	比較文化
	日本語・日本文化学類	日本語・日本文化学
社会国際学群	社会学類	社会学、法学、政治学、経済学
	国際総合学類	国際関係学、国際開発学
人間学群	教育学類	教育学
	心理学類	心理学
	障害科学類	障害科学
生命環境学群	生物学類	生物学
	生物資源学類	生物資源科学
	地球学類	地球環境学、地球進化学
理工学群	数学類	数学
	物理学類	物理学
	化学類	化学
	応用理工学類	応用物理、電子・量子工学、物性工学、物質・分子工学
	工学システム学類	知的・機能工学システム、エネルギー・メカニクス
	社会工学類	社会経済システム、経営工学、都市計画
情報学群	情報科学類	ソフトウェアサイエンス、情報システム、知能情報メディア
	情報メディア創成学類	情報メディア創成
	知識情報・図書館学類	知識科学、知識情報システム、情報資源経営
医学群	医学類	医学、新医学
	看護学類	看護学
	医療科学類	医療科学、国際医療科学
体育専門学群		体育学
芸術専門学群		芸術学

見学／体験学習／進学相談

筑波大学オープンキャンパス

毎年度夏季の指定日に、高校生及び既卒者を対象として、筑波大学の教育・研究を正しく理解し、適切な進路を選択する上での参考にしていただくため、大学の概要説明や学類・専門学群の特色などの詳細説明を実施しています。

実施日　令和６年７月26日（金）、27日（土）、28日（日）、
8月3日（土）

https://www.tsukuba.ac.jp/admission/opencampus-examinees/

体験学習

高校生を対象に、大学教育の一端を体験していただくため、学群・学類において最先端の内容をよりわかりやすく授業を実施するもので、実際に講義・実験等を体験していただきます。
https://www.tsukuba.ac.jp/admission/opencampus-work-study/

進学相談

アドミッションセンターでは、アドミッションセンター教員による進学相談を行っています。また、入学案内、募集要項、各学群・学類のパンフレット等も配布しています。
https://ac.tsukuba.ac.jp

大学院説明会・専攻公開

大学生・高等専門学校専攻科・社会人及び高校生を対象に、大学院での教育研究を公開する催しです。
https://www.tsukuba.ac.jp/admission/opencampus-graduate/

キャンパスツアー

高校生を対象とした団体専用のツアーです。筑波大学に興味のある40名以内の団体を受け入れています。

申し込みは広報局まで
https://www.tsukuba.ac.jp/about/campus-tour-top/
電話　029－853－2064/2063
受付時間：平日8:30～12:15、13:15～17:15

キャンパス開放

筑波大学は、いつでもキャンパスを自由に見学することができます。建物内に入って見学できる場所は限られますが、キャンパスを縦断するペデストリアンを自由に歩きながら、本学の雰囲気をお楽しみください。

筑波キャンパス自由見学 NAVI
https://www.tsukuba.ac.jp/about/campus-tour-top/pdf/self-tour-navi.pdf

注）駐車場について
自動車で来学の場合は、「松見口」「中央口」の各案内センター（p.168、p.169を参照）において、所定の手続きを行い、指定場所に駐車願います。



オープンキャンパスの様子


オープンキャンパスの様子



資料請求方法

入学者選抜の詳細は、「入学者選抜要項」及び「学生募集要項」などで確認してください。
大学案内や学群・学類等案内パンフレットは以下の方法で請求できます。

(1) インターネットで請求する場合

① 以下のURLで テレメール進学サイトにアクセスしてください。

テレメール　進学サイト	https://telemail.jp/shingaku/contents/index.php	筑波大学資料請求用QRコード （資料請求番号の入力不要）

② 「資料請求」ページから希望の資料を選択してください。

資料名	料金（予定）	発送開始日（予定）
大学案内 2025	250 円	5 月下旬

※上記以外の入学者選抜要項、募集要項については、本学入試情報サイトに掲載します。
https://ac.tsukuba.ac.jp

学群・学類等案内（2025年度）

資料名	料金（予定）	発送開始(予定)
総合学域群案内	180円	5月中旬
人文学類案内	180円	7月中旬
比較文化学類案内	215円	7月中旬
日本語・日本文化学類案内	180円	4月下旬
社会学類案内	180円	7月下旬
国際総合学類案内	180円	4月中旬
人間学群案内 （教育学類・心理学類・障害科学類）	250円	7月中旬
生命環境学群案内	180円	4月下旬
生物学類案内	180円	4月下旬
生物資源学類案内	180円	4月下旬
地球学類案内	180円	7月上旬
理工学群案内	180円	4月下旬

資料名	料金（予定）	発送開始(予定)
数学類案内	180円	7月上旬
物理学類案内	180円	4月下旬
化学類案内	180円	6月上旬
応用理工学類案内	180円	4月下旬
工学システム学類案内	180円	7月下旬
社会工学類案内	180円	7月上旬
情報科学類案内	180円	7月上旬
情報メディア創成学類案内	180円	4月下旬
知識情報・図書館学類案内	180円	4月下旬
医学群案内 （医学類・看護学類・医療科学類）	180円	6月中旬
体育専門学群案内	180円	7月上旬
芸術専門学群案内	180円	6月中旬

③ ガイダンスに従ってお届け先等を登録してください。
※テレメールをご利用済みの方はお届け先の登録は不要です。

※資料請求終了時及び受付確認メール内で告知される10桁の「受付番号」は、資料到着まで保管してください。

※資料は通常、発送日のおおむね3～5日後にお届けできます。ただし、受付時間や地域、配達事情によっては1週間程度かかります。1週間以上経っても届かない場合は、テレメールカスタマーセンターまでお問い合わせください。

※料金の支払い方法は「コンビニ支払い」「スマホアプリの請求書支払い（LINE Pay、PayPay、au PAY）」「ケータイ払い」「クレジットカード支払い」がご利用になれます。
なお、支払い手数料が別途必要です。（コンビニ・ケータイ・クレジットカード払いは1回の手数料で複数資料の料金を同時に支払うこともできます。）

請求方法についてのお問合せ先
テレメールカスタマーセンター　IP電話　050－8601－0102（受付時間 9：30 ～ 18：00）

(2) 本学の窓口で直接受け取る場合

筑波キャンパスアドミッションセンター窓口（月～金曜日（祝休日、休業日を除く）9：00～17：00　電話029-853-7385）で資料を入手できます。

キャンパスマップ

257ヘクタールの敷地には、全体として森林公園を基調とした景観の中に、変化に富んだ斬新なデザインの施設がそれぞれ効率的に配置され、ペデストリアンと環状道路等で機能的に結ばれています。

これらの施設は、内外の学術交流、市民の教養活動、社会体育行事などにも利用されています。

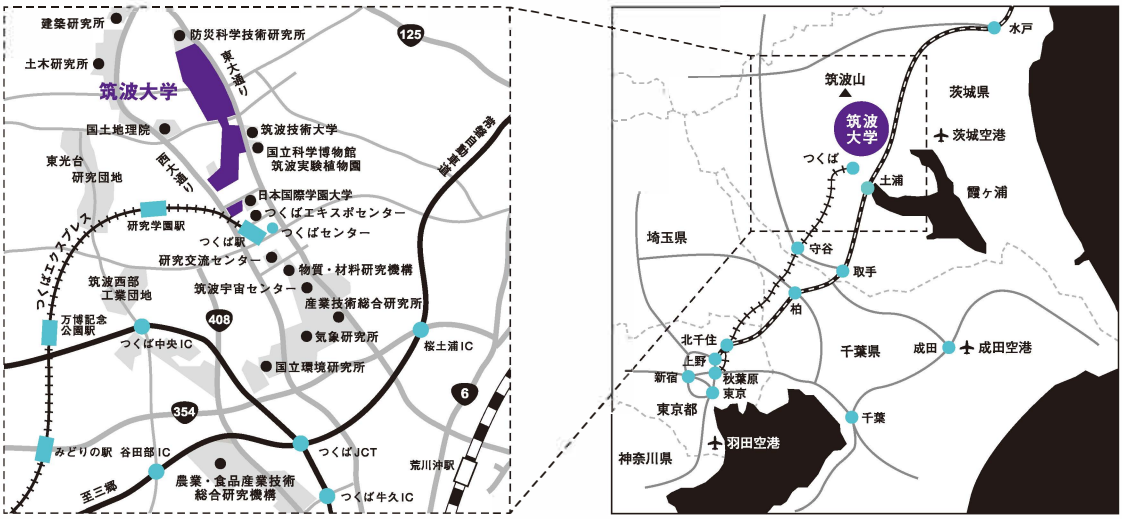


施設名称		
東エリア	1	厩舎・第2厩舎
農林技術(農場)エリア	2	つくば機能植物イノベーション研究センター(農場)
一の矢宿舎エリア	3	一の矢学生宿舎
	4	一の矢生活センター
実験センターエリア	5	アイソトープ環境動態研究センター(環境動態予測部門)
	6	生存ダイナミクス研究センター
	7	産学リエゾン共同研究センター
	8	バイオ・マテリアル植物生産研究棟
	9	プラズマ研究センター
	10	藻類バイオマス・エネルギーシステム開発研究センター
	11	エンパワースタジオ
	12	研究基盤総合センター(工作部門)
	13	研究基盤総合センター(低温部門)
	14	研究基盤総合センター(応用加速器部門)
	15	共同研究棟C
	16	研究基盤総合センター(分析部門)
	17	プロジェクト研究棟
	18	アイソトープ環境動態研究センター(放射線研究部門)
	19	筑波大学アーカイブス、中央機械室
第三エリア	20	第3体育館
	21	3A～3D, 3K, 3L棟／システム情報エリア支援室
	22	工学系学系棟
	23	理科系棟
	24	共同研究棟D
	25	総合研究棟B
	26	サイバニクス研究棟
第二エリア	27	つくば機能植物イノベーション研究センター(遺伝子実験センター)
	28	生物・農林学系棟
	29	第1体育館
	30	総合研究棟A
	31	2A～2E, 2G, 2H棟／生命環境エリア支援室, 人間エリア支援室
	32	文科系修士棟
	33	人間系学系棟
	34	環境防災研究棟／山岳科学センター

第一エリア	35	中央図書館
	36	人文社会学系棟
	37	共同利用棟A
	38	共同研究棟A
	39	共同利用棟D
	40	スチューデントプラザ
	41	1A～1H棟、人文社会エリア支援室、数理物質エリア支援室、スチューデント・コモンズ
	42	文化系サークル館
	43	自然系学系棟
	44	計算科学研究センター
本部棟エリア	45	本部棟・アネックス棟
大学会館エリア	46	講堂
	47	大学会館、筑波大学ギャラリー、筑波大学アートスペース
	48	総合交流会館
	49	大学会館宿泊施設
	50	学術情報メディアセンター
	51	グローバルコミュニケーション教育センター
	52	保健管理センター
	53	国際講義棟
体育・芸術エリア	54	芸術学系棟
	55	5C棟／体育芸術エリア支援室
	56	共同研究棟B
	57	体育科学系棟
	58	体育総合実験棟
	59	6A, 6B棟
	60	芸術学系工房棟
	61	アート＆デザイン実習室
	62	体育・芸術図書館
	63	中央体育館
	64	T-Dome
	65	スポーツ流体工学実験棟
	66	体芸食堂
	67	グローバルスポーツイノベーション棟
	68	体育センター、体育系サークル館
	69	屋内プール
	70	武道館
	71	球技体育館
	72	開学記念館
	73	総合研究棟D
体育施設エリア	74	弓道場
	75	体育合宿所
	76	クラブハウス
	77	課外活動練習施設



施設名称		
医学エリア	78	医学地区中央機械室
	79	睡眠医科学研究棟
	80	4B棟, 4C棟, 4D棟
	81	生命科学動物資源センター
	82	4E棟
	83	共同利用棟B
	84	医学系RI研究棟
	85	医学系学系棟
	86	附属病院
	87	4A棟／医学医療エリア支援室
	88	医科学棟
	89	医学図書館, 臨床講義室
	90	医学食堂
	91	第2体育館
	92	陽子線医学利用研究センター
	93	健康医科学イノベーション棟
	94	つくば臨床検査教育・研究センター
	95	次世代分子イメージングAIC画像検査センター
平砂宿舎エリア	96	平砂生活センター
	97	平砂学生宿舎
	98	グローバルヴィレッジ
	99	レジデント宿泊施設
追越宿舎エリア	100	追越生活センター, ゆりのき保育所
	101	追越学生宿舎
	102	外国人教師等宿泊施設
春日エリア	103	7A棟
	104	春日学生宿舎　春日1号棟, 春日2号棟
	105	高細精医療イノベーション棟
	106	春日講堂
	107	7B棟, 7C棟／図書館情報エリア支援室
	108	図書館情報学図書館
	109	7D棟
	110	第4体育館
	111	春日弓道場
	112	情報メディアユニオン
	113	春日学生宿舎　春日3号棟
	114	春日福利厚生棟
	115	グローバルゲストハウス

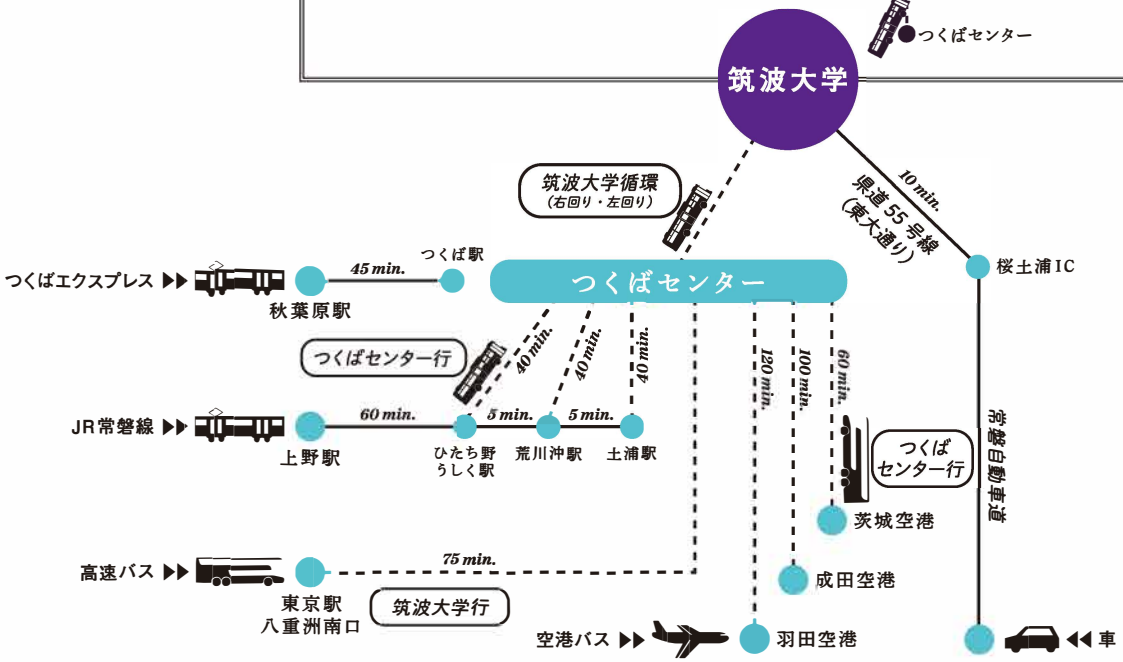


筑波大学へのアクセス
ACCESS TO
UNIVERSITY OF TSUKUBA

つくばセンターから筑波大学へのバスについて

- 筑波大学へのバスは、大学の外周を一周する道路で運行されています。
- つくばセンター発のバスには、「筑波大学循環（右回り・左回り）」の2種類があります。





編集発行：筑波大学アドミッションセンター　305-8577　茨城県つくば市天王台1-1-1
電話：029-853-7385（直通）　メールアドレス：ac-img@ml.cc.tsukuba.ac.jp
表紙・ナビゲーションデザイン：田中 陽（人間総合科学学術院）

最新の情報や訂正については
筑波大学アドミッションセンター
のホームページをご覧ください。
https://ac.tsukuba.ac.jp